

授業評価 2016

－学生による授業評価報告書－

【2016年度新規開設科目】

2017年3月



授業評価 2016
－学生による授業評価報告書－
【2016年度新規開設科目】

<u>I. 「学生による授業評価 2016」の概要</u>	1
I－1. 目的	
I－2. 構成と内容	
I－3. 方法と期間	
I－4. 時系列分析	
I－5. 回答者の特性	
I－6. 評価結果の提供と公表	
I－6－1. 評価結果の提供	
I－6－2. 評価結果の公表	
I－7. その他	
<u>II. 評定尺度調査の分析結果</u>	19
II－1. 学部 of 分析結果	
II－1－1. 項目平均から見た全体的傾向	
II－1－2. 学習への取組姿勢	
II－1－3. 学部の授業評価	
II－1－4. 参考	
II－2. 大学院 of 分析結果	
II－2－1. 項目平均から見た全体的傾向	
II－2－2. 学習への取組姿勢	
II－2－3. 大学院の授業評価	
II－2－4. 参考	
<u>III. 自由記述のまとめ</u>	125
III－1. 総括	
III－2. 学部	
III－3. 大学院	
<u>付録</u>	193

2016年度学生による授業評価集計結果の概要等について

I. 「学生による授業評価2016」の概要

I-1. 目的

本学では、授業に関する学生の理解の状況や満足感・充実感等を把握することによって、教育内容や教授方法、講義資料及び学習支援システム・施設等の改善に資することを目的とし、2005年度より自己点検・評価の一環として学生による授業評価を導入した。今年度は、第12回目となり、例年の通り2016年度に新規開設した科目を評価の対象とした。

以下、その量的分析結果及び自由記述の内容を報告する。

学生による授業評価は、個々の科目に対する学習者の視点からの具体的で詳細なフィードバックを得ることを企図して実施される調査である。その主な目的は、次の通りである。

- (1) **個別授業科目の改善支援**……個々の科目を受講者がどのように学習し、どう評価しているかを項目ごとに把握することにより、次の科目改訂等に際して改善すべき点の発見を容易にするような資料を提供する。
- (2) **カリキュラム全体の改善支援**……コースまたは領域、プログラム(群)における、より効果的なカリキュラム構成や水準のバランス等を検討する上での有効な資料を提供する。
- (3) **認証評価に関わる資料提供**……大学に対して社会的に強く求められている定期的な認証評価に際しての重要な資料を提供する。

しかし、一般の大学とは異なり、放送大学においては授業評価の結果をそうした目的にストレートに用いることが必ずしも容易ではない。そこには、次のような放送大学に固有のいくつかの条件と特殊事情があり、結果の利用には一定の留保が求められることになるからである。

第1に、放送大学では、収録された放送授業を4年間継続して放送する原則になっていることである。そのため、たとえ授業評価で改善点が明確に示唆されたとしても、即座にそれを改善する(つまり、評価の次年度に改訂版を収録する)ことが非常に難しいのである。

第2に、放送大学の主任講師は半数程度が客員教員であり、その場合、必ずしも科目の改訂を同一教員がするとは限らないことである。主任講師が交代すると、科目の内容や構成が変わってしまう場合があるため、前科目に対する評価は往々にして参考程度の意味しか持たないことになるのである。

第3に、放送大学は公開大学であり学部には入学試験がないこともあって、他の一般大学に比して学生集団は多様で流動的であり、そこに一定のまとまった特性を求めることは難しい。授業評価で得られた結果も他の大学よりはるかに分散が大きいことが容易に予想される。したがって、たとえ結果を得たとしても、どの層の学生をターゲットとして授業改善をしていったらよいのか、必ずしも明確ではないのである。事実、過去の数次にわたる授業調査で毎回見られることであるが、例えば、「放送授業と印刷教材はできるだけ同一の内容に」と「放送授業と印刷教材の内容が同じでは別の教材である意味がない」とは、常に同じくらい多く書かれる意見である。もちろん、そうした意見の平均や中間点を採用してもあまり意味がないことは言うまでもない。

そして、第4に、放送大学は教員の5年任期制を採っており、再任のためには5年ごとの内部審査の通過が必要とされることである。そのため、個々の教員の評価にストレートに結びつきがちな授業評価の実施に対しては、当初より慎重論も決して少なくなかった。したがって、上述した第3の特性を持つ授業評価に関しては、授業改善あるいはカリキュラム改善のためにのみ結果を用いる、という確たる合意が必要とされるのである。

I-2. 構成と内容

本学生による授業評価調査(放送授業)は、大きく分けて3つの部分からなっている。

第1は、当該科目への取組姿勢、放送授業、印刷教材、単位認定試験等について4段階で評価する評定尺度質問である。その内容は、①当該科目にどれだけ熱心に取り組んだかを示す回答者自身の自己評価と、②授業の難易度・分量、放送授業、印刷教材、通信指導・単位認定試験および全体的に見た授業評価の2つに分かれる。

第2は、当該科目のよかった点、改善すべきだと感じた点、本学の教育システム全般への意見に関する質問であり、自由に記述してもらう形態を採った。

そして、第3は回答者の属性に関する質問である。

実際に使用した調査票については198、199頁を参照されたい。

I-3. 方法と期間

評価の対象としたのは、2016年度第1学期に本学で開講していた放送授業のうち、今年度開設した科目及び前年度第2学期に開設した科目(開講1年目の科目)、学部56科目、大学院8科目、計64科目である(表1-1参照)。このような選定システムにすることで、開設後4年間継続して放送することとされている全科目が、開講期間中に必ず1回授業評価の対象とされることになる。

表 1-1 コース・プログラム別の評価対象科目数および有効回答数

【学部】

コース	科目数		有効回答	
	2016年度		2016年度	
	全開設	評価対象	人数	構成比
基盤科目	2	2	195	4%
基盤科目(外国語)	3	3	262	5%
生活と福祉	7	7	628	12%
心理と教育	8	8	779	15%
社会と産業	12	12	1,259	25%
人間と文化	9	9	969	19%
情報	6	6	415	8%
自然と環境	5	5	428	8%
夏季集中科目(司書)	3	3	88	2%
夏季集中科目(看護)	1	1	85	2%
全 体	56	56	5,108	100%

【大学院】

プログラム	科目数		有効回答	
	2016年度		2016年度	
	全開設	評価対象	人数	構成比
生活健康科学	1	1	96	21%
人間発達科学	2	2	67	15%
人文学	2	2	170	38%
情報学	1	1	15	3%
自然環境科学	2	2	105	23%
全 体	8	8	453	100%

※構成比は、四捨五入しているため、各項目を合計しても100%にならない場合がある。

調査票の配布は、これら 64 科目の全受講登録者を母集団とし、学部科目では各 250 名（登録者がそれ未満の科目は全数）、大学院科目では各 200 名（同）をそれぞれ無作為抽出して得られた学部 12,580 名、大学院 939 名、計 13,519 名（いずれも延べ人数）に、回答すべき科目を予め指定した上で、郵送により行なった。

また、回収も郵送により行ない、調査期間は第 1 学期単位認定試験終了後の 8 月下旬から 9 月末までの約 1 ヶ月と強した。有効回答数は学部 5,108 票、大学院 453 票、計 5,561 票であった。無記名調査ながら、有効回答率は学部 40.6%、大学院 48.2%、全体で 41.1%と、昨年度の有効回答率（2015 年度新規開設科目 学部 43.1%、大学院 45.2%、全体 43.4%）と比較すると、大学院の有効回答率はやや上がっているが、全体および学部の有効回答率はやや下がっている。

表 1－2 調査対象者数および有効回答率

	2016年新規開設科目			2015年新規開設科目			2014年新規開設科目		
	対象者数	有効 回答者数	有効 回答率	対象者数	有効 回答者数	有効 回答率	対象者数	有効 回答者数	有効 回答率
学部	12,580	5,108	40.6%	13,698	5,901	43.1%	12,924	5,357	41.5%
大学院	939	453	48.2%	2,538	1,148	45.2%	1,332	620	46.5%
計	13,519	5,561	41.1%	16,236	7,049	43.4%	14,256	5,977	41.9%

I－4. 時系列分析

報告書の一部に過去 2 年度の調査との比較を掲載した。

本調査は原則として開講 1 年目の科目を対象とするため、調査対象科目は年度ごとに異なっているという事情がある。本来ならば、時系列分析は同一の科目同士あるいは同一科目から構成されるコース（プログラム）を比較対象としてこそ、その意義が発揮されるであろう。しかし、対象科目が異なるとはいえ、年度ごとに開設された放送授業の全体的な傾向及びその方向性を見る上では参考になると思われる。

I-5. 回答者の特性

(1) 回答者の属性分布と母集団との比較

(次頁表 1-3) は、回答者の属性分布と母集団(全受講登録者)の属性分布を比較したものである。両者を比較して、属性分布が回答者と母集団で乖離していないかを検証する。

学部では、年齢階層において 20～40 歳代と 60 歳以上で顕著に異なる。20 歳代の母集団 13.1%に回答者 7.3%でマイナス 5.8%、30 歳代の母集団 20.1%に回答者 13.7%でマイナス 6.4%、40 歳代の母集団 25.8%に回答者 20.7%でマイナス 5.1%であるが、60 歳以上では逆転し、60 歳代の母集団 15.3%に回答者は 26.1%でプラス 10.9%、70 歳以上の母集団 5.8%に回答者 13.0%でプラス 7.2%となっている。

性別においても、男性でプラス 5.3%、女性でマイナス 6.6%と差が認められる。

また、学生種別では選科履修生の差異が大きく、母集団 26.5%に対して回答者 21.0%でマイナス 5.6%となっている。

一方、大学院は、年齢階層では 30 歳代でマイナス 3.9%、40 歳代でマイナス 4.9%とやや差異が大きく、60 歳代でプラス 6.7%、70 歳以上ではプラス 5.7%と大きな差異が認められる。

性別では、男性がプラス 0.3%、女性がマイナス 2.1%となり若干の差が見られる。

学生種別では修士選科生でマイナス 7.3%と大きく、かなりの差異が見られる。

なお、ここで比率が高いからと言って、それらの属性の回答率が高いことを意味するものでないことは留意されたい。

表 1－3 回答者の属性分布

【学部】

		2016年新規開設科目			2015年新規開設科目			2014年新規開設科目		
		回答者	母集団 (全受講 登録者)	母集団 との差	回答者	母集団 (全受講 登録者)	母集団 との差	回答者	母集団 (全受講 登録者)	母集団 との差
性別	男性	47.4%	42.2%	5.3%	51.2%	53.1%	▲1.8%	48.9%	51.3%	▲2.3%
	女性	51.2%	57.8%	▲6.6%	47.3%	46.9%	0.3%	49.5%	48.7%	0.8%
年齢階層別	19歳以下	0.2%	0.9%	▲0.8%	0.4%	1.2%	▲0.8%	0.4%	0.8%	▲0.4%
	20～29歳	7.3%	13.1%	▲5.8%	7.3%	13.8%	▲6.5%	7.8%	14.1%	▲6.3%
	30～39歳	13.7%	20.1%	▲6.4%	12.5%	17.2%	▲4.7%	13.6%	19.3%	▲5.7%
	40～49歳	20.7%	25.8%	▲5.1%	18.5%	20.9%	▲2.4%	21.1%	24.0%	▲2.9%
	50～59歳	18.5%	18.9%	▲0.4%	18.3%	17.7%	0.6%	19.5%	17.9%	1.6%
	60～69歳	26.1%	15.3%	10.9%	27.6%	19.8%	7.8%	25.2%	16.7%	8.5%
	70歳以上	13.0%	5.8%	7.2%	14.9%	9.4%	5.5%	11.9%	7.1%	4.9%
学生種別	全科履修生	66.3%	66.4%	▲0.1%	69.2%	72.2%	▲2.9%	70.5%	71.4%	▲0.9%
	選科履修生	21.0%	26.5%	▲5.6%	16.4%	17.8%	▲1.4%	16.5%	19.9%	▲3.4%
	科目履修生	8.4%	7.1%	1.3%	8.9%	8.1%	0.8%	7.7%	8.0%	▲0.3%
人数(N)		5,108	－	－	5,901	－	－	5,357	－	－

※回答者については、無回答があるため、合計は100%にはならない。

【大学院】

		2016年新規開設科目			2015年新規開設科目			2014年新規開設科目		
		回答者	母集団 (全受講 登録者)	母集団 との差	回答者	母集団 (全受講 登録者)	母集団 との差	回答者	母集団 (全受講 登録者)	母集団 との差
性別	男性	65.1%	64.8%	0.3%	52.4%	53.0%	▲0.6%	63.5%	64.4%	▲0.9%
	女性	33.1%	35.2%	▲2.1%	44.0%	47.0%	▲3.0%	33.1%	35.6%	▲2.5%
年齢階層別	20～29歳	1.8%	3.7%	▲1.9%	3.7%	5.2%	▲1.5%	2.6%	3.6%	▲1.0%
	30～39歳	7.5%	11.4%	▲3.9%	10.5%	14.3%	▲3.8%	8.4%	11.8%	▲3.4%
	40～49歳	18.5%	23.4%	▲4.9%	21.3%	23.6%	▲2.3%	22.1%	23.5%	▲1.4%
	50～59歳	27.4%	29.8%	▲2.4%	26.7%	28.7%	▲1.9%	25.2%	26.7%	▲1.6%
	60～69歳	30.7%	24.0%	6.7%	27.0%	21.6%	5.4%	27.4%	24.5%	2.9%
	70歳以上	13.5%	7.8%	5.7%	9.6%	6.6%	3.0%	13.7%	9.8%	3.9%
	70歳以上	13.5%	7.8%	5.7%	9.6%	6.6%	3.0%	13.7%	9.8%	3.9%
学生種別	修士全科性	23.4%	17.6%	5.8%	20.1%	18.3%	1.8%	28.7%	25.5%	3.3%
	修士選科生	63.1%	70.5%	▲7.3%	66.5%	73.3%	▲6.9%	59.8%	66.8%	▲7.0%
	修士科目生	10.4%	12.0%	▲1.6%	9.0%	8.4%	0.6%	8.1%	7.7%	0.3%
人数(N)		453	－	－	1,148	－	－	620	－	－

※回答者については、無回答があるため、合計は100%にはならない。

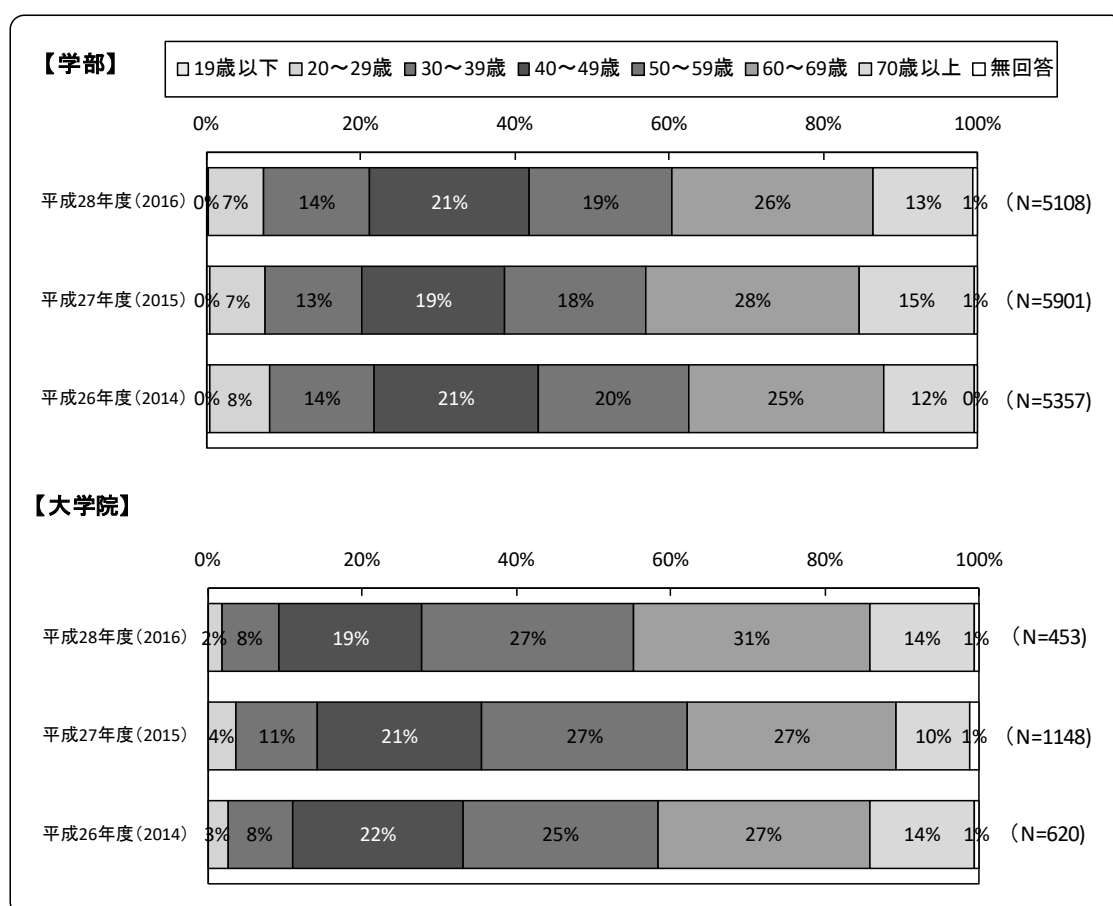
以下、今回の評価結果を分析する上で、回答者の特性からみて留意すべき点を明らかにするために、回答者の属性についてさらに見ていくことにする。

（２）年齢階層別回答者（２０１６年新規開設科目）

年齢階層別に今年度（２０１６年新規開設科目）の回答者の分布を見ると（図１－１）、学部では、６０歳代が最も多く２６％、次いで３０歳代が２１％、４０歳代が１９％を占める。全体の傾向は変わらないものの、前回の調査と比べると、３０歳代の割合がやや増加し、６０歳代の割合がやや減少している。

大学院では、４０歳代以上が大半を占めており、６０歳代が３１％と最も多く、次いで４０歳代が２７％となっている。また、前回の調査と比べると、７０歳以上と６０歳代の割合が増加した。

図１－１ 年齢階層別回答者

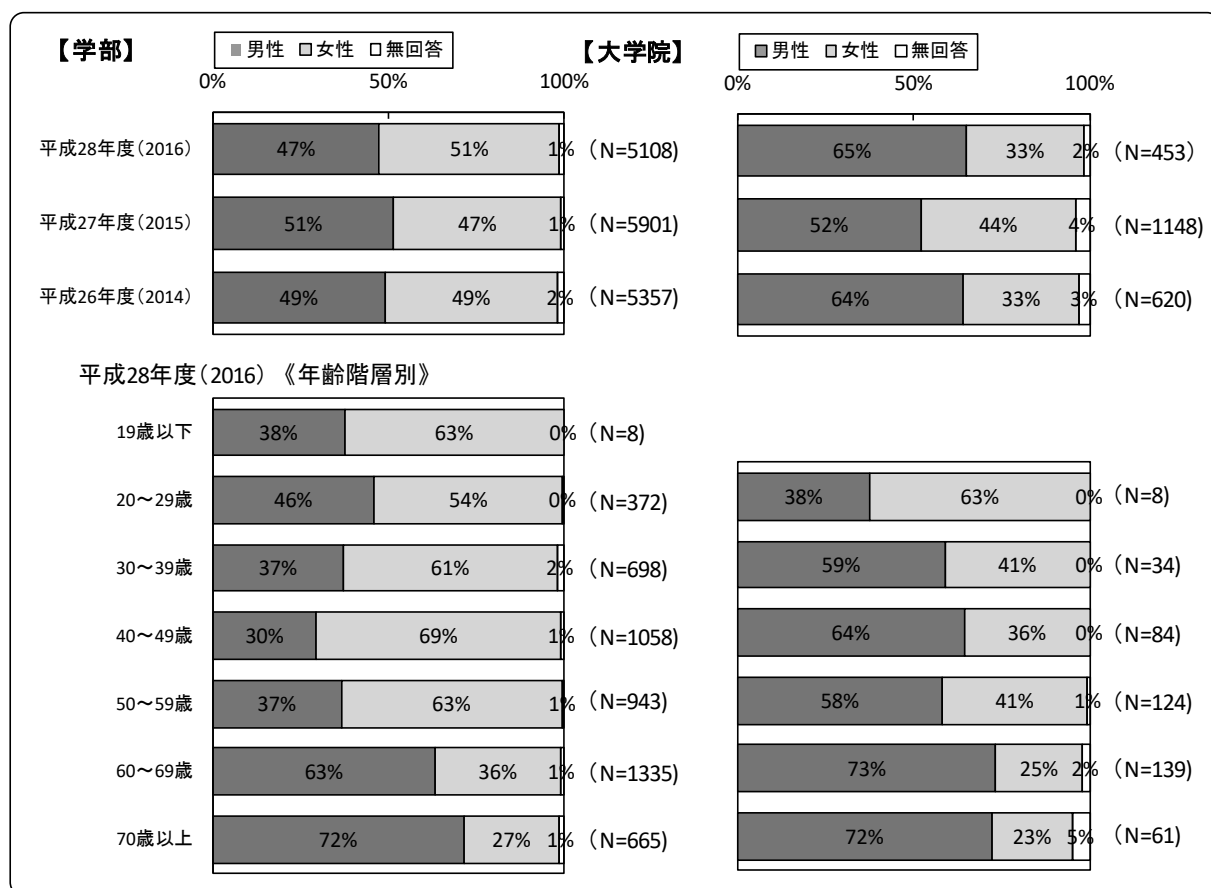


（３）性別回答者（２０１６年新規開設科目）

回答者の性別（図１－２）は、学部では「男性」４７％、「女性」５１％となっており、昨年の調査に比べると「女性」の割合がやや増えている。また、「女性」は４０歳代で６９％と最も多く、反対に７０歳以上では２７％と極めて少ない。

大学院は、「男性」６５％、「女性」３３％と「男性」の比率が高く、昨年までの調査と比べると「男性」の割合が増えている。特に、６０歳以上では、男性の割合が顕著に高くなっている。

図１－２ 性別回答者



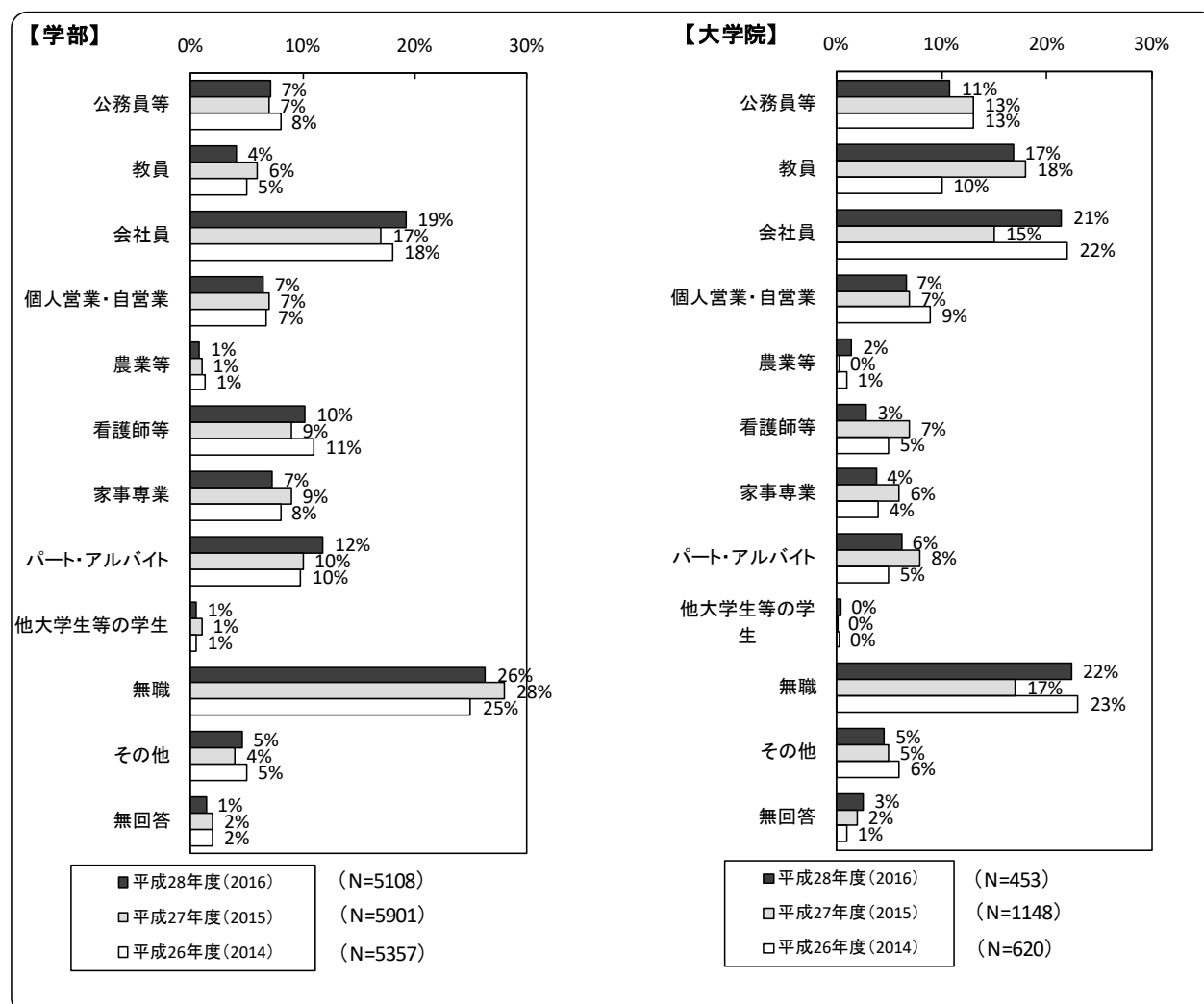
（４）職業別回答者（２０１６年新規開設科目）

職業別に回答者の分布を見ると（図１－３）、学部では「無職」が２６％と最も多いが、有職者（パート・アルバイト含む）が全体の７割程度を占め、「会社員」１９％、「パート・アルバイト」１２％、「看護師等」１０％となっている。時系列で見ると、昨年よりも「会社員」「看護師等」「パート・アルバイト」の割合がやや増加している。

一方、大学院では「無職」は２２％で、有職者で多かったのは「会社員」が２１％と最も多く、次いで「教員」１７％、「公務員等」１１％となっており、有職者は８割程度を占める。

なお、ここでの年齢別、性別、職業別の回答者の割合は、調査対象年度の科目による相違も影響しているので、放送大学の全学生の構成や時系列変化とは必ずしも同じではないことに注意されたい。

図１－３ 職業別回答者

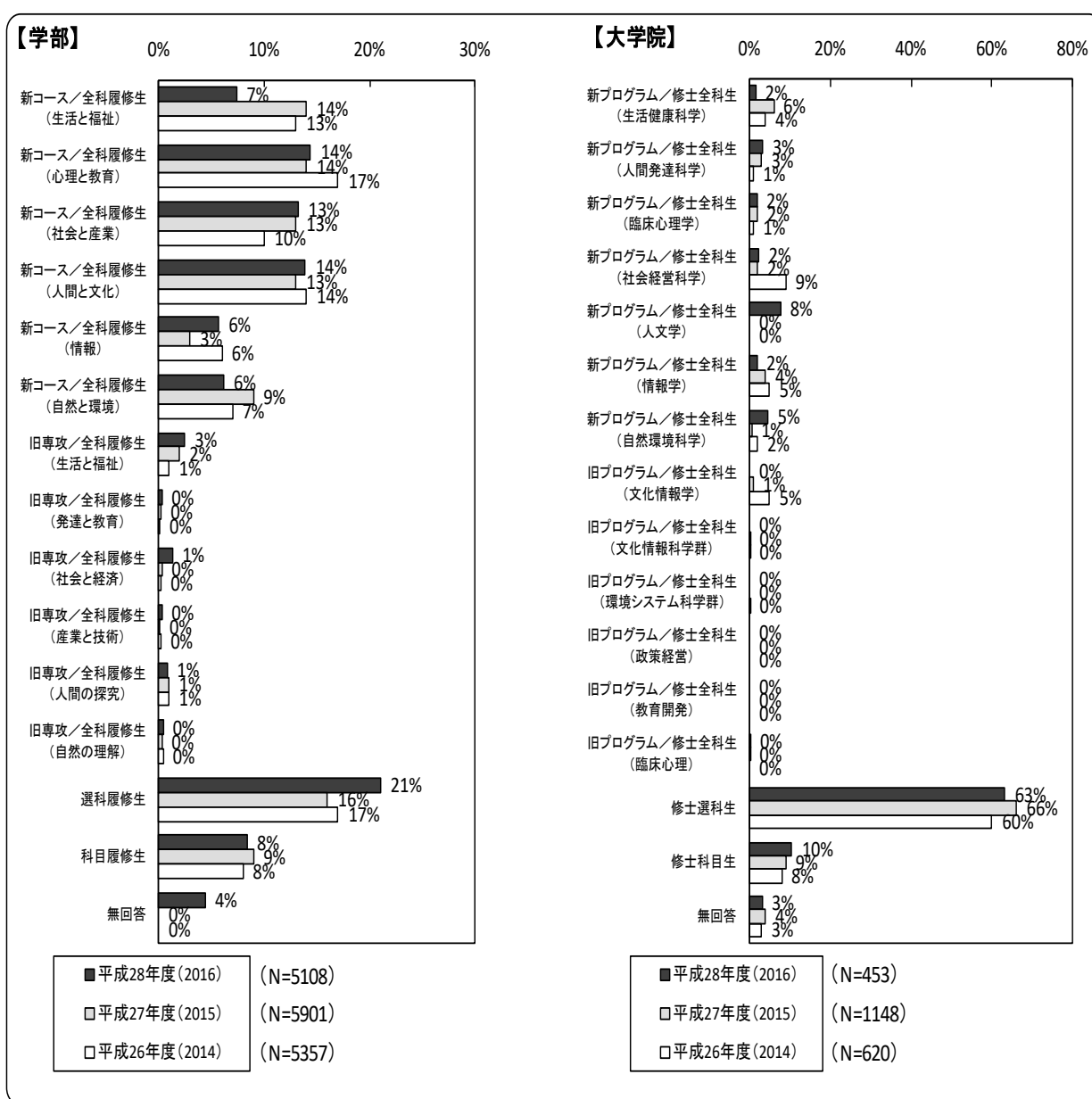


（５）所属コース（プログラム）別回答者（2016 年新規開設科目）

次に学生の所属コース（プログラム）別の分布を見ると（図１－４）、学部では全科履修生が 65%を占め、そのうち新コース所属が 60%、旧専攻所属が 5%となっている。全科履修生の中では、新コース所属の「心理と教育」「人間と文化」が 14%、「社会と産業」が 13%と、「生活と福祉」7%、「情報」「自然と環境」6%を引き離して多くなっている。

大学院では修士選科生が 63%を占めており、修士全科生が 24%、修士科目生が 10%となっている。修士全科生の所属プログラムでは「人文学」8%と「自然環境科学」5%がやや多くなっているものの、顕著な差は見られず全体的にばらついている。

図 1－4 学生の所属コース（プログラム）別回答者



I－6．評価結果の提供と公表

I－6－1．評価結果の提供

本授業評価は、先にも掲げたように「個別授業科目の改善支援」「カリキュラム全体の改善支援」「認証評価に関わる資料提供」という3つの大きな目的のもとに実施開始年度当初に企画された。また、当時の授業評価小委員会（以下「小委員会」という。）での検討の結果、得られたデータは次のように資料提供されることとなった。

- (1) 当該科目を担当した主任講師への提供……担当科目の詳細な評価結果を主任講師に提供する。担当科目の評価結果には、担当科目と比較可能な全科目平均等及び自由記述部分が含まれる。
- (2) コース主任及びプログラム・コーディネーターへの提供……全てのコース・プログラムに対して、その関係する資料一式を提供する。
- (3) 教授会及び教務委員会等関連委員会への提供……大学全体のカリキュラム編成に関しての検討や意思決定に際しての資料とするため、教授会及び各委員会に提供する。

実際に主任講師等へ提供した個別科目に関する資料の内容は、13頁～18頁の「提供資料サンプル」に示した通りである。

I－6－2．評価結果の公表

さて、収集された授業評価の結果は授業改善の目的で用いることに加えて、現在では大学の社会的責務として評価結果の公表を強く求められていることから、以下のことを基本的な方針とすることとしている。

(1) 公表への基本姿勢

授業評価の結果については、基本的にできる限り広く社会に提示することが必要である。放送大学に課せられた社会的使命、教育体系全体における位置付け、そして納税者国民への説明責任等を勘案するならば、言うまでもなくそれが理の当然である。そこで、当面は以下に示す形態で公表していくこととする。

(2) 公表する内容

以下のデータに関して公表することとする。

- ①調査の概要：授業評価の目的、方法、実施時期、調査対象者数、調査票等
- ②回答者の概要：基本属性別に見た有効回答者数
- ③評点平均：全対象科目を総計した結果について、回答者の属性別、科目の分野別、メディア別等の各設問の評点平均値
- ④自由記述の概略：特徴的・代表的な記述

(3) 公表の方法

(2)の内容について、放送大学ホームページ及び広報誌「On Air」紙上等で適宜公表することを基本とする。

I-7. その他

オンライン授業科目について

2015年度から開設されたオンライン授業科目については、原則放送授業に準じた授業評価項目をアンケート調査することとしているが、次の理由により全体集計には入れず、「Ⅲ. 自由記述のまとめ」に当該科目の自由記述の集計等を参考情報として掲載するに留める。

- ・調査時期（8月中）や方法（オンライン上での調査・集計）が異なること
- ・放送授業と同様に調査できない項目が一部あること（例：印刷教材を作成していない）
- ・導入初期段階であり対象科目が少ない（8科目）こと

提供資料サンプル【学部】

学部1

2016年度学生による授業評価の調査結果【2016年度新規開設科目】（単純集計）

コース・プログラム等 ○○○○

科目名（コード） ○○○○○○○○（R）

（○○○）

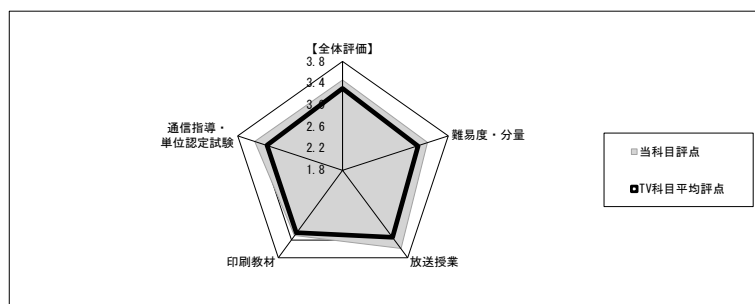
教員氏名 ○○○○○

（注）平均評点は、「あてはまる：4点」「ややあてはまる：3点」「あまりあてはまらない：2点」「あてはまらない：1点」として算出。

1. 取組み姿勢

		設問内容	有効回答	回答割合				平均評点			【当科目評点と、TV科目平均評点との差】
				あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	当科目評点	全体平均評点	TV科目平均評点	
取組み姿勢	A-1	全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ	109	59%	30%	10%	1%	3.47	3.27	3.30	
	A-2	放送授業を十分に視聴した	109	50%	33%	13%	5%	3.28	2.87	2.98	
	A-3	印刷教材を熱心に学習した	109	47%	43%	7%	3%	3.34	3.28	3.26	

2. 授業評価



		設問内容	有効回答	回答割合				平均評点			【当科目評点と、TV科目平均評点との差】
				あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	当科目評点	全体平均評点	TV科目平均評点	
難易度・分量	B-1	放送授業の難易度は適切だった	106	54%	41%	5%	1%	3.47	3.18	3.25	
	B-2	放送授業の内容は適切な分量であった	106	58%	31%	10%	1%	3.45	3.19	3.25	
	B-3	印刷教材の難易度は適切だった	109	49%	39%	10%	2%	3.35	3.20	3.21	
	B-4	印刷教材の内容は適切な分量であった	109	52%	34%	13%	1%	3.38	3.24	3.25	
放送授業	B-5	講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった	106	63%	31%	6%	0%	3.58	3.21	3.30	
	B-6	講師の熱意が十分に伝わった	106	77%	20%	3%	0%	3.75	3.36	3.43	
	B-7	放送授業は教材としてよくできていると感じた	105	61%	30%	9%	1%	3.50	3.18	3.29	
	B-8	テレビの特性が十分に生かされていると感じた	102	65%	26%	9%	1%	3.54	3.15	3.32	
印刷教材	B-9	印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった	105	52%	33%	13%	1%	3.37	3.25	3.27	
	B-10	印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった	109	45%	39%	15%	1%	3.28	3.17	3.19	
	B-11	図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った	108	40%	36%	22%	2%	3.14	3.07	3.19	
	B-12	印刷教材は教材としてよくできていると感じた	109	52%	33%	14%	1%	3.37	3.23	3.26	
通信指導・単位認定試験	B-13	通信指導のコメントは、納得のいくものだった	105	61%	31%	8%	0%	3.53	3.28	3.28	
	B-14	通信指導は学習内容の理解に役立った	105	60%	34%	6%	0%	3.54	3.31	3.31	
	B-15	単位認定試験の問題は、科目内容の理解度を高めるのにふさわしい内容だった	103	44%	51%	6%	0%	3.38	3.16	3.17	
	B-16	授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った	110	46%	41%	14%	0%	3.32	3.24	3.25	
全体評価	B-17	学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった	109	63%	26%	11%	0%	3.52	3.30	3.34	
	B-18	新しい知識が身につく視野が広がった	108	70%	25%	4%	1%	3.65	3.45	3.49	
	B-19	この科目の内容を全体としてよく理解できた	107	42%	44%	13%	1%	3.27	3.10	3.15	
	B-20	この科目の内容には全体として満足している	107	61%	27%	11%	1%	3.48	3.24	3.29	

3. 回答者の属性（単位：人）

全コース所属学生																
学生種別	全科履修生（新コース所属）						全科履修生（旧コース所属）						全科履修生【小計】			
	生活と福祉	心理と教育	社会と産業	人間と文化	情報	自然と環境	生活と福祉	発達と教育	社会と経済	産業と技術	人間の探究	自然の理解				
	16	36	7	18	0	3	0	2	0	0	0	0	82			
													選科履修生	科目履修生	無回答	計
													19	7	2	110

性別	男性	女性	無回答	計
	28	82	0	110

年齢	19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	無回答	計
	1	15	6	26	26	24	11	1	110

職業	公務員等	教員	会社員	個人営業・自営業	農業等	看護師等	家事専業	パート・アルバイト	他大学等の学生	無職	その他	無回答	計
	3	6	13	9	0	17	13	18	1	25	2	3	110

通信指導・単位認定試験	単位認定試験		通信指導未提出	無回答	計
	受験	未受験	2	2	110
		100	6		

単位認定のための学習方法	ほとんど放送教材の学習だけで臨んだ	ほとんど印刷教材の学習だけで臨んだ	放送教材と印刷教材の両方の学習で臨んだ	無回答	計
	8	17	84	1	110

提供資料サンプル【学部】

2016年度学生による授業評価の調査結果【2016年度新規開設科目】（学生種別・通信指導提出状況・単位認定試験出席状況別クロス集計）【全体一覧】

学 部

	A-1 全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ										A-2 放送授業を十分に視聴した										A-3 印刷教材を熱心に学習した									
	選択肢別回答割合・回答数					肯定					選択肢別回答割合・回答数					肯定					選択肢別回答割合・回答数					肯定				
	回答数	4	3	2	1	無回答	割合	平均	割合	平均	回答数	4	3	2	1	無回答	割合	平均	割合	平均	回答数	4	3	2	1	無回答	割合	平均		
合計（全体）	5108	45%	38%	12%	3%	2%	83%	3.27	5108	3.27	5108	34%	30%	21%	12%	3%	64%	2.87	5108	2.87	5108	45%	39%	12%	3%	2%	84%	3.28		
	2273	1964	614	164	93							1732	1522	1085	635	134						2268	1990	609	140	81				
全 科（新 コ ー ス）	生活と福祉	376	43%	39%	14%	4%	1%	82%	3.22	376	28%	28%	33%	25%	13%	1%	61%	2.77	376	2.77	376	46%	38%	13%	3%	1%	83%	3.27		
	心理と教育	736	38%	43%	14%	4%	2%	81%	3.17	736	31%	30%	24%	13%	2%	61%	2.81	736	2.81	736	42%	43%	13%	2%	1%	85%	3.25			
	社会と産業	674	48%	35%	11%	4%	2%	83%	3.29	674	35%	26%	21%	16%	3%	61%	2.83	674	2.83	674	46%	38%	11%	4%	2%	84%	3.28			
	人間と文化	710	48%	38%	10%	3%	2%	85%	3.32	710	40%	31%	19%	8%	3%	70%	3.04	710	3.04	710	49%	36%	11%	3%	2%	84%	3.32			
	情報	290	45%	38%	12%	3%	1%	83%	3.26	290	34%	37%	18%	10%	1%	71%	2.97	290	2.97	290	41%	39%	16%	3%	1%	80%	3.21			
全 科（旧 専 攻）	自然と環境	317	42%	43%	10%	3%	2%	85%	3.26	317	38%	31%	21%	9%	1%	69%	2.99	317	2.99	317	38%	43%	16%	1%	2%	81%	3.20			
	生活と福祉	128	35%	46%	10%	6%	3%	81%	3.15	128	27%	23%	21%	23%	5%	51%	2.57	128	2.57	128	39%	48%	11%	2%	1%	87%	3.25			
	発達と教育	17	35%	35%	18%	0%	12%	71%	3.20	17	24%	24%	41%	6%	6%	47%	2.69	17	2.69	17	53%	18%	12%	6%	12%	71%	3.33			
	社会と経済	64	38%	42%	13%	5%	3%	80%	3.16	64	33%	30%	14%	19%	5%	63%	2.80	64	2.80	64	34%	44%	13%	6%	3%	78%	3.10			
	産業と技術	13	39%	31%	23%	8%	0%	69%	3.00	13	46%	15%	31%	8%	0%	62%	3.00	13	3.00	13	39%	23%	31%	8%	0%	62%	2.92			
全 科 履 修 生	人間の探究	42	64%	19%	14%	2%	0%	83%	3.45	42	55%	14%	17%	14%	0%	69%	3.10	42	3.10	42	55%	26%	17%	2%	0%	81%	3.33			
	自然の理解	18	44%	39%	17%	0%	0%	83%	3.28	18	33%	50%	17%	0%	0%	83%	3.17	18	3.17	18	39%	50%	11%	0%	0%	89%	3.28			
	全科履修生【小計】	3385	44%	39%	12%	4%	2%	83%	3.25	3385	35%	30%	21%	12%	2%	64%	2.89	3385	2.89	3385	44%	39%	12%	3%	1%	83%	3.26			
	選科履修生	1072	47%	37%	12%	2%	2%	84%	3.31	1072	33%	29%	21%	14%	3%	62%	2.84	1072	2.84	1072	48%	38%	11%	2%	2%	86%	3.33			
	科目履修生	427	48%	36%	12%	3%	2%	84%	3.31	427	36%	30%	21%	10%	3%	66%	2.94	427	2.94	427	46%	38%	11%	2%	2%	84%	3.31			
通 信 考 査 生	受検	4370	47%	39%	11%	2%	1%	86%	3.33	4370	36%	30%	20%	11%	2%	66%	2.93	4370	2.93	4370	48%	39%	11%	2%	1%	87%	3.34			
	通信試験受検	2070	1697	462	88	53				1578	1324	880	499	89				2085	1698	463	73	51								
	未受検	400	27%	39%	22%	8%	4%	66%	2.89	400	23%	28%	29%	18%	4%	50%	2.57	400	2.57	400	28%	45%	19%	7%	2%	73%	2.96			
	単位認定試験	108	108	156	89	30	17			110	114	71	15					111	100	74	27	8								
	通信指導未提出	176	21%	21%	26%	22%	11%	42%	2.46	176	15%	19%	28%	26%	13%	34%	2.26	176	2.26	176	16%	24%	24%	21%	11%	40%	2.39			

（注）1. 「選択肢別回答割合」は、小数点以下を四捨五入しているため、合計が100にならない場合もある。

2. 「肯定評価」は、調査票の選択肢「あてはまる」と「ややあてはまる」の合計である。

3. 評価については、選択肢「あてはまる」：4点」「ややあてはまる」：3点」「あまりあてはまらない」：2点」「あてはまらない」：1点」として算出した。

提供資料サンプル【学部】

Ⅱ. 次の点について、ご自由にお書きください。

(1) この科目を受講してよかったと思う点をお書きください。

(2) この科目を受講して改善すべきだと感じた点をお書きください。

(3) この科目に限らず、本学の教育内容や教育方法等についてご意見や感想があれば、どんなことでも結構ですので、ご自由にお書きください。

Ⅲ. この科目の通信指導と単位認定試験についてお答えください。(あてはまる番号に○を付けてください。)

1. 通信指導を提出し、単位認定試験を受験した。
2. 通信指導を提出したが、単位認定試験は受験しなかった。
3. 通信指導を提出しなかった。

Ⅳ. あなたご自身についてお答えください。(あてはまる番号にそれぞれ○を付けてください。)

(1) 学生種別	[全科履修生 新コース所属の方] 1. 生活と福祉 2. 心理と教育 3. 社会と産業 4. 人間と文化 5. 情報 6. 自然と環境 [全科履修生 旧専攻所属の方] 7. 生活と福祉 8. 発達と教育 9. 社会と経済 10. 産業と技術 11. 人間の探究 12. 自然の理解 [選科履修生・科目履修生] 13. 選科履修生 14. 科目履修生			
(2) 性別	1. 男性 2. 女性			
(3) 年齢	1. 19歳以下 2. 20～29歳 3. 30～39歳 4. 40～49歳 5. 50～59歳 6. 60～69歳 7. 70歳以上			
(4) 職業	1. 公務員等 2. 教員 3. 会社員 4. 個人営業・自営業 5. 農業等 6. 看護師等 7. 家事専業 8. パート・アルバイト 9. 他大学等の学生 10. 無職 11. その他 ()			

どうもありがとうございました。

提供資料サンプル【大学院】

大学院1

2016年度学生による授業評価の調査結果【2016年度新規開設科目】（単純集計）

コース・プログラム等 〇〇〇〇

科目名 (コード) 〇〇〇〇〇〇 (R)

(○○○○)

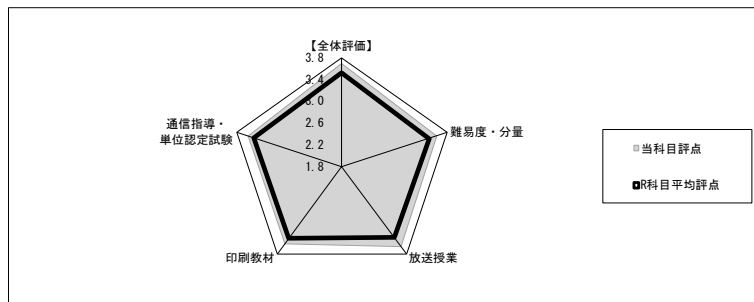
教員氏名 ○○○○○○

(注)平均評点は、「あてはまる:4点」「ややあてはまる:3点」「あまりあてはまらない:2点」「あてはまらない:1点」として算出。

1. 取組み姿勢

		設問内容	有効回答	回答割合				平均得点			【当科目得点と、R科目平均得点との差】
				あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	当科目得点	全体平均得点	R科目平均得点	
取組姿勢	A-1	全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ	94	75%	22%	1%	2%	3.69	3.49	3.48	
	A-2	放送授業を十分に視聴した	94	53%	23%	14%	10%	3.20	3.10	3.01	
	A-3	印刷教材を熱心に学習した	95	63%	28%	6%	2%	3.53	3.47	3.46	

2. 授業評価



		設問内容	有効回答	回答割合				平均得点			【当科目得点と、R科目平均得点との差】
				あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	当科目得点	全体平均得点	R科目平均得点	
難易度・分量	B-1	放送授業の難易度は適切だった	86	72%	23%	4%	1%	3.66	3.47	3.48	
	B-2	放送授業の内容は適切な分量であった	86	69%	24%	4%	4%	3.58	3.44	3.41	
	B-3	印刷教材の難易度は適切だった	91	69%	25%	4%	1%	3.63	3.47	3.49	
	B-4	印刷教材の内容は適切な分量であった	93	65%	28%	5%	2%	3.55	3.48	3.46	
放送授業	B-5	講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった	86	76%	23%	1%	0%	3.74	3.49	3.49	
	B-6	講師の熱意が十分に伝わった	86	77%	22%	1%	0%	3.76	3.62	3.61	
	B-7	放送授業は教材としてよくできていると感じた	84	74%	23%	2%	1%	3.69	3.47	3.45	
	B-8	映像がなくても十分理解できる内容だと感じた	84	52%	32%	12%	4%	3.33	3.23	3.11	
印刷教材	B-9	印刷教材と放送教材との内容的関連性は適切だった	86	67%	28%	4%	1%	3.62	3.48	3.49	
	B-10	印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった	93	69%	27%	4%	0%	3.65	3.45	3.49	
	B-11	図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った	94	50%	38%	9%	3%	3.35	3.30	3.28	
	B-12	印刷教材は教材としてよくできていると感じた	93	69%	28%	3%	0%	3.66	3.51	3.50	
単位認定試験	B-13	通信指導のコメントは、納得のいくものだった	92	67%	26%	5%	1%	3.60	3.47	3.50	
	B-14	通信指導は学習内容の理解に役立った	91	74%	23%	2%	1%	3.69	3.48	3.52	
	B-15	単位認定試験の問題は、科目内容の理解度を高めるのにふさわしい内容だった	91	62%	30%	6%	3%	3.49	3.39	3.43	
	B-16	授業科目案内にはこの科目の内容を知る上で役に立った	92	65%	32%	1%	2%	3.60	3.42	3.44	
全体評価	B-17	学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった	94	82%	15%	1%	2%	3.77	3.58	3.56	
	B-18	新しい知識が身につく視野が広がった	93	87%	9%	3%	1%	3.82	3.69	3.66	
	B-19	この科目の内容を全体としてよく理解できた	93	69%	23%	8%	1%	3.59	3.42	3.45	
	B-20	この科目の内容には全体として満足している	93	77%	20%	0%	2%	3.73	3.53	3.50	

3. 回答者の属性 (単位: 人)

学生 性別	修士全科生(新プログラム所属)										修士全科生(旧プログラム所属)							修士全科生【小計】		
	生活健康科学	人間発達科学	臨床心理学	社会福祉科学	人文学	情報学	自然環境科学	文化情報学	文化情報科学群	環境システム科学群	政策経営	教育開発	臨床心理							
	7	2	7	0	1	0	2	0	0	0	0	0	1	20						
														修士選科生		無回答		計		
														60		14		2		96

性別	男性	女性	無回答	計
	36	58	2	96

年齢	19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	無回答	計
	0	2	10	32	25	20	7	0	96

職業	公務員等	教員	会社員	個人営業・自営業	農業等	看護師等	家事専業	パート・アルバイト	他大学等の学生	無職	その他	無回答	計
	14	14	20	4	0	9	3	12	0	12	4	4	96

通信指導・単位認定試験	単位認定試験		通信指導未提出	無回答	計
	受験	未受験			
	86	5	3	2	96

単位認定のための学習方法	ほとんど放送教材の学習だけで臨んだ	ほとんど印刷教材の学習だけで臨んだ	放送教材と印刷教材の両方の学習で臨んだ	無回答	計
	1	25	68	2	96

2016年度学生による授業評価の調査結果【2016年度新規開設科目】（学生種別・通信指導提出状況・単位認定試験出席状況別クロス集計）【全体一覧】

大学院

学生種別	A-1 全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ	A-2 放送授業を十分に視聴した										A-3 印刷教材を熱心に学習した										肯定 評価 平均		
		肯定 評価 平均					肯定 評価 平均					肯定 評価 平均					肯定 評価 平均							
		回答数	選択肢別の回答割合・回答数	4	3	2	1	無回答	回答数	選択肢別の回答割合・回答数	4	3	2	1	無回答	回答数	選択肢別の回答割合・回答数	4	3	2	1		無回答	
全 科 （ 新 プ ロ グ ラ ム ）	合計（全体）	453	59% 267	32% 145	6% 28	2% 9	1% 3	無回答 0	453	44% 198	30% 136	16% 70	9% 42	7%	無回答 0	453	57% 260	33% 150	7% 31	2% 8	1% 4	無回答 0	3.47	
	生活健康科学	7	86% 6	14% 1	0% 0	0% 0	0% 0	無回答 0	7	29% 2	43% 3	14% 1	14% 1	0% 0	無回答 0	7	71% 5	29% 2	0% 0	0% 0	0% 0	無回答 0	3.71	
	人間発達科学	15	53% 8	47% 7	0% 0	0% 0	0% 0	無回答 0	15	47% 7	33% 5	13% 2	7% 1	0% 0	無回答 0	15	60% 9	40% 6	0% 0	0% 0	0% 0	無回答 0	3.60	
	臨床心理学	8	38% 3	63% 5	0% 0	0% 0	0% 0	無回答 0	8	25% 2	63% 5	13% 1	0% 0	0% 0	無回答 0	8	63% 5	38% 3	0% 0	0% 0	0% 0	無回答 0	3.63	
	社会経営科学	11	36% 4	64% 7	0% 0	0% 0	0% 0	無回答 0	11	18% 2	27% 3	46% 5	9% 1	0% 0	無回答 0	11	46% 5	55% 6	0% 0	0% 0	0% 0	無回答 0	3.45	
	人文学	35	60% 21	26% 9	9% 3	6% 2	0% 0	無回答 0	35	49% 17	14% 5	24% 9	11% 4	0% 0	無回答 0	35	66% 23	14% 5	5% 2	0% 0	0% 0	無回答 0	3.40	
	情報学	8	50% 4	38% 3	13% 1	0% 0	0% 0	無回答 0	8	25% 2	38% 3	25% 2	13% 1	0% 0	無回答 0	8	63% 5	38% 3	0% 0	0% 0	0% 0	無回答 0	3.63	
	自然環境科学	21	62% 13	33% 7	5% 1	0% 0	0% 0	無回答 0	21	38% 8	29% 6	14% 3	10% 2	10% 2	無回答 0	21	38% 8	43% 9	10% 2	0% 0	0% 0	無回答 0	3.32	
	文化情報学	0	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-
	文化情報科学群	0	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-
全 科 （ 旧 プ ロ グ ラ ム ）	環境システム科学群	0	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-
	政策経営	0	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-
	教育開発	0	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-
	臨床心理	1	100% 1	0% 0	0% 0	0% 0	0% 0	0% 0	1	0% 0	100% 1	0% 0	0% 0	0% 0	0% 0	1	0% 0	100% 1	0% 0	0% 0	0% 0	0% 0	0% 0	3.00
	修士全科目【小計】	106	57% 60	37% 39	5% 5	2% 2	0% 0	無回答 0	106	38% 40	29% 31	22% 23	9% 10	2% 2	無回答 0	106	57% 60	33% 35	7% 7	2% 2	2% 2	無回答 0	3.47	
	修士選科目	286	59% 169	31% 89	7% 20	2% 5	1% 3	無回答 0	286	46% 132	30% 87	14% 39	8% 23	2% 5	無回答 0	286	58% 165	33% 94	7% 20	1% 5	2% 2	無回答 0	3.48	
	修士科目生	47	66% 31	28% 13	4% 2	2% 1	0% 0	無回答 0	47	40% 19	34% 16	11% 5	15% 7	0% 0	無回答 0	47	62% 29	32% 15	4% 2	0% 0	0% 0	無回答 0	3.53	
	単 位 受 験	393	63% 249	32% 126	4% 16	0% 1	0% 1	無回答 0	393	47% 184	30% 118	15% 57	8% 31	1% 3	無回答 0	393	62% 242	33% 129	5% 19	1% 2	0% 1	無回答 0	3.56	
	通信 指導 試験 認定 試験	26	31% 8	42% 11	19% 5	4% 1	4% 1	無回答 0	26	23% 6	35% 9	22% 6	8% 2	12% 3	無回答 0	26	27% 7	46% 12	19% 5	0% 0	8% 2	無回答 0	3.08	
	通信指導未提出	27	26% 7	19% 5	30% 8	22% 6	4% 1	無回答 0	27	19% 5	22% 6	30% 7	4% 1	41% 1	無回答 0	27	22% 6	30% 8	22% 6	4% 1	52% 6	無回答 0	2.54	

(注) 1. 「選択肢別の回答割合」は、小数点以下を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合もある。

2. 「肯定評価」は、調査票の選択肢「あてはまる」と「ややあてはまる」の合計である。

3. 評価については、選択肢「あてはまる」：4点」「ややあてはまる」：3点」「あまりあてはまる」：2点」「あてはまらない」：1点」として算出した。

提供資料サンプル【大学院】

Ⅱ. 次の点について、ご自由にお書きください。

(1) この科目を受講してよかったと思う点をお書きください。

(2) この科目を受講して改善すべきだと感じた点をお書きください。

(3) この科目に限らず、本学の教育内容や教育方法等についてご意見や感想があれば、どんなことでも結構ですので、ご自由にお書きください。

Ⅲ. この科目の通信指導と単位認定試験についてお答えください。(あてはまる番号に○を付けてください。)

1. 通信指導を提出し、単位認定試験を受験した。
2. 通信指導を提出したが、単位認定試験は受験しなかった。
3. 通信指導を提出しなかった。

Ⅳ. あなたご自身についてお答えください。(あてはまる番号にそれぞれ○を付けてください。)

(1) 学生種別	〔修士全科生 新プログラム所属の方〕 1. 生活健康科学 2. 人間発達科学 3. 臨床心理学 4. 社会経営科学 5. 人文学 6. 情報学 7. 自然環境科学 〔修士全科生 旧プログラム所属の方〕 8. 文化情報学 9. 文化情報科学群 10. 環境システム科学群 11. 政策経営 12. 教育開発 13. 臨床心理 〔修士選科生・修士科目生〕 14. 修士選科生 15. 修士科目生			
(2) 性別	1. 男性 2. 女性			
(3) 年齢	1. 19歳以下 2. 20～29歳 3. 30～39歳 4. 40～49歳 5. 50～59歳 6. 60～69歳 7. 70歳以上			
(4) 職業	1. 公務員等 2. 教員 3. 会社員 4. 個人営業・自営業 5. 農業等 6. 看護師等 7. 家事専業 8. パート・アルバイト 9. 他大学等の学生 10. 無職 11. その他 ()			

どうもありがとうございました。

Ⅱ． 評定尺度調査の分析結果

【評定尺度調査の分析にあたって】

今回用いた評定尺度は、「あてはまる」「ややあてはまる」「あまりあてはまらない」「あてはまらない」による 4 段階評価である。本報告書においては、データの理解や分析のしやすさを考慮し、便宜的に 4 段階のカテゴリーに 4～1 の点数を振り、その平均値を算出することによって、データの代表値とした。ただし評定尺度の各カテゴリーに振られた「数字」を「数値」として加減乗除の演算をすることは、厳密に言えば統計処理として適切でない。3 が 2 よりもあてはまる程度が大きいことは言えても、4 と 3 の間と 3 と 2 の間が等距離（つまり 1 の間隔）だという保証はどこにもないからである。しかし 4 つのカテゴリーごとの相対度数（パーセント）から何らかの傾向を掴み取ることは容易ではないため、平均値を回答の傾向を推察する目安の 1 つとして用いたい。

また、ここでの平均値は何らかの単位を持つものではないので、データ同士の相対比較でのみ、その傾向を読み取ることになる。仮にある項目の平均値が、他の項目より低かったとしても、大部分の回答者がその項目に対して肯定的な評価をしていれば、その項目の評価は低いと簡単に断言できるものではないからである。つまり絶対的な評価が把握しにくいと言える。そこで、「あてはまる」もしくは「ややあてはまる」と回答した対象者の割合を同時に提示した。これによって、その評価項目に対し肯定的評価をしている学生がいかほどの割合で存在するかを推測する目安とする。

さらに回答者の属性ごとの回答者数を提示する。本来ならば、グラフ等のデータごとに回答者数を示すべきであるが、データの構造上、全てのデータに回答者数を掲載すると極めて煩雑になるため、ここに一括して掲載することにした（次頁表 2－1）。以下、本章においては、常に次頁の回答者数に基づいてデータを見る必要がある。特に回答者数の少ない層ほど誤差も大きく出る可能性があるので、注意が必要である。たとえば、学部 of 年齢階層別「19 歳以下」、大学院の職業別「農業等」「他大学等の学生」、年齢階層別「20～29 歳」等の場合である。（参考値として、記載している。）

表 2 - 1 回答者数一覧

【学部】

全体		(単位:人)	
メディア		年齢階層	
テレビ科目(TV)	2,810	19歳以下	8
ラジオ科目(R)	2,298	20～29歳	372
職業		30～39歳	698
公務員等	365	40～49歳	1,058
教員	210	50～59歳	943
会社員	982	60～69歳	1,335
個人営業・自営業	334	70歳以上	665
農業等	39	コース	
看護師等	523	基盤科目	195
家事専業	374	基盤科目(外国語)	262
パート・アルバイト	602	生活と福祉	628
他大学等の学生	28	心理と教育	779
無職	1,345	社会と産業	1,259
その他	236	人間と文化	969
		情報	415
		自然と環境	428
		夏季集中科目(司書)	88
		夏季集中科目(看護)	85

【大学院】

全体		(単位:人)	
メディア		年齢階層	
テレビ科目(TV)	156	20～29歳	8
ラジオ科目(R)	297	30～39歳	34
職業		40～49歳	84
公務員等	49	50～59歳	124
教員	76	60～69歳	139
会社員	97	70歳以上	61
個人営業・自営業	30	プログラム	
農業等	7	生活健康科学	96
看護師等	13	人間発達科学	67
家事専業	17	人文学	170
パート・アルバイト	28	情報学	15
他大学等の学生	2	自然環境科学	105
無職	101		
その他	21		

※職業及び年齢には無回答があるため、職業及び年齢階層の回答者数をそれぞれ合計しても、全体の回答者数とは一致しない。

Ⅱ－1. 学部の実験結果

Ⅱ－1－1. 項目平均から見た全体的傾向

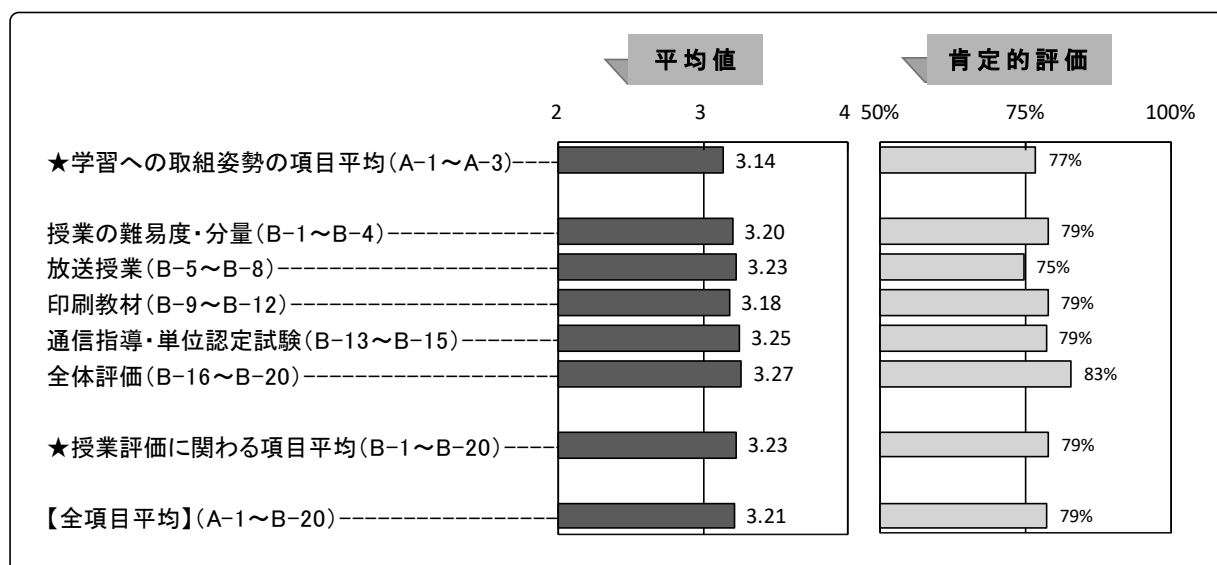
学部の回答者全体について、評価項目の内容ごとにその平均を算出したのが（図 2－1）である。まずはこの図によって評価の全体的傾向を把握しておくこととする。

今回の調査における項目平均は、いずれもまずまずの高評価と言える。

『学習への取組姿勢の項目平均』は平均値 3.14、肯定的評価（「あてはまる」＋「ややあてはまる」）77%、同様に『授業評価に関わる項目平均』も平均値 3.23、肯定的評価 79%と高い値を示している。

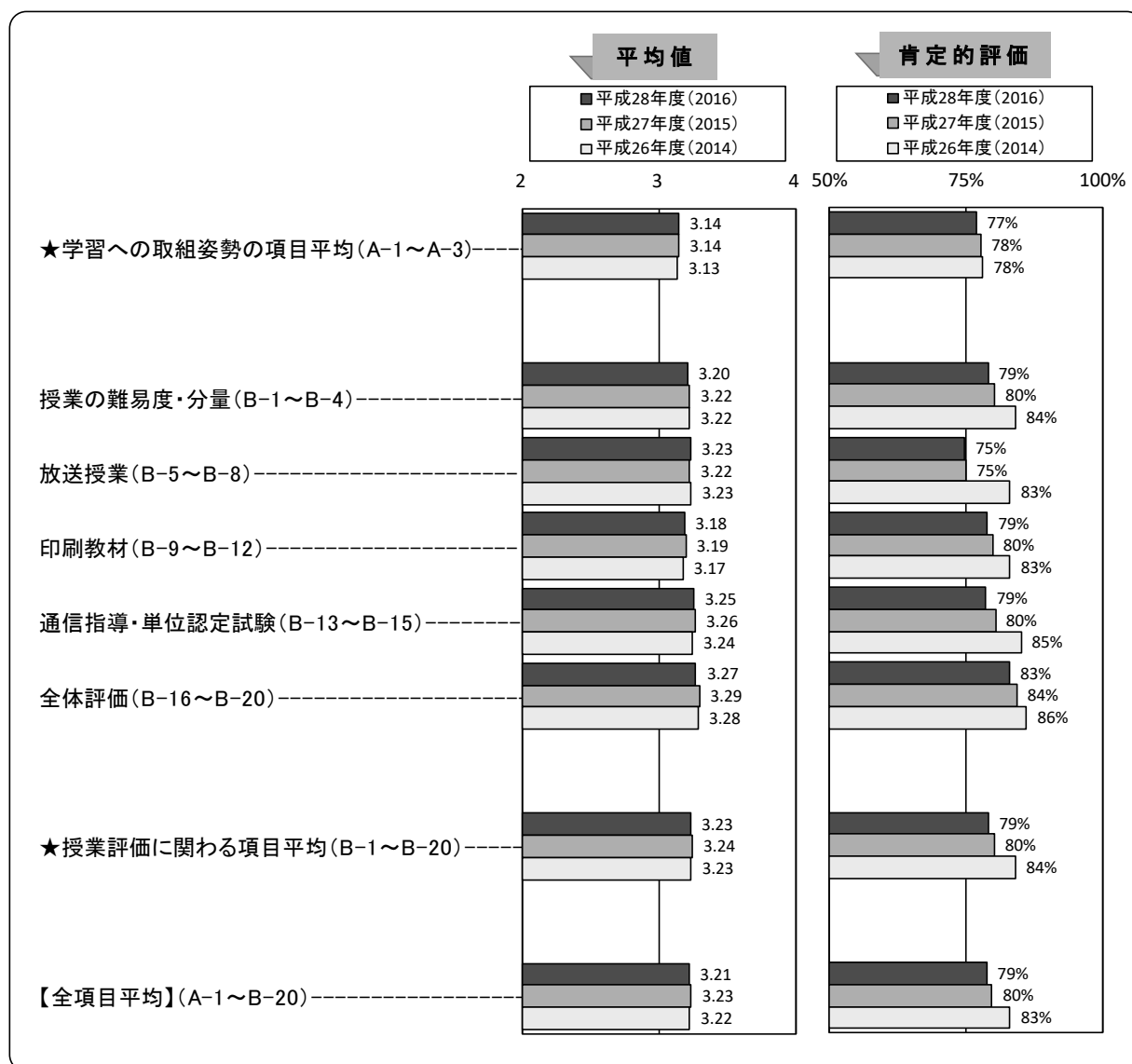
『授業評価に関わる項目平均』をさらに内容ごとにみると、『全体評価』は肯定的評価をしている人が 83%と高い。その他の項目もある程度平均的であるが、『放送授業』の評価は 75% と他と相対的に低めである。

図 2－1 【学部】 項目平均による全体的傾向



評価項目平均を科目の開設年度で比較した時(図2-2)、2016年度新規開設科目は、2015年度新規開設科目に比べ、平均値ではほぼ同じ水準を維持しているが、肯定的評価の割合は『放送授業』を除く全ての項目において、2015年度より僅かながら低くなっている。

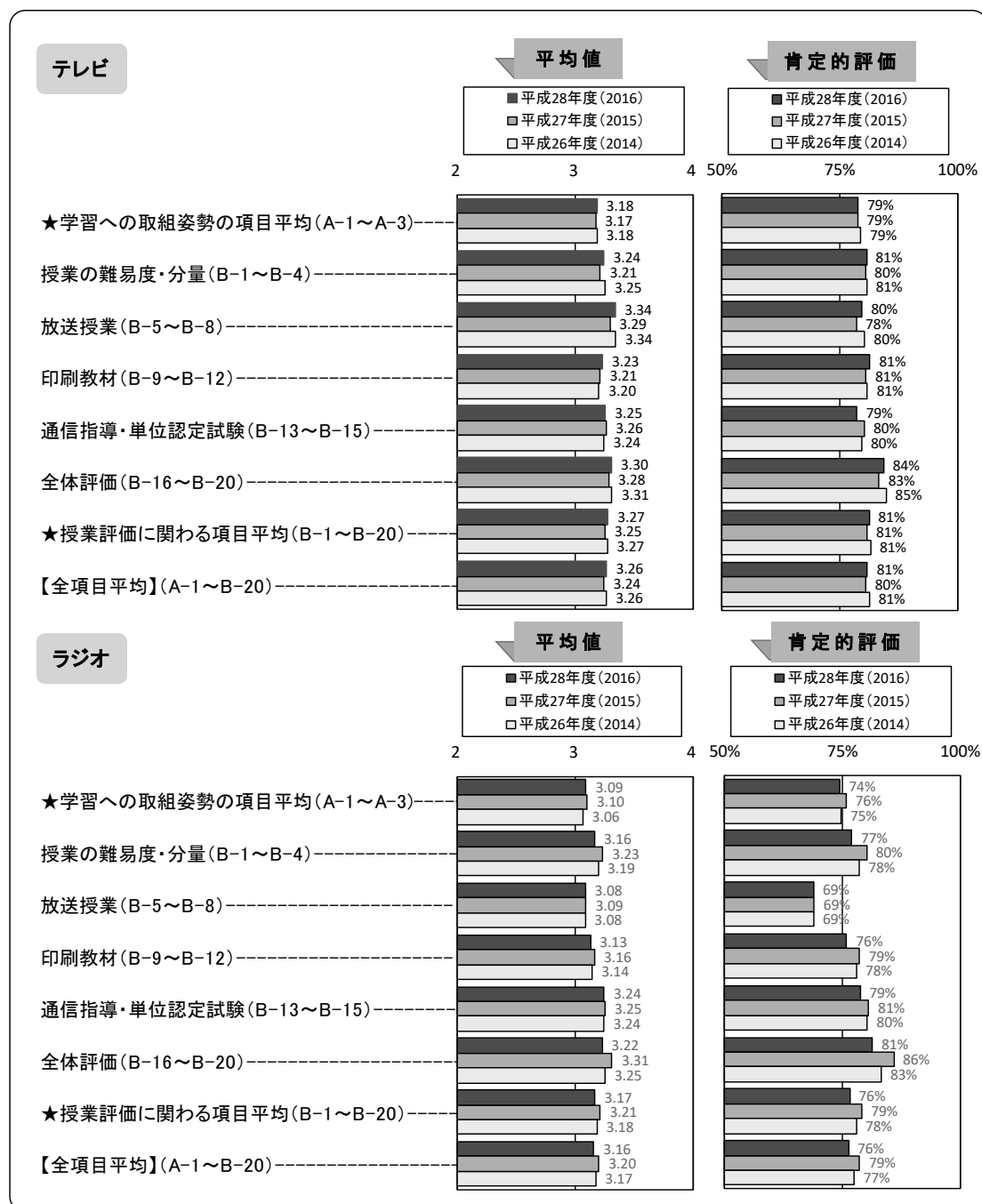
図2-2 【学部】項目平均による全体的傾向（開設年度比較）



メディア別に 2016 年度新規開設科目の評価項目の平均を見ると（図 2－3）、全ての項目でテレビ科目がラジオ科目を上回っている。特に、『放送授業』での差が大きい。

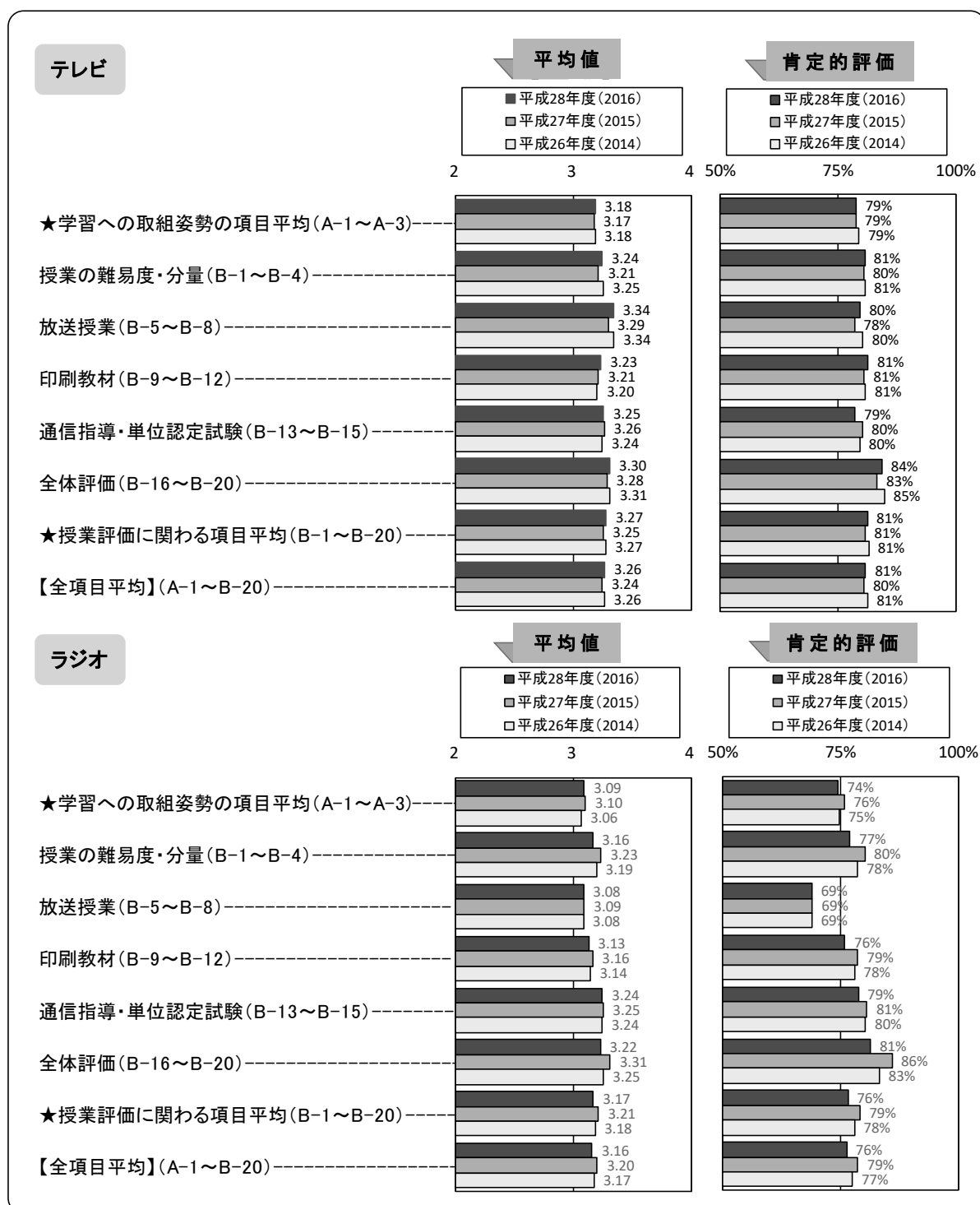
肯定的評価についても、概ね平均値の結果をそのまま反映していると言えるが、『通信指導・単位認定試験』では結果が拮抗している。

図 2－3 【学部】項目平均によるメディア別全体的傾向



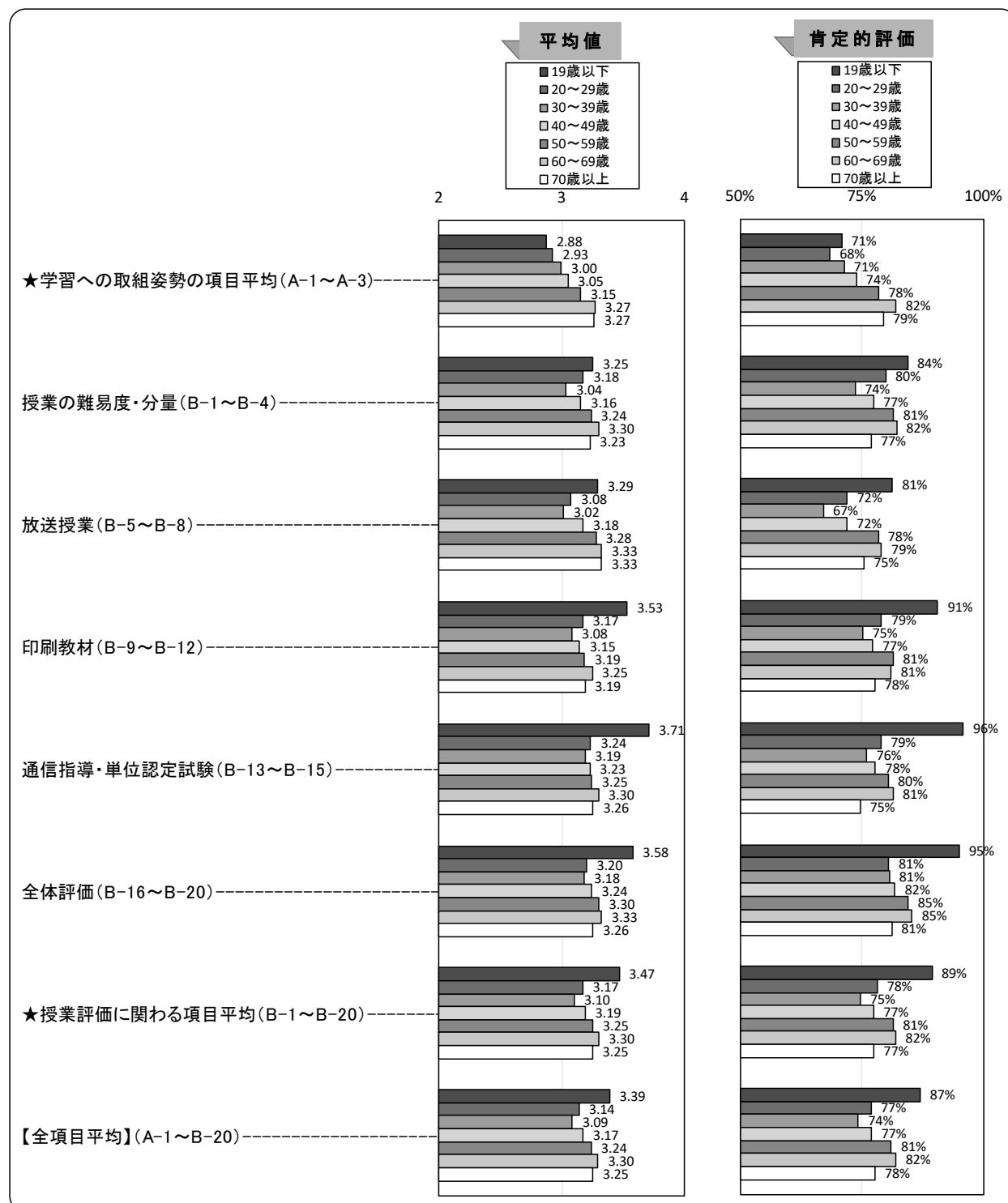
次にメディア別の項目平均を科目の開設年度で比較してみると（図2-4）、テレビ科目は、『通信指導・単位認定試験』以外の項目平均で2015年度より若干高い値となっているが、全体的には2014年度からほぼ同じ水準で推移している。ラジオ科目では、いずれの項目平均でも昨年度の水準を下回っており、昨年度示された改善の傾向とは逆になっている。肯定的評価についても、平均値の結果がほぼそのまま反映されている。

図2-4 【学部】項目平均によるメディア別全体的傾向（開設年度比較）



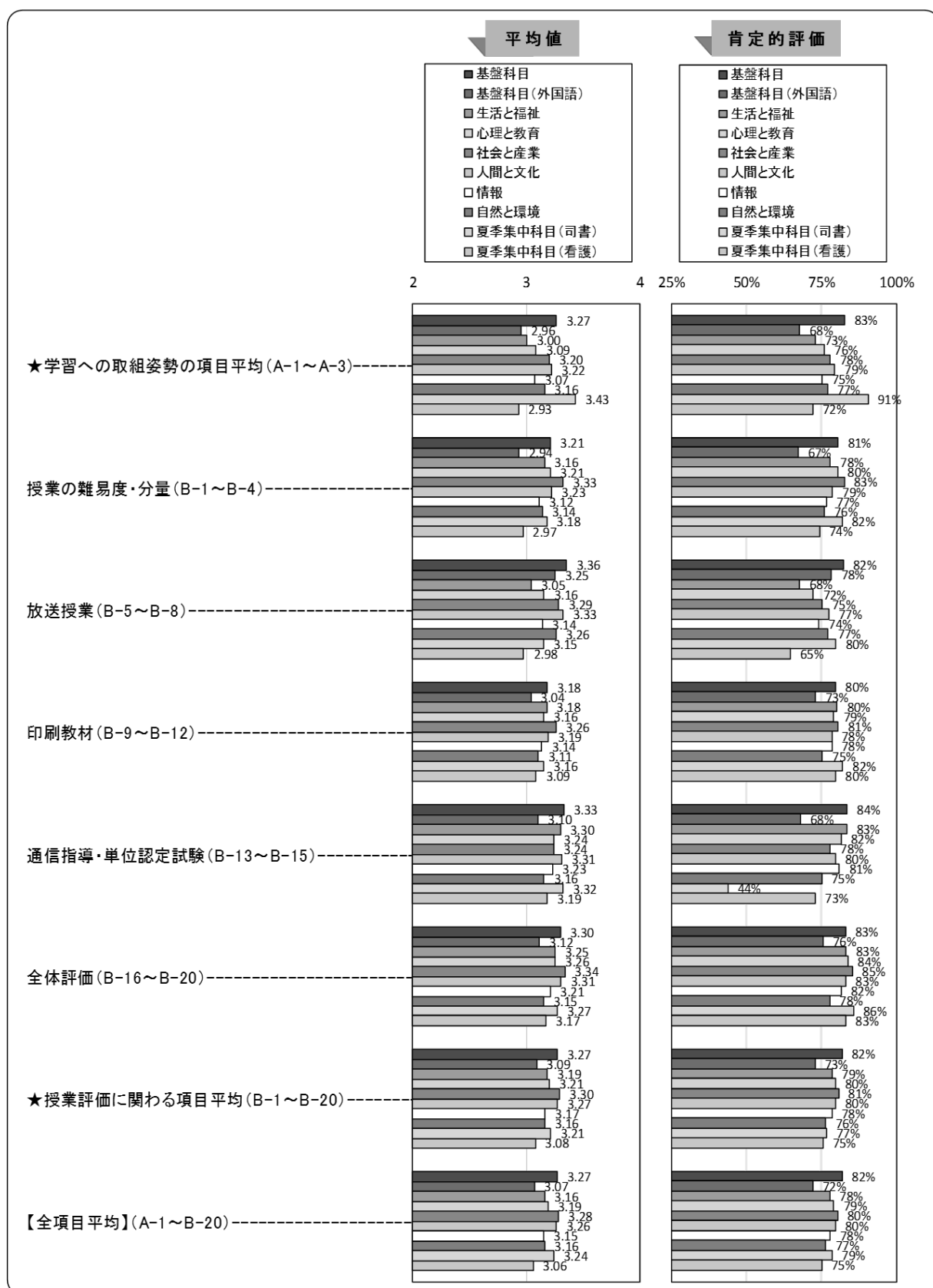
回答者の年齢階層別に 2016 年度新規開設科目の項目平均を見ると（図 2－5）、『学習への取組姿勢の項目平均』は年齢層が高くなるほど評価平均が高くなっている。また、授業評価に関わる全ての項目において、30 歳代の値が最も低く、年齢層が高くなるほど評価平均が高くなり、60 歳代がピークで 70 歳以上では若干低くなっている。（19 歳以下はサンプル数が 8 と少ないので参考値とする。以下同様）

図 2－5 【学部】項目平均による年齢階層別全体的傾向



科目の所属コース別に項目平均を見ると（次頁図 2－6）、「基盤科目」と「夏季集中科目（司書教諭）」の『学習への取組姿勢の項目平均』の評価が高い。また、授業評価に関わるほとんどの項目において「基盤科目」と「社会と産業」「人間と文化」は評価が高い傾向にあるが、「基盤科目（外国語）」と「夏季集中科目（看護）」の評価が低い傾向にある。他は大きな差異は認められず、どのコースもそれなりの評価を得ていると言えるが、『授業の難易度・分量』『放送授業』の項目においては、科目によって評価の高いコースや低いコースとばらつきが大きい。

図 2-6 【学部】項目平均による所属コース別全体的傾向

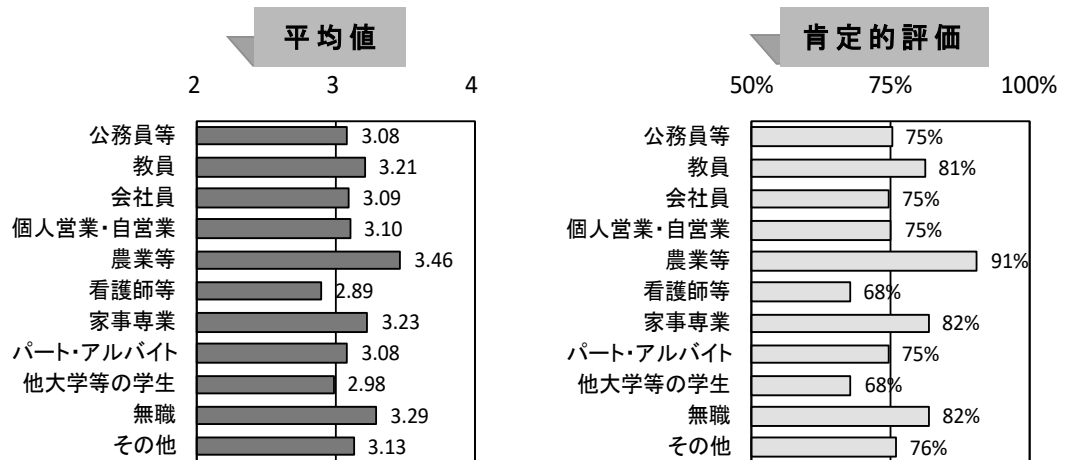


回答者を職業別に見ると（次頁図 2－7）、『学習への取組姿勢の項目平均』は、「農業等」、「無職」、「家事専業」の順で高く、在宅者や自宅周辺での労働者の取組姿勢が高いと推察される。一方、「看護師等」、「他大学等の学生」の評価が低い。『授業評価に関わる項目平均』、『全項目平均』では、「農業等」が高い値となっている。肯定的評価を見ても、いずれの項目でも「農業等」の評価が高い一方、「看護師等」の評価が低い結果となっている。

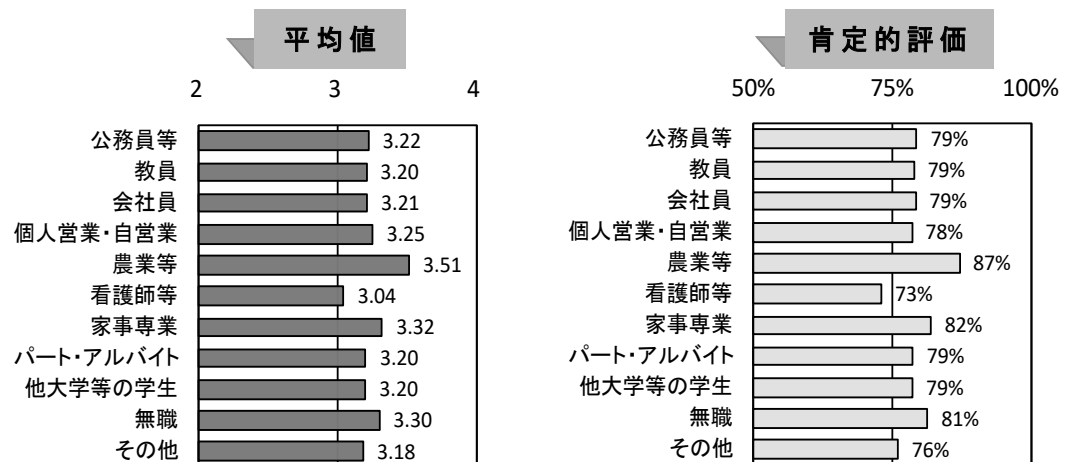
現役学生と専門職の取組姿勢、専門職の授業評価が低いことは、一考すべき課題である。

図 2 - 7 【学部】項目平均による職業別全体的傾向

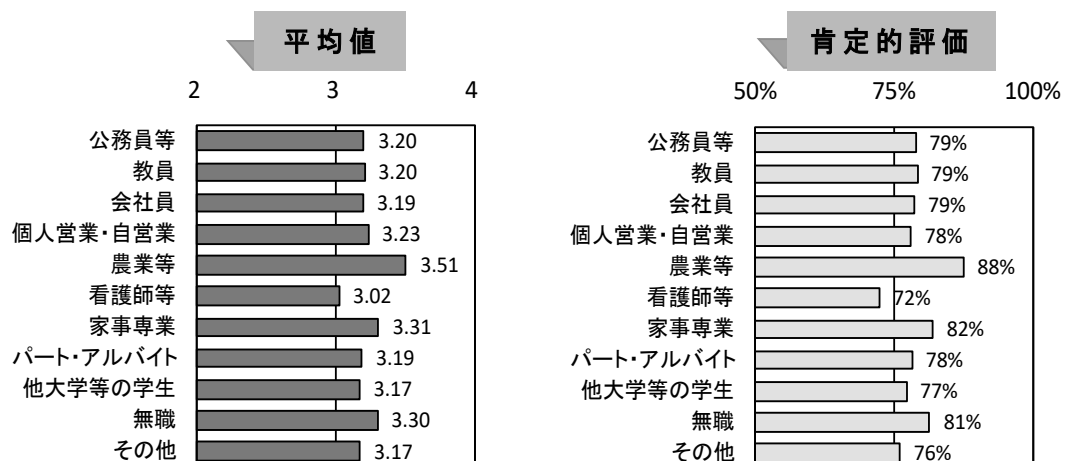
★学習への取組姿勢の項目平均(A-1～A-3)



★授業評価に関わる項目平均(B-1～B-20)



【全項目平均】(A-1～B-20)

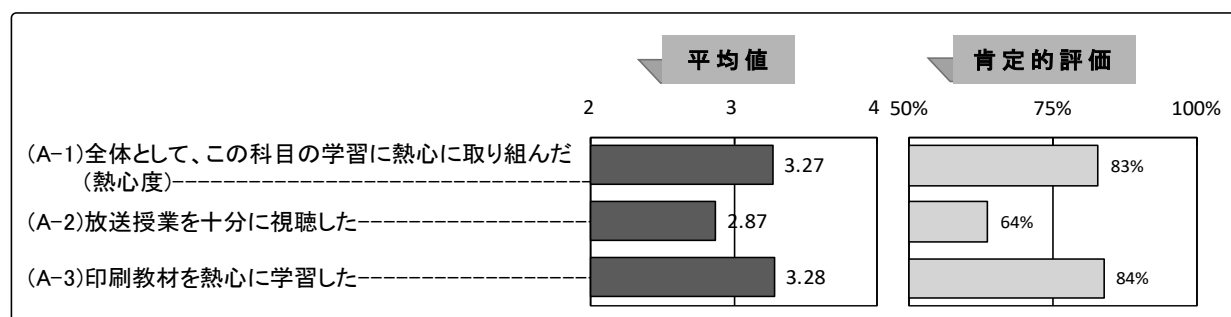


Ⅱ－１－２．学習への取組姿勢

ここからはそれぞれ評価項目ごとに調査結果を見ていく。

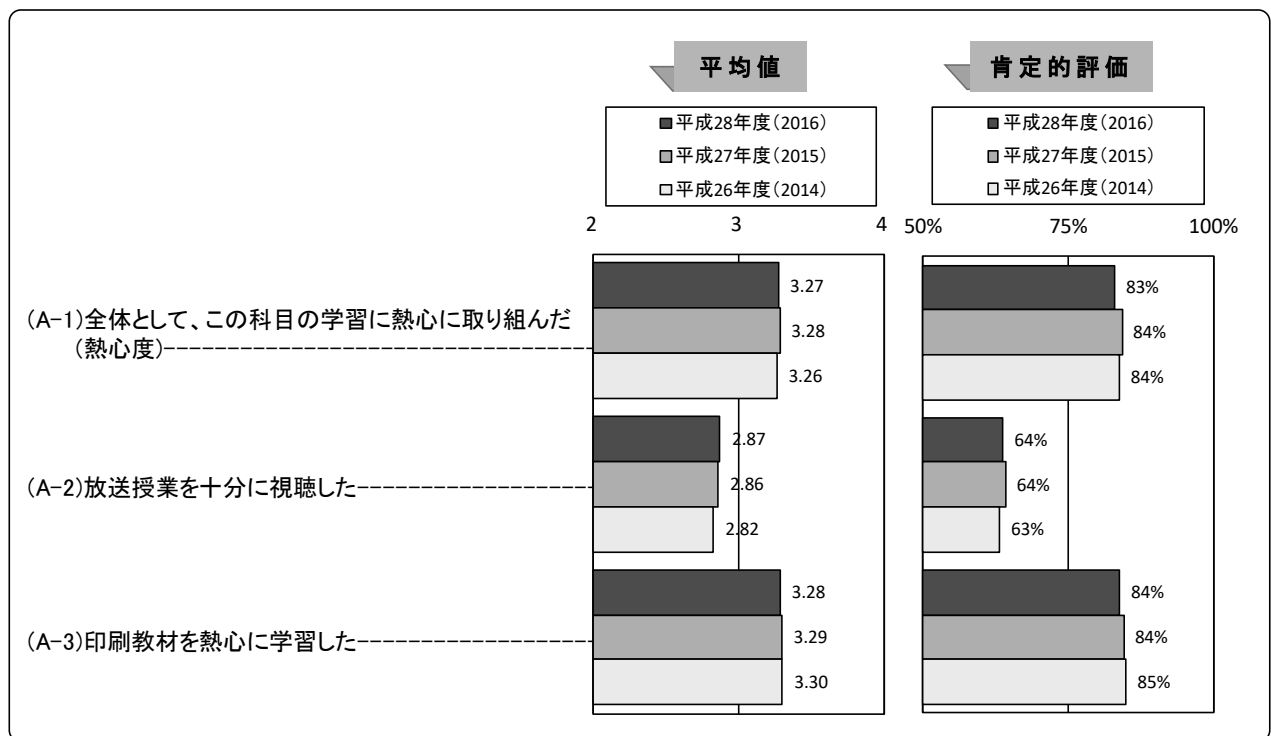
学習への取組姿勢（図２－８）では、(A-1)「全体としてこの科目の学習に熱心に取り組んだ（熱心度）」が平均値 3.27、肯定的評価 83%と、総じて熱心に学習していることが表れている。同様に (A-3)「印刷教材を熱心に学習した」も平均値 3.28、肯定的評価 84%と高い。しかしこれらに比べると、(A-2)「放送授業を十分に視聴した」は、平均値 2.87、肯定的評価 64%と低く、学習は印刷教材中心という傾向を示している。

図２－８ 【学部】回答者全体の取組姿勢



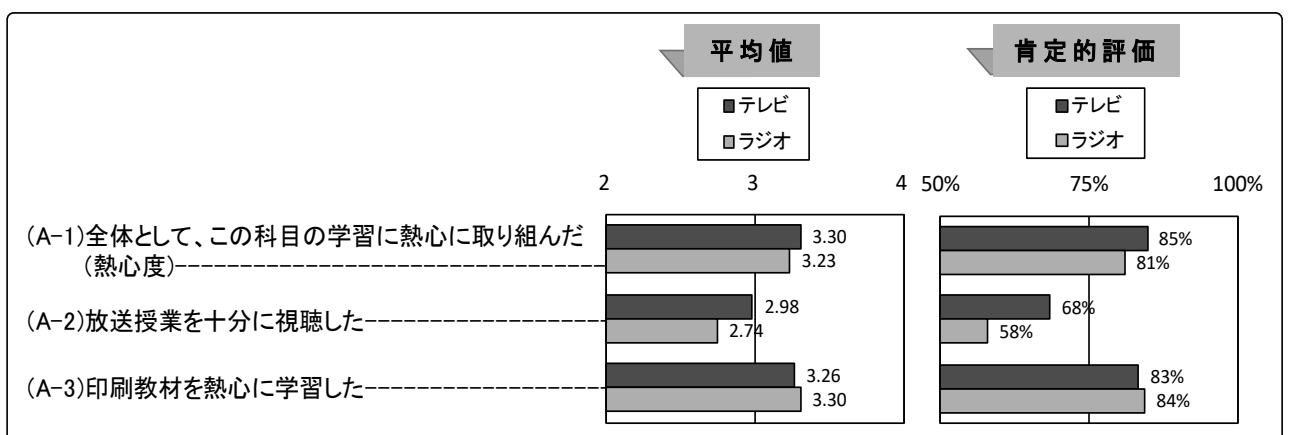
取組姿勢を時系列で見ると（次頁図２－９）、いずれの項目においても、平均値、肯定的評価ともに前回とほぼ同じ水準である。年度によっての変化は認められないが、(A-2)「放送授業を十分に視聴した」の項目は低いままである。この傾向が続いていることを考えれば、その原因を追求し、今後の授業内容の改善を試みることにより取組姿勢も向上するものと考えられる。時間に制約がある放送授業ではインターネットやオンデマンドなどでの番組提供を増やすことにより、時間に制約されない視聴環境を作っていくことも必要であろう。

図 2－9 【学部】回答者全体の取組姿勢（時系列）



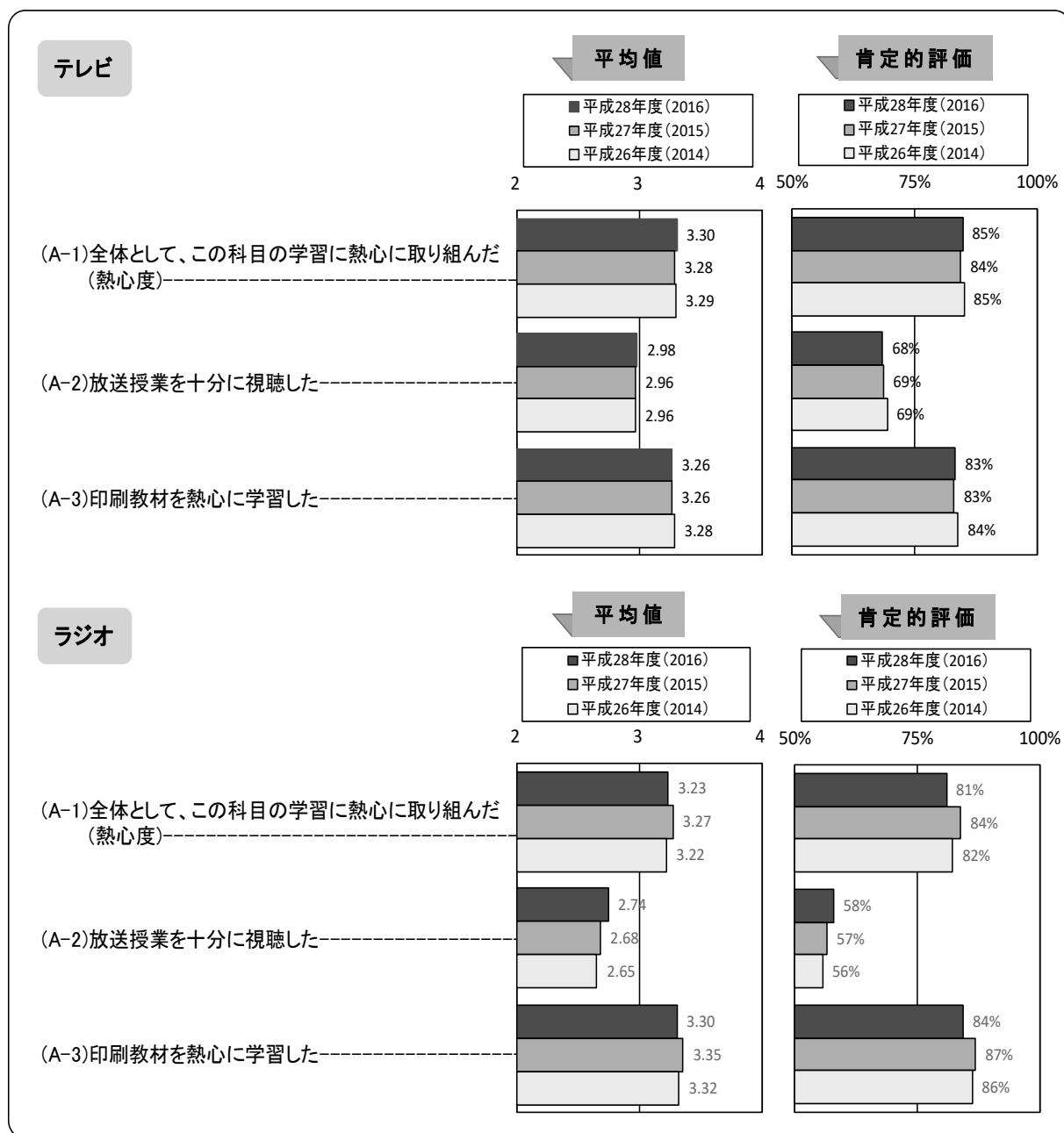
次にメディア別に取り組姿勢を見ると（図 2－10）、(A-1)「全体として、この科目の学習に取り組んだ」の項目ではテレビ科目がラジオ科目を若干上回っており、(A-2)「放送授業を十分に視聴した」の項目ではテレビ科目の方がラジオ科目を大きく上回る評価となっている。逆に (A-3)「印刷教材を熱心に学習した」という項目ではラジオ科目の方がテレビ科目より若干高い。

図 2－10 【学部】メディア別の取組姿勢



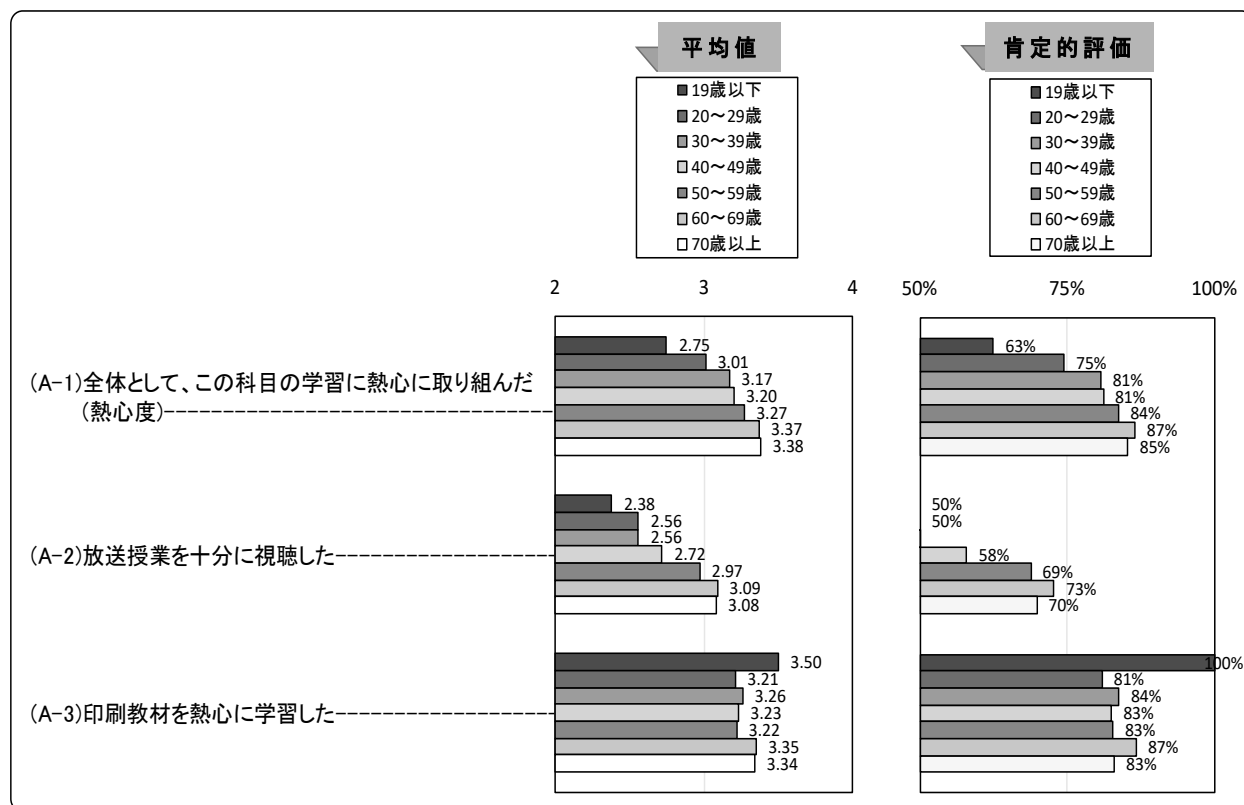
メディア別の取組姿勢を時系列で見ると（図２－１１）、テレビ科目は、2015 年度に比べ、(A-1)「全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ」(A-2)「放送授業を十分に視聴した」の項目で僅かに上がっている。ラジオ科目については、(A-2)「放送授業を十分に視聴した」の項目でやや上がったものの、(A-1)「全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ」、(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」の項目ではやや下がっている。これらについては、『図２－４【学部】項目平均によるメディア別全体的傾向』（24 ページ）も参照されたい。

図２－１１ 【学部】メディア別の取組姿勢（時系列）



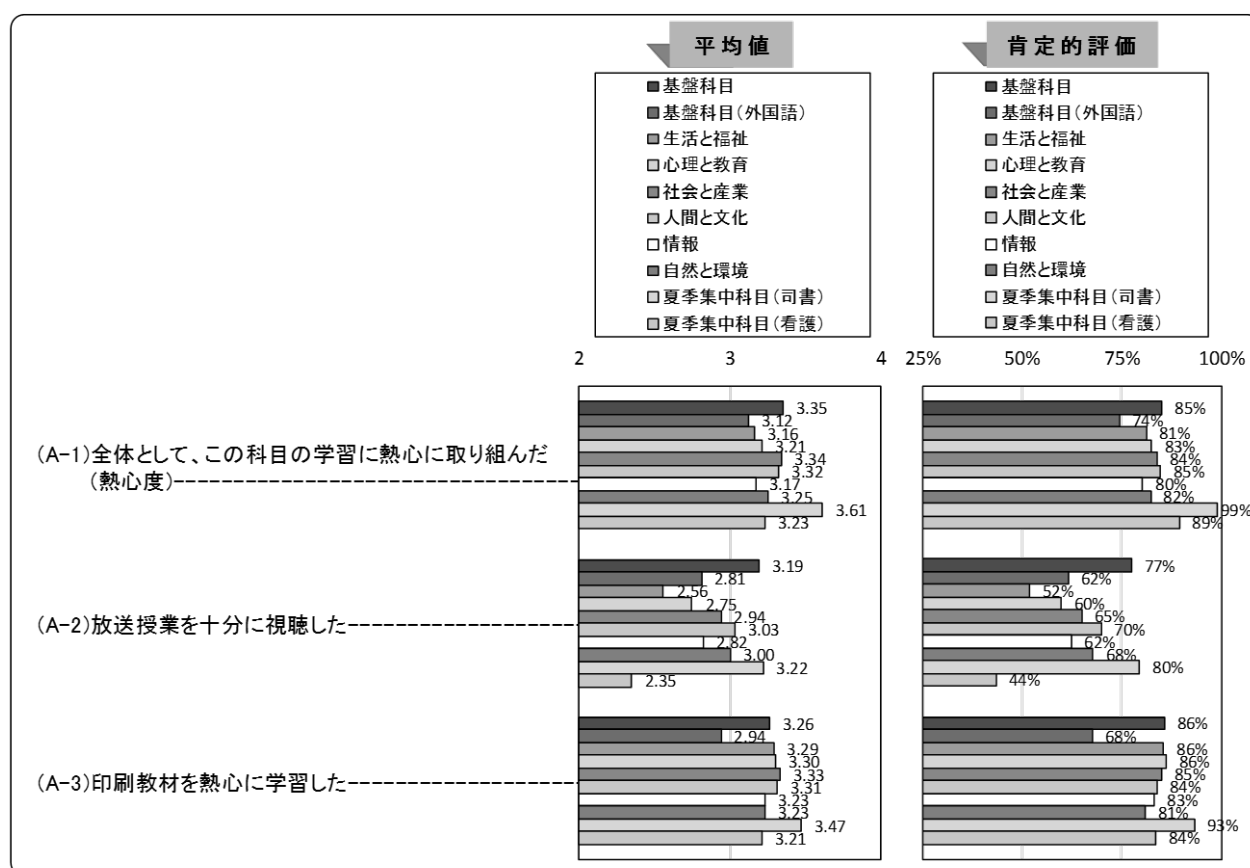
年齢階層別に取り組姿勢を見ると（図２－１２）、（A-1）「全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ」、（A-2）「放送授業を十分に視聴した」の項目では年齢階層が上がるほど値が高くなっているのが特徴的である。また、（A-3）「印刷教材を熱心に学習した」の項目において、60歳代、および70歳以上の値が高くなっている。退職などによって教材に取り組む時間が比較的豊富にあったのではないかと推測される。

図２－１２ 【学部】年齢階層別に取り組姿勢



所属コース別に取り組姿勢を見ると（図２－１３）、（A-2）「放送授業を十分に視聴した」は、「生活と福祉」「心理と教育」、「夏季集中科目（看護）」の値が極めて低くなっている。他のコースも平均値で３を下回っているものが多い。「夏季集中科目（司書）」と「夏季集中科目（看護）」については大きく差があり、授業内容以外の要素もあると思われるが、いずれにせよ、放送授業に潜在的な改善の必要があり、視聴を増加させる工夫が必要かと思われる。（A-1）「全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ」と（A-3）「印刷教材を熱心に学習した」は全体的に高い値となっているが、「基盤科目（外国語）」で（A-3）「印刷教材を熱心に学習した」が平均値で３を下回っている。また、「生活と福祉」と「夏季集中科目（看護）」では（A-2）「放送授業を十分に視聴した」は低いものの（A-3）「印刷教材を熱心に学習した」は高くなっている。

図２－１３ 【学部】所属コース別に取り組姿勢



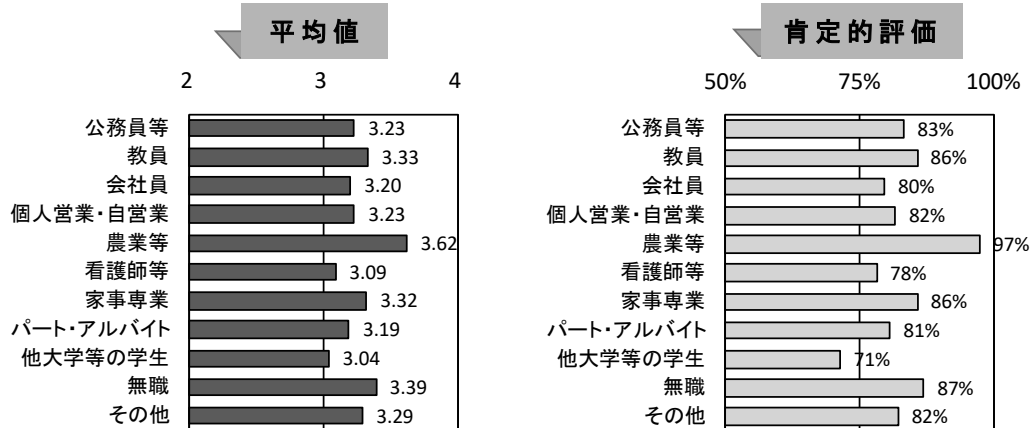
職業別に取り組姿勢を見ると（次頁図 2－14）、(A-1)「全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ」は、「看護師等」「他大学等の学生」の値がやや低いものの全体的に値が高い傾向にある。

(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」も、全体的に高い値となっており、「農業等」や「教員」「無職」が特に高い。

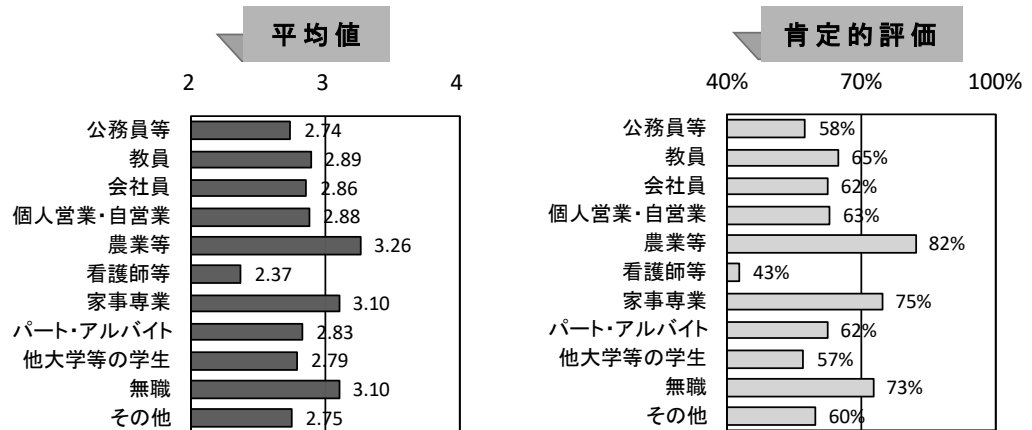
(A-1)「全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ」と (A-3)「印刷教材を熱心に学習した」に比べ、(A-2)「放送授業を十分に視聴した」の値が全体的に低いのは特徴的である。「看護師等」は値が極めて低いが、これは職業ならではの事情が背景にあると思われる。放送時間に都合をつけやすい「農業等」「家事専業」「無職」では相対的に値が高くなっている。

図 2 - 1 4 【学部】職業別の取組姿勢

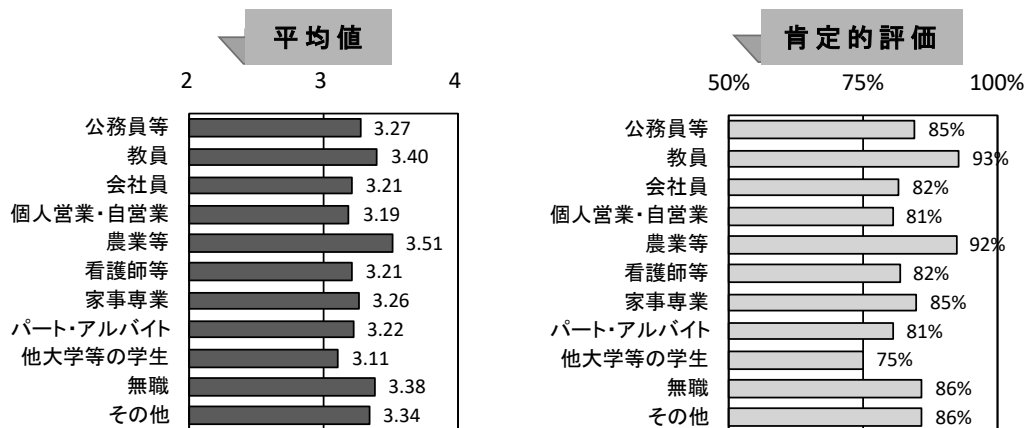
(A-1)全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ(熱心度)



(A-2)放送授業を十分に視聴した

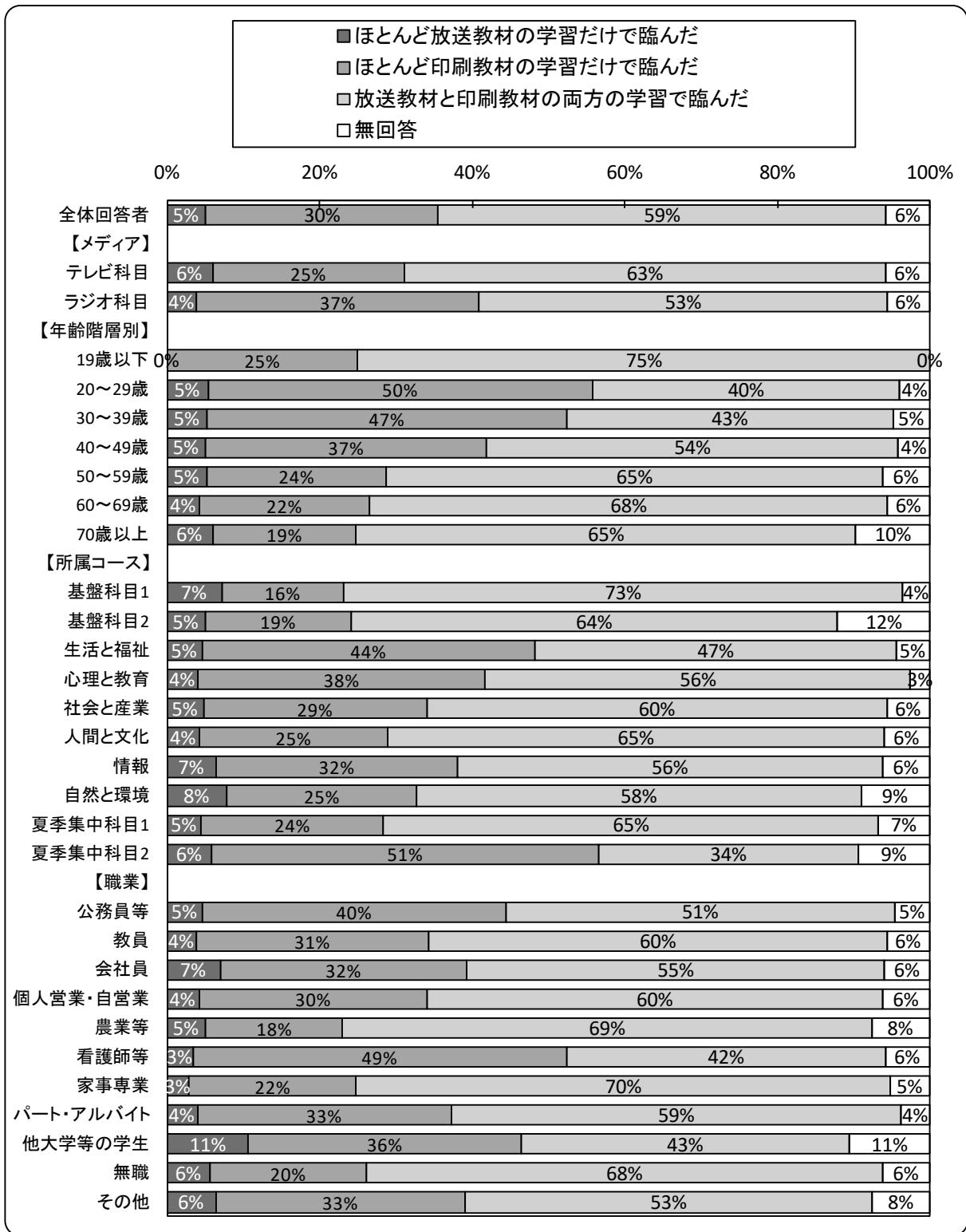


(A-3)印刷教材を熱心に学習した



単位認定のための学習方法（次頁図 2－15）は、全体では『放送教材と印刷教材の両方の学習で臨んだ』が 59%を占めており、最も値が高い。年齢階層別では高齢層になるほど値が高くなる傾向があり、年齢とともに教材学習のバランスが良くなる傾向がみられる。次に『ほとんど印刷教材の学習だけで臨んだ』は全体で 30%を占めており、メディア別では「テレビ科目」に比べて「ラジオ科目」が高い。これは「ラジオ科目」という特質上、印刷教材で視覚的に学習を補おうとしたためと受け取れる。職業別では「看護師等」が印刷教材での学習だけで臨む比率が最も高く、交替制の勤務体系で、決まった時間に放送授業を受けられなかったのではと推測される。『ほとんど放送教材の学習だけで臨んだ』は全体で 5%程度の割合であり、『ほとんど印刷教材の学習だけで臨んだ』の 30%と比べても、受講生がいかに印刷教材を重視しているかがうかがえる。自由な時間に繰り返し読むことができる印刷教材と、視聴に制約のある放送教材という違いはあるにしても、この傾向に、放送教材の問題点が逆説的に浮かびあがっていると考えられることもできる。

図 2 - 1 5 【学部】単位認定のための学習方法



Ⅱ－１－３．学部授業評価

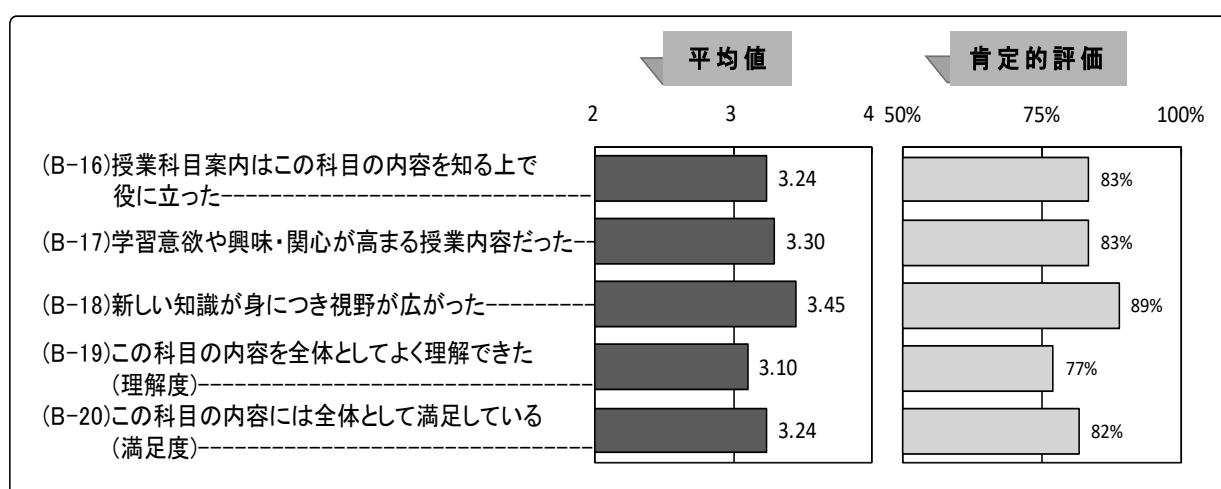
(1) 全体評価

ここからは学部授業評価について、評価項目ごとに見ていくこととする。

まず全体評価の各項目を見ると（図２－１６）、(B-18)「新しい知識が身につく視野が広がった」は平均値 3.45、肯定的評価 89%とかなり高い評価を得ている。また (B-17)「学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった」も平均値 3.30、肯定的評価 83%と高くなっている。

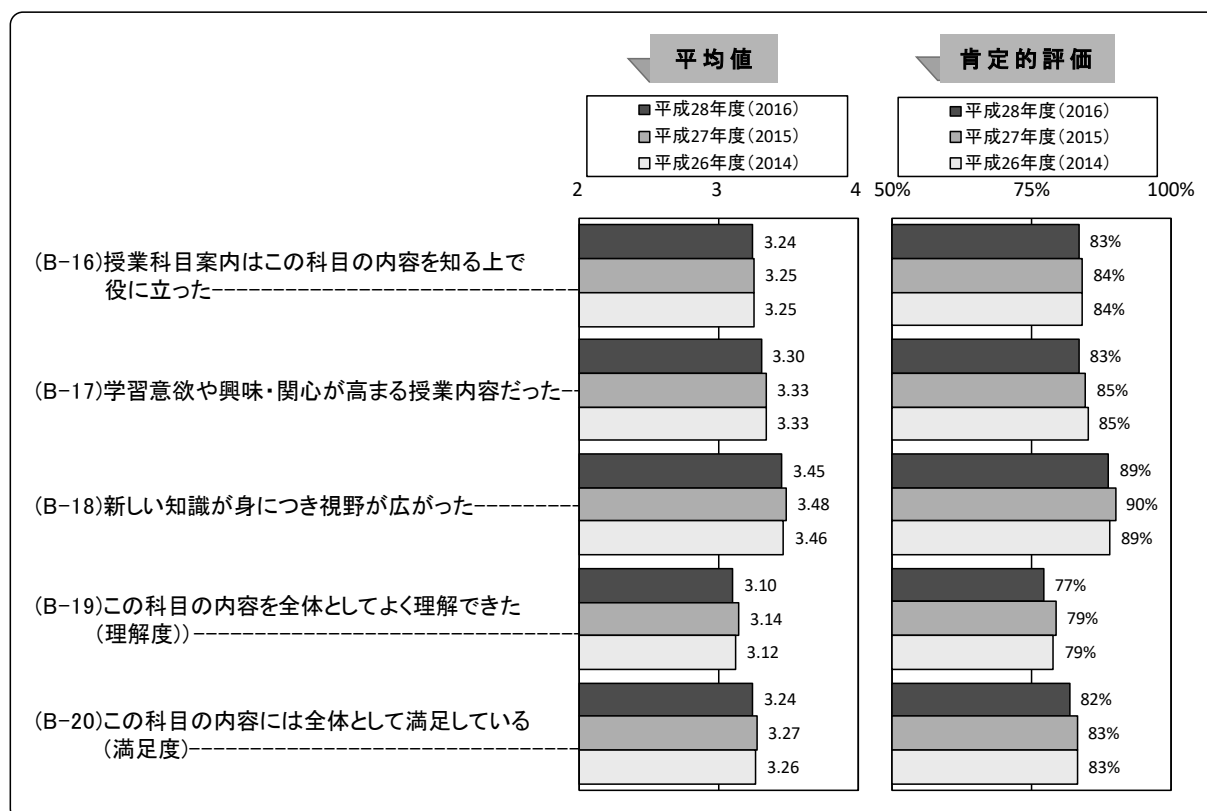
さらに (B-20)「この科目の内容には全体として満足している(満足度)」も平均値 3.24、肯定的評価 82%、(B-16)「授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った」は平均値 3.24、肯定的評価 83%と、比較的高い評価と言える。ただ理解度については満足度に比べると値が低いので、内容について、さらに詳しく、わかりやすく説明・解説する必要性が感じられる。

図 2－16 【学部】回答者全体の全体評価



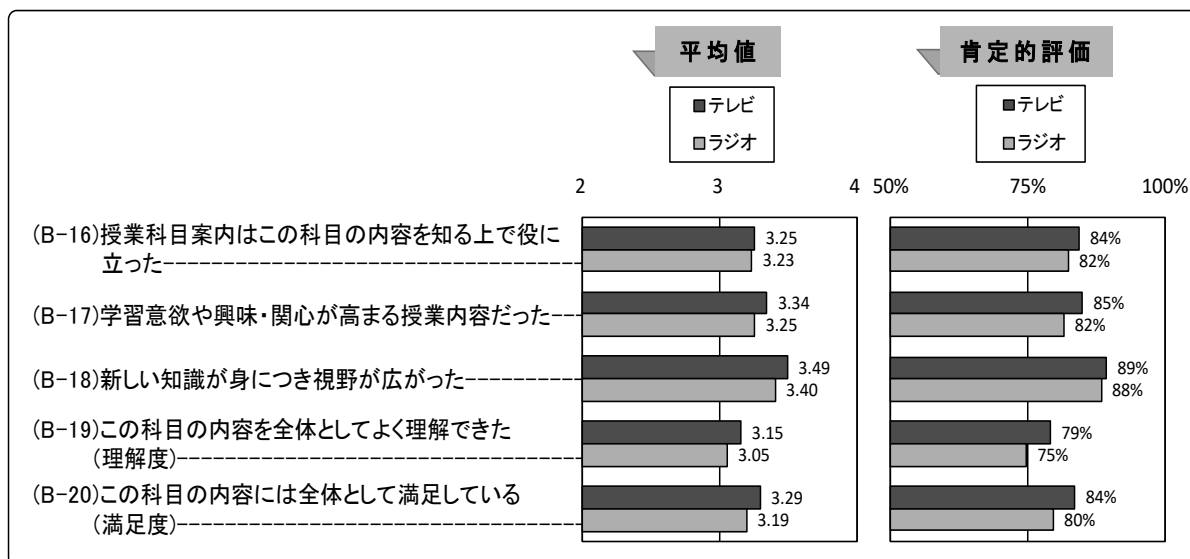
全体評価を時系列で見ると（図2－17）、どの項目も2015年度より低い値となっている。（B-18）「新しい知識が身につく視野が広がった」、（B-19）「この科目の内容を全体として理解できた（理解度）」、（B-20）「この科目の内容には全体として満足している（満足度）」においては昨年度わずかながら上昇したが、今年度は下降に転じ、2014年度の水準を下回っている。

図2－17 【学部】回答者全体の全体評価（時系列）



メディア別に全体評価を見ると（図２－１８）、全ての項目においてテレビ科目の方がラジオ科目より高くなっている。

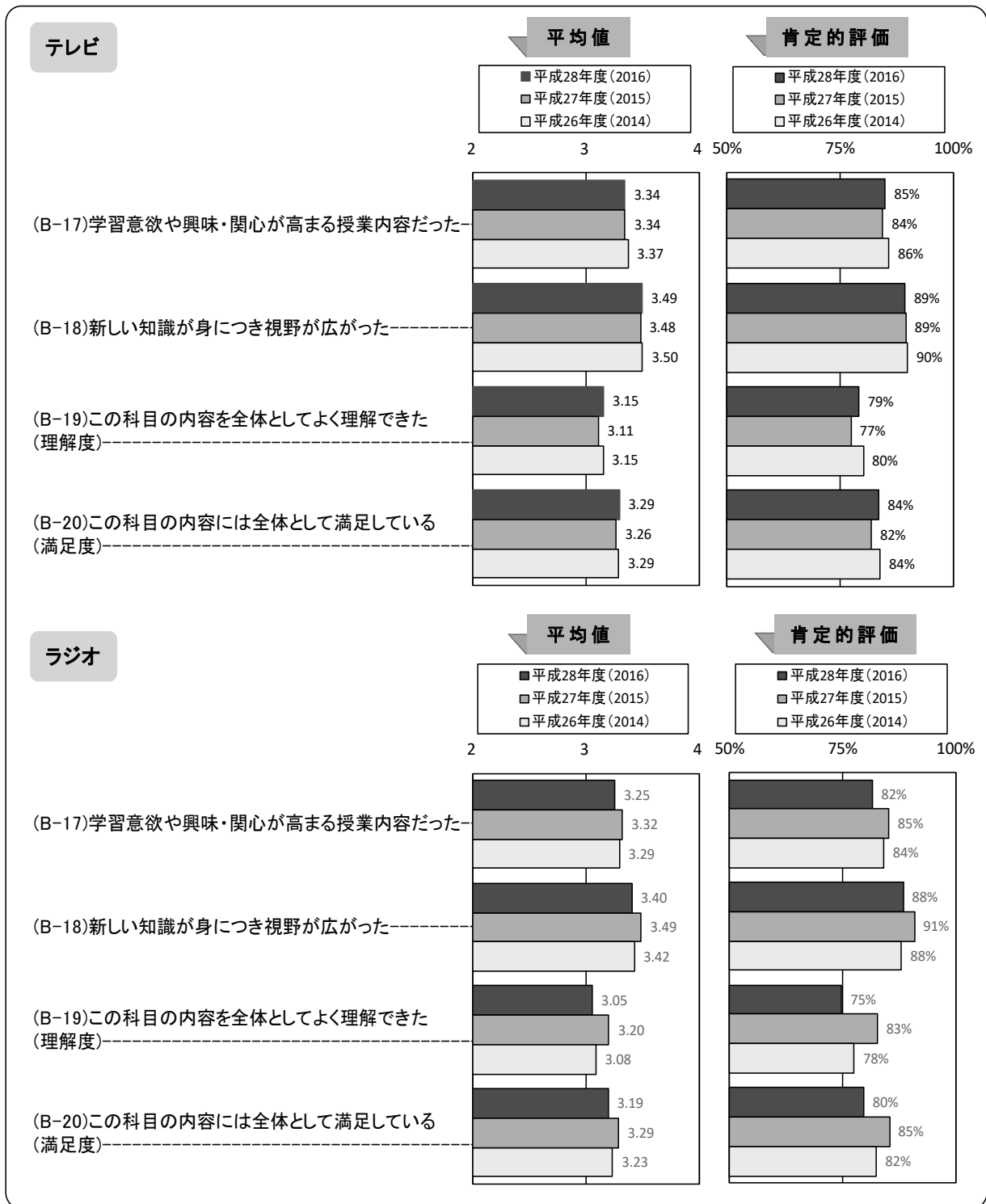
図２－１８ 【学部】メディア別の全体評価



メディア別の全体評価を時系列で見ると（次頁図２－１９）、テレビ科目では（B-17）「学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった」を除くいずれの項目でも 2015 年度より高い数値となっているが、ラジオ科目ではいずれの項目でも 2015 年度より低い数値となっている。

これらについても、『図２－４【学部】項目平均によるメディア別全体的傾向』（24 ページ）を参照されたい。

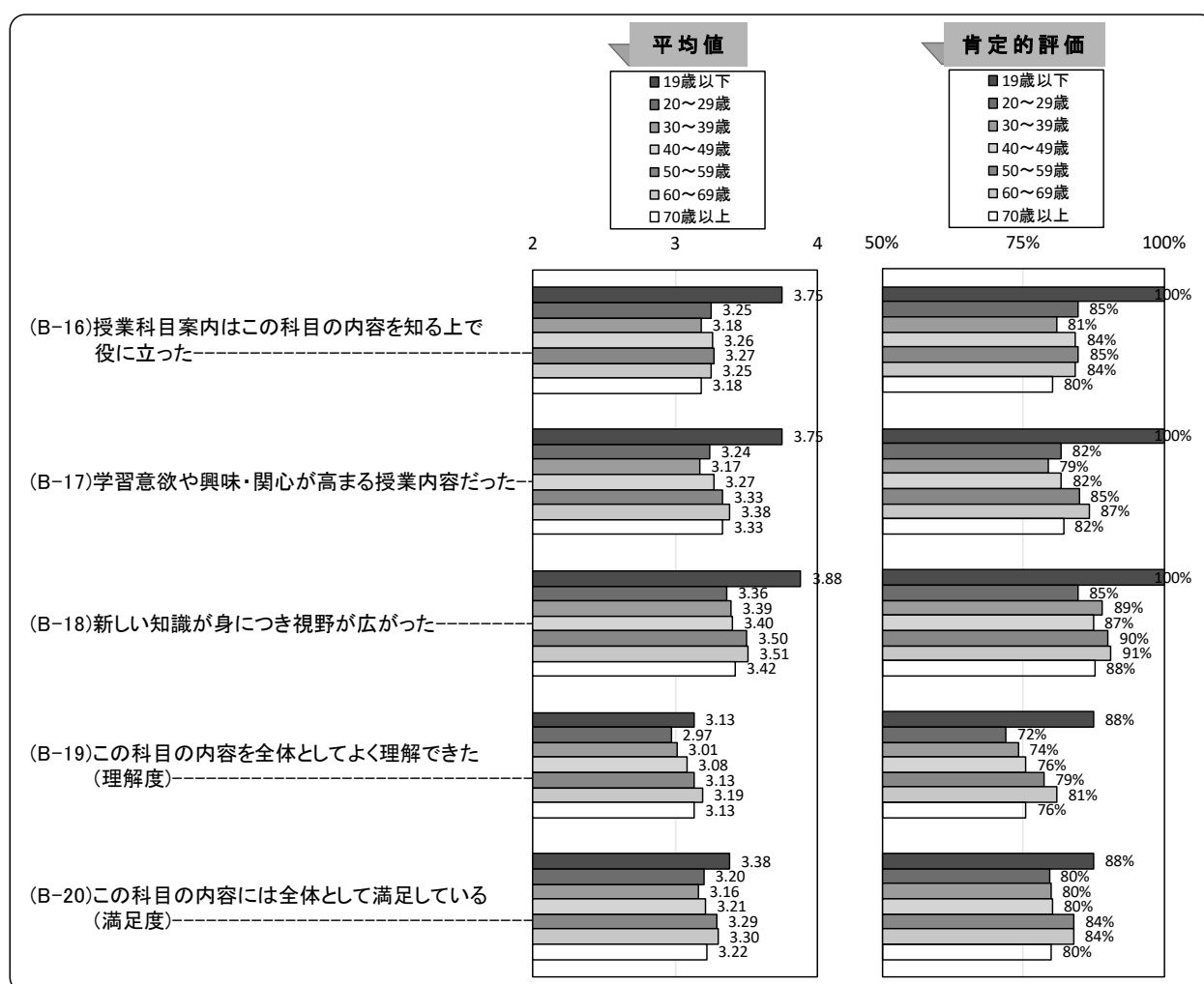
図 2 - 1 9 【学部】メディア別の全体評価（時系列）



年齢階層別に全体評価を見ると（図２－２０）、20歳代の（B-19）は平均値が３を下回っているのを除き、どの項目でも評価は高い傾向にある。（B-19）「この科目の内容を全体としてよく理解できた（理解度）」は、他の項目に比べて全体が低い傾向にあるが、年齢層が高くなるほど評価が高くなり、60歳代がピークで70歳以上では若干低くなっている。（B-17）「学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった」、（B-18）「新しい知識が身につく視野が広がった」、（B-20）「この科目の内容には全体として満足している（満足度）」においてもこの加齢との関係は概ね同じような傾向がみられる。

また、（B-18）「新しい知識が身につく視野が広がった」は、いずれの年齢階層でも評価が高い傾向にある。

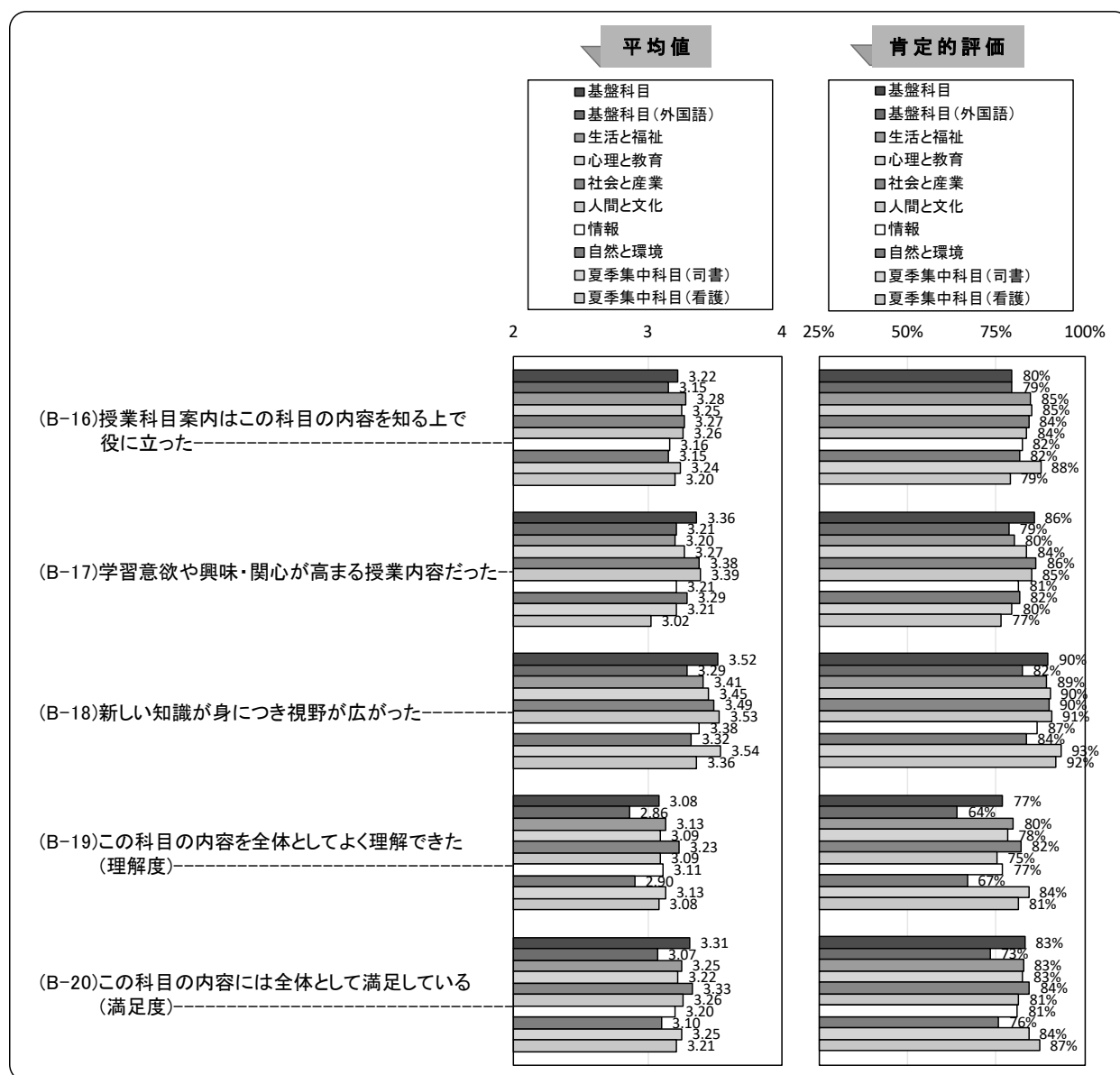
図２－２０【学部】年齢階層別の全体評価



所属コース別に全体評価を見ると（図２－２１）、全体的には肯定的であるが（B-19）「この科目の内容を全体としてよく理解できた（理解度）」において「基盤科目（看護）」「自然と環境」では３を下回っているのが特徴的である。このコースにおいては、興味を引く新しい情報は提供できたものの全体的な理解には結びついていない様子が見える。学生の理解をさらに高めるような、講義内容・指導が求められている。

また、「基盤科目」「生活と福祉」「心理と教育」「社会と産業」「人間と文化」「夏季集中科目（司書）」はいずれの項目でも評価が高いことから、現在の水準を維持しつつ、さらに向上を心がけるべきであろう。

図２－２１ 【学部】所属コース別の全体評価

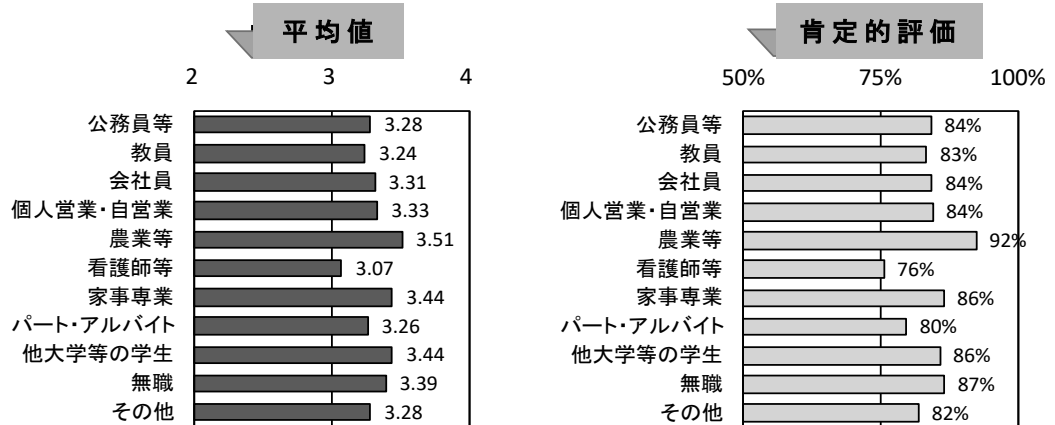


職業別に全体評価を見ると（次頁図 2－22）、平均値において（B-19）「この科目の内容を全体としてよく理解できた（理解度）」は、「看護師等」でわずかではあるが 3 を下回っている。また、全てにおいて「看護師等」からの評価が低く、「農業等」「家事専業」「他大学等の学生」においては高い評価を得ているのが特徴である。

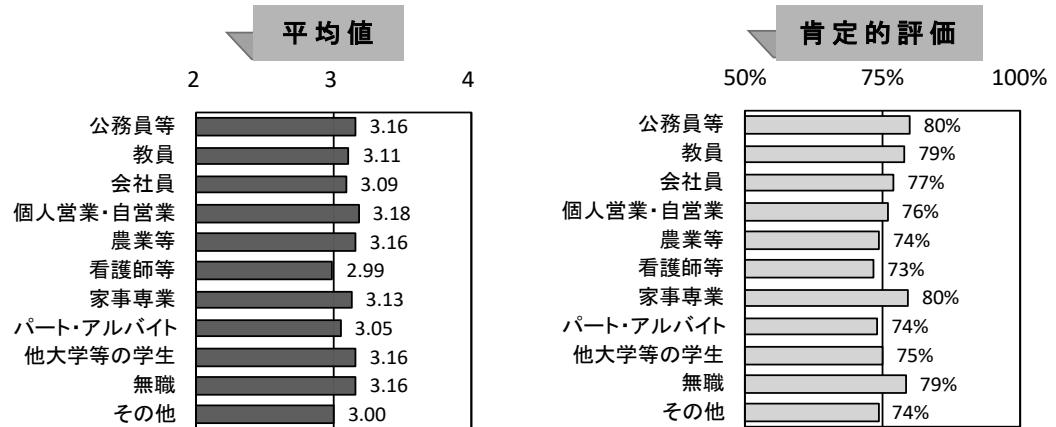
評価の低い職業が絞られているので、その職業に対する対応が効果的な改善につながると思われる。

図 2 - 2 2 【学部】職業別の全体評価

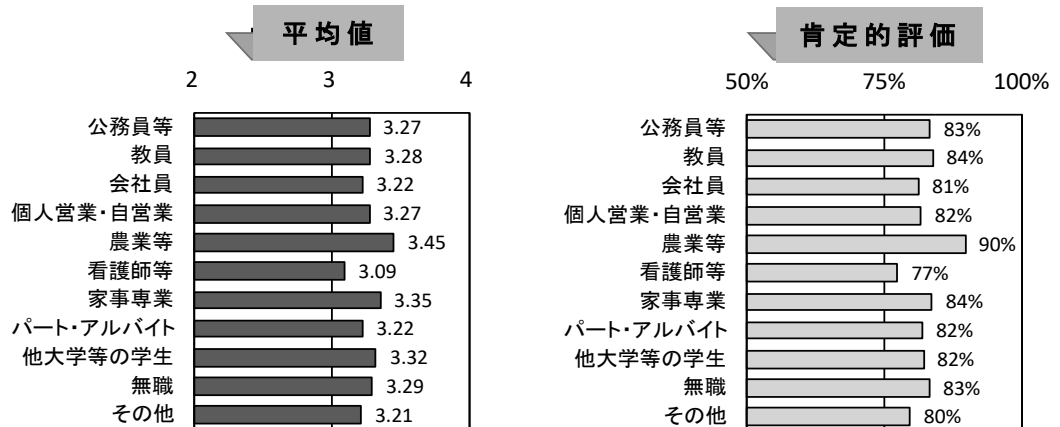
(B-17)学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった



(B-19)この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)



(B-20)この科目の内容には全体として満足している(満足度)

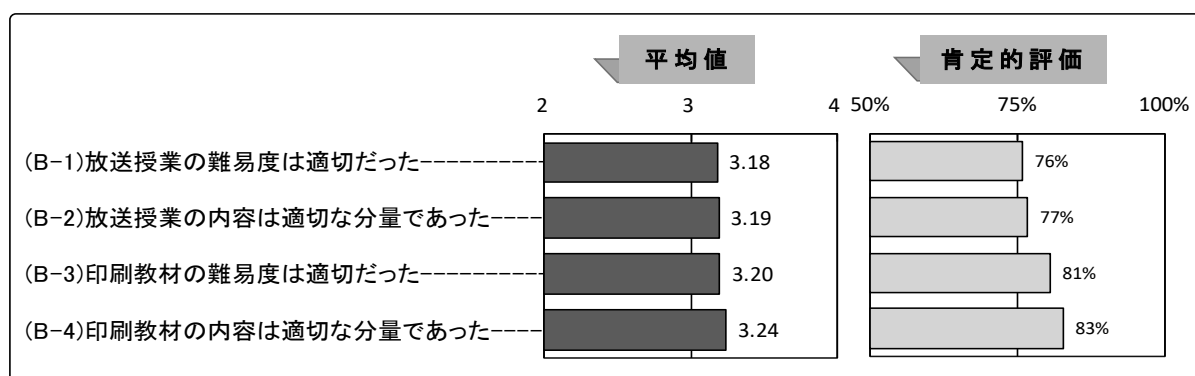


(2) 授業の難易度・分量

次に授業の難易度・分量について、評価項目ごとに見ていくこととする。

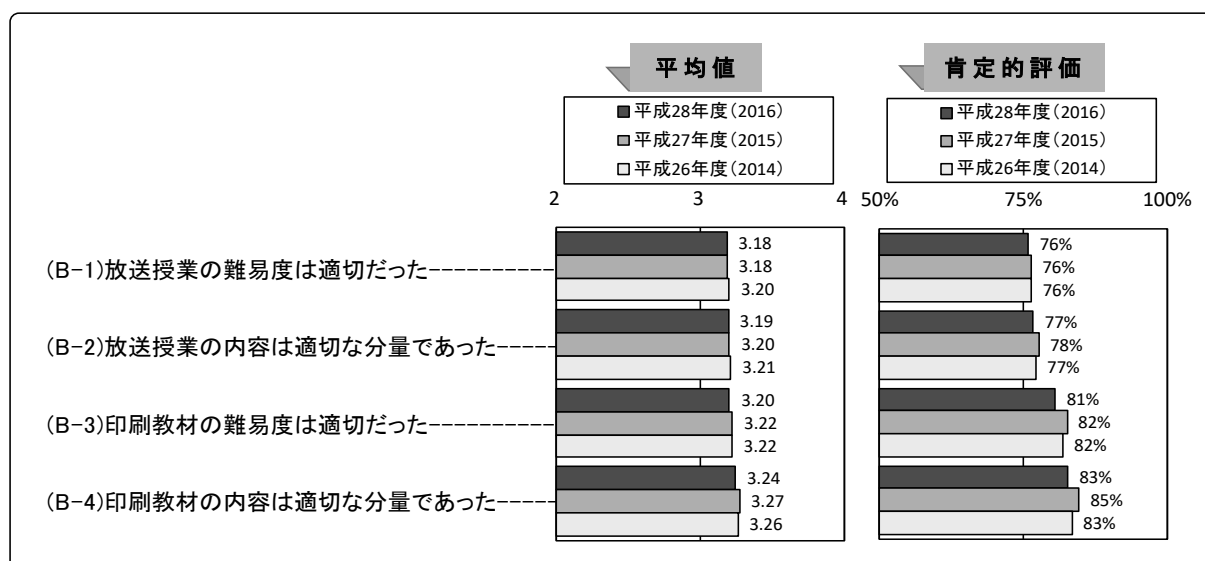
難易度・分量については(図2-23)、平均値で見ると放送授業・印刷教材ともに比較的高い評価となっているが、肯定的評価の割合で比較すると放送授業よりも印刷教材についての評価が高い。放送教材については特に難易度・分量ともに印刷教材に比べて改善の必要性が大きい。

図2-23 【学部】回答者全体の授業難易度・分量の評価



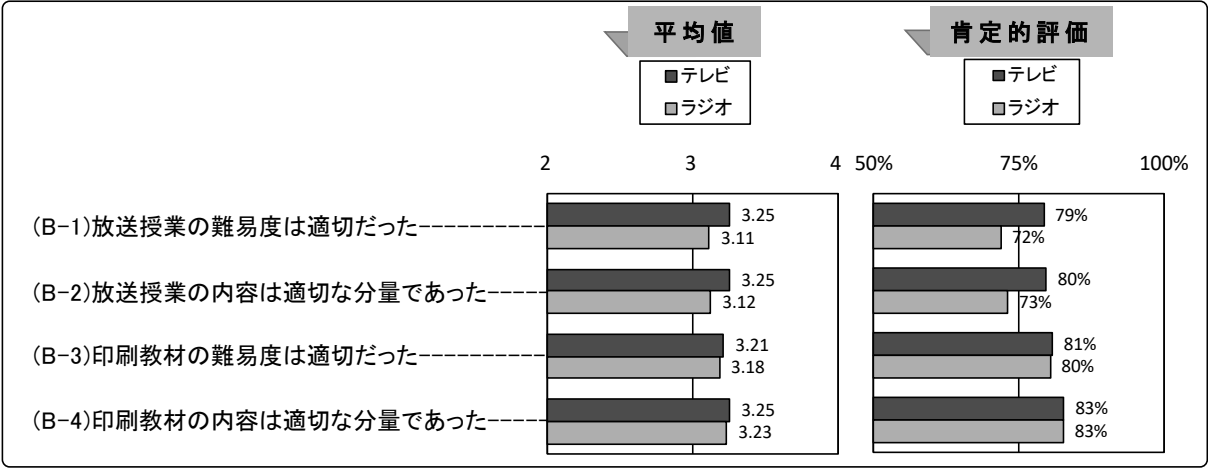
授業の難易度・分量を開設年度で比較すると(図2-24)、放送授業においては難易度・分量とも平均値・肯定的評価の両方で2015年度とほぼ同じ水準となっている。印刷教材においては、難易度・分量とも平均値・肯定的評価の両方で2015年度をやや下回っている。

図2-24 【学部】回答者全体の授業難易度・分量の評価(開設年度比較)



メディア別に授業の難易度・分量を見ると（図 2－25）、放送授業・印刷教材ともにテレビ科目がラジオ科目を上回っている。特に肯定的評価の割合においては放送授業でその傾向が顕著である。ラジオ科目については、放送授業の難易度・分量ともに工夫を求められていることがうかがえる。

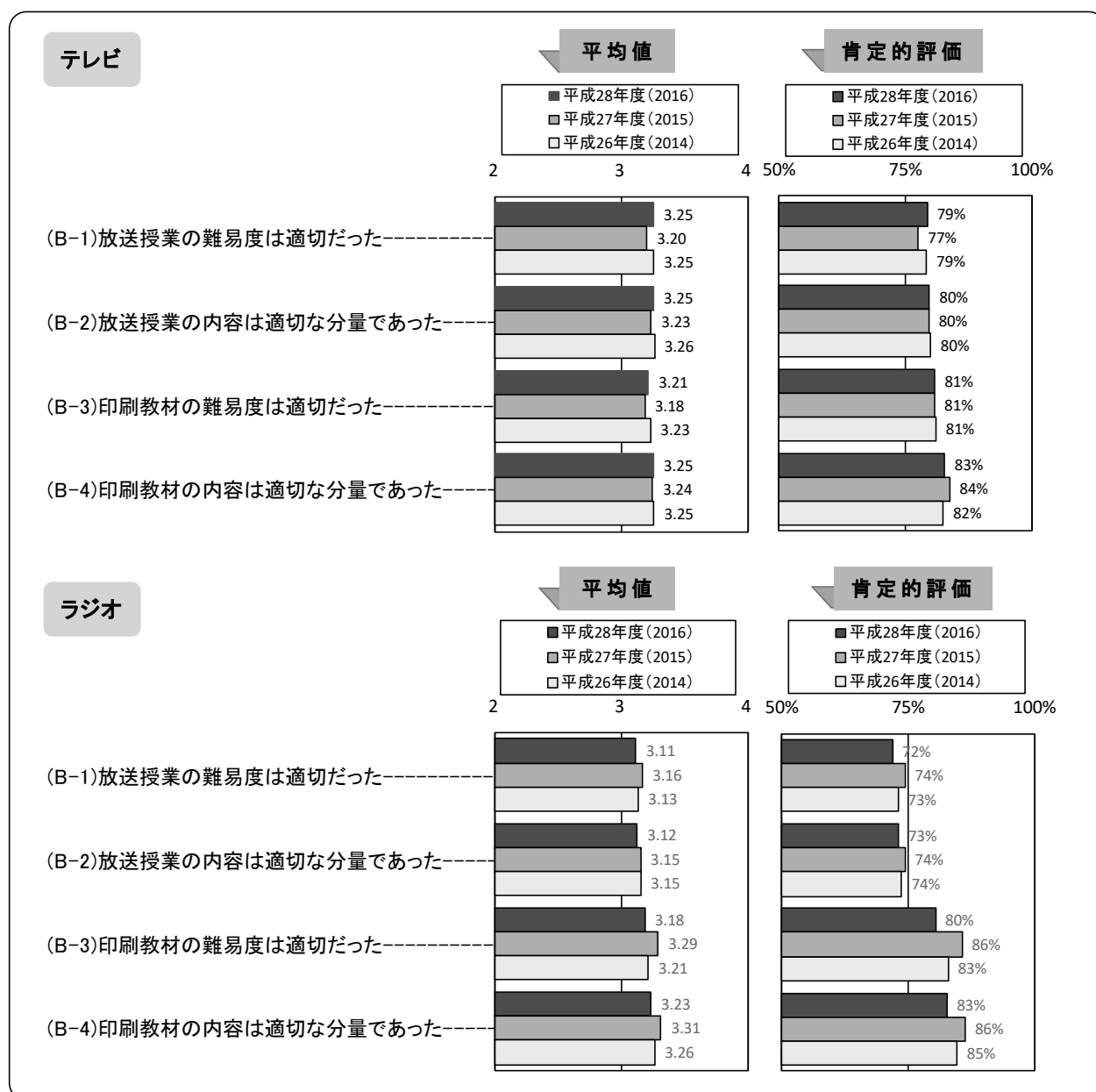
図 2－25 【学部】メディア別の授業難易度・分量の評価



メディア別の授業の難易度・分量を開設年度で比較すると（図２－２６）、2015年度に比べてテレビ科目は全ての項目で平均値がやや上がっている。

ラジオ科目は2015年度においてはほぼ全ての項目で2014年度より、評価がやや上がったが、2016年度は逆に全ての項目で下がり、2014年度よりも低い水準となった。肯定的評価全体においては本年度に限らず放送授業の割合がかなり低いため、放送授業そのものにさらなる改善が必要と考えるべきである。

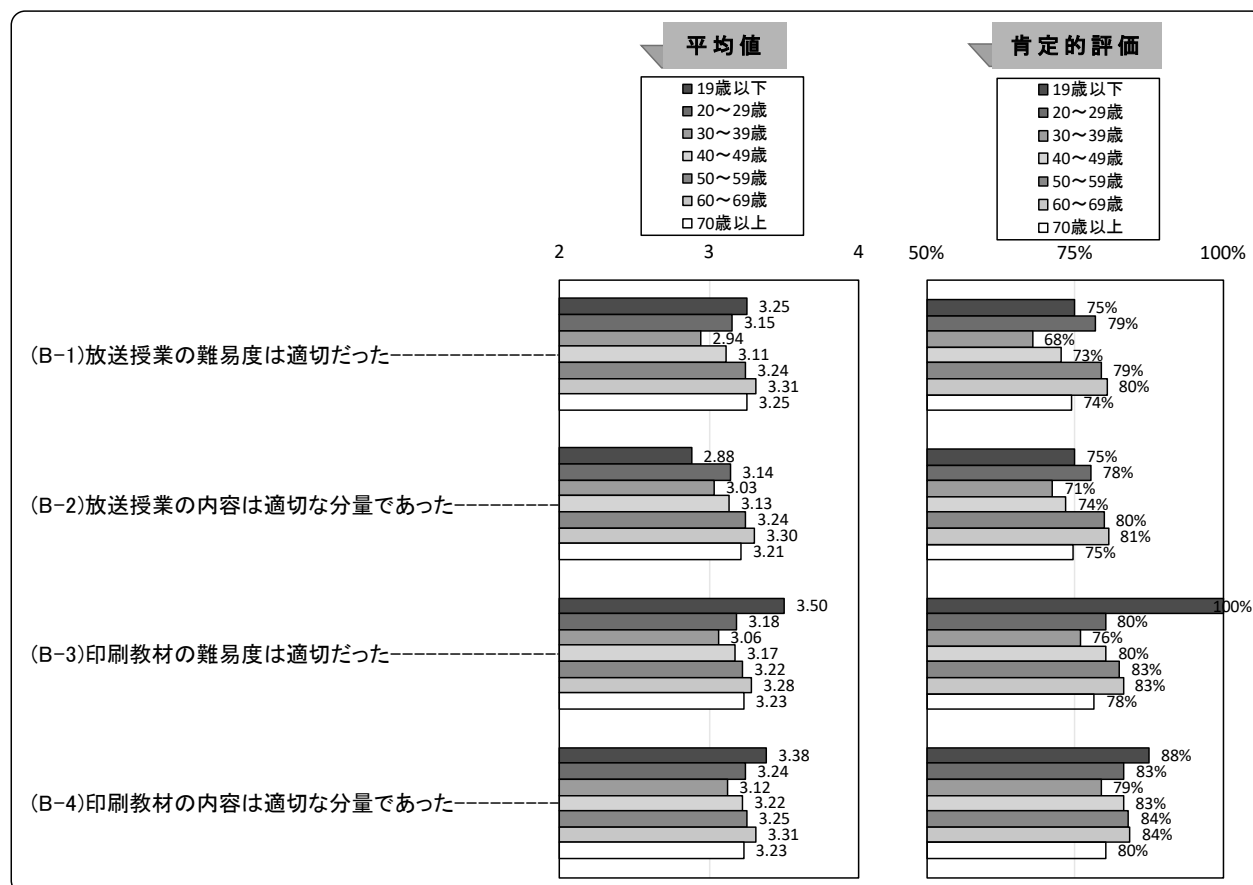
図２－２６ 【学部】メディア別の授業難易度・分量の評価（開設年度比較）



年齢階層別に授業の難易度・分量を見ると（図２－２７）、30歳代の評価が一番低く、（B-1）「放送授業の難易度は適切だった」は3を下回っている。50歳代以上はいずれの項目も評価が高い傾向がある。

40歳代までは放送授業より印刷教材の評価が高い傾向がある。

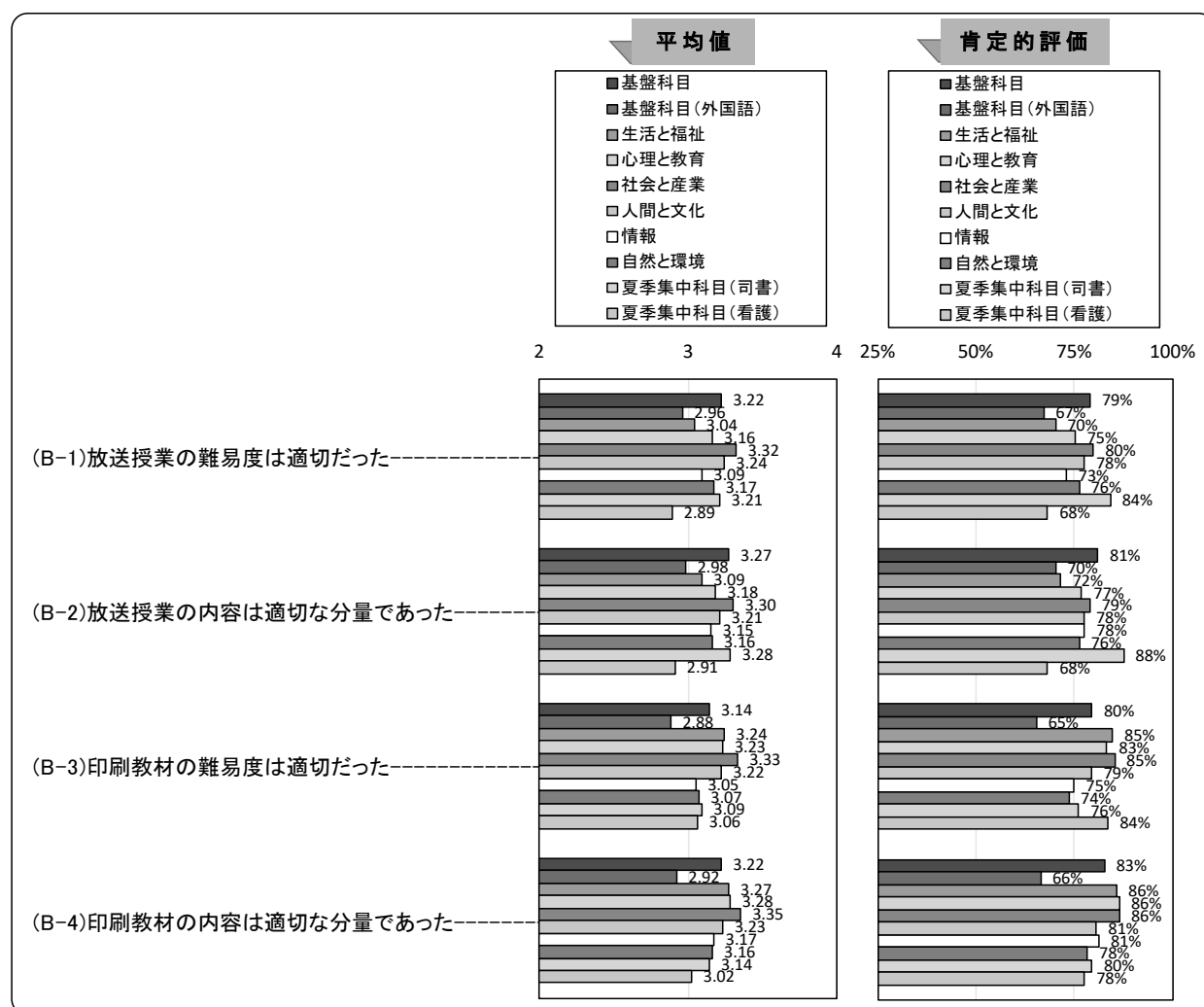
図２－２７【学部】年齢階層別の授業難易度・分量の評価



所属コース別に授業の難易度・分量を見ると（図２－２８）、放送授業、印刷教材ともに、難易度と分量は「社会と産業」「人間と文化」で評価が高くなっている。また、「生活と福祉」「心理と教育」は印刷教材、「基盤科目」「夏季集中科目（司書）」は放送授業の評価が高い。

一方、放送授業、印刷教材とも「基盤科目（外国語）」「夏季集中科目（看護）」の評価が低い。

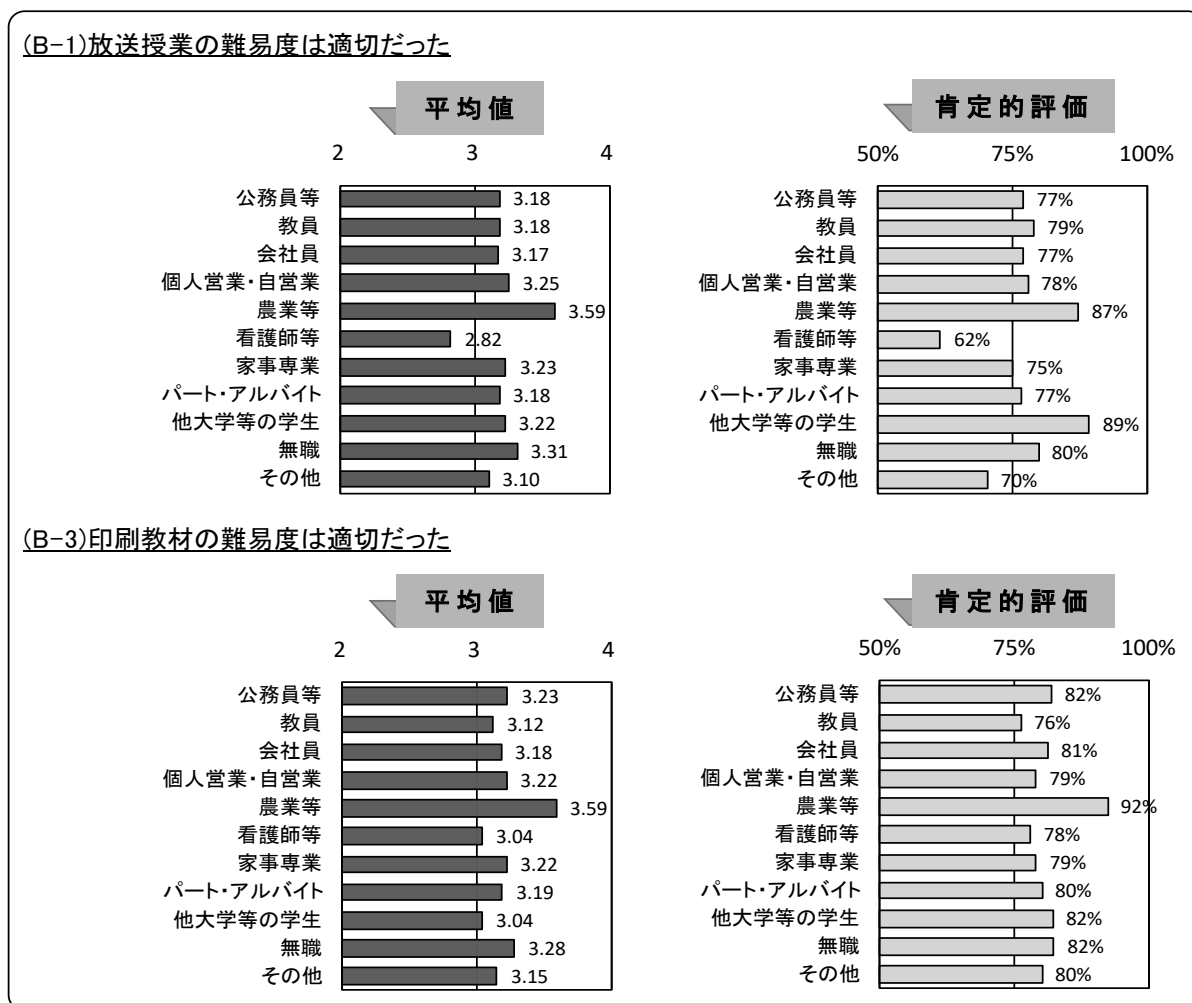
図２－２８ 【学部】所属コース別の授業難易度・分量の評価



職業別に授業の難易度を見ると（図２－２９）、放送授業、印刷教材とも「看護師等」で評価が低く、「農業等」で評価が高くなっているのが際立つ。取組姿勢の分析結果に表れたように、「看護師等」は時間的制約がある職業であり、そもそも放送授業を視聴することが難しいことや現場での実践と授業内容との関係性が関連していると思われる。また、印刷教材の難易度は「他大学等の学生」の評価の低さが目立っている。

授業の難易度は、科目そのものの難易度、授業方法、そして学生個人個人の取組姿勢や学習意欲などが互いに影響し合い、評価がされていると考えられる。

図２－２９【学部】職業別の授業難易度の評価

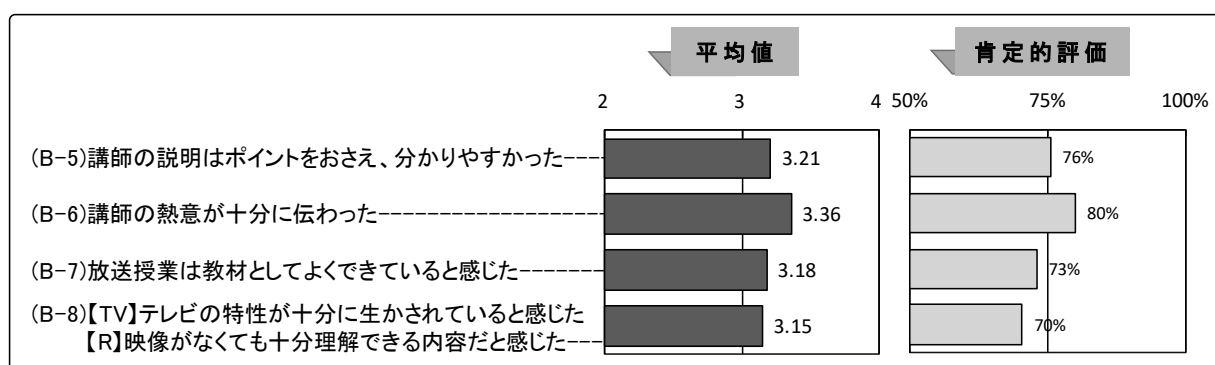


(3) 放送授業

ここからは放送授業について、評価項目ごとに見ていくことにする。

放送授業に関する評価項目で最も評価が高いのは（図2-30）、(B-6)「講師の熱意が十分に伝わった」であり、平均値 3.36、肯定的評価 80%となっている。しかし、放送授業の総合評価でもある (B-7)「放送授業は教材としてよくできていると感じた」は、平均値 3.18、肯定的評価 73%とやや低めである。なお、(B-8)「【TV】テレビの特性が十分に生かされていると感じた／【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」も、平均値 3.15、肯定的評価 70%とやや低い水準である。放送上の構成や演出にも一工夫が必要である。

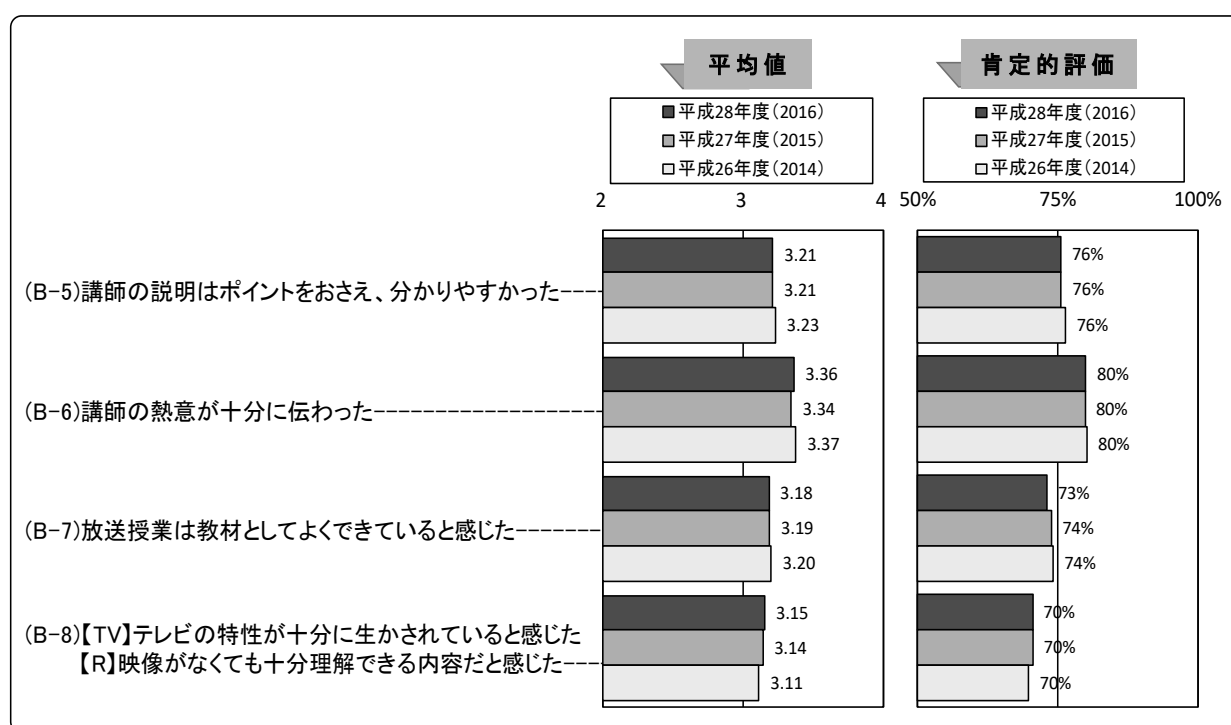
図2-30 【学部】回答者全体の放送授業の評価



放送授業の評価の平均を時系列で見ると（図２－３１）、平均値ではいずれの項目も微減・微増を繰り返しているが、肯定的評価ではほとんど同じであり、変化が僅かなことを物語っている。

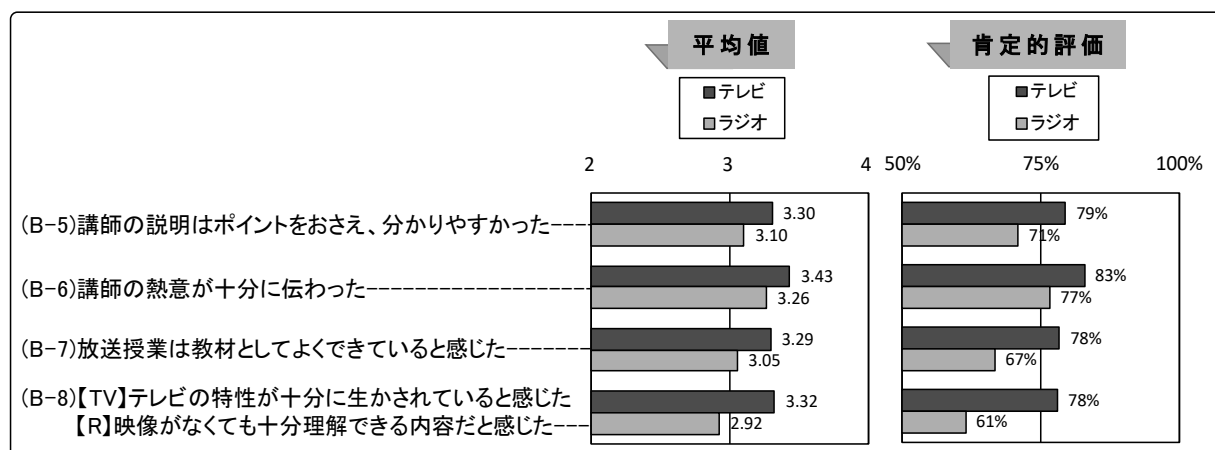
（Ｂ-８）「【TV】テレビの特性が十分に生かされていると感じた／【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」の平均値は微増傾向であるが、低めの水準であり、さらなる改善が望まれる。

図２－３１ 【学部】回答者全体の放送授業の評価（時系列）



メディア別に放送授業の肯定的評価を見ると（図２－３２）、いずれの項目もテレビ科目がラジオ科目を大きく上回っており、（B-8）「【TV】テレビの特性が十分に生かされていると感じた／【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」の差が特に大きい。

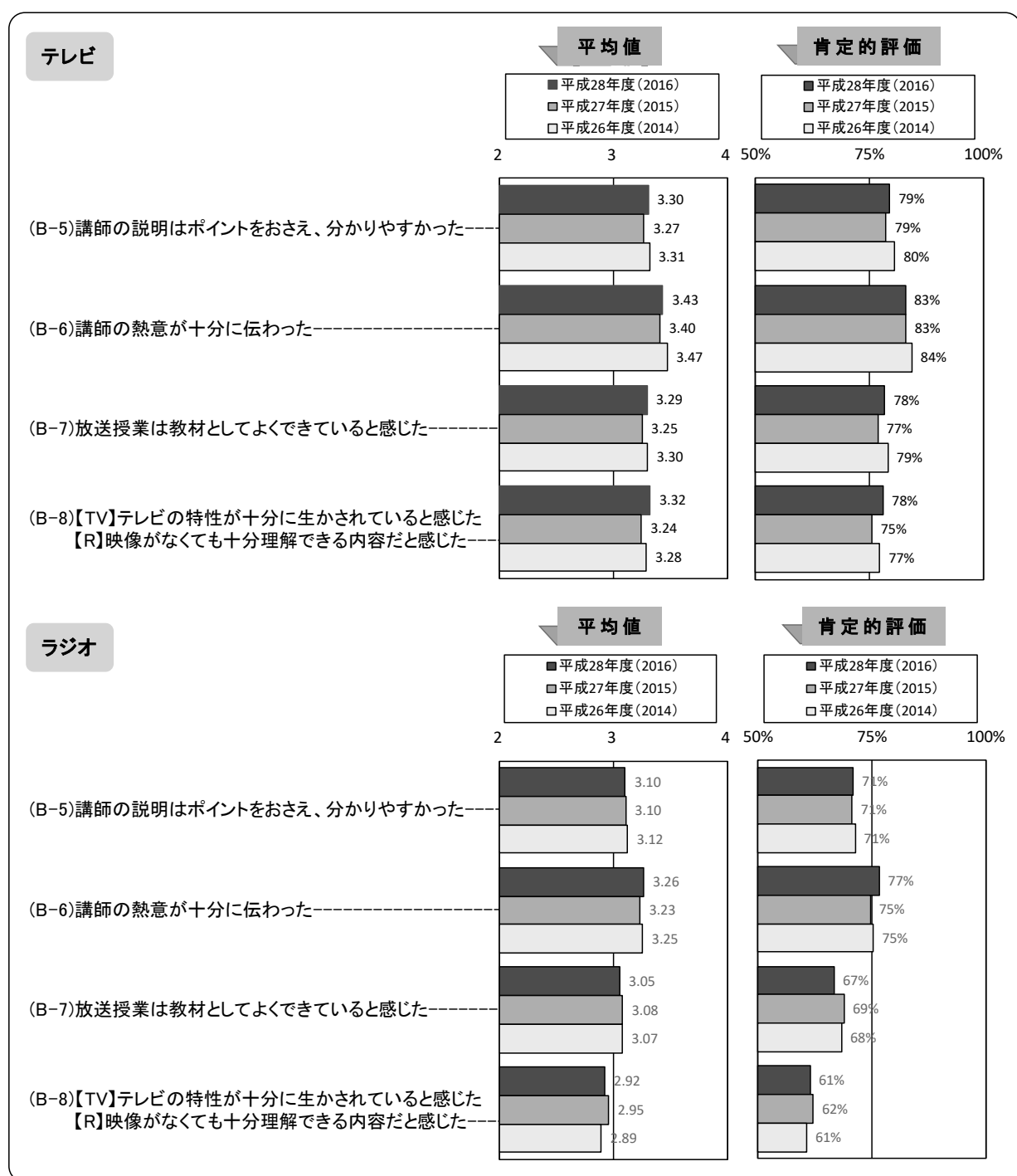
図２－３２ 【学部】メディア別の放送授業の評価



また、メディア別の放送授業の評価を時系列で見ると(図2-33)、テレビ科目では、いずれの項目も2015年度に比べ、高い評価となっている。

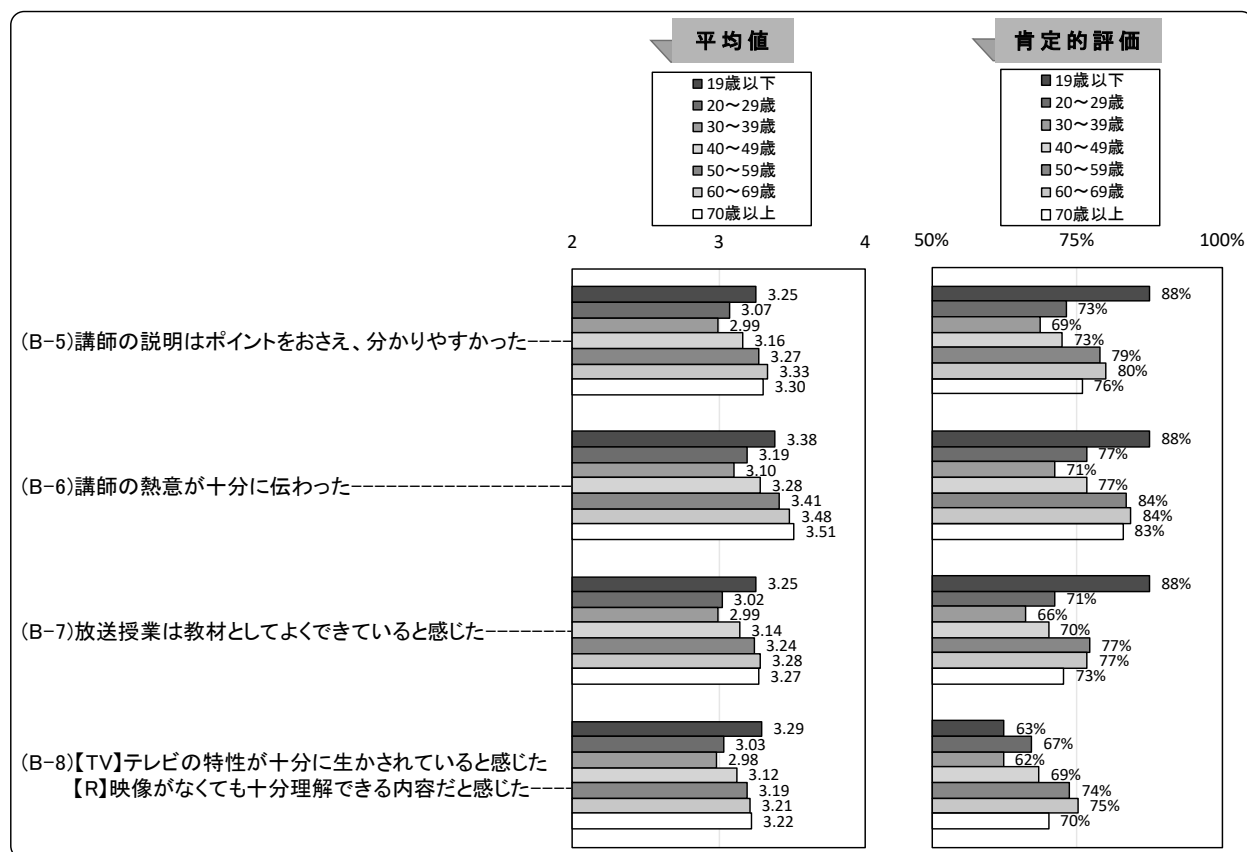
ラジオ科目においては、(B-6)「講師の熱意が十分に伝わった」の平均値は2015年度に比べ高くなっているが、(B-7)「放送授業は教材としてよくできていると感じた」、(B-8)「【TV】テレビの特性が十分に生かされていると感じた／【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」の平均値・肯定的評価はともにやや低くなっている。

図2-33【学部】メディア別の放送授業の評価(時系列)



年齢階層別に放送授業の評価を見ると（図2-34）、いずれの項目も、30歳代の評価が最も低く、年齢層が高くなるほど評価が高くなる傾向がある。

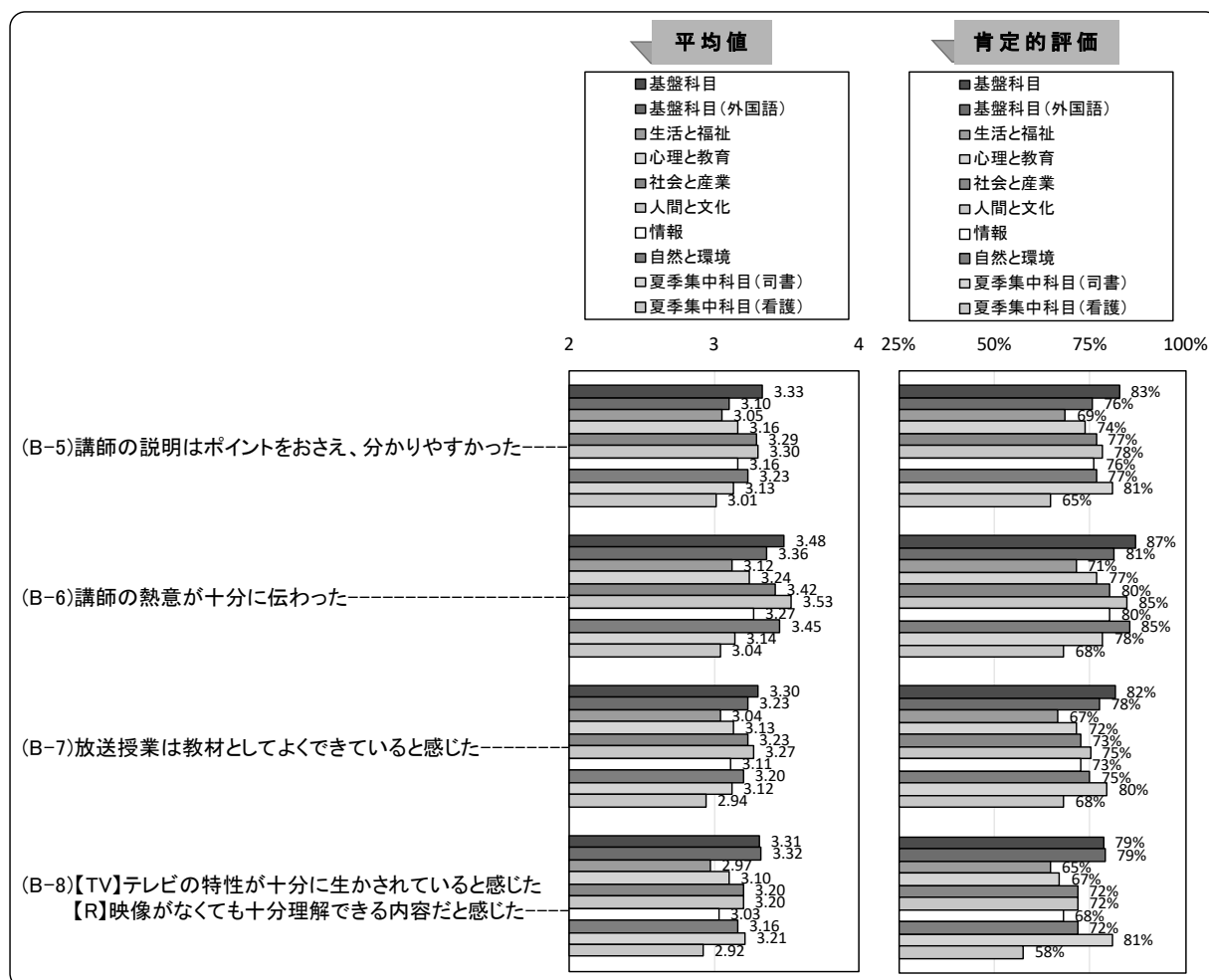
図2-34 【学部】年齢階層別の放送授業の評価



所属コース別に放送授業の評価を見ると（図 2－3 5）、「基盤科目」「社会と産業」「人間と文化」の評価がいずれの項目でも高い水準にある。

一方、「生活と福祉」「夏季集中科目（看護）」はいずれの項目でも評価は低い水準にとどまった。

図 2－3 5 【学部】所属コース別の放送授業の評価

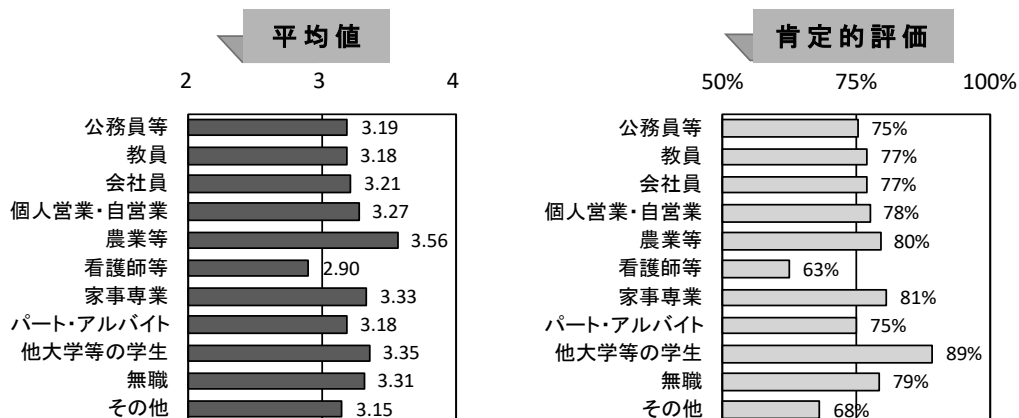


職業別に放送授業の評価を見ると(図2-36)、全体的に「看護師等」の評価が低く、不規則な職業のため放送時間に合わせての視聴が難しい状況や、彼らの講義内容に対する要求の高さがうかがえる。

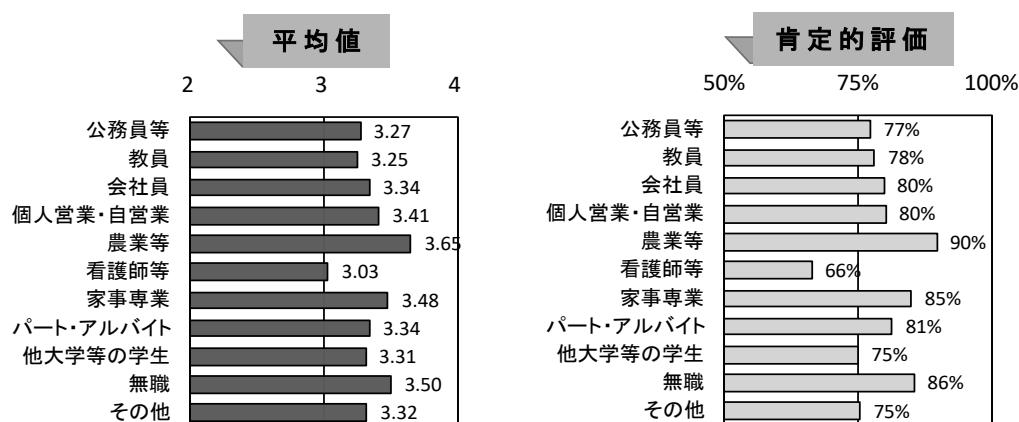
一方、「農業等」の評価はいずれの項目も評価が極めて高い。他の職業では、「家事専業」「他大学等の学生」「無職」においても評価が高い水準である。

図2-36【学部】職業別の放送授業の評価

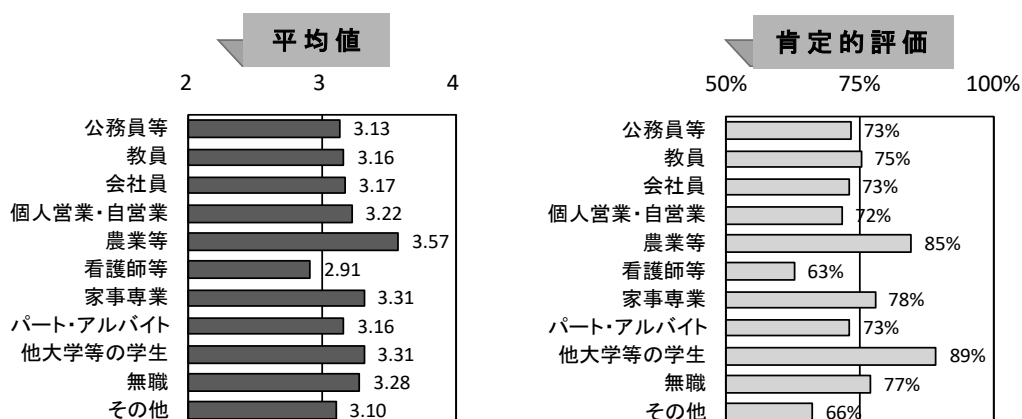
(B-5)講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった



(B-6)講師の熱意が十分に伝わった



(B-7)放送授業は教材としてよくできていると感じた

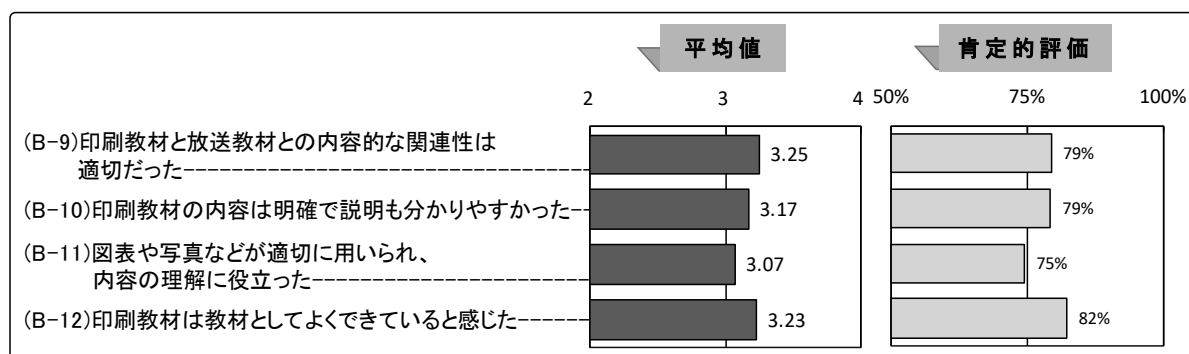


(4) 印刷教材

ここからは印刷教材について、評価項目ごとに見ていく。

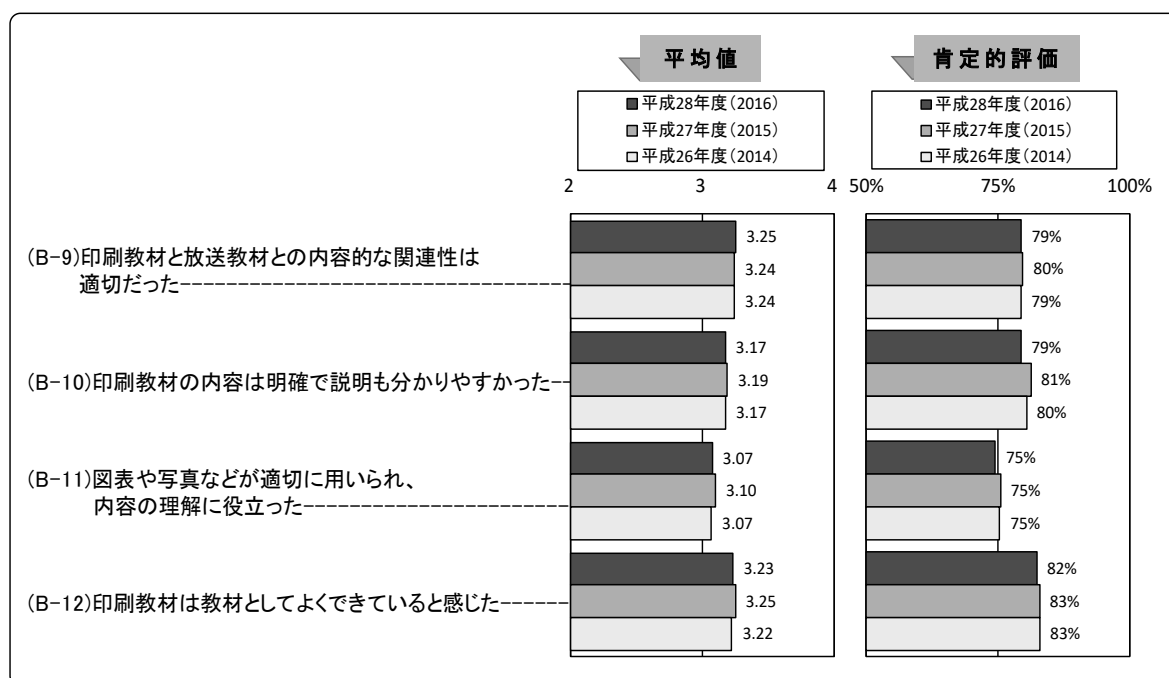
印刷教材の評価項目では(図2-37)、(B-12)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」が平均値 3.23、肯定的評価 82%と高い評価のため、印刷教材として総合的に高評価といえる。また(B-9)「印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった」と(B-10)「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」も高い評価であるが、(B-11)「図表や写真などが適切に用いられ内容の理解に役立った」は他の項目に比べるとやや評価が低い。より理解しやすい教材に期待している様子が見える。

図2-37 【学部】回答者全体の印刷教材の評価



印刷教材の評価を時系列で見ると(図2-38)、いずれの項目においても2015年度とほぼ同じか、やや低い。

図2-38 【学部】回答者全体の印刷教材の評価(時系列)

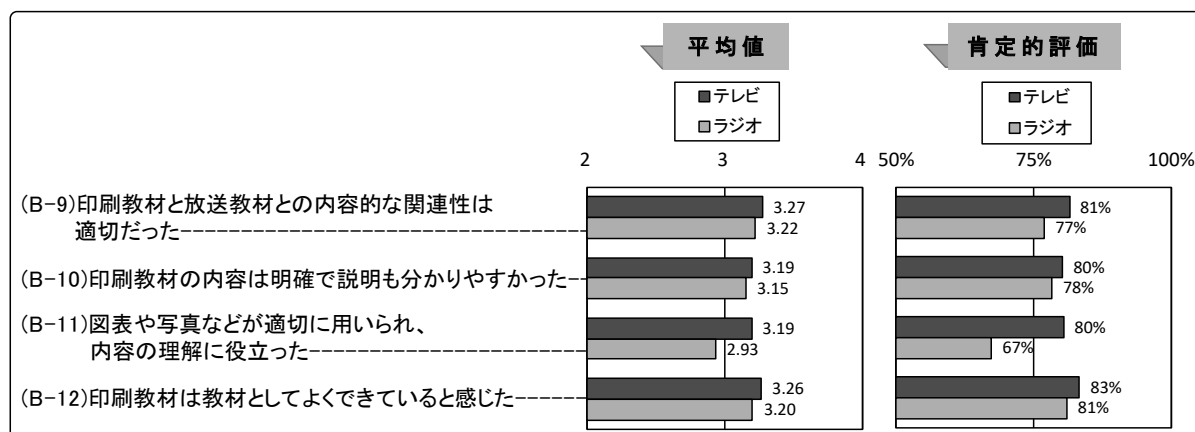


メディア別に印刷教材の評価を見ると（図２－３９）、一昨年度までの傾向に戻り、テレビ科目のほうがラジオ科目よりも評価が高くなっている。

（B-11）「図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った」においてはテレビ科目とラジオ科目の評価の差は大きく、前年度より開いた。ラジオ科目の印刷教材の改善は一進一退していることがうかがえる。

ラジオ科目の評価が下がったことに関しては、綿密な分析と対策が必要となろう。

図２－３９ 【学部】メディア別の印刷教材の評価

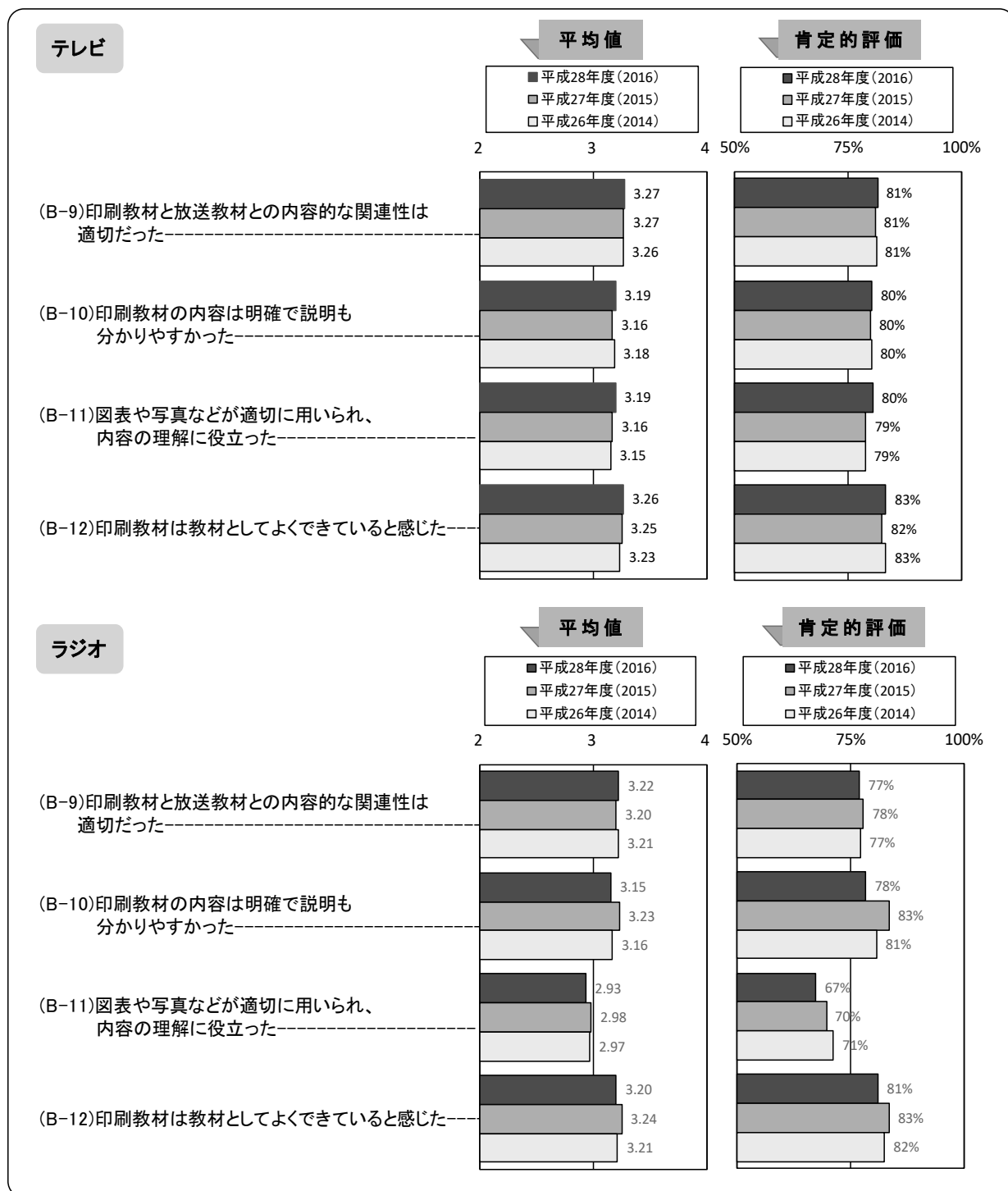


メディア別の印刷教材の結果を時系列で見ると（次頁図２－４０）、テレビ科目の平均値では、（B-9）「印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった」の項目以外の３項目で前年度を上回っているが、肯定的評価はいずれの項目でも横ばいか僅かに高くなっており、変化が小さいことがわかる。

ラジオ項目では平均値では（B-9）「印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった」以外の３項目で前年の評価を下回っているが、肯定的評価においては、全ての項目で前年度を下回っている。

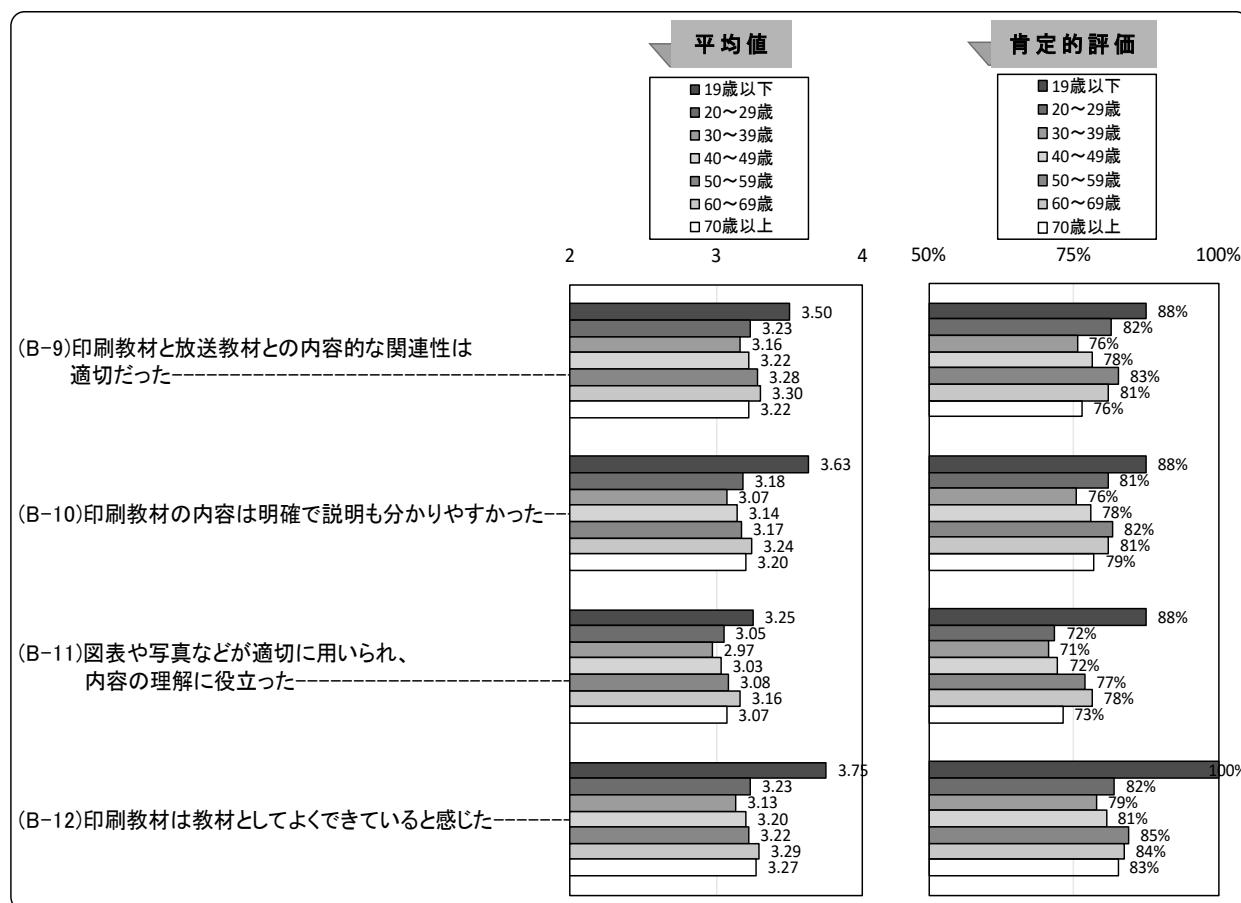
教材の評価には映像・音と印刷物の相関性も影響していると考えられる。テレビでカラーの図表を見たり、動画を見ると印刷物の写真は物足りなくなるであろうし、反対にラジオでは想像力が高まり、印刷された図表がイメージとして拡大されることも考えられる。媒体の特性を考慮し、デメリットを補う改善が求められる。

図 2 - 4 0 【学部】メディア別の印刷教材の評価（時系列）



年齢階層別に印刷教材の評価を見ると（図２－４１）わかるように、全体として概ね高い値となっている。しかし、全ての評価項目において、平均値・肯定的評価ともに30歳代の評価が低い傾向であり、(B-11)「図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った」では3を下回っている。30歳代以降は年齢層が高くなるほど評価が高くなり、60歳代がピークで70歳以上では若干低くなっている。

図２－４１【学部】年齢階層別の印刷教材の評価

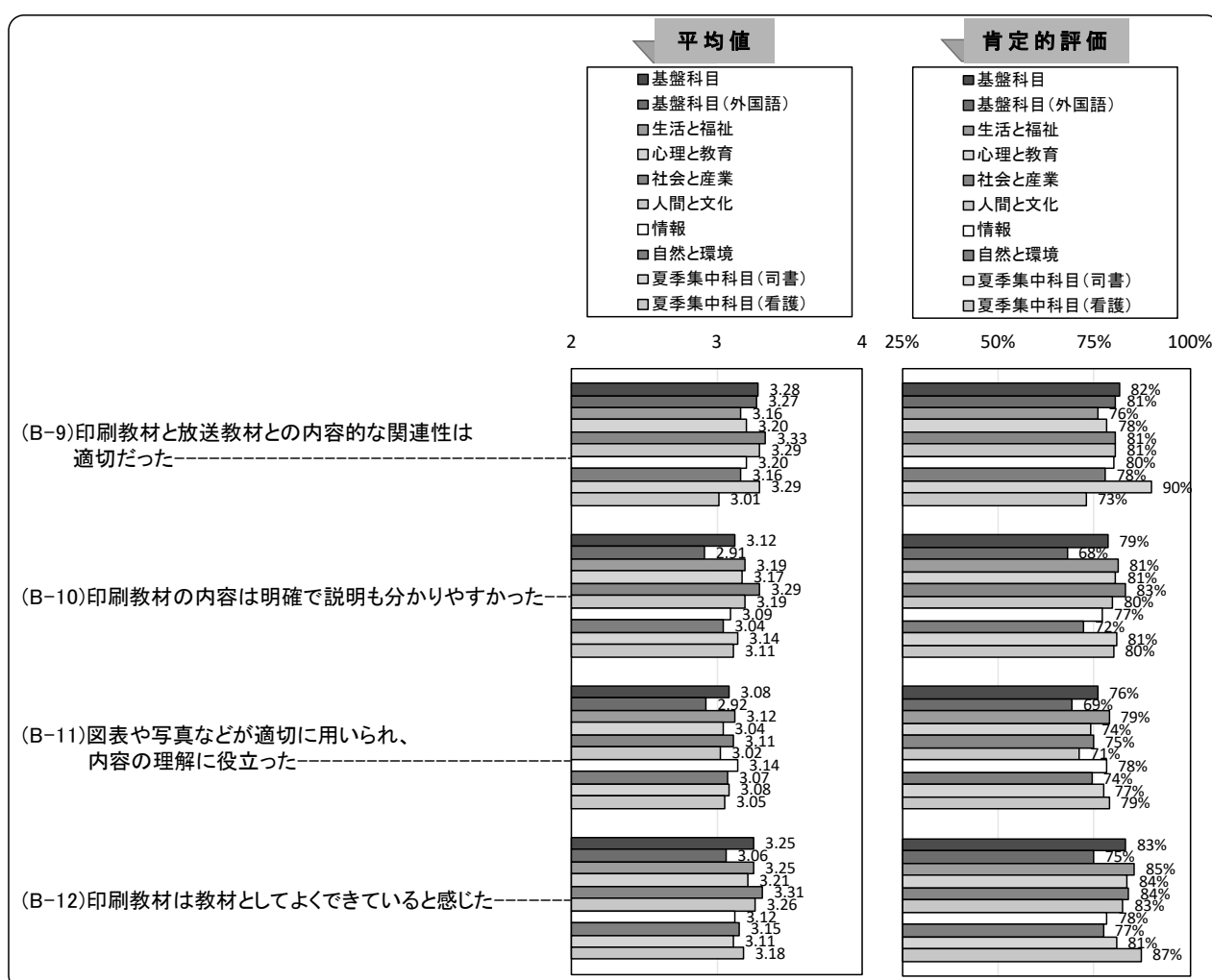


所属コース別に印刷教材の評価を見ると（図 2－4 2）、全体的に「社会と産業」の評価が高い。

また、(B-9)「印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった」の評価が高く、(B-11)「図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った」の評価が低いのはほとんどのコースに共通している。

「基盤科目（外国語）」は (B-10)「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」(B-11)「図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った」の評価が 3 を下回っており、分かりやすさ・理解しやすさの工夫に改善が必要と感じられる。

図 2－4 2 【学部】所属コース別の印刷教材の評価

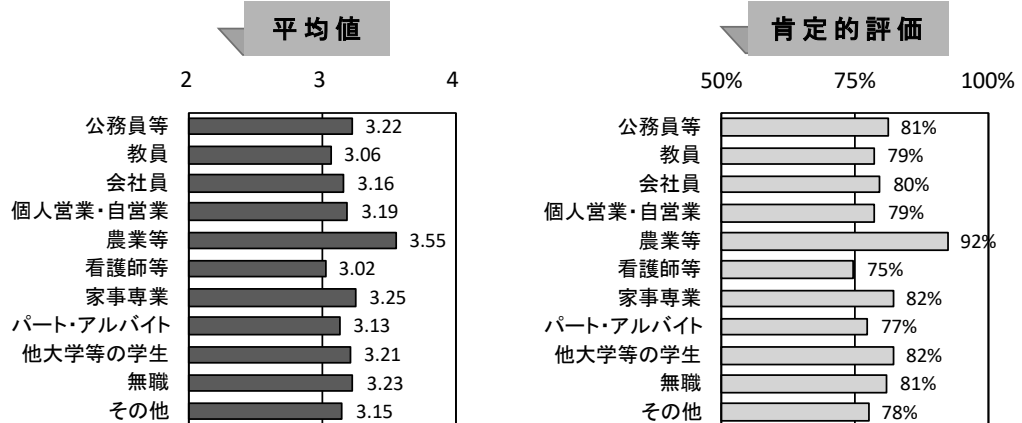


職業別の印刷教材の評価では（次頁図 2－43）、全ての項目で「農業等」の評価が極めて高く、「看護師等」の評価が低くなっている。「看護師等」では（B-11）「図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った」で 3 を下回り、（B-10）「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」では 3 を僅かに上回る低い評価である。印刷教材に盛り込む資料の改善が必要とされる。

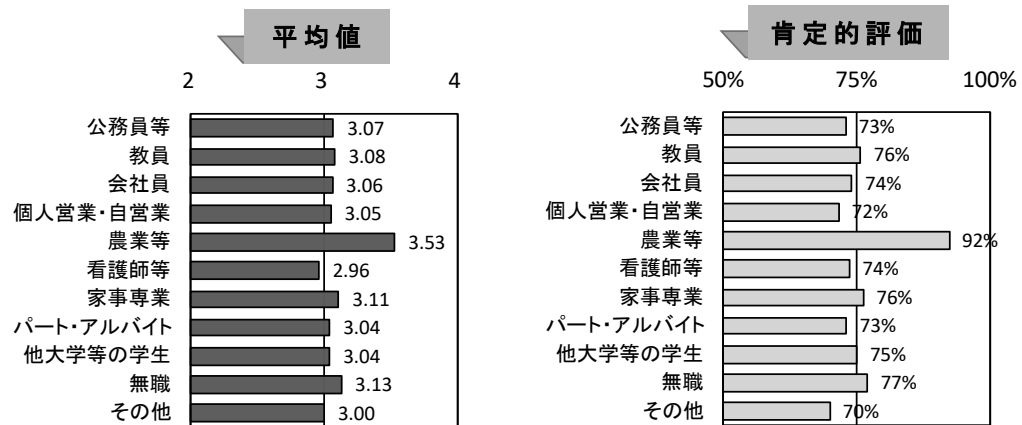
また、（B-10）「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」、（B-12）「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」の「教員」の評価が他の職業と比べて低く、日頃から印刷教材を使った授業をしている立場からの厳しい目が感じられる。

図 2 - 4 3 【学部】職業別の印刷教材の評価

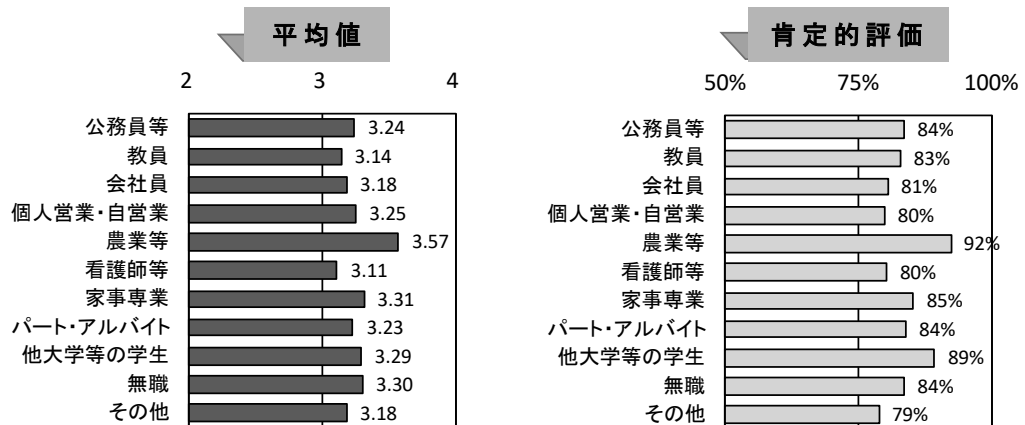
(B-10)印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった



(B-11)図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った



(B-12)印刷教材は教材としてよくできていると感じた



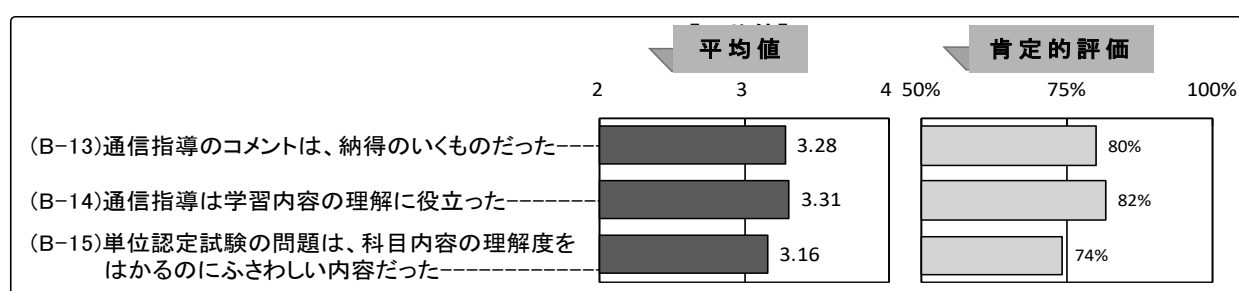
（５）通信指導・単位認定試験

最後に通信指導・単位認定試験の評価について、項目ごとに見ていく。

通信指導については（図２－４４）、（B-13）「通信指導のコメントは、納得のいくものだった」が平均値 3.28、肯定的評価 80%、（B-14）「通信指導は学習内容の理解に役立った」が平均値 3.31、肯定的評価 82%と、いずれも高い評価を得ている。

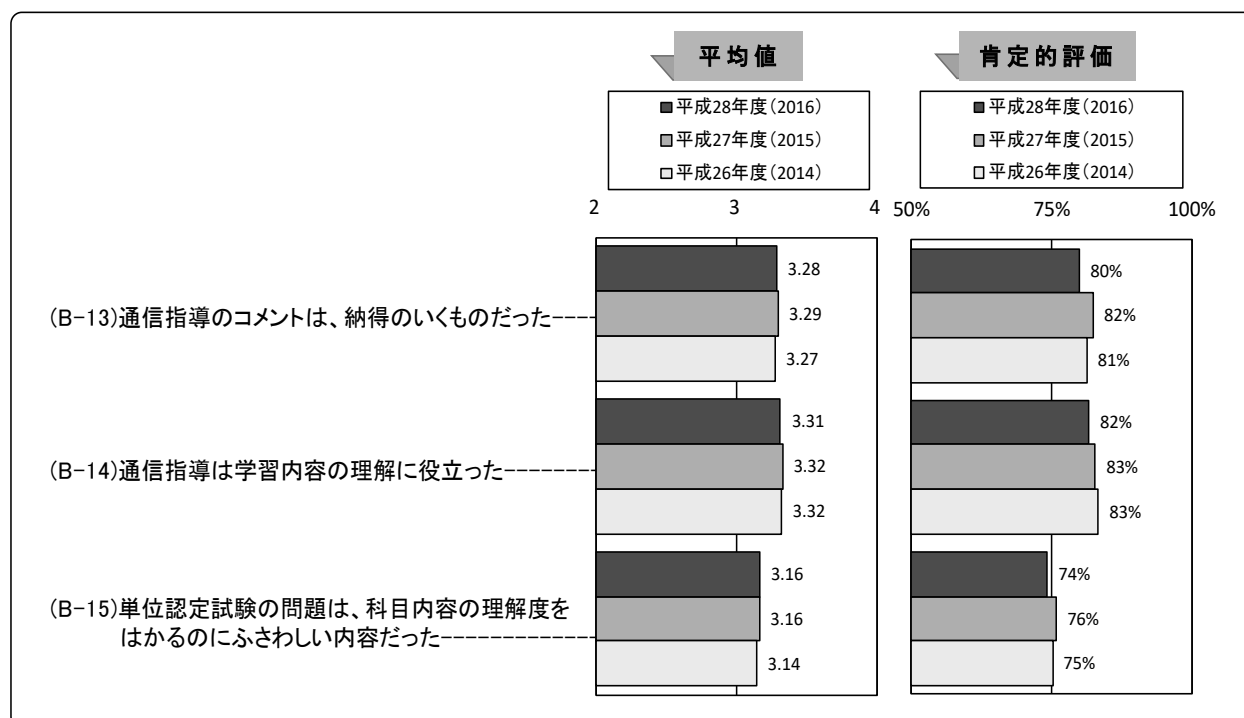
単位認定試験については、（B-15）「単位認定試験の問題は科目内容の理解度ををはかるのにふさわしい内容だった」が平均値 3.16、肯定的評価 74%と比較的评价が低い。

図２－４４【学部】回答者全体の通信指導・単位認定試験の評価



通信指導・単位認定試験の評価を時系列で見ると（図２－４５）、総じてほぼ同じ水準を保っている。

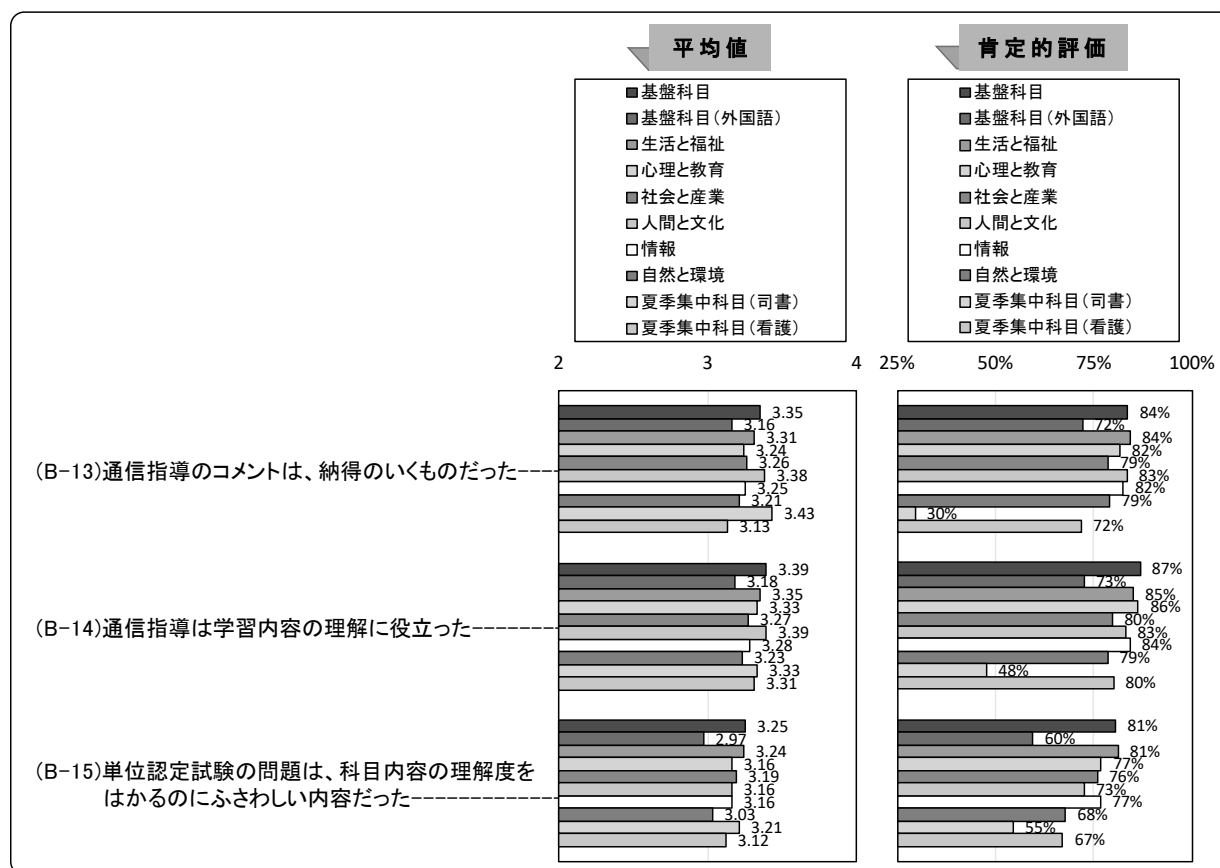
図２－４５【学部】回答者全体の通信指導・単位認定試験の評価（時系列）



所属コース別に通信指導・単位認定試験の評価を見ると（図 2－4 6）、総じて「基盤科目」「生活と福祉」「人間と文化」「夏季集中科目（司書）」の評価が高い。

一方、全ての項目において「基盤科目（外国語）」の評価は相対的に低い。自由記述などの内容を精査し、原因を読み取り改善すべきであろう。

図 2－4 6 【学部】所属コース別の通信指導・単位認定試験の評価



単位認定試験の評価が低いことに関しては、放送授業との関連が考えられる。「放送教材と印刷教材の両方で学習した」学生が 59%、「ほとんど印刷教材の学習だけで臨んだ」学生が 30%であったことを考えると、放送教材と印刷教材の連動性や、放送授業への呼び込みに改善が求められる。

Ⅱ－１－４．参考

ここでは評価項目間の相関を見ることによって、より深く授業改善の糸口を探っていくことにする。分析には主にピアソンの単相関係数（以下、相関係数）を用いた。相関係数については巻末の参考資料を参照されたい。

ただし、相関係数による分析では、変数間の共変関係は分かっても、因果関係（つまりどちらが原因となる変数で、どちらが結果かということ）は分からないのが普通である。以下の分析ではそのことを十分留意していただきたい。

この分析では、「いずれの項目を基準に、いずれの項目との相関を見るのか？」ということが分析において重要である。概して、総合的な評価は個別の評価を考慮してなされることを前提として、総合評価を基準にそのような評価となった個別評価はいずれの項目か、という観点から総合評価と個別評価との関係を見ていくことにしよう。

（表２－２）は、放送授業の各評価項目と（A-2）「放送授業を十分に視聴した」（放送授業への取組姿勢）を元にした放送授業の各項目との相関の分析と、（B-7）「放送授業は教材としてよくできていると感じた」（放送授業の総合評価）を元にした放送授業の各項目との相関の分析を並べたものである。

表２－２ 【学部】放送授業と各項目との単相関係数

	(A-2) 放送授業を十分に 視聴した	(B-7) 放送授業は教材と してよくできていると 感じた
(A-2) 放送授業を十分に視聴した	1.000	0.408
(B-1) 放送授業の難易度は適切だった	0.410	0.610
(B-2) 放送授業の内容は適切な分量であった	0.418	0.625
(B-5) 講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった	0.417	0.772
(B-6) 講師の熱意が十分に伝わった	0.445	0.708
(B-7) 放送授業は教材としてよくできていると感じた	0.408	1.000
(B-8) 【TV】テレビの特性が十分に生かされていると感じた 【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた	0.395	0.685

これを見ると、(A-2)「放送授業を十分に視聴した」(放送授業への取組姿勢)と(B-7)「放送授業は教材としてよくできていると感じた」(放送授業の総合評価)の相関係数は0.408と、相関は見られるものの、弱い相関となっている。つまり放送授業の取組姿勢は放送授業の評価とは、あまり関連性が強くない事を示している。

それに比べ、放送授業の総合評価である(B-7)「放送授業は教材としてよくできていると感じた」と各項目の相関は軒並み高く、特に(B-5)「講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった」、(B-6)「講師の熱意が十分に伝わった」の相関係数は0.7を越え、極めて強い相関となっている。

次に、(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」(印刷教材への取組姿勢)を基準に印刷教材に関する各評価項目との相関係数を求めた結果と、(B-12)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」(印刷教材の総合評価)を基準に印刷教材に関する各評価項目との相関係数を求めた結果を並べたものが(表2-3)である。

表 2 - 3 【学部】印刷教材と各項目との単相関係数

	(A-3) 印刷教材を熱心に学習した	(B-12) 印刷教材は教材としてよくできていると感じた
(A-3) 印刷教材を熱心に学習した	1.000	0.280
(B-3) 印刷教材の難易度は適切だった	0.312	0.584
(B-4) 印刷教材の内容は適切な分量であった	0.317	0.565
(B-9) 印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった	0.250	0.573
(B-10) 印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった	0.300	0.763
(B-11) 図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った	0.224	0.693
(B-12) 印刷教材は教材としてよくできていると感じた	0.280	1.000

これを見ると、やはり取組姿勢と評価の間にはあまり強い相関はない。

一方、(B-12)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」(印刷教材の総合評価)と印刷教材の各評価項目とでは相関は強い。特に(B-10)「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」と(B-11)「図表や写真などが適切に用いられ内容の理解に役立った」は強い相関が見られる。

最後に(A-1)「全体としてこの科目の学習に熱心に取り組んだ(熱心度)」と、(B-19)「この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)」、(B-20)「この科目の内容には全体として満足している(満足度)」の3項目をそれぞれ基準として各評価項目の相関係数を見たのが表2-4である。

表 2 - 4 【学部】取組姿勢・全体評価と各項目との単相関係数

		(A-1) 全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ(熱心度)	(B-19) この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)	(B-20) この科目の内容には全体として満足している(満足度)
取組姿勢	(A-1) 全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ(熱心度)	1.000	0.449	0.421
	(A-2) 放送授業を十分に視聴した	0.589	0.320	0.299
	(A-3) 印刷教材を熱心に学習した	0.665	0.398	0.348
授業の難易度・分量	(B-1) 放送授業の難易度は適切だった	0.370	0.554	0.566
	(B-2) 放送授業の内容は適切な分量であった	0.351	0.510	0.550
	(B-3) 印刷教材の難易度は適切だった	0.324	0.599	0.607
	(B-4) 印刷教材の内容は適切な分量であった	0.325	0.549	0.581
放送授業	(B-5) 講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった	0.338	0.546	0.613
	(B-6) 講師の熱意が十分に伝わった	0.335	0.439	0.518
	(B-7) 放送授業は教材としてよくできていると感じた	0.331	0.508	0.607
	(B-8) 【TV】テレビの特性が十分に生かされていると感じた 【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた	0.302	0.476	0.530
印刷教材	(B-9) 印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった	0.309	0.475	0.531
	(B-10) 印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった	0.311	0.616	0.630
	(B-11) 図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った	0.262	0.490	0.525
	(B-12) 印刷教材は教材としてよくできていると感じた	0.296	0.562	0.639
単位認定試験・通信指導	(B-13) 通信指導のコメントは、納得のいくものだった	0.280	0.426	0.493
	(B-14) 通信指導は学習内容の理解に役立った	0.310	0.480	0.550
	(B-15) 単位認定試験の問題は、科目内容の理解度ををはかるのにふさわしい内容だった	0.269	0.512	0.569
全体評価	(B-16) 授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った	0.342	0.533	0.621
	(B-17) 学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった	0.431	0.628	0.741
	(B-18) 新しい知識が身につく視野が広がった	0.434	0.605	0.700
	(B-19) この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)	0.449	1.000	0.758
	(B-20) この科目の内容には全体として満足している(満足度)	0.421	0.758	1.000

まず、全体的な熱心度（取組姿勢）を見ると、取組姿勢に関する評価項目に関しては高い相関を示しているが、他評価項目との相関は非常に弱い。理解度と 0.449、満足度とは 0.421 の相関係数であり、熱心度と理解度・満足度との間の相関も決して強くない。

一方、理解度と満足度の相関係数は 0.758 と強い相関が見られ、理解度が高いと満足度も高いと言える。尚、これまでの分析で注意すべき点は、「相関が強い」ということはすなわち「評価が高い」ということにはならないことである。つまり、元となる項目と低い評価が一致するところが多いため相関が強くなった、というケースも考えられるのである。

従って、改善点を洗い出す方法としては、次のアプローチが有効である。

- (1) 母集団から、評価の元になる項目で低い評価を出している標本を新たな母集団として抽出する
- (2) 新たな母集団で、評価の元になる項目と各項目の相関係数を求める。
- (3) その相関が強いということは、その項目は評価の元になる項目の評価が低い原因となっていると考えられる。

このようにして改善すべき項目を絞り込む。

このアプローチで放送授業について分析した結果が次頁の表 2－5 である。

表2-5【学部】放送授業と各項目との相関係数

		(B-7) 放送授業は教材としてよくできていると感じた (評価1または2)
取組姿勢	(A-1) 全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ(熱心度)	0.061
	(A-2) 放送授業を十分に視聴した	0.270
	(A-3) 印刷教材を熱心に学習した	0.053
授業の難易度・分量	(B-1) 放送授業の難易度は適切だった	0.309
	(B-2) 放送授業の内容は適切な分量であった	0.354
	(B-3) 印刷教材の難易度は適切だった	0.045
	(B-4) 印刷教材の内容は適切な分量であった	0.075
放送授業	(B-5) 講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった	0.510
	(B-6) 講師の熱意が十分に伝わった	0.445
	(B-7) 放送授業は教材としてよくできていると感じた	1.000
	(B-8) 【TV】テレビの特性が十分に生かされていると感じた 【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた	0.414
印刷教材	(B-9) 印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった	0.388
	(B-10) 印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった	0.149
	(B-11) 図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った	0.186
	(B-12) 印刷教材は教材としてよくできていると感じた	0.162
単位認定試験・通信指導	(B-13) 通信指導のコメントは、納得のいくものだった	0.139
	(B-14) 通信指導は学習内容の理解に役立った	0.145
	(B-15) 単位認定試験の問題は、科目内容の理解度をはかるのにふさわしい内容だった	0.123
全体評価	(B-16) 授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った	0.155
	(B-17) 学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった	0.221
	(B-18) 新しい知識が身につく視野が広がった	0.178
	(B-19) この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)	0.119
	(B-20) この科目の内容には全体として満足している(満足度)	0.184

表から読み取れるのは、講師に関する項目の値が高い場合、放送授業に対する評価の低さと強い相関にあると考えられる。特に（B-5）「講師の説明はポイントをおさえ、わかりやすかった」が 0.510 と強い相関を示している。つまり、放送授業の評価に関しては、良くも悪くも「講師の説明」が強く関わっていることを示している。同じように、相関係数の高い項目に改善のポイントがあると推察できる。

次に、印刷教材についても同様の分析を行ったのが（表 2－6）である。

表 2－6 【学部】印刷教材と各項目との相関係数

		(B-12)印刷教材は教材としてよくできていると感じた (評価1または2)
取組姿勢	(A-1)全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ(熱心度)	0.092
	(A-2)放送授業を十分に視聴した	0.127
	(A-3)印刷教材を熱心に学習した	0.074
授業の 分量 の 難易度・	(B-1)放送授業の難易度は適切だった	0.248
	(B-2)放送授業の内容は適切な分量であった	0.238
	(B-3)印刷教材の難易度は適切だった	0.266
	(B-4)印刷教材の内容は適切な分量であった	0.240
放送 授業	(B-5)講師の説明はポイントをおさえ、わかりやすかった	0.344
	(B-6)講師の熱意が十分に伝わった	0.286
	(B-7)放送授業は教材としてよくできていると感じた	0.324
	(B-8)【TV】テレビの特性が十分に生かされていると感じた 【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた	0.216
印刷 教材	(B-9)印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった	0.283
	(B-10)印刷教材の内容は明確で説明もわかりやすかった	0.477
	(B-11)図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った	0.422
	(B-12)印刷教材は教材としてよくできていると感じた	1.000
単位 認定 試験・	(B-13)通信指導のコメントは、納得のいくものだった	0.339
	(B-14)通信指導は学習内容の理解に役立った	0.326
	(B-15)単位認定試験の問題は、科目内容の理解度ををはかるのにふさわしい内容だった	0.302
全体 評価	(B-16)授業科目内はこの科目の内容を知る上で役に立った	0.285
	(B-17)学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった	0.368
	(B-18)新しい知識が身につく視野が広がった	0.338
	(B-19)この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)	0.340
	(B-20)この科目の内容には全体として満足している(満足度)	0.396

この結果から読み取れるのは、「印刷教材の内容は必ずしも明確ではなかった／説明も必ずしも分かりやすくなかった」「図表や写真などが必ずしも適切に用いられていなかった／必ずしも内容の理解に役に立たなかった」と感じている学生が、印刷教材の評価を低くする要因となっている可能性も高いということである。

なぜか講師の項目ともある程度の相関が見られるが、授業というものは放送・印刷教材の両方で受けるものなので、アンケートで評価を下すにあたっては必ずしも放送授業・印刷教材という区分で分けられないケースもあるのではないかと推察される。

Ⅱ－２．大学院の分析結果

Ⅱ－２－１．項目平均から見た全体的傾向

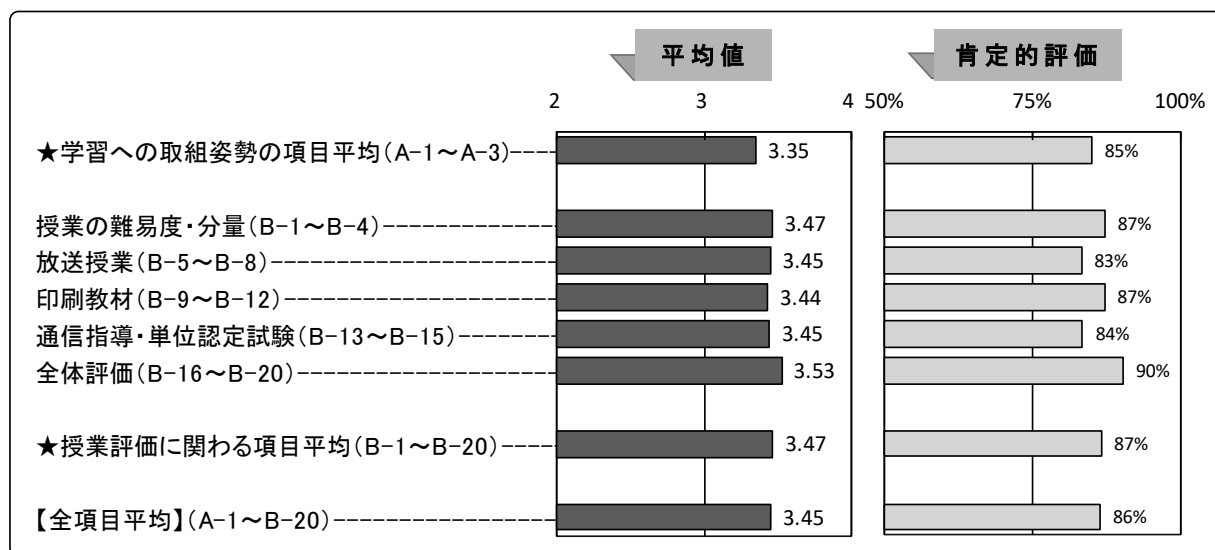
ここからは大学院科目の評価結果を見ていく。大学院の回答者全体について、評価項目の内容ごとにその平均を算出したのが（図２－４７）である。まずこれによって評価の全体的傾向を把握しておくこととする。

項目平均を全体的に見ると、やはり大学院は学部生に比べて取組姿勢・授業評価がやや高く、違った傾向がうかがえる。

『学習への取組姿勢の項目平均』は平均値が 3.35、肯定的評価（「あてはまる」＋「ややあてはまる」）が 85%であり、『授業評価に関わる項目平均』も平均値が 3.47、肯定的評価が 87%と高い値を示している。高い意識で学習に取り組んでいること、また授業に対する評価が高いことが特徴的である。

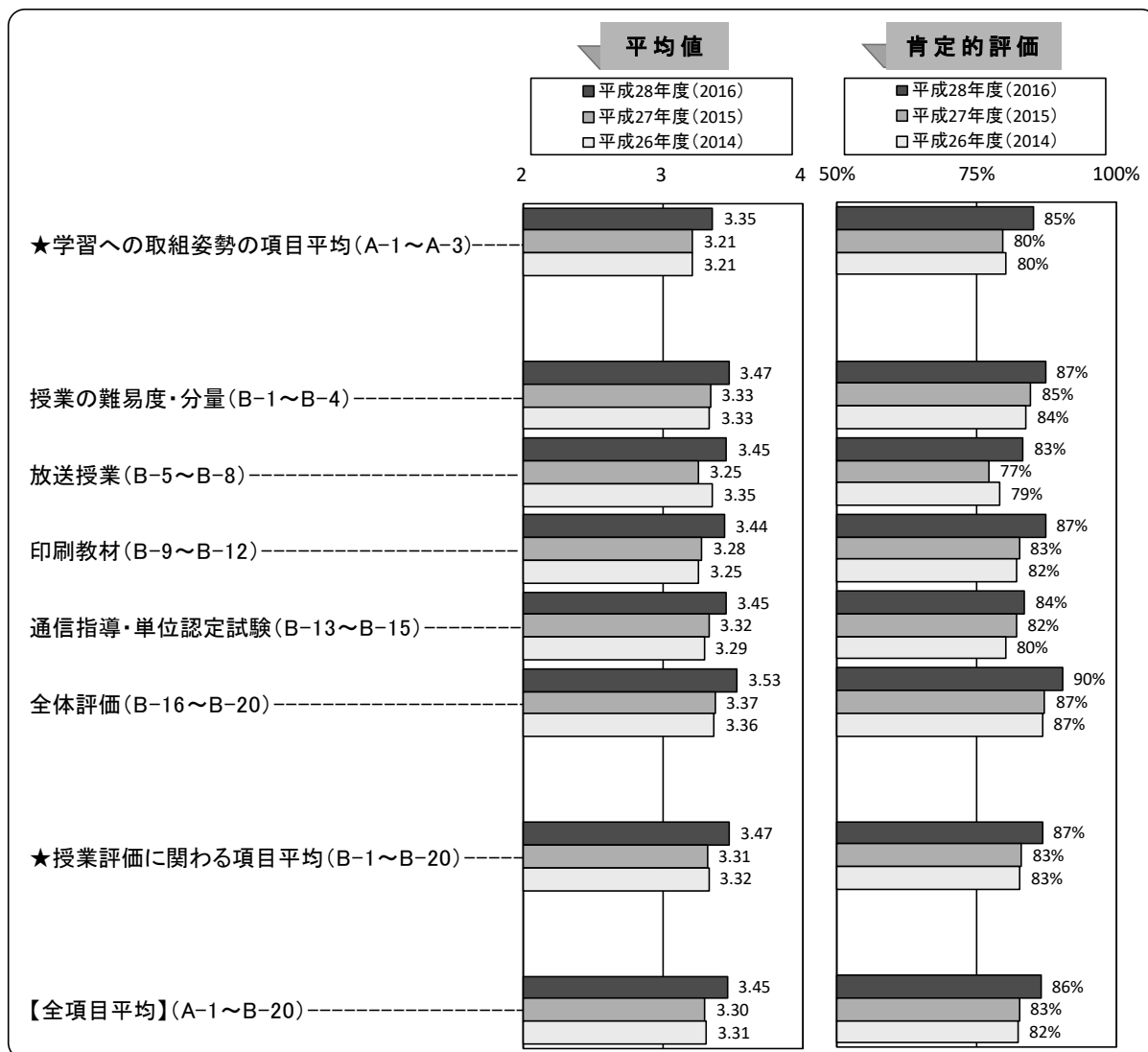
『授業評価に関わる項目平均』を内容ごとに見ると、『全体評価』は平均値 3.53、肯定的評価 90%と評価が高い。しかし『放送授業』『通信指導・単位認定試験』は平均値が高いが、肯定的評価では他の項目に比べてやや低い割合となっている。

図２－４７ 【大学院】項目平均による全体的傾向



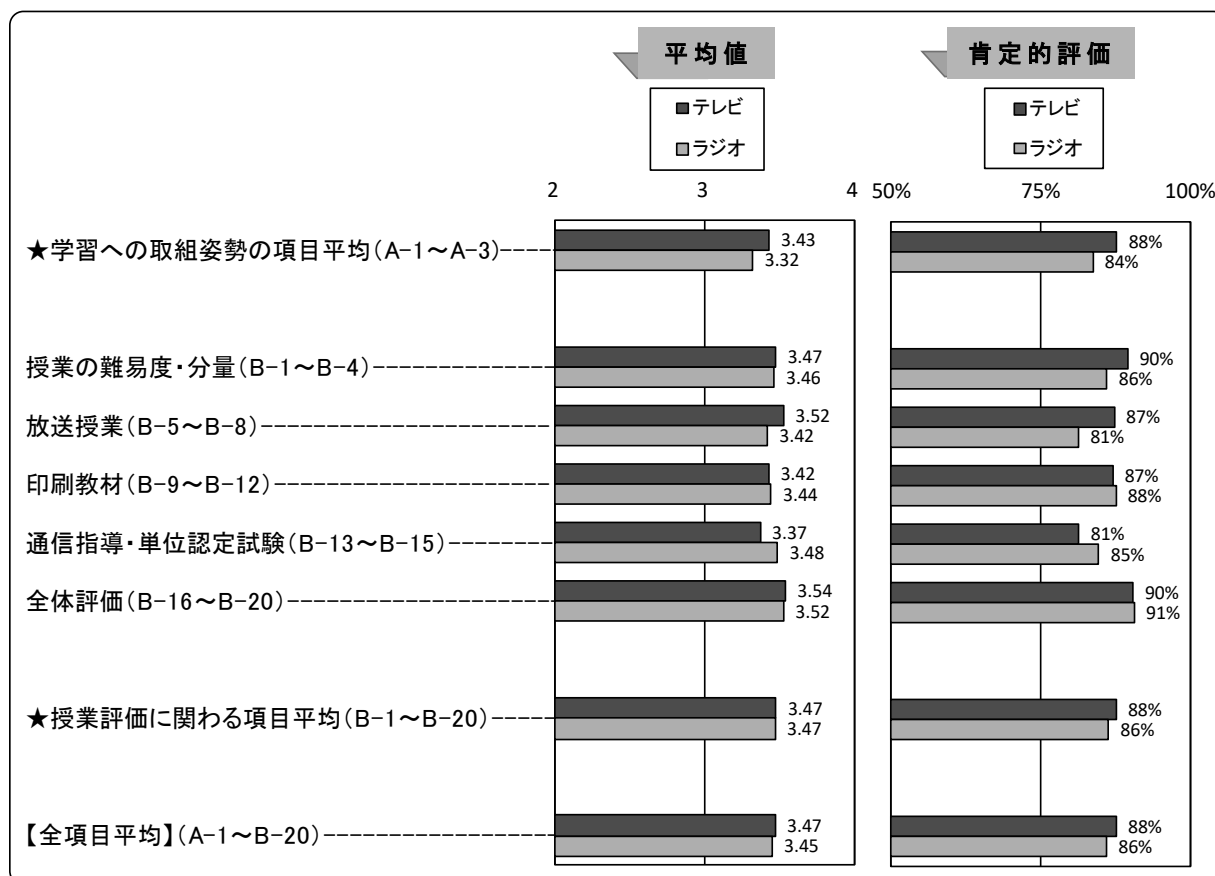
項目平均を科目の開設年度で比較してみると（図２－４８）、2016 年度新規開設科目は、2015 年度新規開設科目に比べ、『学習への取組姿勢の項目平均』を時系列で見た場合は平均値、肯定的評価ともに大幅に上がっている。その他の全ての項目でも上がっており、放送授業の上昇幅が一番大きい。

図２－４８ 【大学院】項目平均による全体的傾向（開設年度比較）



メディア別に 2016 年度新規開設科目の項目平均を見ると（図 2－49）、『学習への取組姿勢の項目平均』はテレビ科目の方が高く、『授業評価に関わる項目平均』はテレビ科目もラジオ科目も同じ水準となっている。授業評価に関わる項目の中では、『放送授業』はテレビ科目、『通信指導・単位認定試験』はラジオ科目の方の評価が高い。

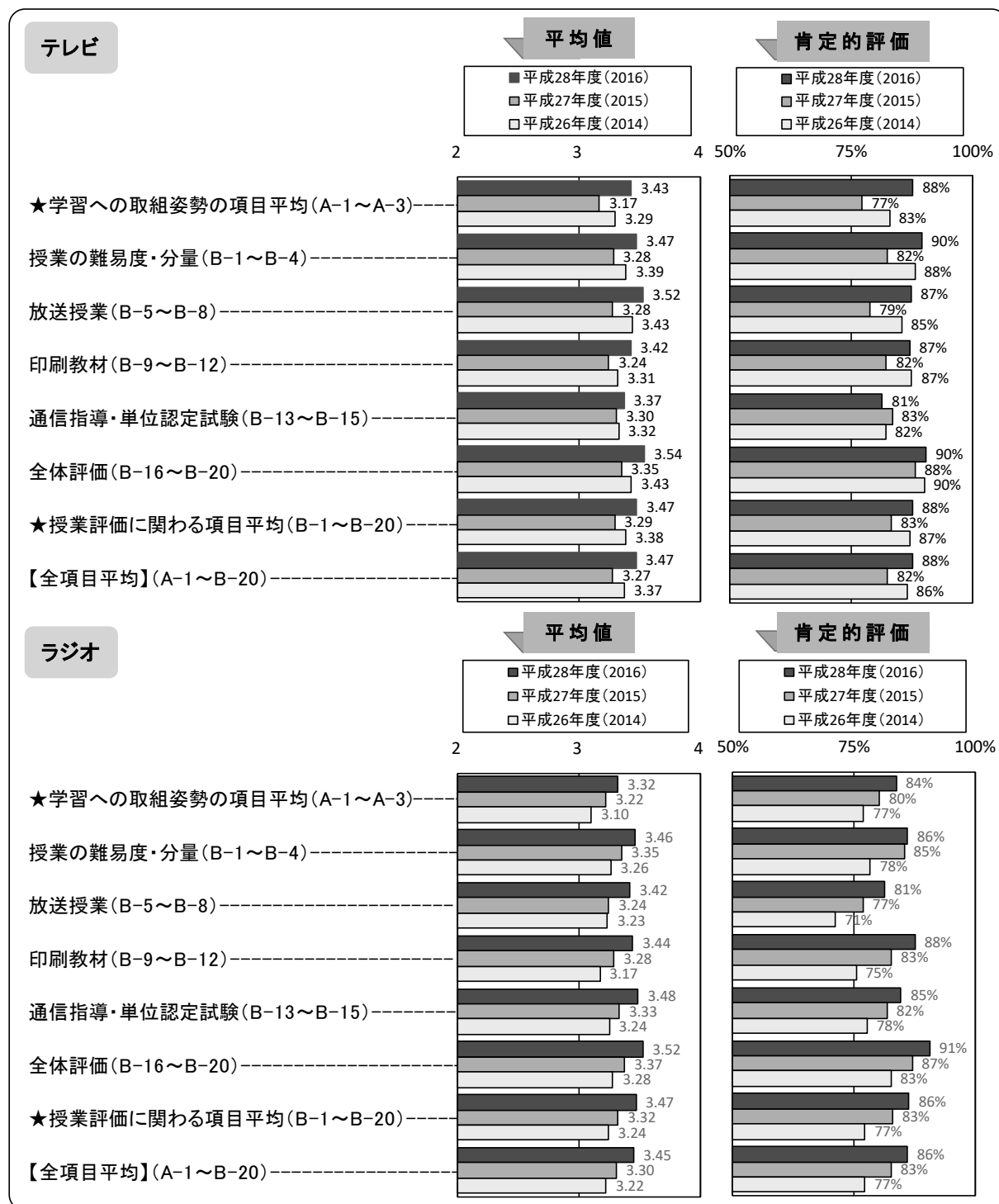
図 2－49 【大学院】項目平均によるメディア別全体的傾向



メディア別の項目平均を科目の開設年度で比較すると（図2-50）、2016年度新規開設科目では、2015年度新規開設科目に比べ、テレビ科目は『学習への取組姿勢の項目平均』も『授業評価に関わる項目平均』も大きく上回っている。

ラジオ科目では平均値も肯定的評価も年々上昇傾向である。

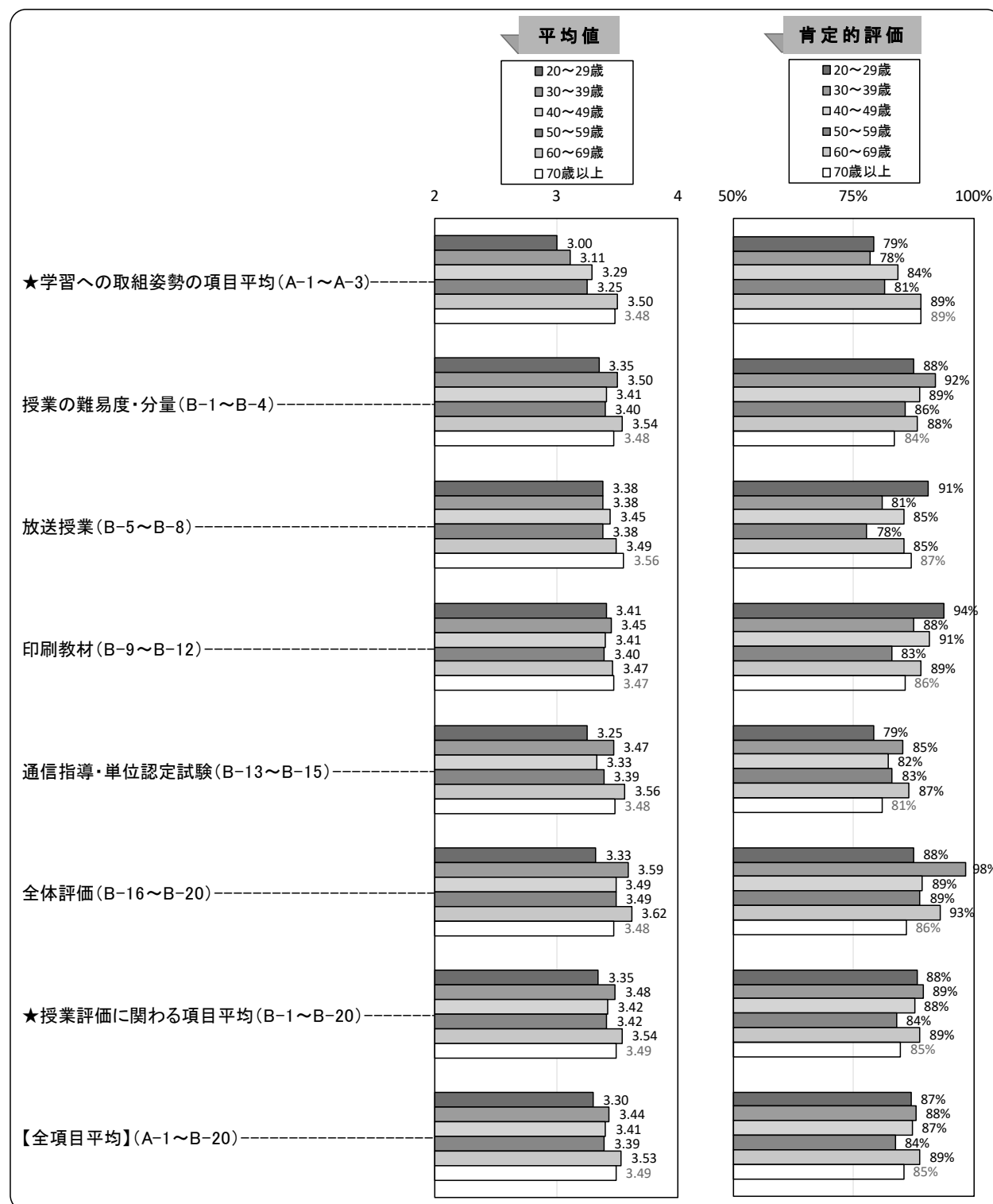
図2-50 【大学院】項目平均によるメディア別全体的傾向（開設年度比較）



回答者の年齢階層別で 2016 年度新規開設科目の項目平均を見ると（図 2－5 1）、ほとんどの項目において 60 歳代および 70 歳以上が高い傾向にある。

30 歳代では『学習への取組姿勢の項目平均』の評価が低くなっている。（20～29 歳はサンプル数が 8 と少ないので参考値とする。以下同様）

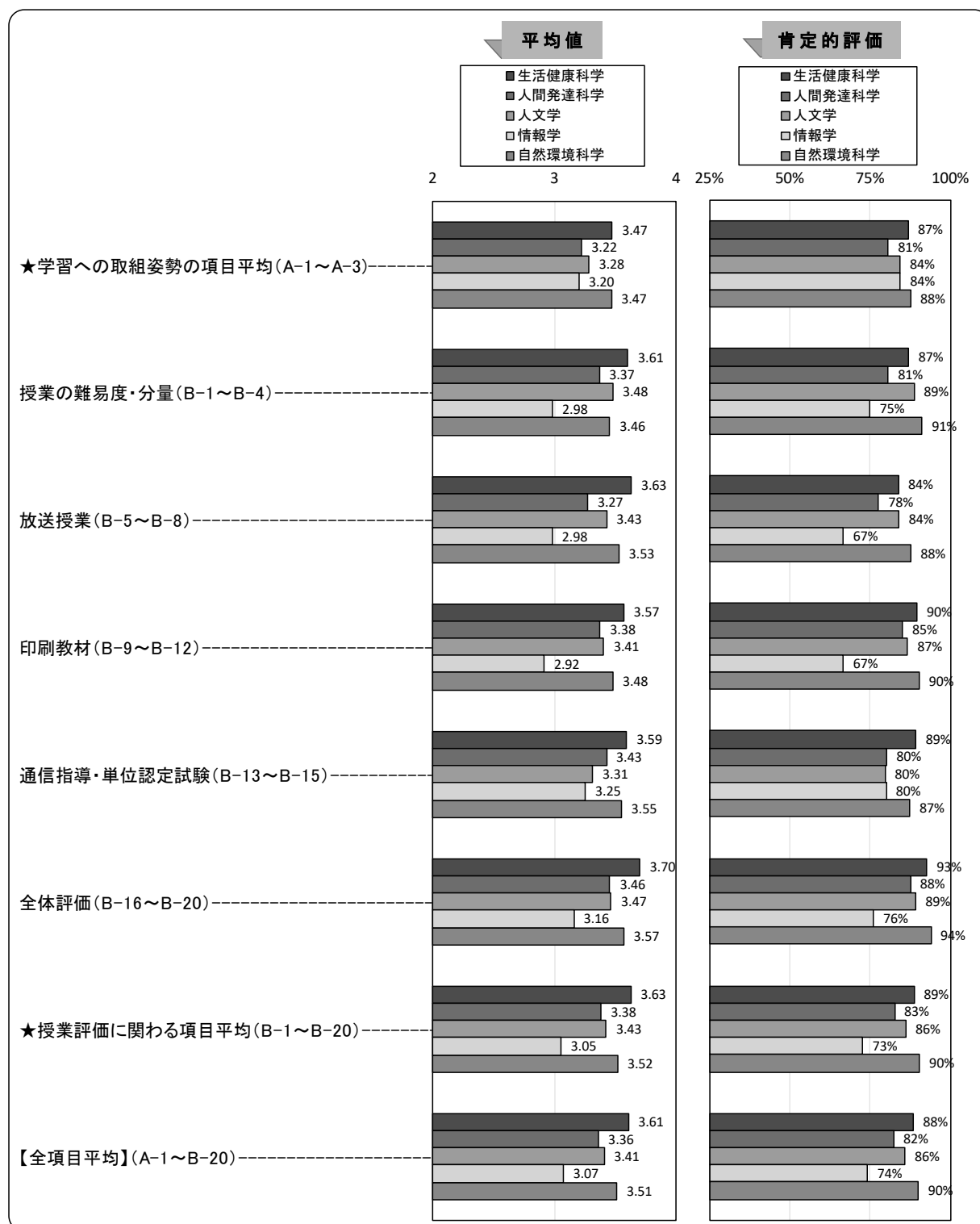
図 2－5 1 【大学院】項目平均による年齢階層別全体的傾向



科目の所属プログラム別に項目平均を見ると（図２－５２）、全ての項目で「生活健康科学」、「自然環境科学」の値が極めて高くなっている。

上記２プログラムよりは劣るが「人文学」も高い値となっており、「人間発達科学」も決して低い値ではない。（「情報学」はサンプル数が１５と少ないので参考値とする。以下同様）

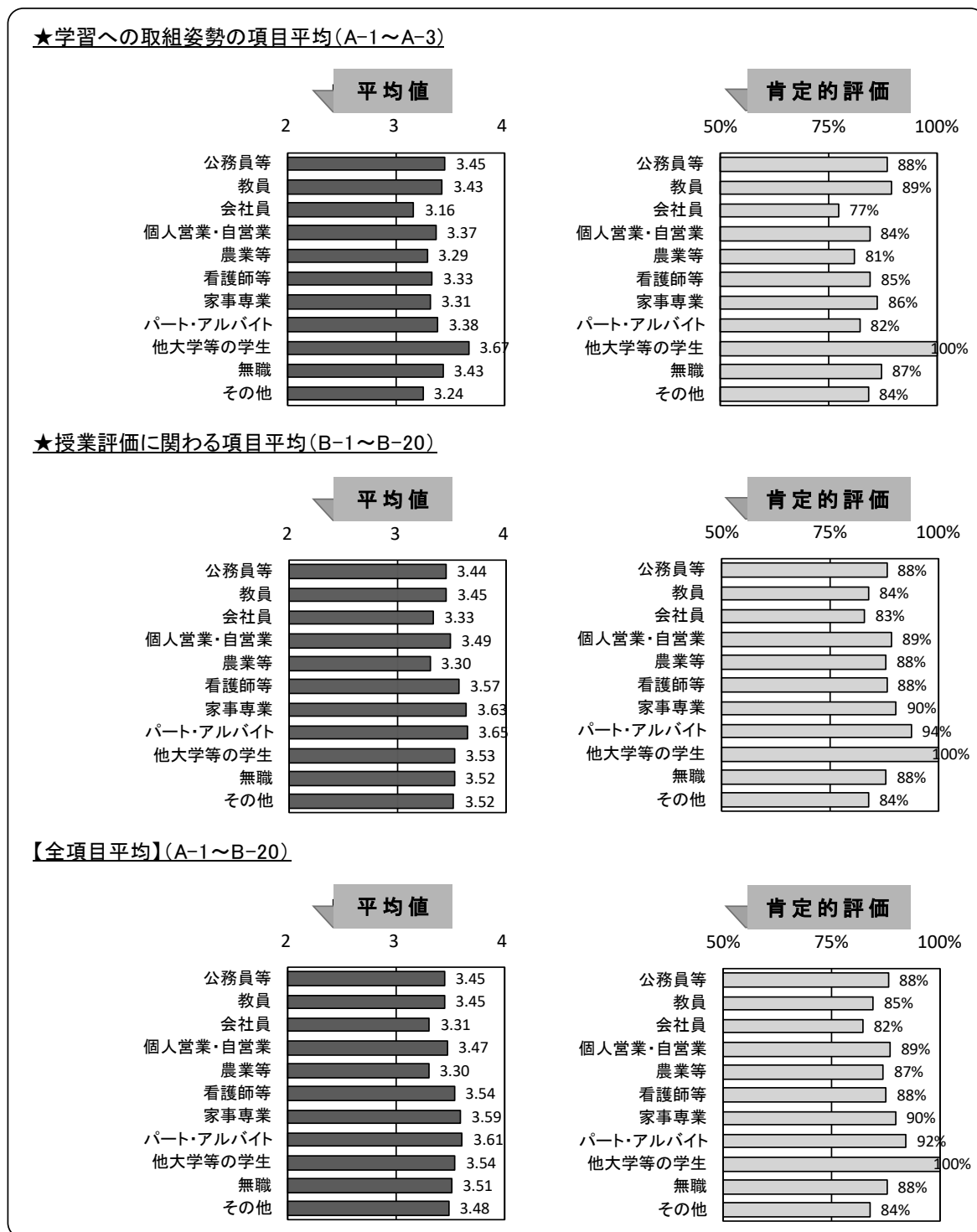
図２－５２ 【大学院】項目平均による所属プログラム別全体的傾向



職業別に項目平均を見ると（図２－５３）、『学習への取組姿勢の項目平均』は「公務員等」「教員」「無職」で評価が高く、「会社員」でやや低くなっている。

『授業評価に関わる項目平均』は、どの職業も高い水準になっており、「会社員」の評価が他に比べればやや低めだが、決して低い水準ではない。（サンプル数が少ない「農業党」（7）、「看護師等」（13）、「家事専業」（17）、「他大学等の学生」（2）、「その他」（21）は参考値とする。以下同様）

図２－５３ 【大学院】項目平均による職業別全体的傾向

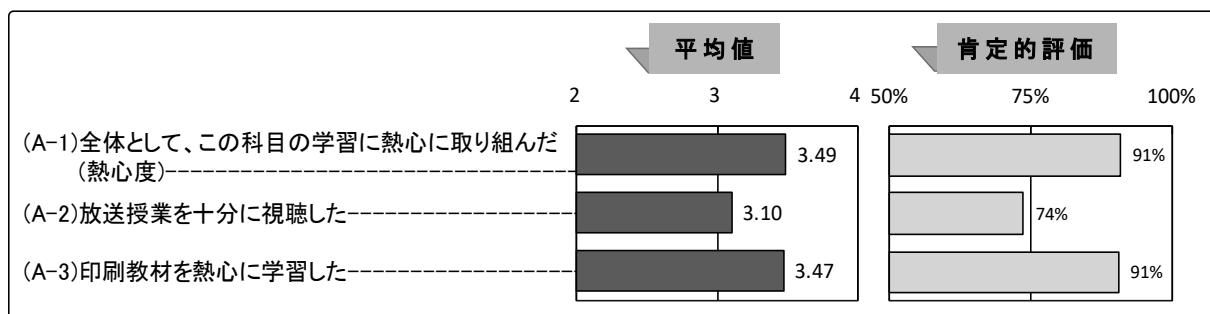


Ⅱ－２－２．学習への取組姿勢

ここからはそれぞれ評価項目ごとに調査結果を見ていく。

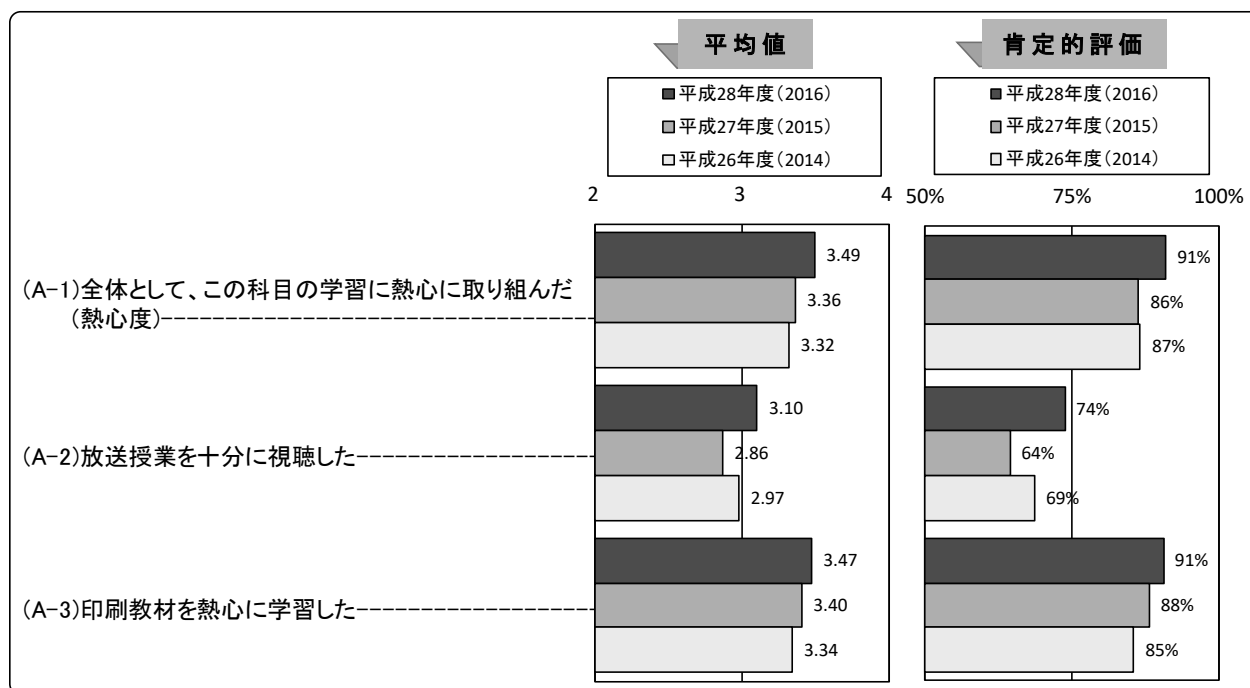
学習への取組姿勢（図２－５４）では、(A-1)「全体としてこの科目の学習に熱心に取り組んだ（熱心度）」は、平均値 3.49、肯定的評価 91%で、熱心に学習されている。同様に (A-3)「印刷教材を熱心に学習した」も平均値 3.47、肯定的評価 91%と高い。しかしこれらに比べると、(A-2)「放送授業を十分に視聴した」は、平均値 3.10、肯定的評価 74%と低くなっている。学部と同様、全体としては熱心に学習に取り組んでいるものの、印刷教材での学習が中心となっている。印刷教材に比べ放送授業の視聴度合いがよくないのは、時間的な制約も考えられるが、放送授業の内容そのものが影響しているとも考えられるので、今後もより興味・関心を引く講義への改善努力を進めるべきであろう。

図２－５４ 【大学院】回答者全体の取組姿勢



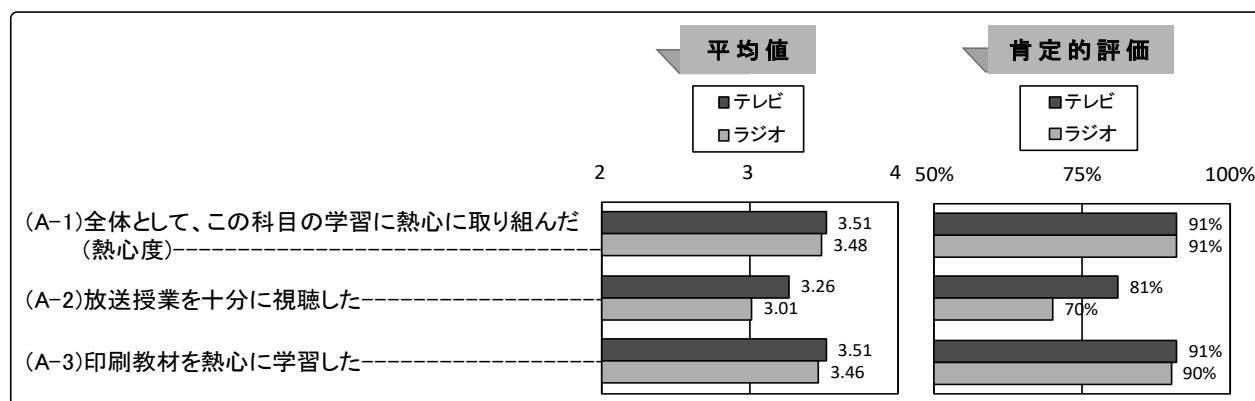
学習への取組姿勢を時系列で見ると（図 2－5 5）、平均値・肯定的評価において各項目とも 2015 年を上回っている。しかし、(A-2)「放送授業を十分に視聴した」の評価は低い水準にとどまっている。

図 2－5 5 【大学院】回答者全体の取組姿勢（時系列）



メディア別の取組姿勢を見ると（図 2－5 6）、3 項目ともテレビ科目の方がラジオ科目より高く、(A-2)「放送授業を十分に視聴した」での差が大きい。前年度はテレビ科目とラジオ科目の視聴度は同等の数字であったので、自由回答等から原因を探る必要がある。今後もテレビ科目、ラジオ科目ともに授業内容の見直し等を行うことにより、放送授業の視聴を上げていく必要があるだろう。

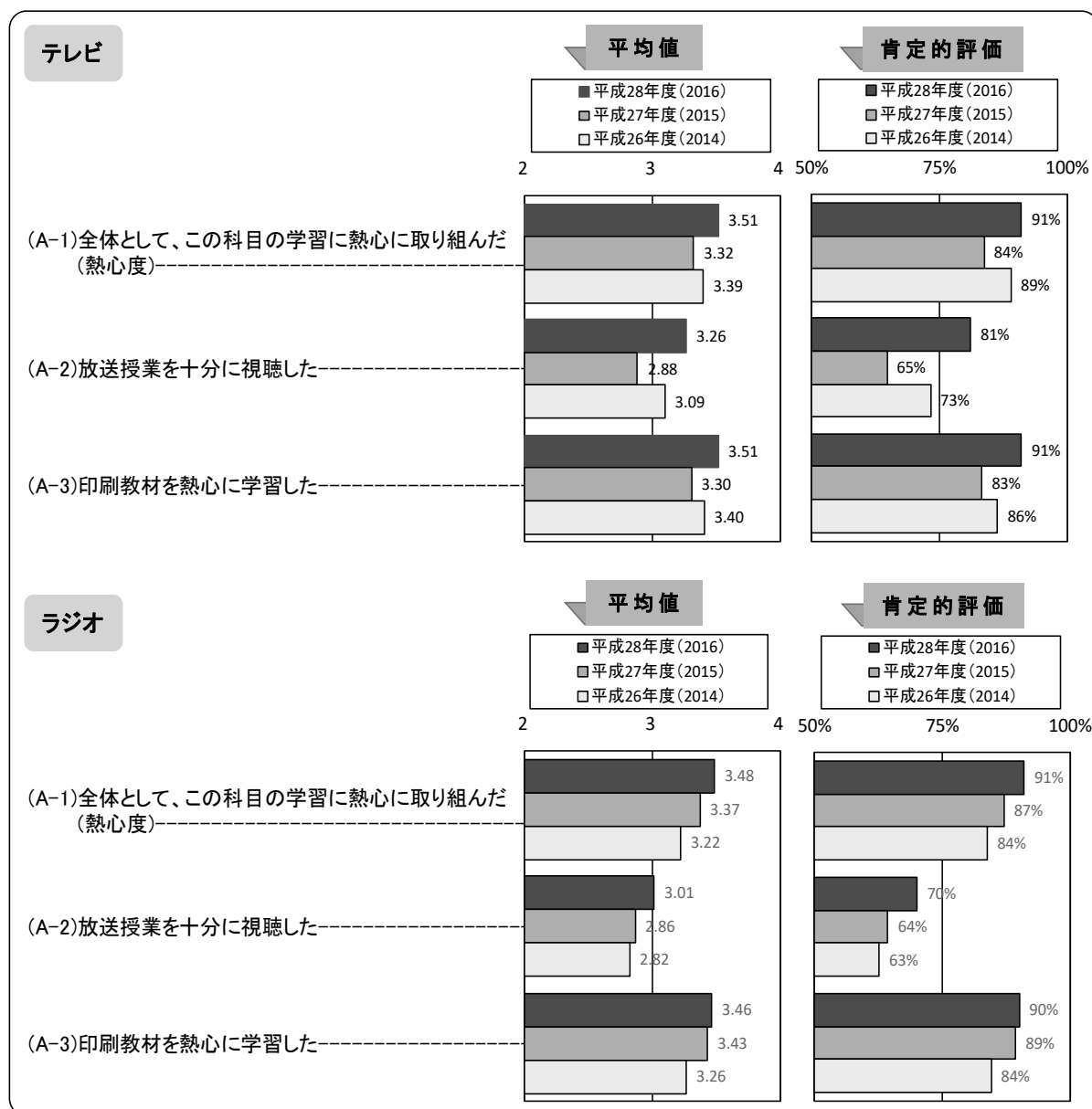
図 2－5 6 【大学院】メディア別の取組姿勢



メディア別の取組姿勢を時系列で見ると(図2-57)、2016年度新規開設科目では、テレビ科目、ラジオ科目ともいずれの項目でも2015年度新設科目を上回る評価となっている。

特に評価が上昇したのはテレビ科目の(A-2)「放送授業を十分に視聴した」である。

図2-57 【大学院】メディア別の取組姿勢(時系列)

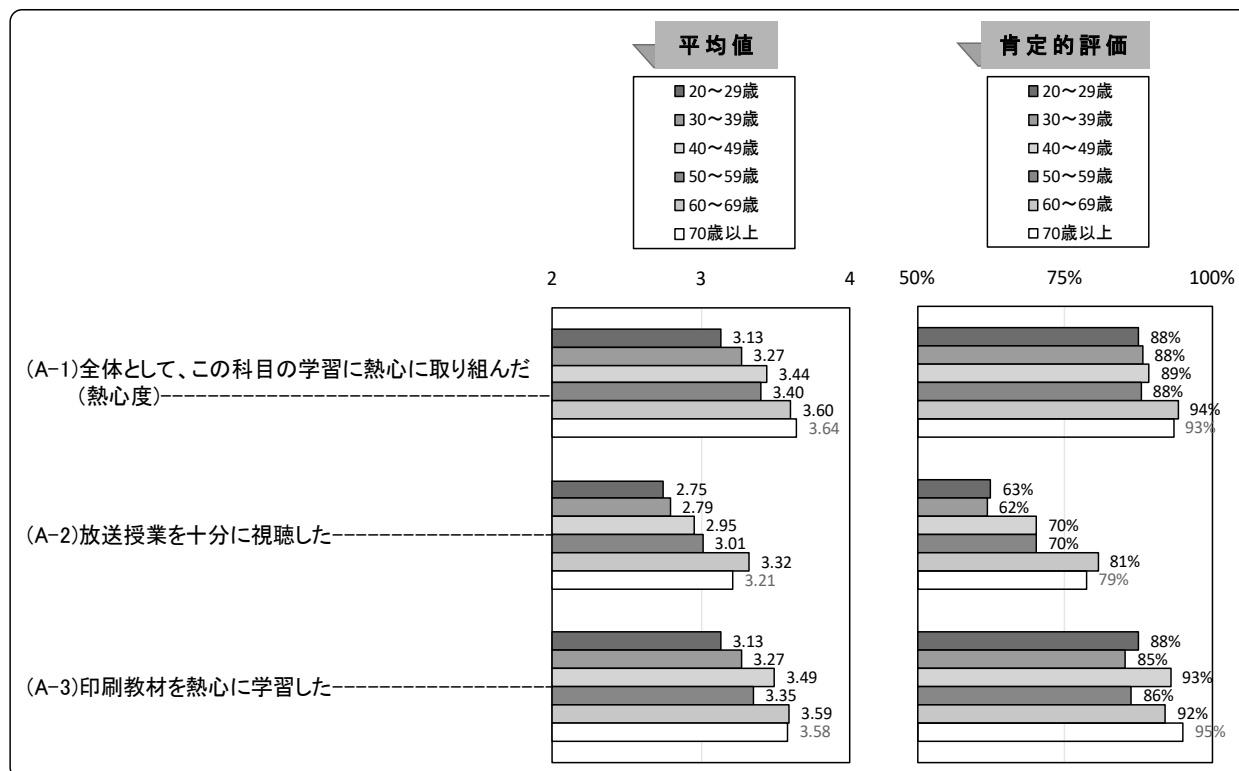


年齢階層別に取り組姿勢を見ると（図２－５８）、各項目とも概ね年齢層が高いほど評価が高くなる傾向がうかがわれる。

（A-2）「放送授業を十分に視聴した」では 50 歳代以下の評価が低く、40 歳代以下では 3 を下回っている。

放送授業と印刷教材を比べると、総じて全ての年齢階層で学習の重心は印刷教材に寄っていることがうかがえる。

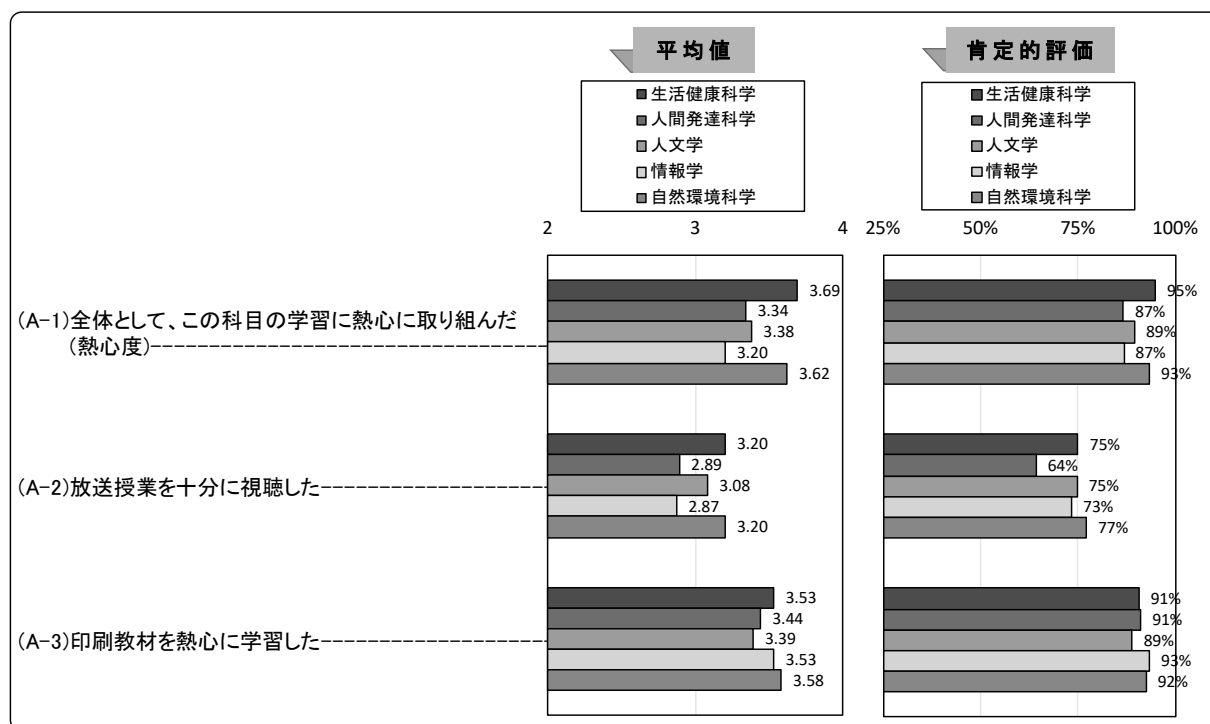
図 2－58 【大学院】年齢階層別に取り組姿勢



所属プログラム別に取り組姿勢を見ると（図２－５９）、(A-1)「全体としてこの科目の学習に熱心に取り組んだ（熱心度）」では「生活健康科学」と「自然環境科学」で平均値・肯定的評価が高い。(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」においては全てのプログラムで肯定的評価が90%前後の高い値を示している。

一方、「人間発達科学」はいずれの項目でも他と比べて評価が低く、(A-2)「放送授業を十分に視聴した」に至っては肯定的評価が64%にしか過ぎないので、原因の解明と改善策が求められる。

図２－５９ 【大学院】所属プログラム別の取組姿勢

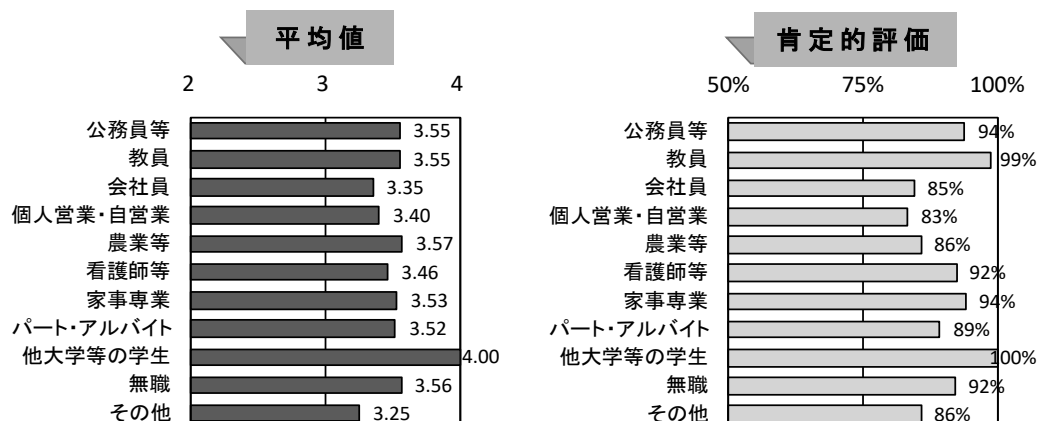


職業別に取り組姿勢を見ると（図２－６０）、(A-1)「全体としてこの科目の学習に熱心に取り組んだ（熱心度）」では全体的に評価が高い。(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」でもいずれの職業も取り組姿勢は一定の高い水準を示している。

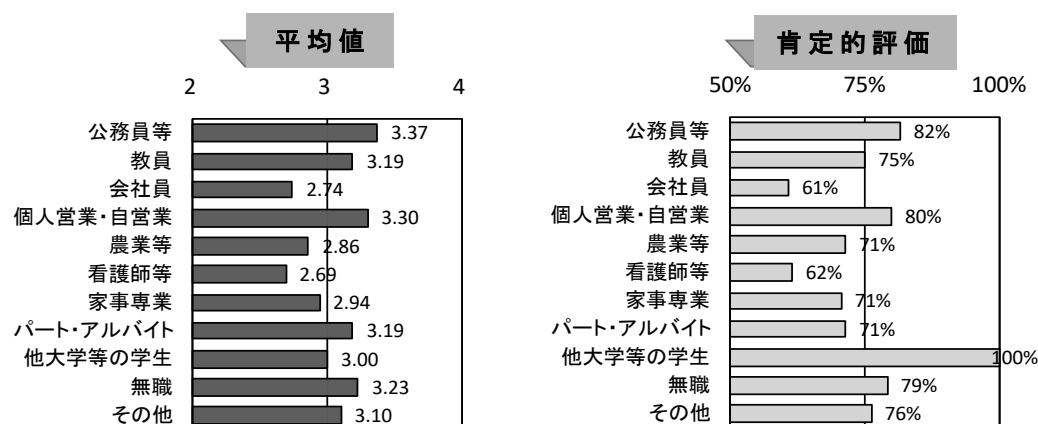
(A-2)「放送授業を十分に視聴した」では、総じて低めの値であり、「会社員」では3を下回っているが、「公務員」「個人営業・自営業」「無職」では評価がやや高めである。

図２－６０【大学院】職業別に取り組姿勢

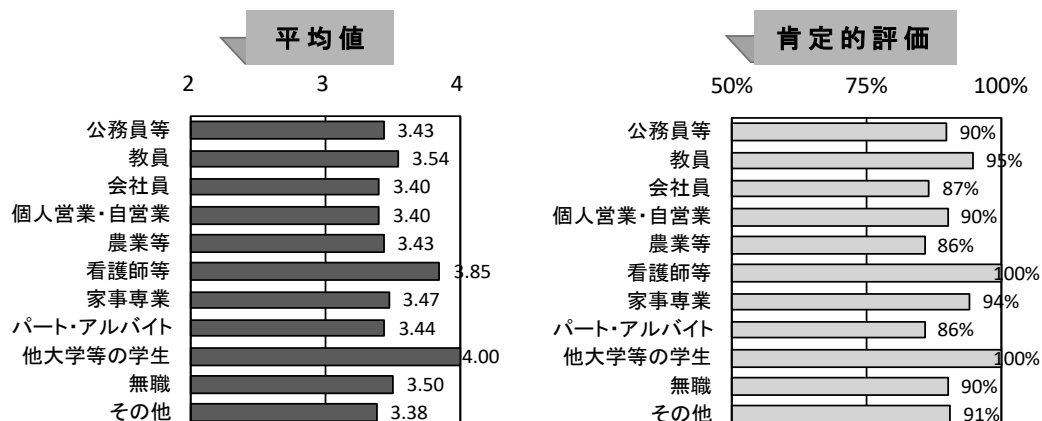
(A-1)全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ(熱心度)



(A-2)放送授業を十分に視聴した



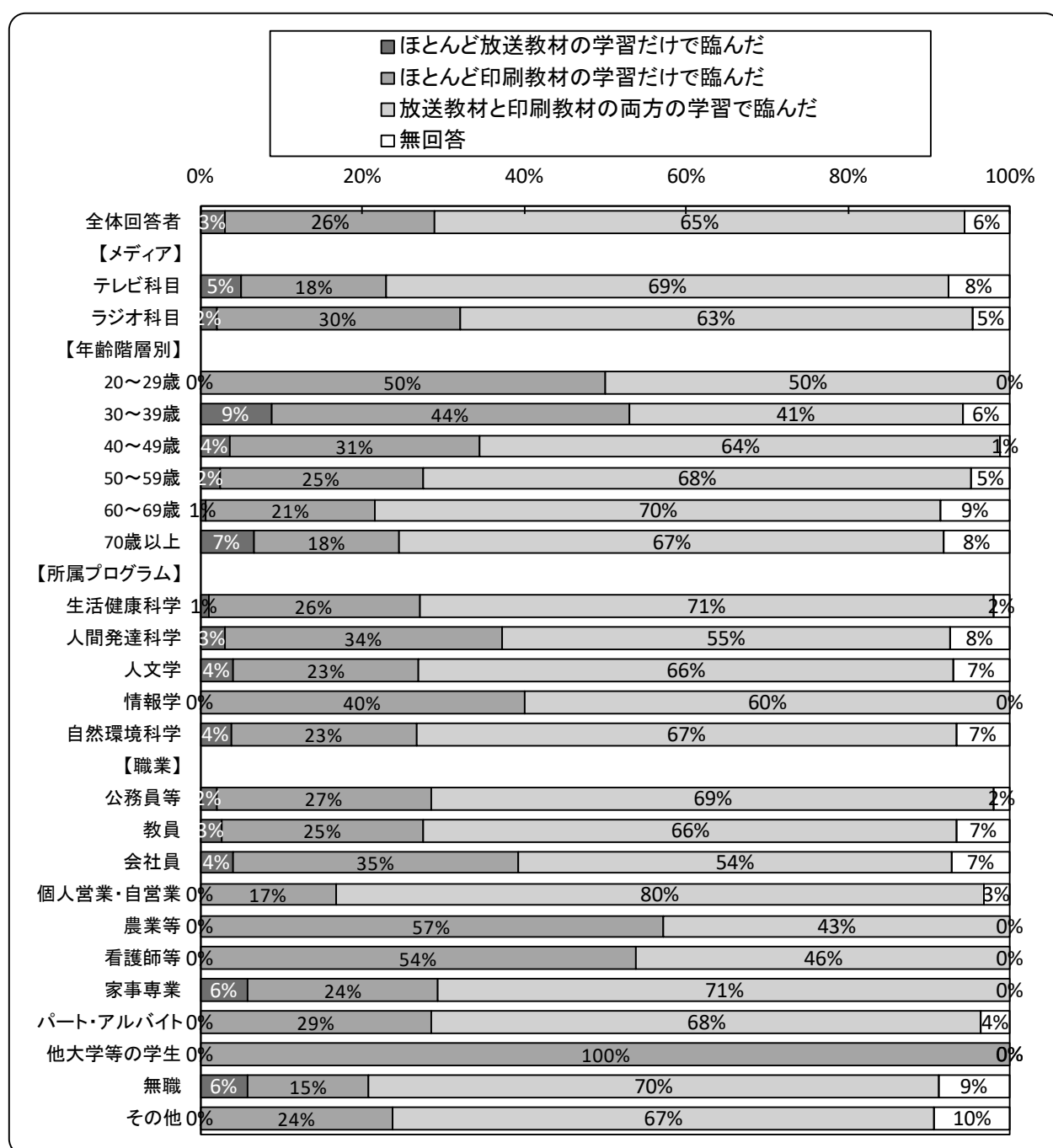
(A-3)印刷教材を熱心に学習した



単位認定のための学習方法（図２－６１）は、全体では「放送教材と印刷教材の両方の学習で臨んだ」が65%を占め、「ほとんど印刷教材の学習だけで臨んだ」が26%となっている。「ほとんど放送教材の学習だけで臨んだ」は極めて少ない。

年齢層が低いほど「ほとんど印刷教材の学習だけで臨んだ」割合が大きく、30歳代では「ほとんど放送教材の学習だけで臨んだ」と合わせて53%と約半数の人が放送教材と印刷教材を連動させていないことになる。

図２－６１【大学院】単位認定のための学習方法



Ⅱ－２－３．大学院の授業評価

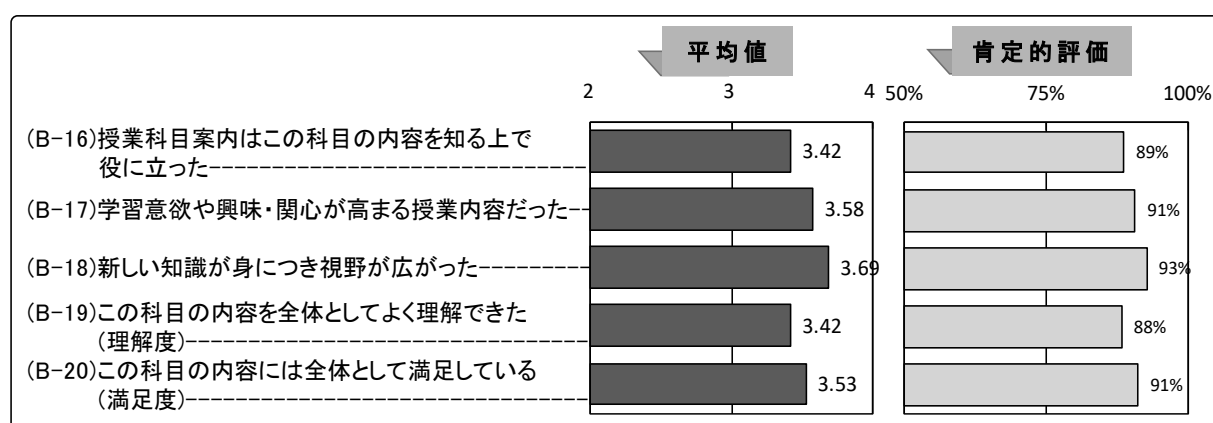
（１）全体評価

ここからは大学院の授業評価について、評価項目ごとに見ていくこととする。

まず全体評価を見ると（図２－６２）、いずれの項目も高い評価となっている。特に（B-18）「新しい知識が身につき視野が広がった」は、平均値 3.69、肯定的評価 93%と非常に高くなっている。

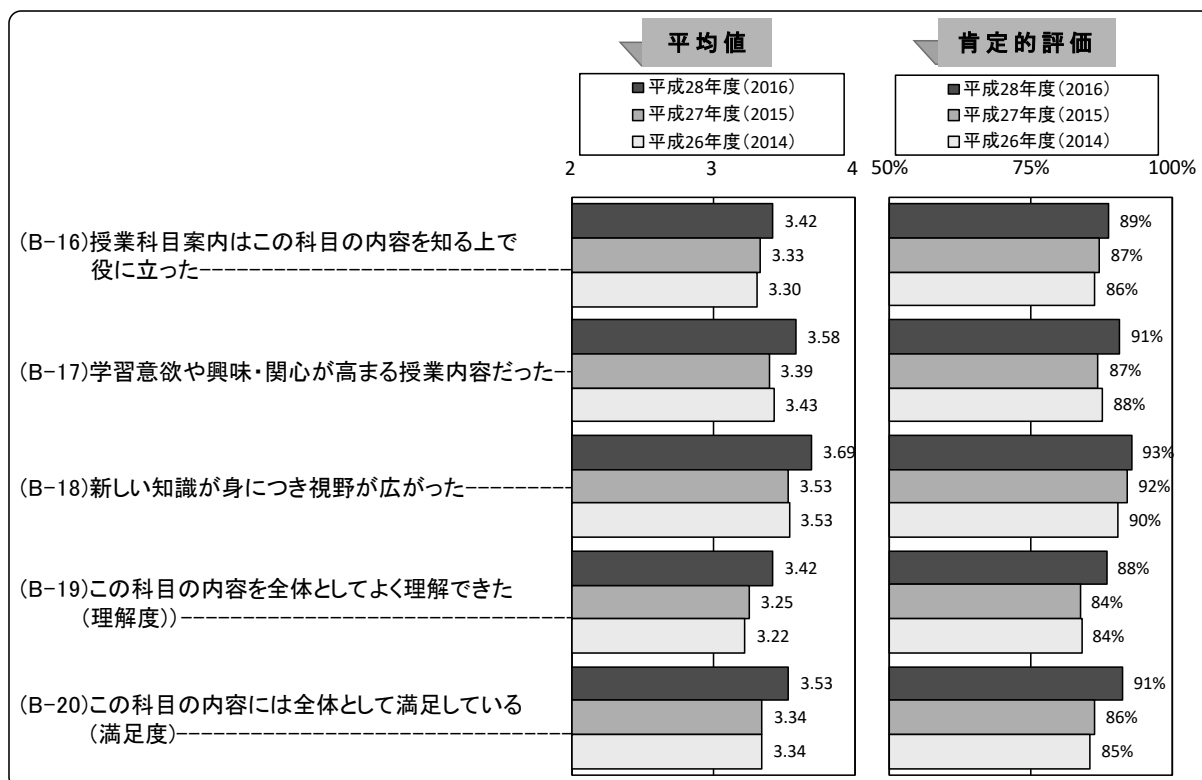
（B-20）「この科目の内容には全体として満足している（満足度）」も平均値 3.53、肯定的評価 91%と高い満足度を示しているのに対し、（B-19）「この科目の内容を全体としてよく理解できた（理解度）」では、平均値 3.42、肯定的評価 88%となり、満足度と理解度に若干の差異を生じた。

図２－６２【大学院】回答者全体の全体評価



全体評価を時系列で見ると（図２－６３）、全ての項目において 2016 年度は 2015 年度の水準を大きく上回っている。特に、(B-17)「学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった」、(B-19)「この科目の内容を全体としてよく理解できた（理解度）」、(B-20)「この科目の内容には全体として満足している（満足度）」の上昇幅が大きい。

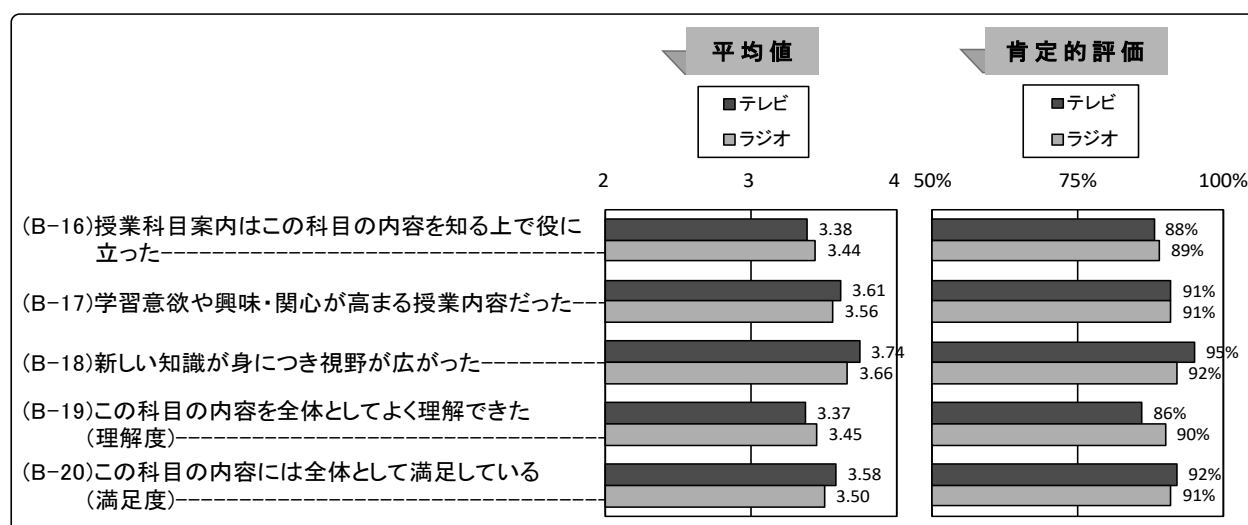
図 2－63 【大学院】回答者全体の全体評価（時系列）



メディア別に全体評価を見ると（図2-64）、全体的に評価は高い。特に（B-18）「新しい知識が身につく視野が広がった」のテレビ科目では平均値 3.74、肯定的評価 95%と非常に高くなっている。ラジオ科目でも平均値 3.66、肯定的評価 92%と高い評価を得ている。

また、（B-19）「この科目の内容を全体としてよく理解できた（理解度）」ではラジオ科目の方がテレビ科目より評価が高いが、（B-20）「この科目の内容には全体として満足している（満足度）」では逆転し、テレビ科目の方がラジオ科目より評価が高くなっている。

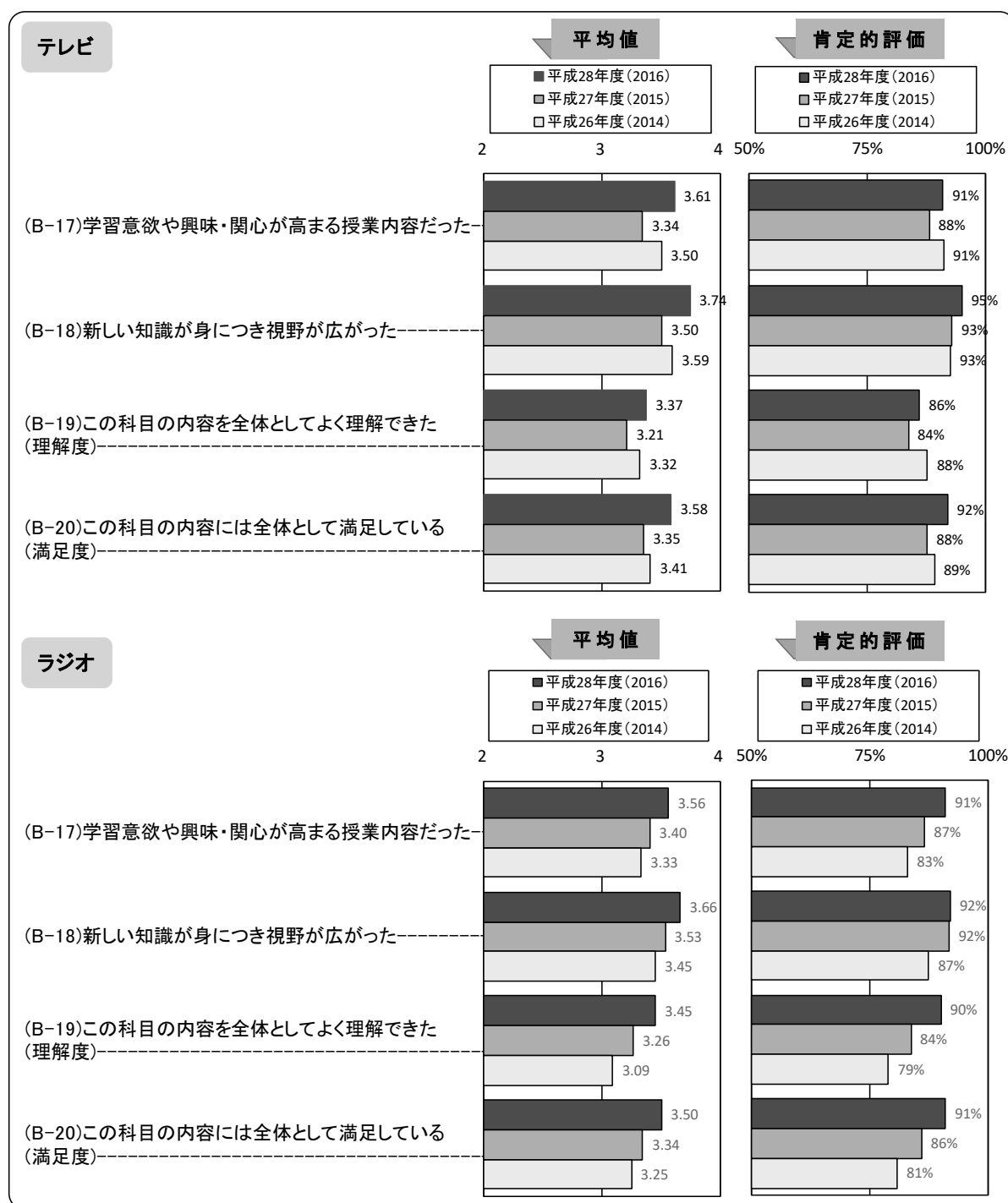
図2-64 【大学院】メディア別の全体評価



メディア別の全体評価を時系列で見ると（図２－６５）、テレビ科目は、昨年度はいずれの項目も前年度を下回ったが、2016 年新規開設科目は 2015 年新規開設科目に比べて大きく上昇し、2014 年度の水準も上回った。

ラジオ科目は、2016 年新規開設科目ではいずれの項目においても 2015 年度を大きく上回る高い数値を示し、年々上昇傾向である。改善への取り組みの成果が表れている。

図２－６５【大学院】メディア別の全体評価（時系列）

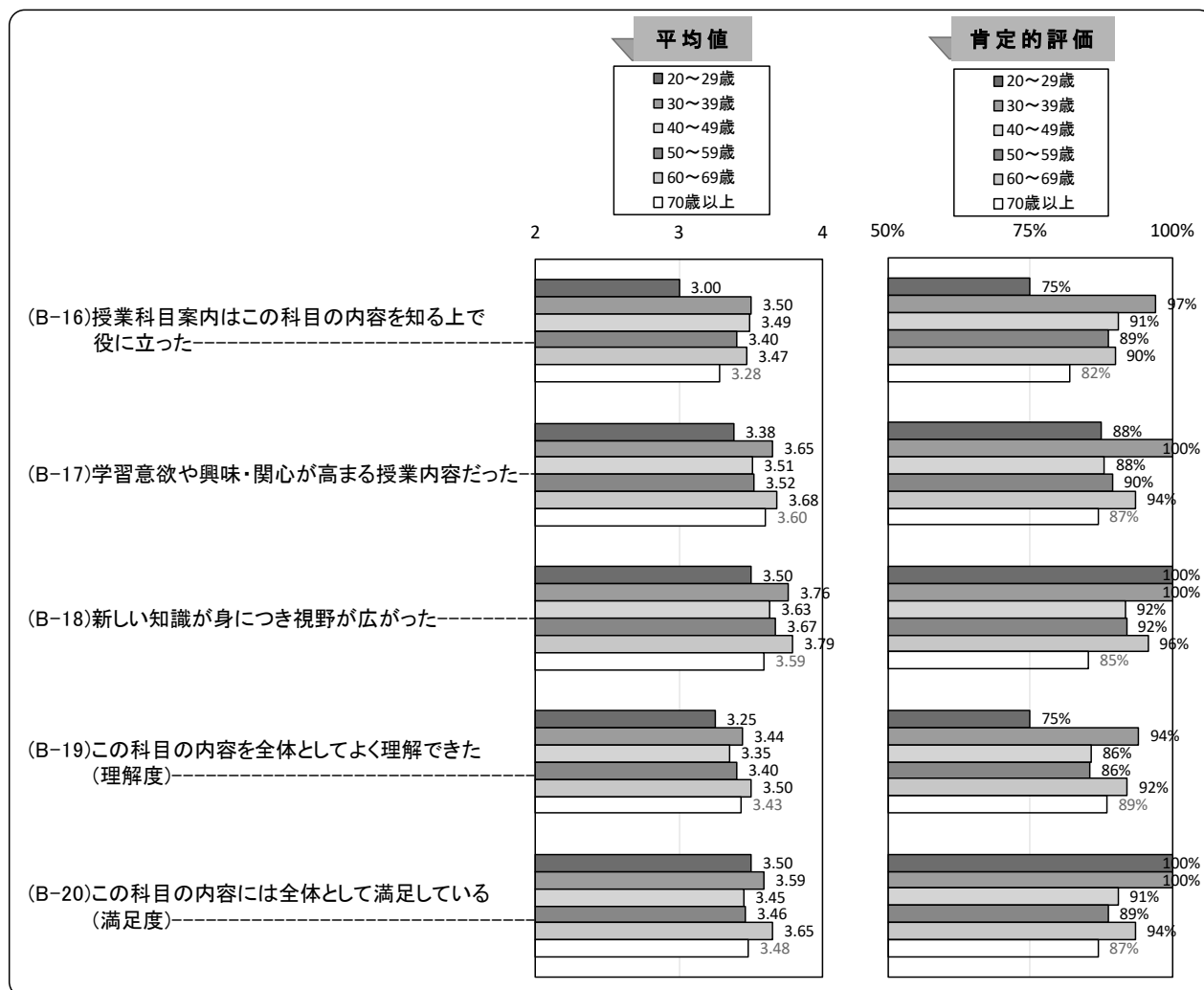


年齢階層別に全体評価を見ると(図2-66)、サンプル数の少ない20歳代を除けば、全ての項目、年齢層を通じて70歳代の(B-16)「授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った」の3.28が最も低い値であり、全体的に評価が高いことがわかる。

肯定的評価も全ての年齢層でいずれの項目においても80%以上になっており、高い水準である。

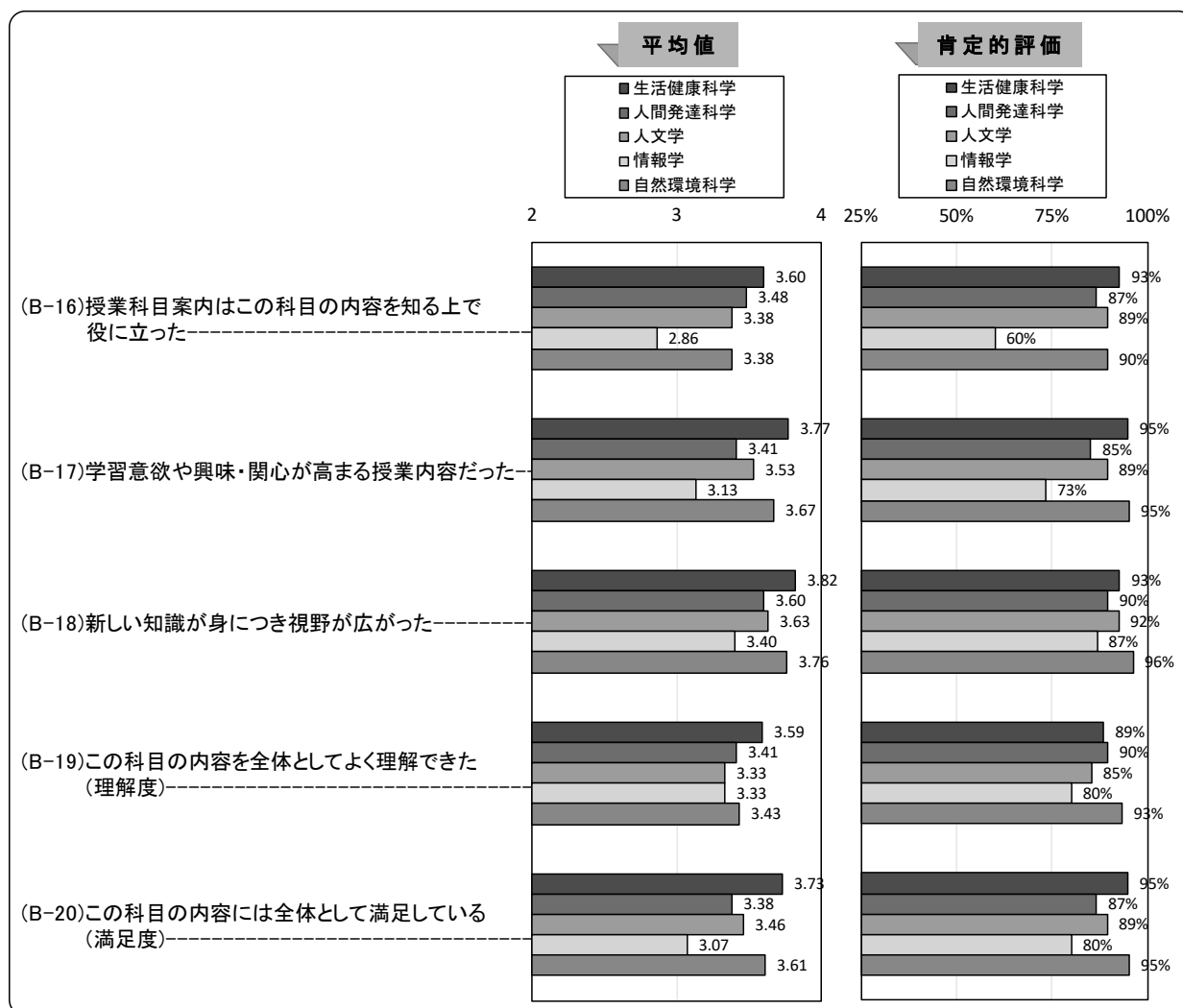
各項目とも30歳代と60歳代の評価が特に高い。

図2-66【大学院】年齢階層別の全体評価



所属プログラム別に全体評価を見ると（図 2－6 7）、サンプル数の少ない「情報学」を除き、高水準の値を示している。「生活健康科学」は全ての項目において最も評価が高く、「自然環境科学」が（B-16）「授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った」を除き 2 番目に高くなっている。

図 2－6 7 【大学院】所属プログラム別の全体評価



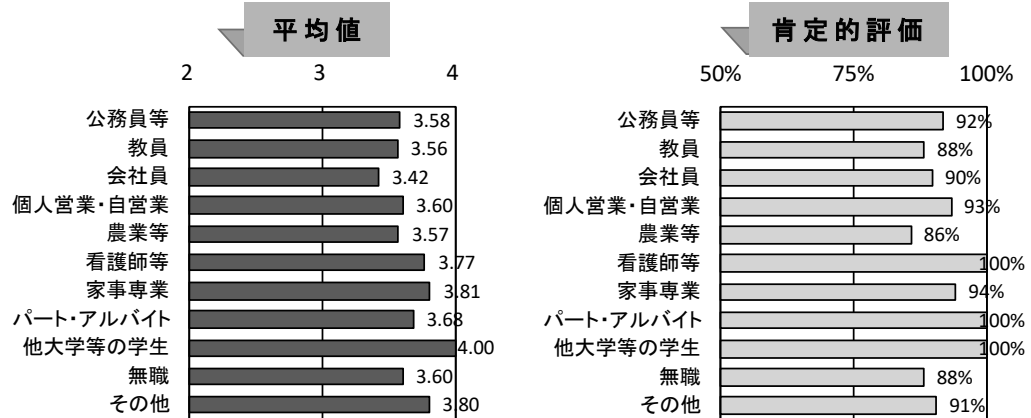
職業別に全体評価を見ると（次頁図 2－6 8）、（B-17）「学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった」はいずれの職業でも高い評価となっている。（B-19）「この科目の内容を全体としてよく理解できた（理解度）」では総じて肯定的評価が 80%を超え、一定の水準の評価である。（B-20）「この科目の内容には全体として満足している（満足度）」においては肯定的評価が 90%近いかそれ以上となっており、さらに高評価である。

他の職業と比べると、「会社員」の評価がいずれの項目でも低めである。

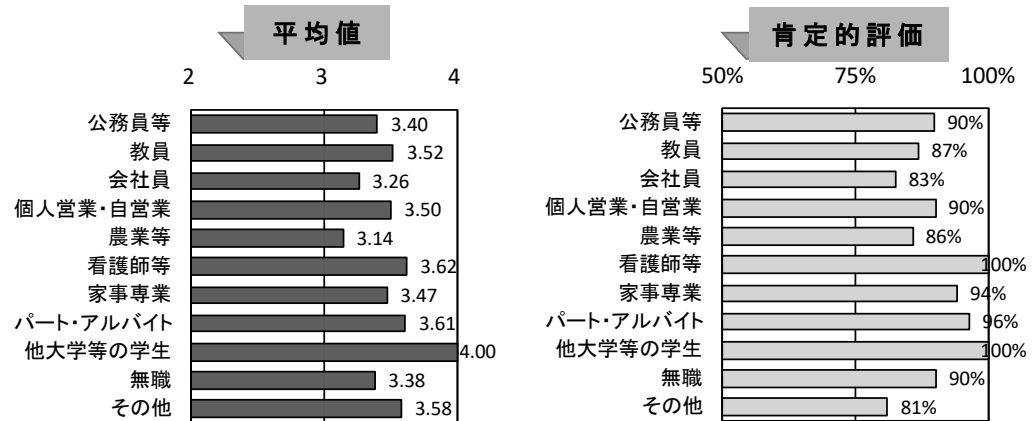
また、いずれの職業においても理解度を満足度が上回るか、ほぼ同じ水準となっている。

図 2 - 6 8 【大学院】職業別の全体評価

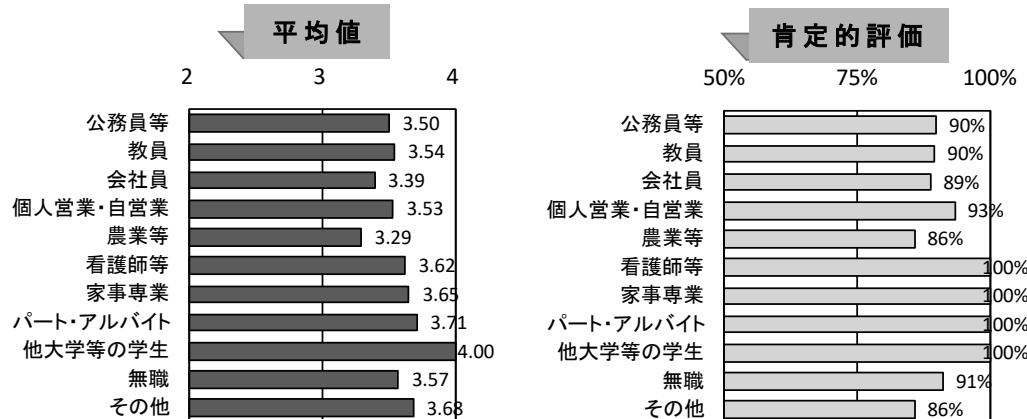
(B-17)学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった



(B-19)この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)



(B-20)この科目の内容には全体として満足している(満足度)

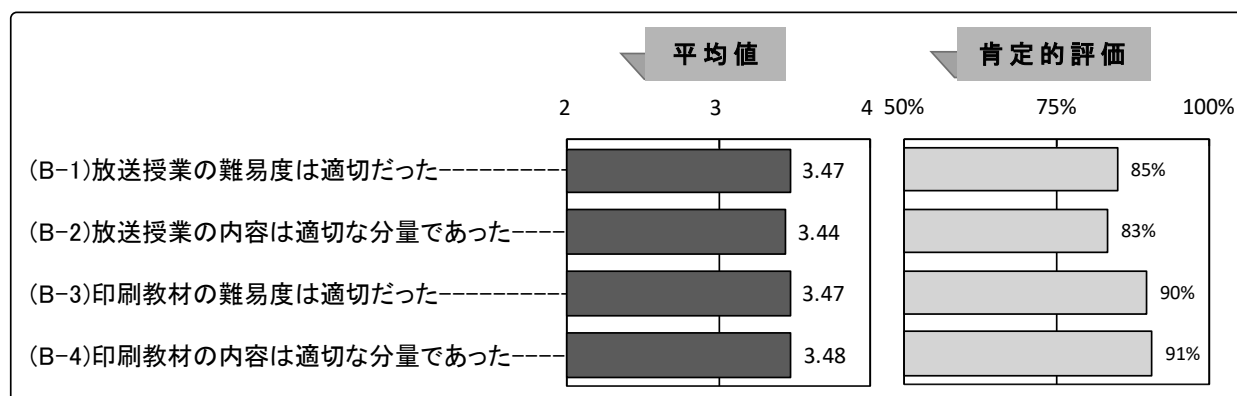


(2) 授業の難易度・分量

次に授業の難易度・分量について、評価項目ごとに見ていく。

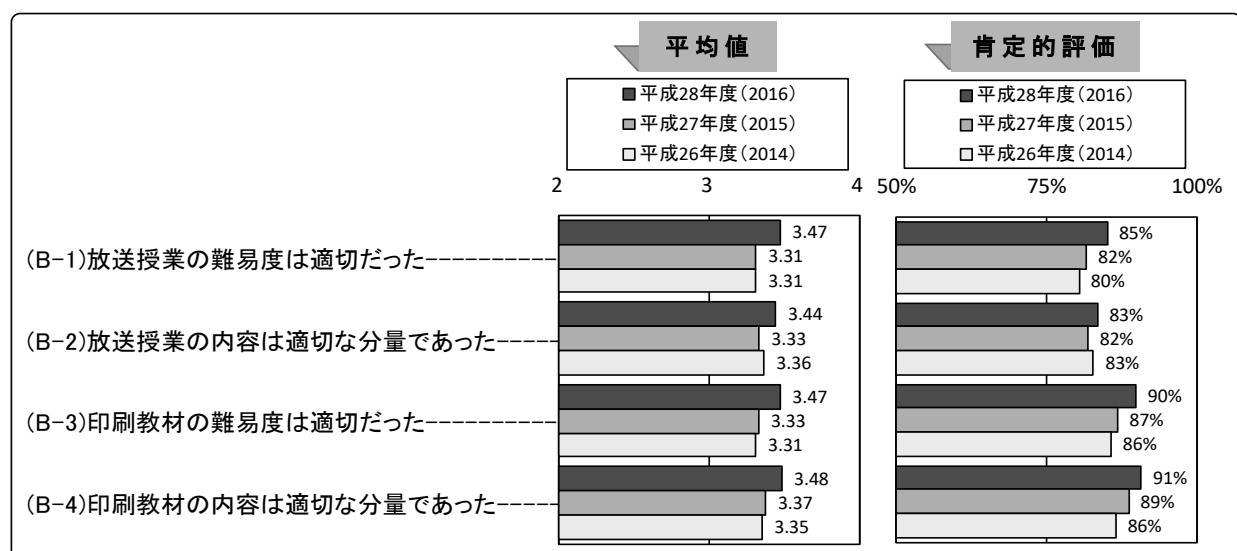
授業の難易度・分量の評価は(図2-69)、いずれも高い評価となっている。ただし、印刷教材に比べ、放送授業は平均値においてはあまり差がないが、肯定的評価において難易度・分量ともやや低い。

図2-69 【大学院】回答者全体の授業難易度・分量の評価



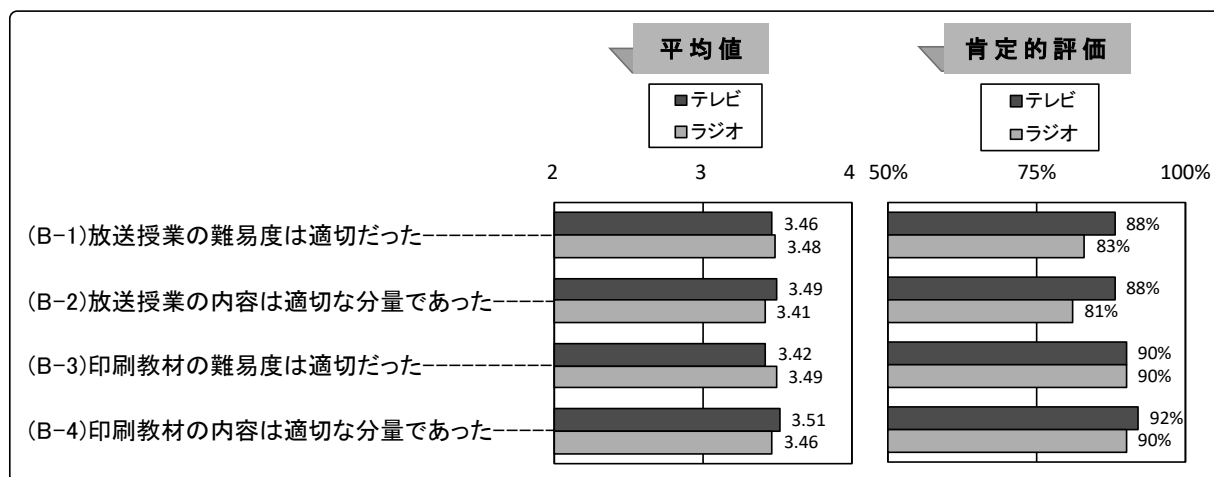
授業の難易度・分量の評価を開設年度で比較すると(図2-70)、いずれの項目でも前年の評価を上回っており、印刷教材の難易度・分量の評価は年々上向きである。

図2-70 【大学院】回答者全体の授業難易度・分量の評価(開設年度比較)



メディア別に授業の難易度・分量を見ると（図２－７１）、平均値では放送授業、印刷教材とも難易度はラジオ科目、分量はテレビ科目の方の評価が高くなっている。ただし、肯定的評価で見ると印刷教材ではほとんど差がなく、放送授業ではテレビ科目の方の評価が高くなっている。

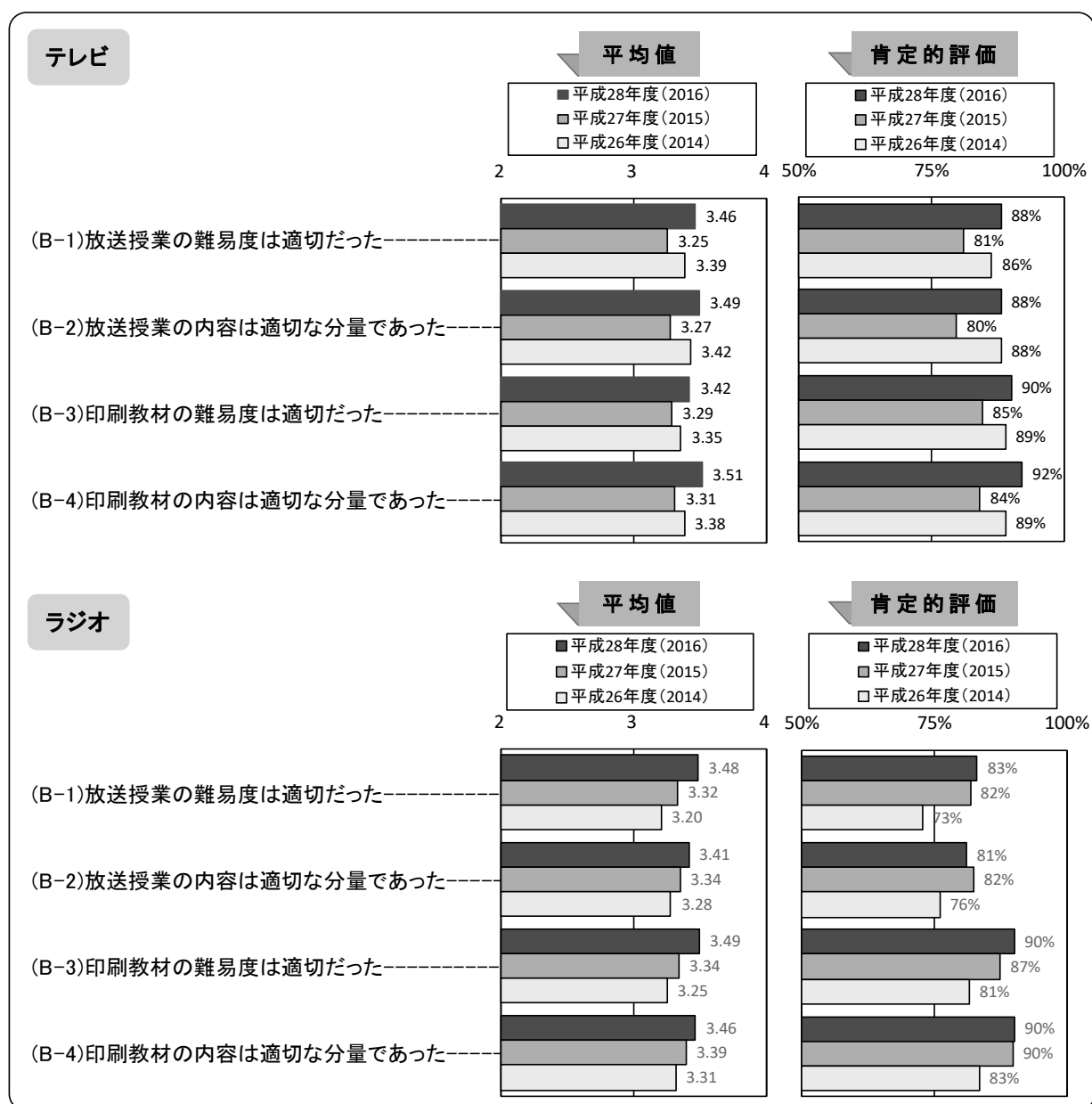
図２－７１ 【大学院】メディア別の授業難易度・分量の評価



メディア別の授業の難易度・分量を開設年度で比較すると（図２－７２）、テレビ科目は全ての項目で 2015 年度より評価が高くなっており、2015 年度と逆の傾向を示した。水準は 2014 年度を上回っている。

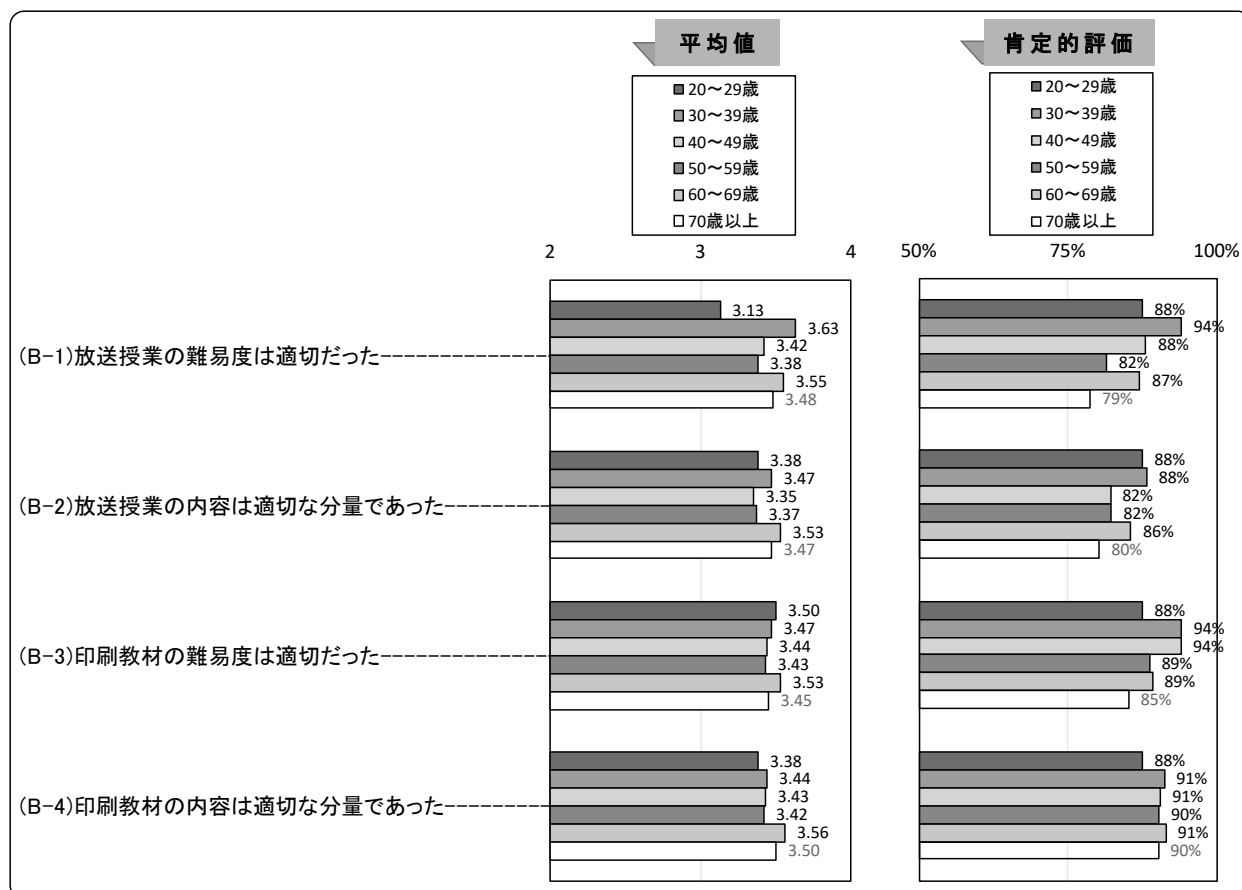
ラジオ科目は全ての項目の評価が前年度より高く、年々上昇傾向である。放送授業、印刷教材とも難易度の評価の伸びが特に大きい。

図２－７２【大学院】メディア別の授業難易度・分量の評価（開設年度比較）



年齢階層別に授業の難易度・分量を見ると（図 2－7 3）、放送授業、印刷教材ともに 40 歳代、50 歳代で他の年齢層に比べると評価がやや低めとなっている。

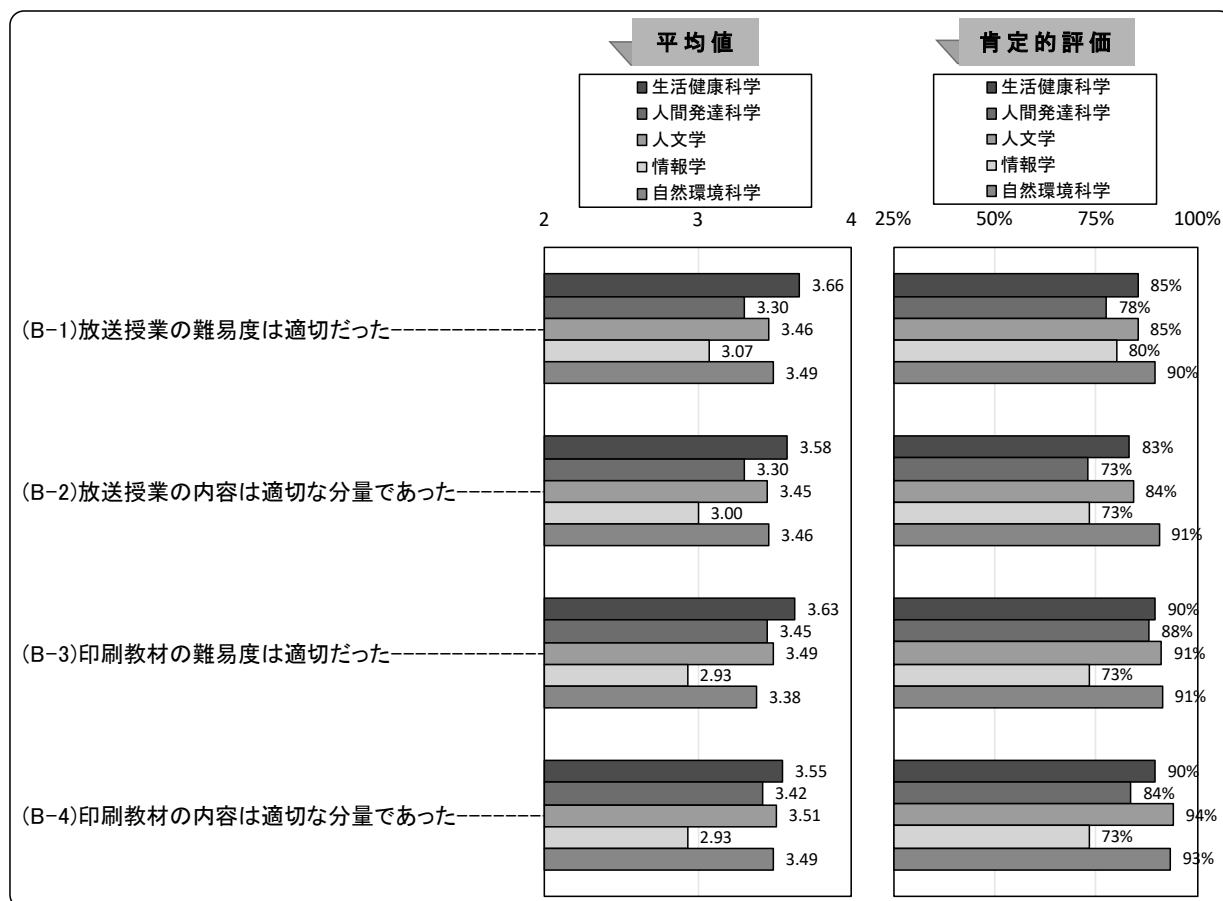
図 2－7 3 【大学院】年齢階層別の授業難易度・分量の評価



所属プログラム別に授業の難易度・分量を見ると（図２－７４）、「生活健康科学」が
いずれの項目においても、評価が高い。

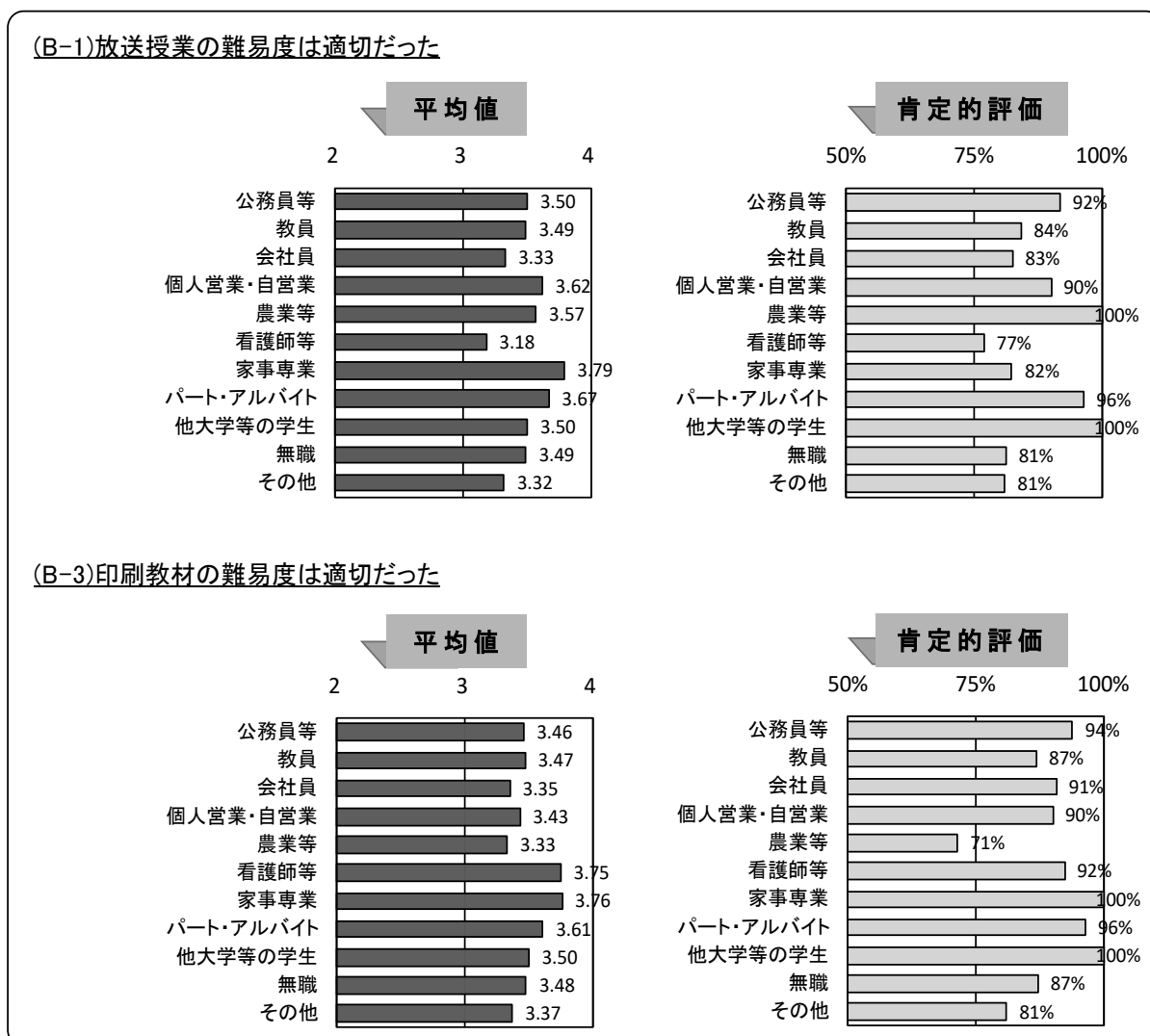
放送授業の難易度・分量ともに「人間発達科学」の評価がやや低くなっている。

図２－７４ 【大学院】所属プログラム別の授業難易度・分量の評価



職業別に授業の難易度を見ると（図２－７５）、放送授業、印刷教材ともに難易度については「会社員」の評価が他の職業と比べるとやや低くなっている。

図２－７５【大学院】職業別の授業難易度の評価

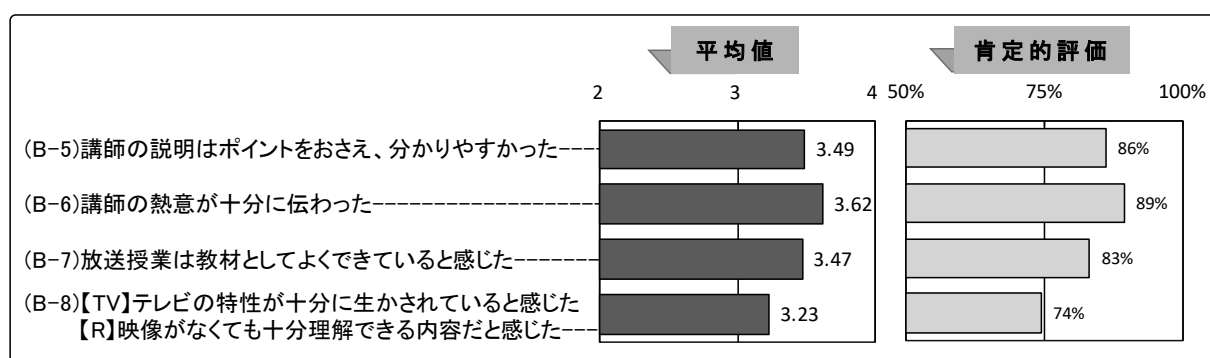


(3) 放送授業

ここからは放送授業について、評価項目ごとに見ていく。

放送授業に関する評価項目を見ると(図2-76)、放送授業の総合評価でもある(B-7)「放送授業は教材としてよくできていると感じた」は、平均値 3.47、肯定的評価 83%と高くなっている。また(B-6)「講師の熱意が十分に伝わった」が最も評価が高く、平均値 3.62、肯定的評価 89%となっており、(B-5)「講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった」も平均値 3.49、肯定的評価 86%と高くなっている。一方、(B-8)「【TV】テレビの特性が十分に生かされていると感じた／【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」は、平均値 3.23、肯定的評価 74%に留まっている。それぞれの媒体の特性を生かすさらなる工夫が必要である。

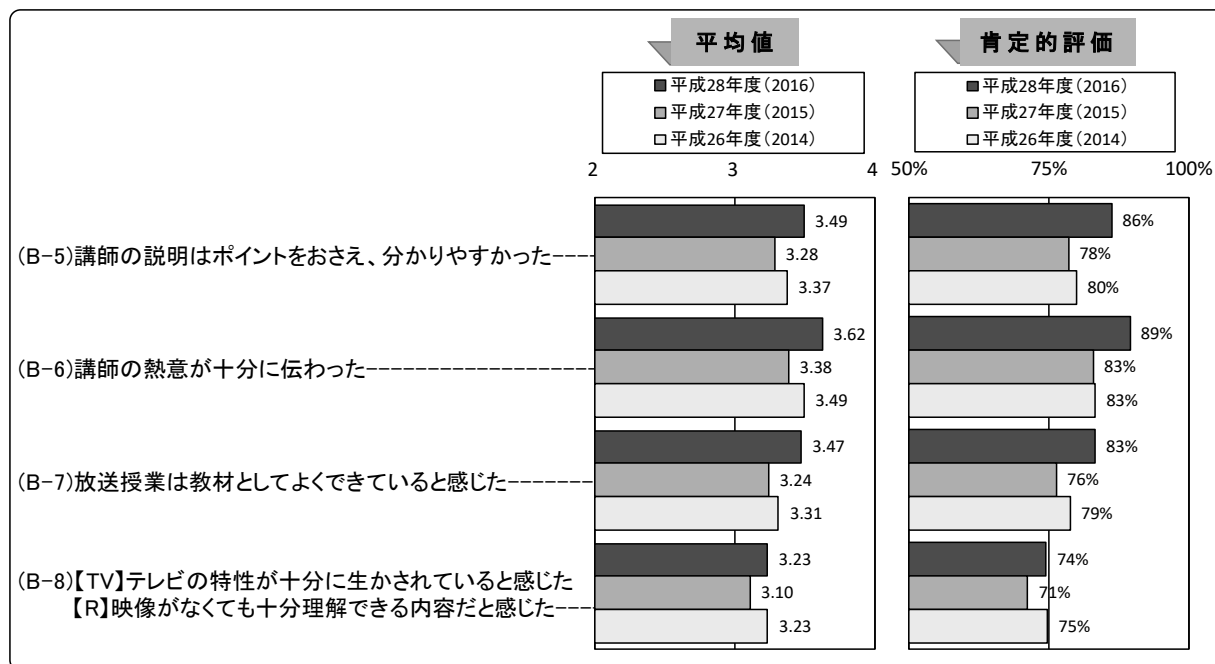
図2-76 【大学院】回答者全体の放送授業の評価



放送授業の評価を時系列で見ると（図 2－7 7）、全ての項目で 2015 年度より評価が高くなっており、2015 年度と逆の傾向を示した。水準は 2014 年度を上回っているか同水準である。

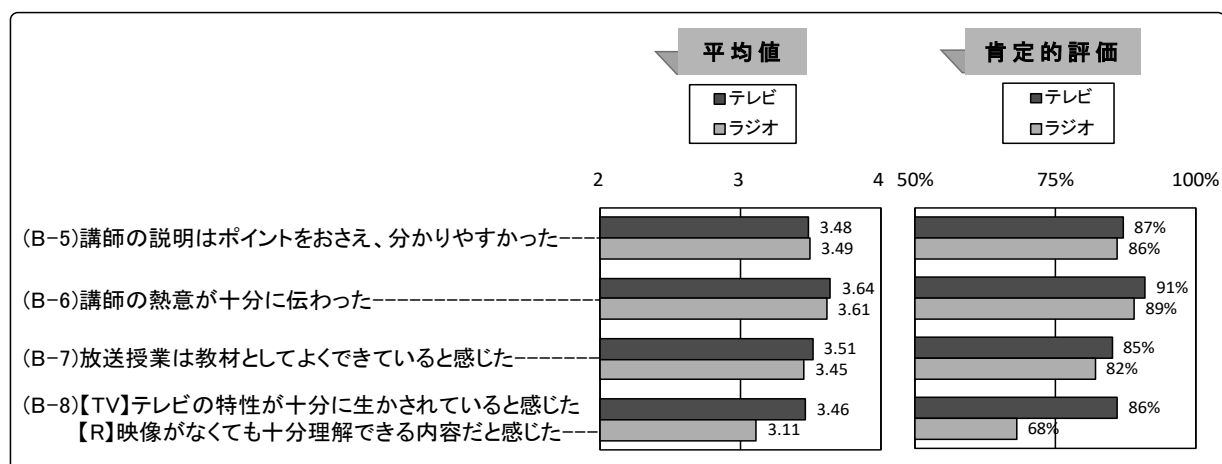
全体的に改善への試みの成果が出たと言える。

図 2－7 7 【大学院】回答者全体の放送授業の評価（時系列）



メディア別に放送授業の評価を見ると（図２－７８）、(B-5)「講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった」の項目を除きテレビ科目はいずれもラジオ科目より高い評価を得ている。特に(B-8)「【TV】テレビの特性が十分に生かされていると感じた／【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」の差が大きく、映像のないデメリットを補う理解促進の工夫がラジオ科目には求められる。

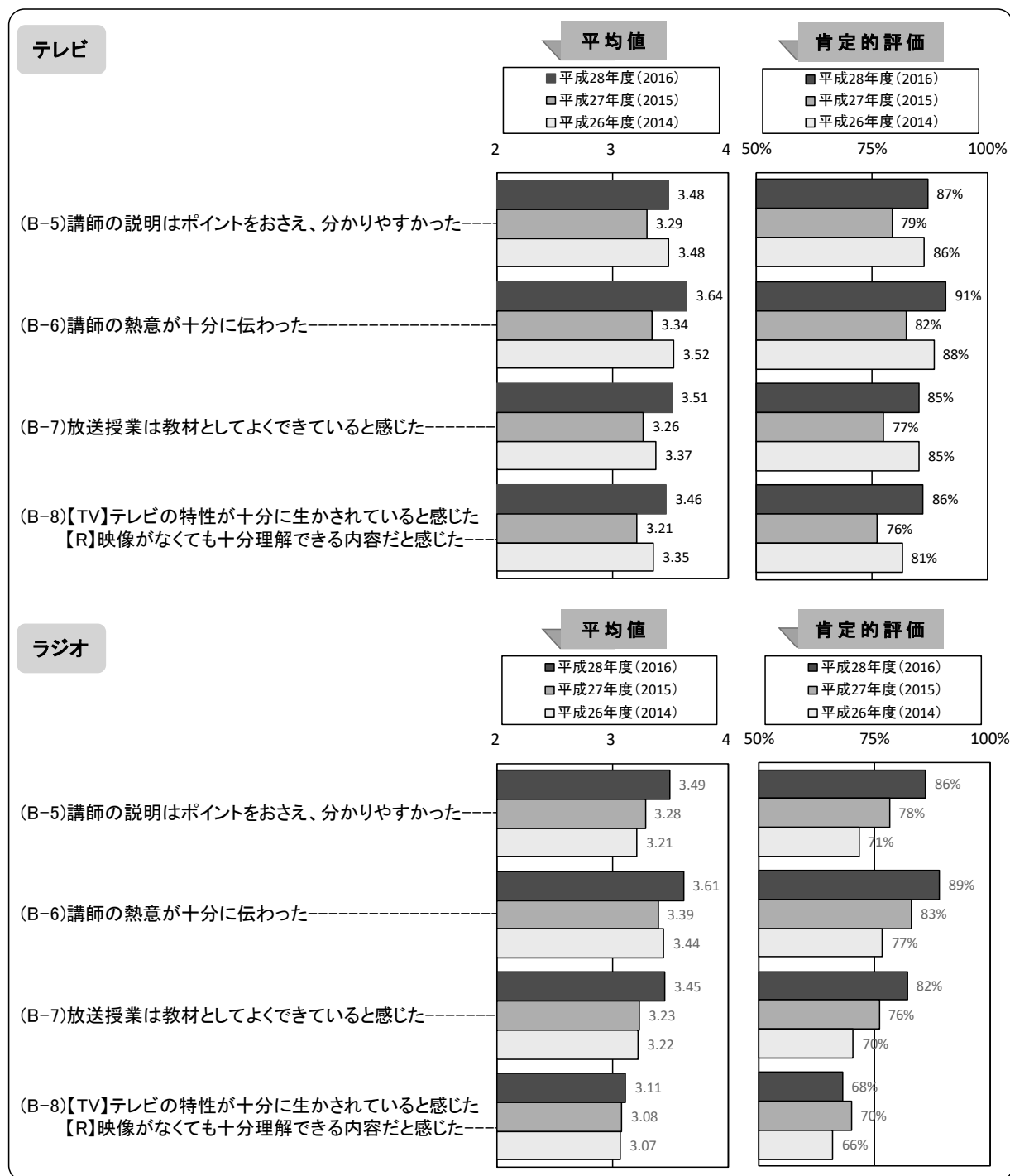
図２－７８ 【大学院】メディア別の放送授業の評価



メディア別の放送授業の評価を時系列で見ると（図２－７９）、テレビ科目は全ての項目で2015年度より評価が高くなっており、2015年度と逆の傾向を示した。水準は2014年度を上回っているか同水準である。

ラジオ科目については、(B-8)「【TV】テレビの特性が十分に生かされていると感じた／【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」の伸びは僅かにとどまったが、他の項目は大きく伸びた。

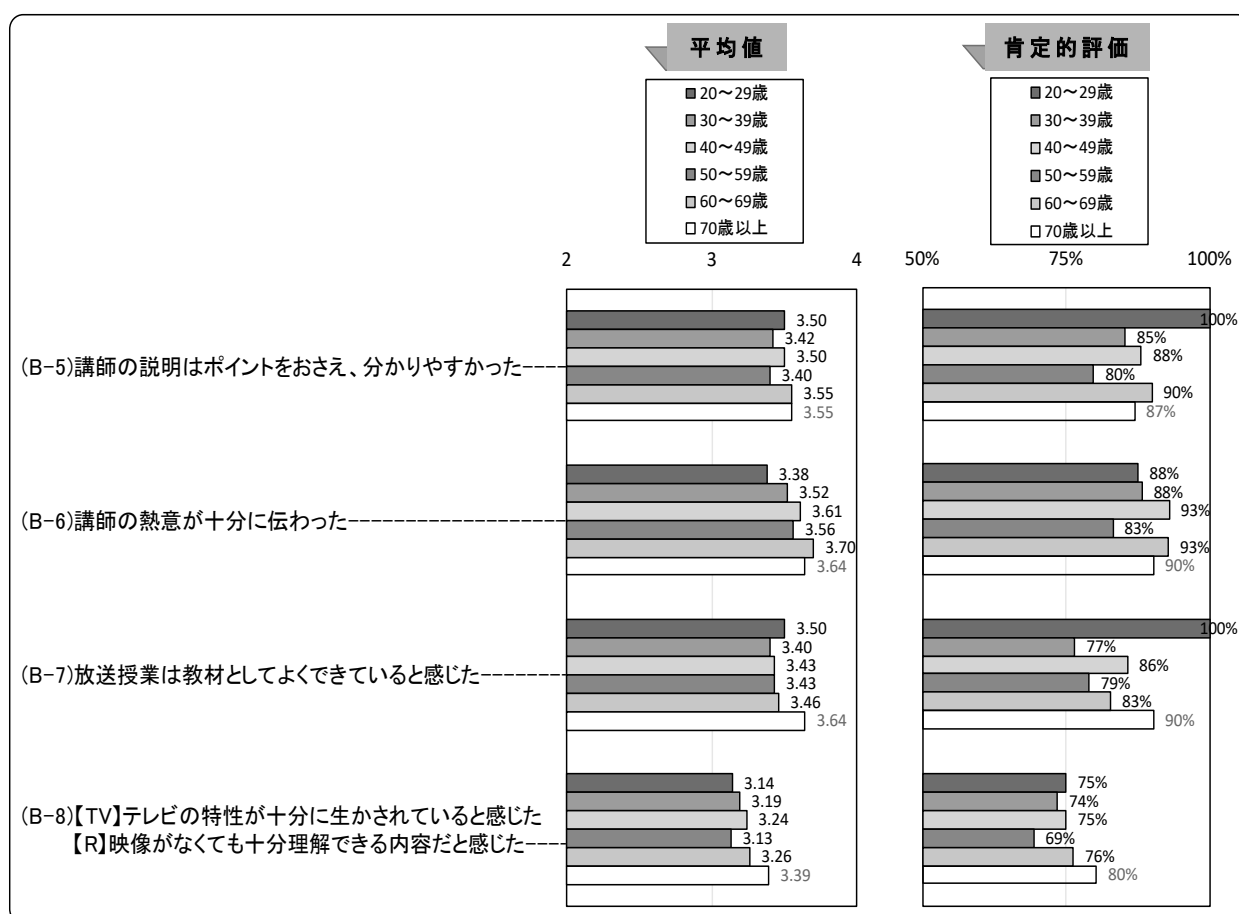
図２－７９ 【大学院】メディア別の放送授業の評価（時系列）



年齢階層別に放送授業の評価を見ると（図２－８０）、放送授業の総合評価でもある（Ｂ-7）「放送授業は教材としてよくできていると感じた」や（Ｂ-8）「【TV】テレビの特性が十分に生かされていると感じた／【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」は70歳以上の評価が最も高い。

（Ｂ-5）「講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった」、（Ｂ-6）「講師の熱意が十分に伝わった」の講師に関連する項目では60歳代以上の高齢層での評価が特に高くなっている。

図２－８０【大学院】年齢階層別の放送授業の評価

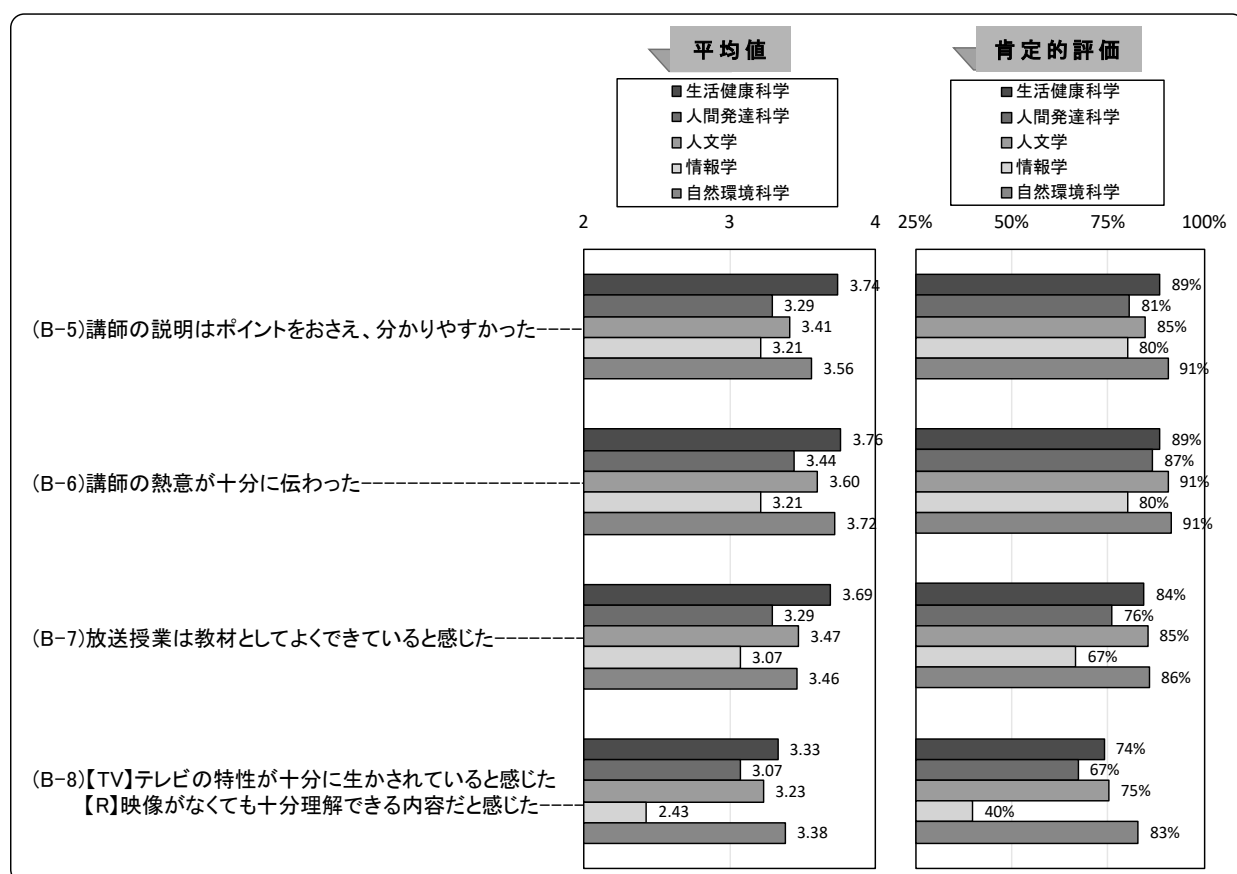


所属プログラム別に放送授業の評価を見ると（図２－８１）、「生活健康科学」「自然環境科学」「人文学」の３プログラムからは全体的に高い評価を得ている。

（Ｂ-５）「講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった」は「生活健康科学」、（Ｂ-６）「講師の熱意が十分に伝わった」は「生活健康科学」「自然環境科学」で平均値が 3.7 を超え、極めて高い評価となっている。

（Ｂ-８）「【TV】テレビの特性が十分に生かされていると感じた／【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」は、「人間発達科学」の評価がやや低い。

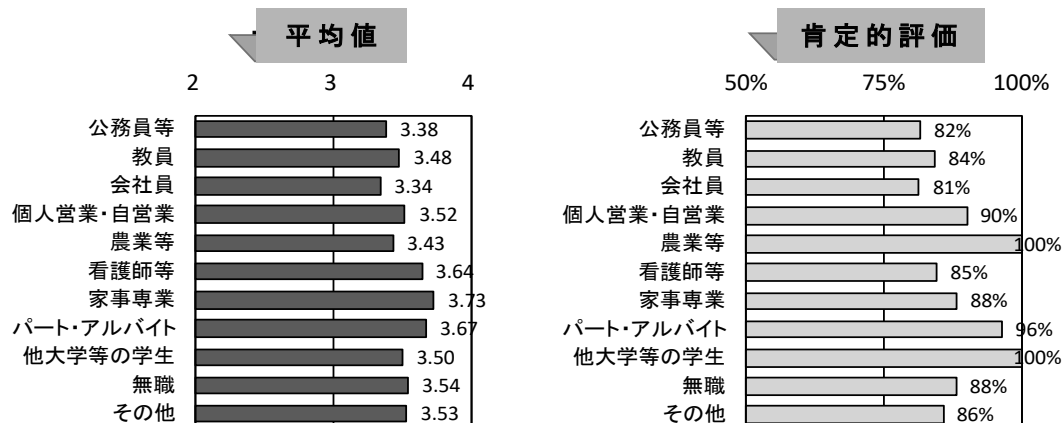
図 2－8 1 【大学院】所属プログラム別の放送授業の評価



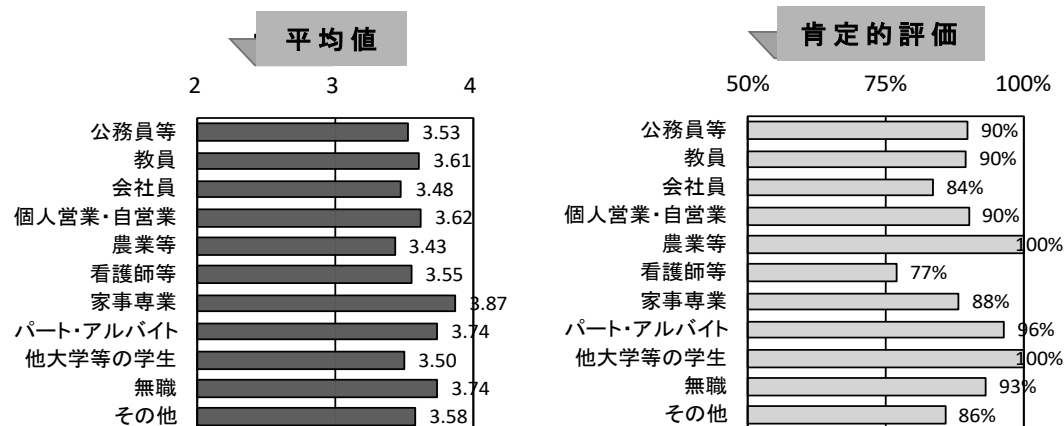
職業別に放送授業の評価を見ると(図2-82)、どの職業でも総じて高い平均値を示しているが、「会社員」の評価が他の職業と比べるとどの項目もやや低めになっている。

図2-82【大学院】職業別の放送授業の評価

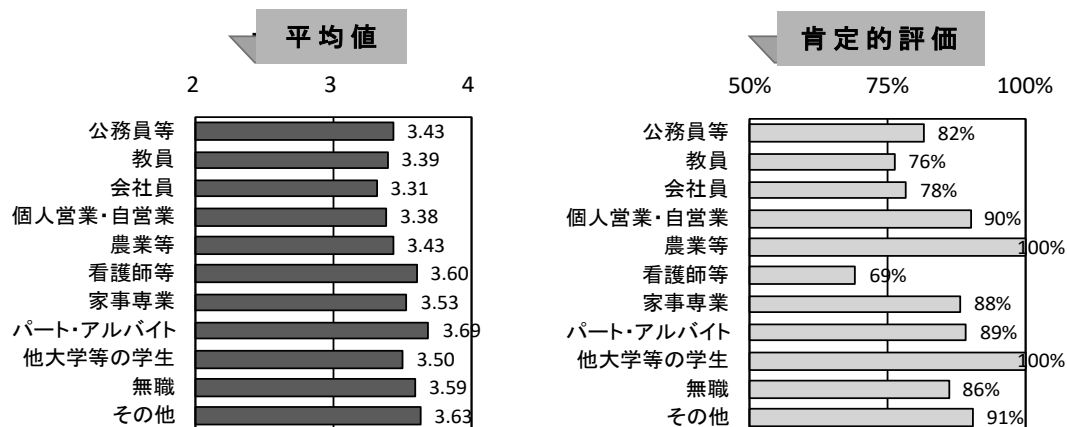
(B-5)講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった



(B-6)講師の熱意が十分に伝わった



(B-7)放送授業は教材としてよくできていると感じた

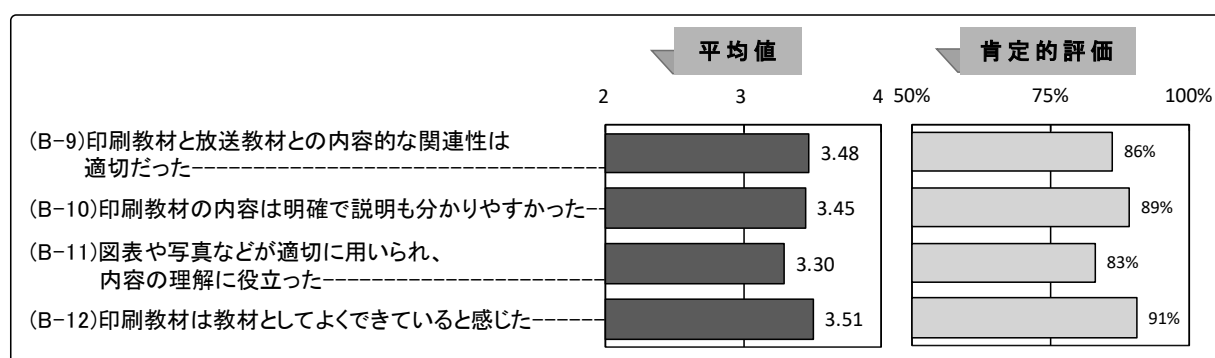


(4) 印刷教材

ここからは印刷教材について、評価項目ごとに見ていく。

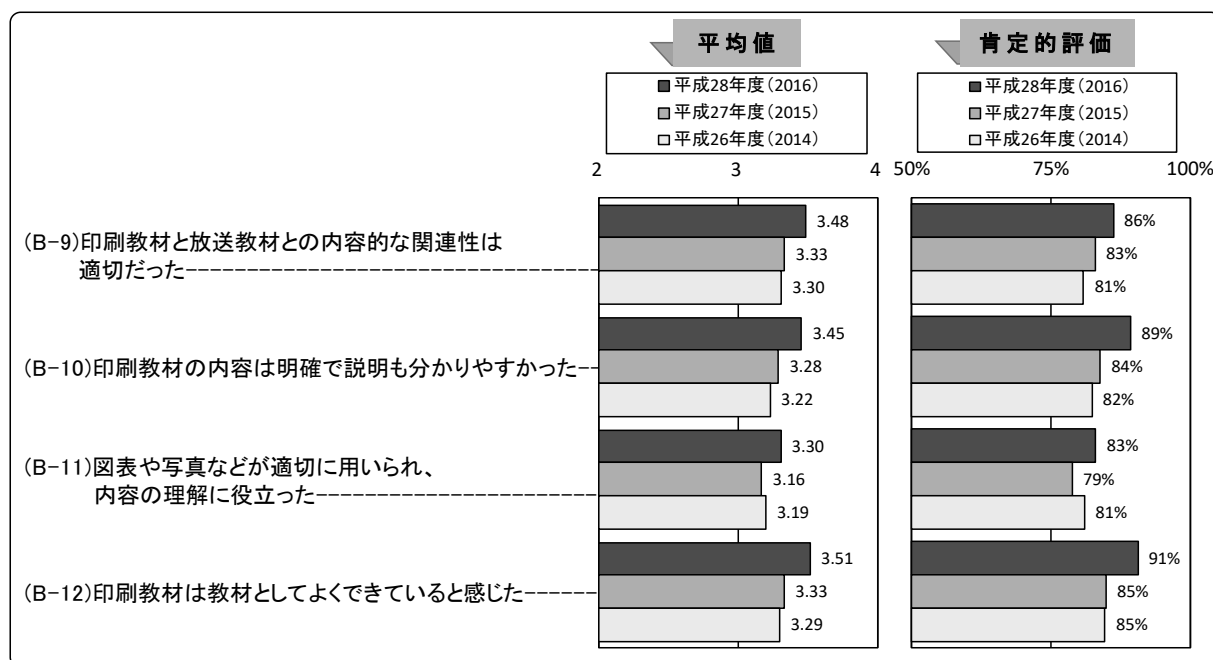
印刷教材の評価項目では(図2-83)、いずれも高い評価を得ている。総合評価としての(B-12)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」は平均値 3.51、肯定的評価 91%、(B-9)「印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった」は平均値 3.48、肯定的評価 86%、(B-10)「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」は平均値 3.45、肯定的評価 89%、(B-11)「図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った」は平均値 3.30、肯定的評価 83%と特に高くなっている。

図 2 - 8 3 【大学院】回答者全体の印刷教材の評価



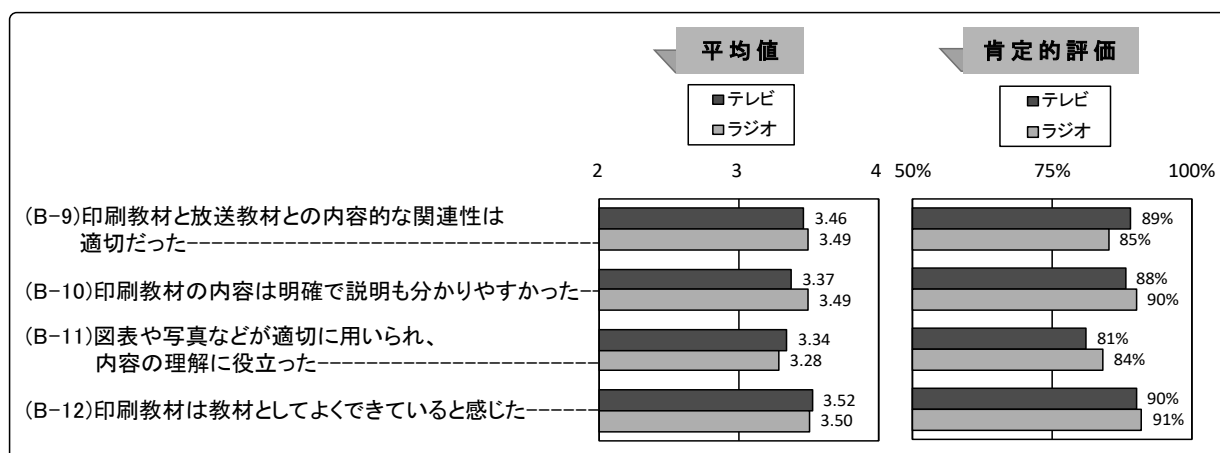
印刷教材の評価を時系列で見ると（図２－８４）、(B-9)「印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった」、(B-10)「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」、(B-12)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」では年々評価が高くなっており、2016年度は上昇幅が大きい。(B-11)「図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った」では、2015年度は前年度よりも低くなったが、2016年度は大幅に評価が上がった。図表・写真の見直しが功を奏したと推察される。

図２－８４【大学院】回答者全体の印刷教材の評価（時系列）



印刷教材の評価をメディア別に見ると（図２－８５）、(B-10)「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」はラジオ科目の方の評価が高くなっているが、(B-11)「図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った」ではラジオ科目の方の評価が低い。映像のないラジオの放送授業にあっては視覚的要素を補完するために、テレビ科目以上に図表や写真などを教材に盛り込むことが必要であろう。

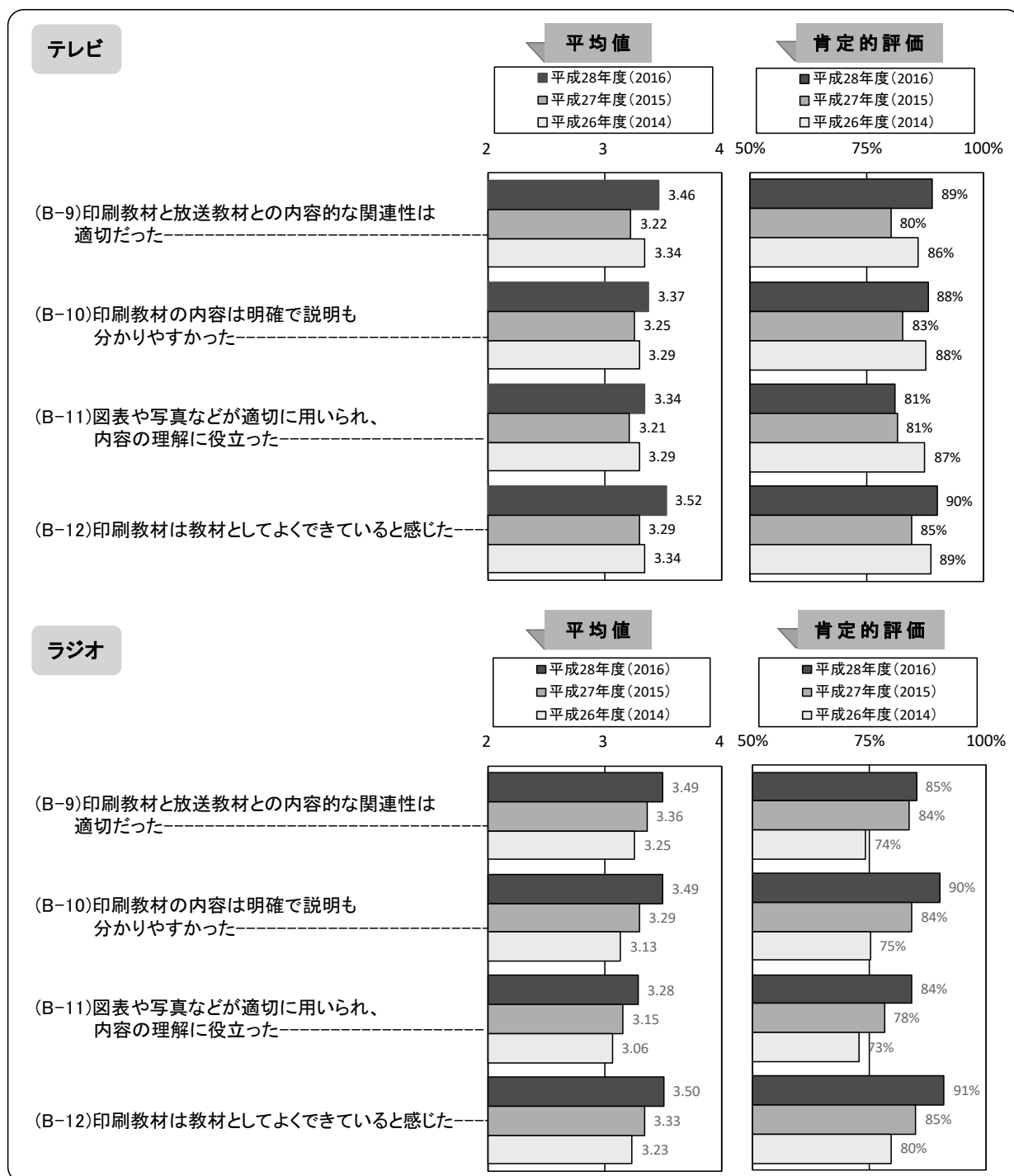
図２－８５【大学院】メディア別の印刷教材の評価



メディア別の印刷教材の評価を時系列で見ると（図２－８６）、テレビ科目は全ての項目で2015年度より評価が高くなっており、2015年度と逆の傾向を示した。水準は2014年度を上回っている。

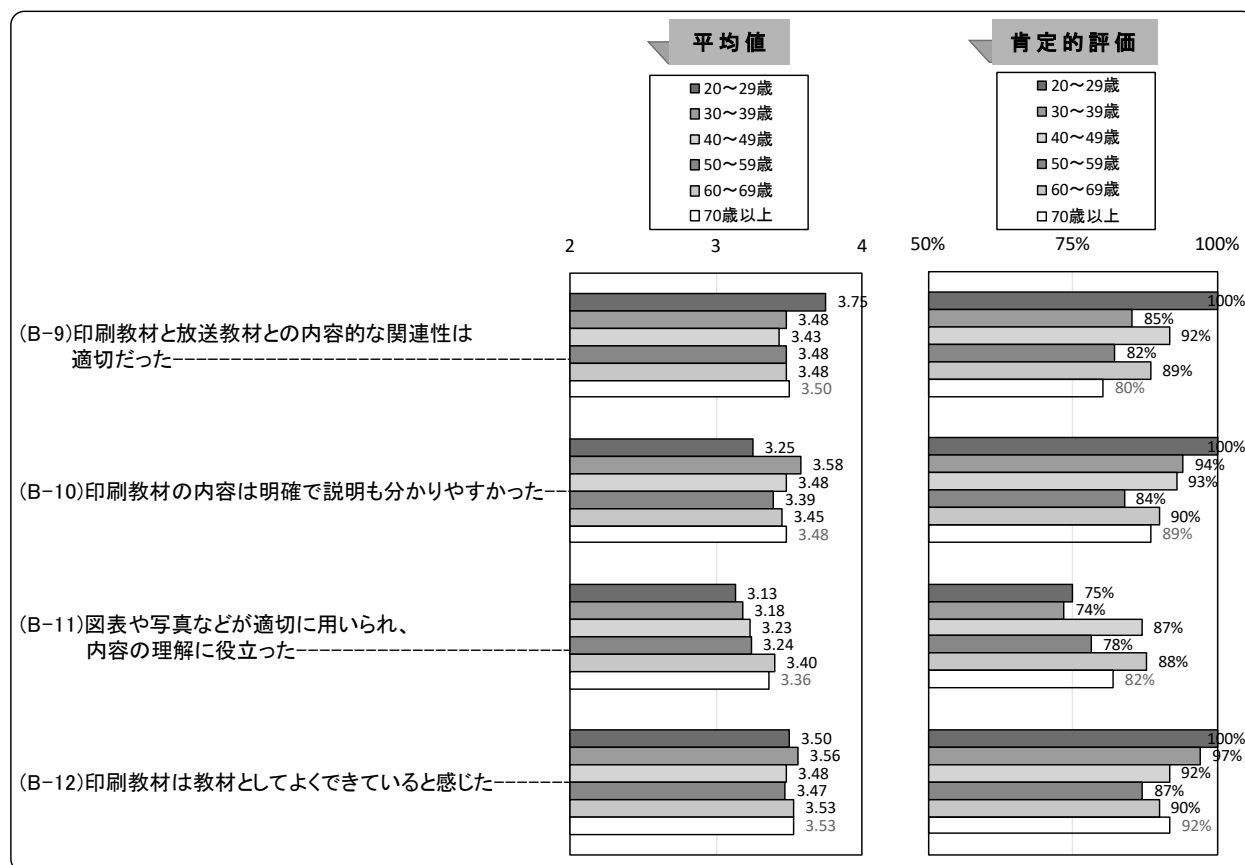
ラジオ科目については、全ての項目の評価が前年度より高く、上昇幅も大きい。年々上昇傾向である。

図２－８６【大学院】メディア別の印刷教材の評価（時系列）



年齢階層別に印刷教材の評価を見ると(図2-87)、全体として高い値となっており、特に評価の低い年齢層はない。総合評価としての(B-12)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」、(B-10)「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」では30歳代の評価が最も高い。(B-11)「図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った」は年齢層が低くなるにつれて評価が低くなる傾向がある。

図2-87 【大学院】年齢階層別の印刷教材の評価

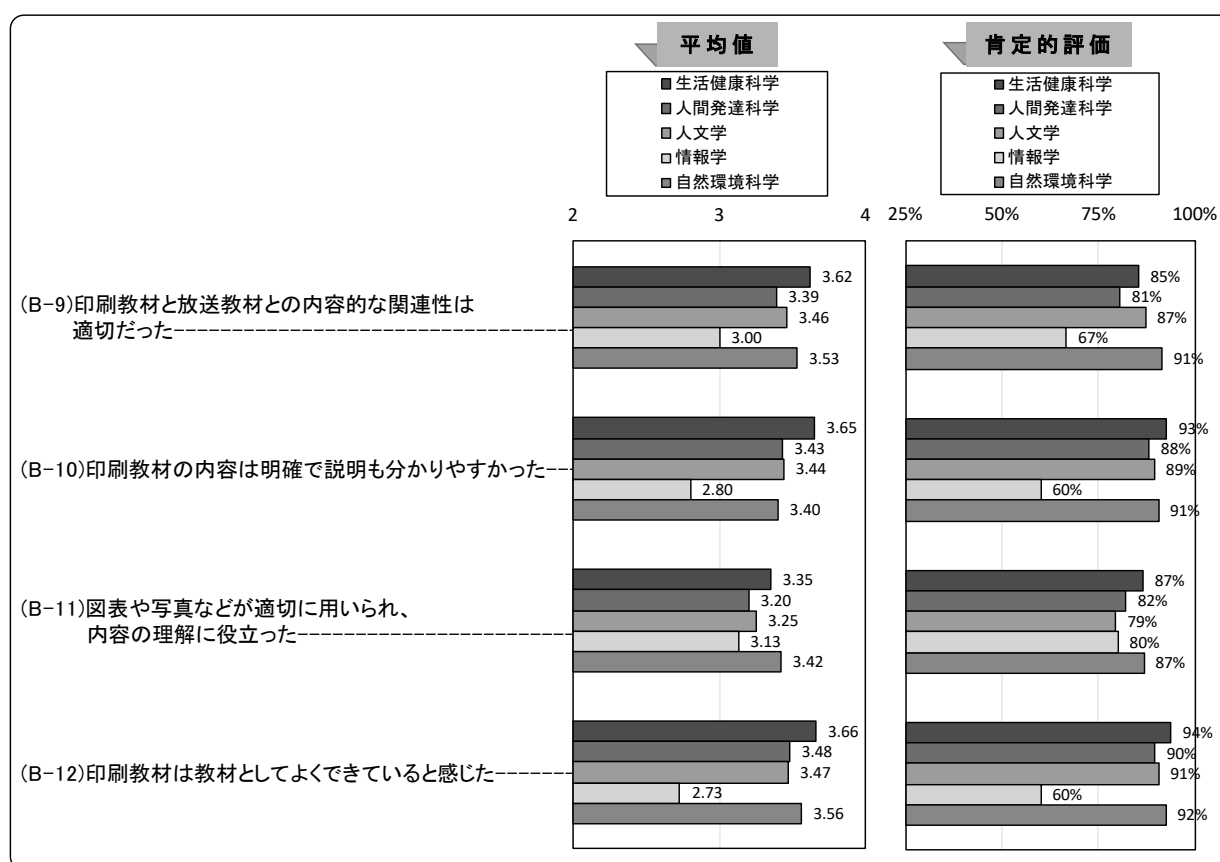


所属プログラム別に印刷教材の評価を見ると（図２－８８）、総合評価の（B-12）「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」は、「生活健康科学」、「自然環境科学」の評価が高い。

「生活健康科学」は（B-9）「印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった」、（B-10）「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」でも最も評価が高い。

「自然環境科学」は、（B-11）「図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った」の評価が最も高く、それが総合的な評価につながったと考えられる。

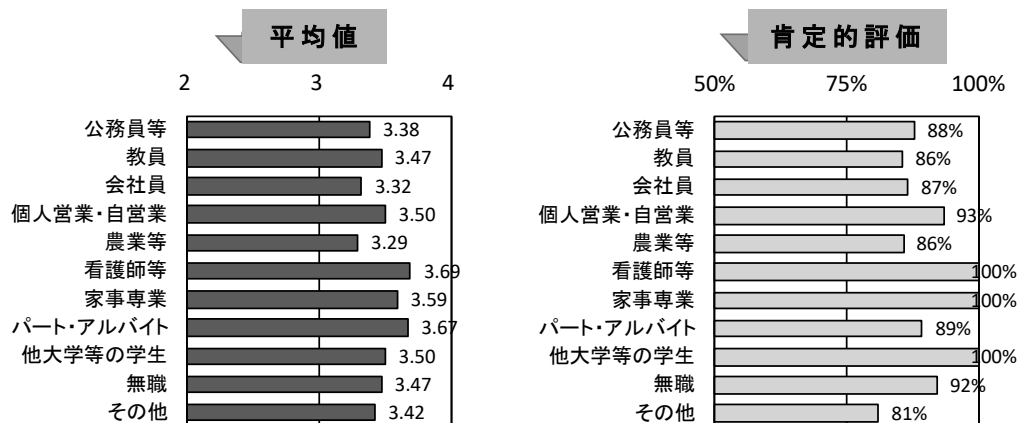
図２－８８【大学院】所属プログラム別の印刷教材の評価



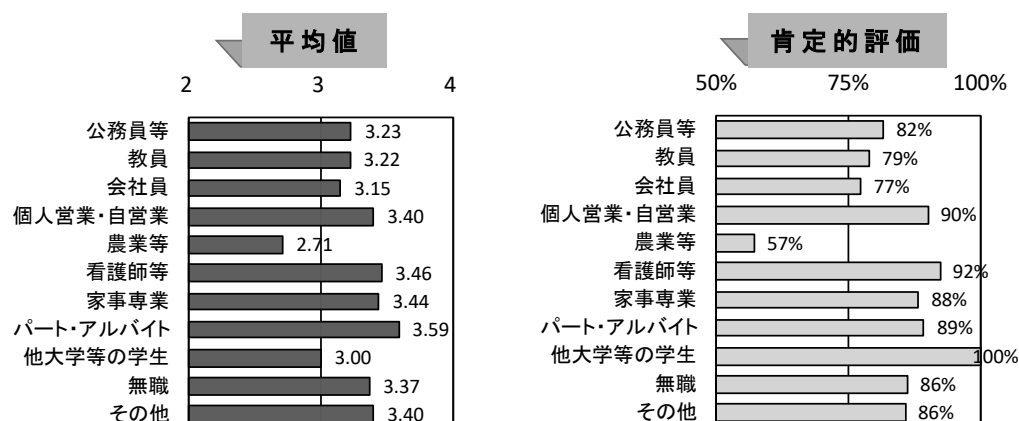
職業別に印刷教材の評価を見ると（図２－８９）、総合評価の（B-12）「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」は、全体的に評価が高い。一方、（B-11）「図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役に立った」の評価では「会社員」が他の職業に比べやや低い評価となっている。

図２－８９【大学院】職業別の印刷教材の評価

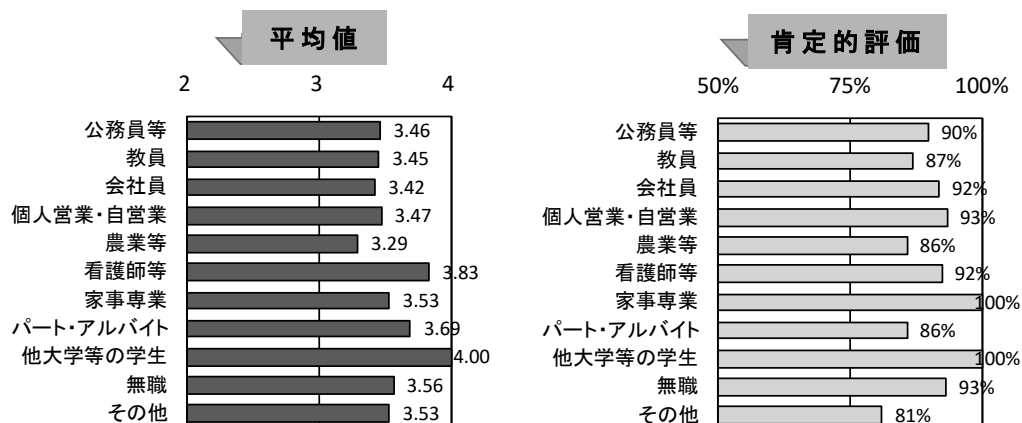
（B-10）印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった



（B-11）図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った



（B-12）印刷教材は教材としてよくできていると感じた



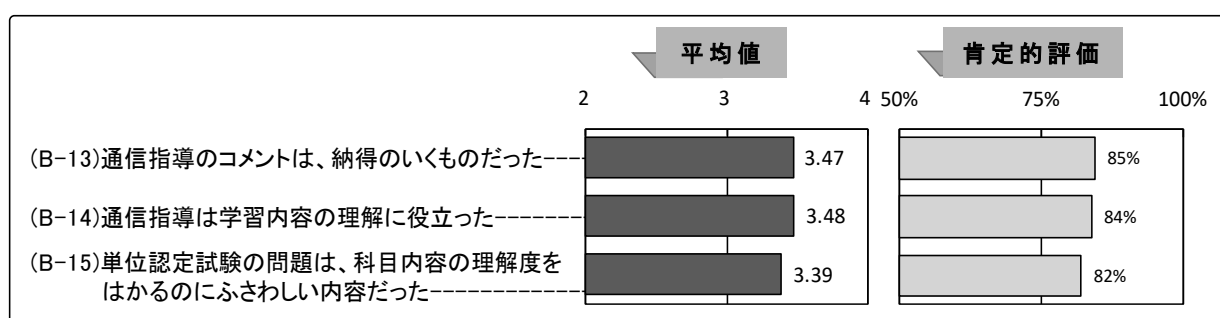
(5) 通信指導・単位認定試験

最後に通信指導・単位認定試験の評価について、項目ごとに見ていく。

通信指導については(図2-90)、(B-13)「通信指導のコメントは、納得のいくものだった」が平均値 3.47、肯定的評価 85%、(B-14)「通信指導は学習内容の理解に役立った」が平均値 3.48、肯定的評価 84%と、いずれも高評価である。

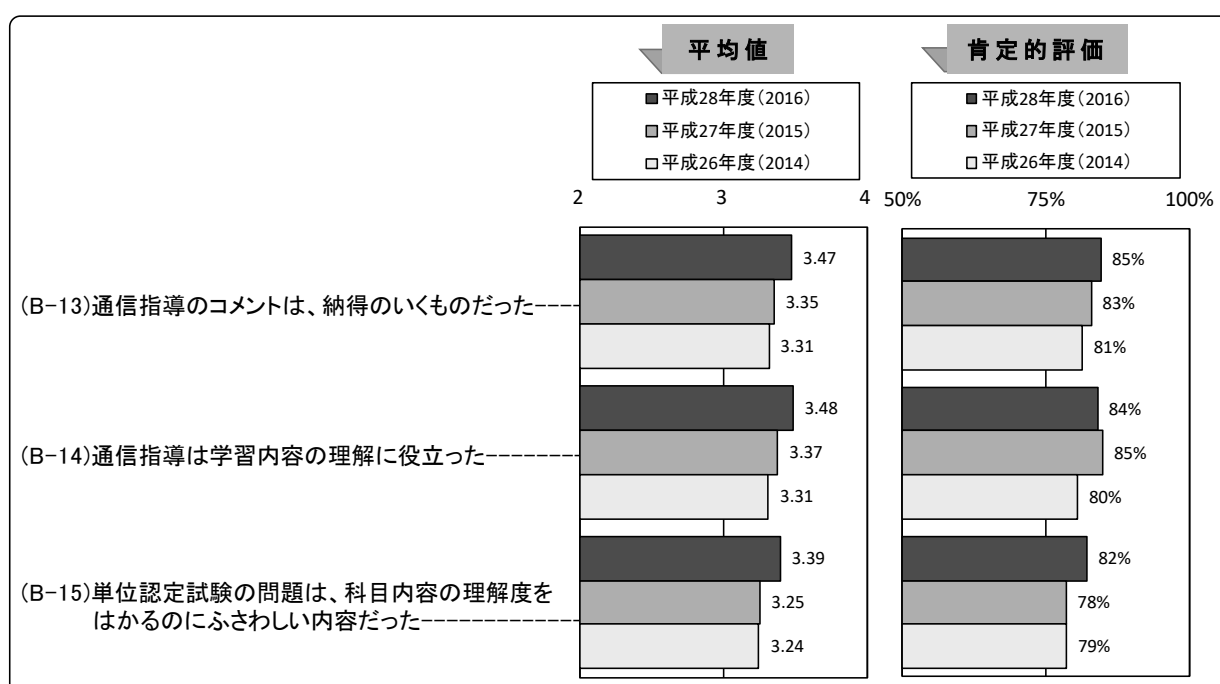
単位認定試験についても(B-15)「単位認定試験の問題は科目内容の理解度をはかるのにふさわしい内容だった」が平均値 3.39、肯定的評価 82%と評価が高いと言える。

図2-90 【大学院】回答者全体の通信指導・単位認定試験の評価



通信指導・単位認定試験の評価を時系列で見ると(図2-91)、いずれの項目も年々上昇しており、2016年度は上昇幅が大きい。

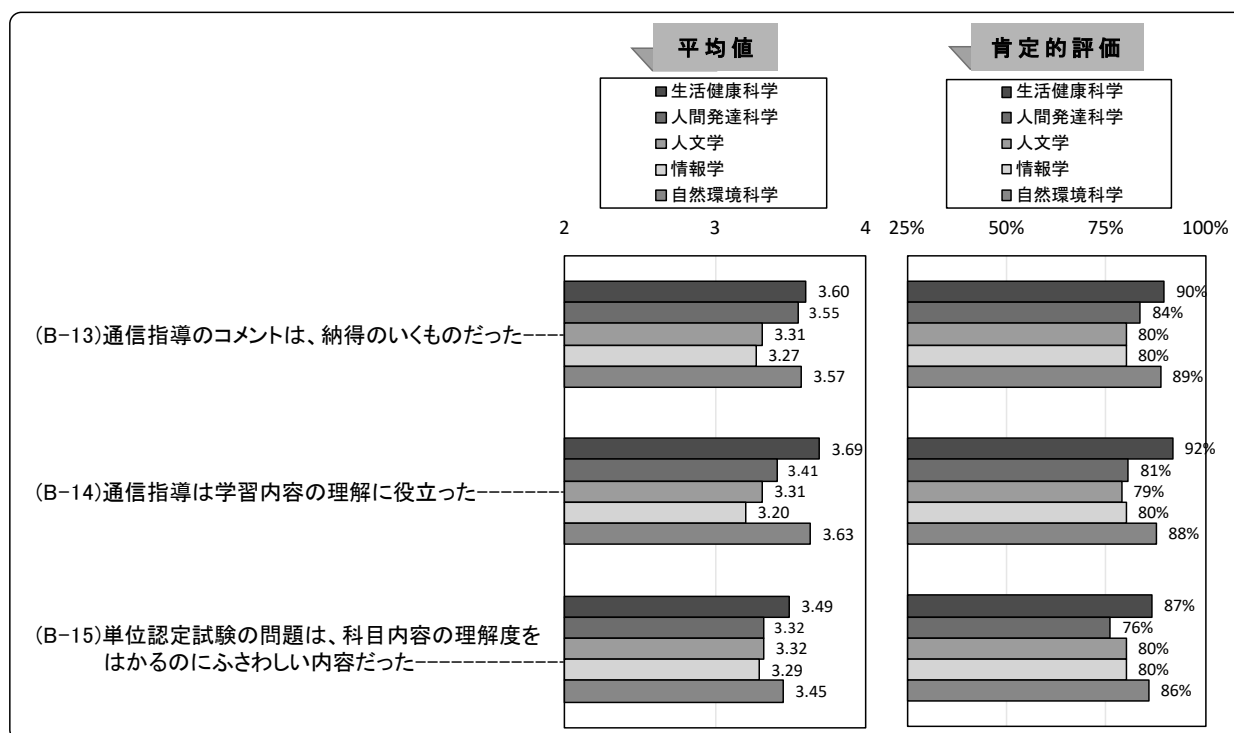
図2-91 【大学院】回答者全体の通信指導・単位認定試験の評価(時系列)



所属プログラム別に通信指導・単位認定試験の評価を見ると（図２－９２）、特に評価の低いプログラムはない。（B-13）「通信指導のコメントは、納得のいくものだった」は「生活健康科学」「人間発達科学」「自然環境科学」で評価が高く、（B-14）「通信指導は学習内容の理解に役立った」は「生活健康科学」「自然環境科学」で評価が高い。

また、単位認定試験においても、「生活健康科学」「自然環境科学」で評価が高い。

図２－９２ 【大学院】所属プログラム別の通信指導・単位認定試験の評価



Ⅱ－２－４．参考

ここでは、学部の場合と同様に、総合評価と各個別評価との関係を、相関係数を用いてみていく（相関係数の意味と見方については、巻末資料を参照されたい）。

（表２－７）は、放送授業の各評価項目と（A-2）「放送授業を十分に視聴した」（放送授業への取組姿勢）及び（B-7）「放送授業は教材としてよくできていると感じた」（放送授業の総合評価）の相関係数である。

表２－７ 【大学院】放送授業と各項目との相関係数

	(A-2) 放送授業を十分に 視聴した	(B-7) 放送授業は教材と してよくできていると 感じた
(A-2) 放送授業を十分に視聴した	1.000	0.346
(B-1) 放送授業の難易度は適切だった	0.397	0.552
(B-2) 放送授業の内容は適切な分量であった	0.420	0.532
(B-5) 講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった	0.348	0.730
(B-6) 講師の熱意が十分に伝わった	0.377	0.626
(B-7) 放送授業は教材としてよくできていると感じた	0.346	1.000
(B-8) 【TV】テレビの特性が十分に生かされていると感じた 【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた	0.258	0.560

これを見ると、（A-2）「放送授業を十分に視聴した」（放送授業への取組姿勢）と（B-7）「放送授業は全体としてよくできていると感じた」（放送授業の総合評価）の相関係数は0.346と、やや相関は見られるものの、強くはない。

また（A-2）「放送授業を十分に視聴した」（放送授業への取組姿勢）と放送授業の各評価項目の間では、（B-2）「放送授業の内容は適切な分量であった」の相関係数が0.420とある程度の相関を示しており、放送授業の視聴に際して何らかの影響を与えていることがわかる。

一方、（B-7）「放送授業は教材としてよくできていると感じた」（放送授業の総合評価）と放送授業の各評価項目との間では、いずれも強い相関が見られ、特に（B-5）「講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった」が相関係数0.730、（B-6）「講師の熱意が十分に伝わった」が相関係数0.626と、強い相関を示している。したがって、総合評価を高める上では、特に講師の説明内容や熱意が重要だと言える。

次に、印刷教材の各評価項目と、(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」(印刷教材への取組姿勢)及び(B-12)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」(印刷教材の総合評価)の相関係数を見たのが表2-8である。

表2-8 【大学院】印刷教材と各項目との単相関係数

	(A-3) 印刷教材を熱心に学習した	(B-12) 印刷教材は教材としてよくできていると感じた
(A-3) 印刷教材を熱心に学習した	1.000	0.310
(B-3) 印刷教材の難易度は適切だった	0.287	0.590
(B-4) 印刷教材の内容は適切な分量であった	0.267	0.581
(B-9) 印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった	0.187	0.632
(B-10) 印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった	0.314	0.755
(B-11) 図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った	0.243	0.673
(B-12) 印刷教材は教材としてよくできていると感じた	0.310	1.000

まず、(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」(印刷教材への取組姿勢)と各評価項目との間には、あまり相関は見られない。取組姿勢に対する自己評価では、印刷教材に対する評価はあまり表れていない。

一方、(B-12)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」(印刷教材の総合評価)と印刷教材の各評価項目とでは相関が強く、特に(B-10)「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」は相関係数 0.755、(B-11)「図表や写真などが適切に用いられ内容の理解に役立った」が 0.673、(B-9)「印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった」が 0.632 と強い相関を示している。であるから、印刷教材の総合評価をさらに高めるためには、逆に難易度や適量等に注力することが重要と言える。

続けて (A-1)「全体としてこの科目の学習に熱心に取り組んだ(熱心度)」、(B-19)「この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)」及び (B-20)「この科目の内容には全体として満足している(満足度)」と各評価項目の相関係数を見たのが(表2-9)である。

表2-9 【大学院】取組姿勢・全体評価と各項目との単相関係数

		(A-1) 全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ(熱心度)	(B-19) この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)	(B-20) この科目の内容には全体として満足している(満足度)
取組姿勢	(A-1) 全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ(熱心度)	1.000	0.486	0.470
	(A-2) 放送授業を十分に視聴した	0.514	0.295	0.282
	(A-3) 印刷教材を熱心に学習した	0.727	0.427	0.378
授業の難易度・分量	(B-1) 放送授業の難易度は適切だった	0.410	0.561	0.593
	(B-2) 放送授業の内容は適切な分量であった	0.403	0.460	0.530
	(B-3) 印刷教材の難易度は適切だった	0.325	0.569	0.589
	(B-4) 印刷教材の内容は適切な分量であった	0.260	0.499	0.533
放送授業	(B-5) 講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった	0.387	0.571	0.604
	(B-6) 講師の熱意が十分に伝わった	0.357	0.442	0.526
	(B-7) 放送授業は教材としてよくできていると感じた	0.264	0.485	0.551
	(B-8) 【TV】テレビの特性が十分に生かされていると感じた 【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた	0.258	0.387	0.457
印刷教材	(B-9) 印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった	0.261	0.474	0.553
	(B-10) 印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった	0.372	0.593	0.612
	(B-11) 図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った	0.241	0.469	0.508
	(B-12) 印刷教材は教材としてよくできていると感じた	0.319	0.528	0.589
単位認定試験・通信指導	(B-13) 通信指導のコメントは、納得のいくものだった	0.294	0.433	0.485
	(B-14) 通信指導は学習内容の理解に役立った	0.346	0.477	0.545
	(B-15) 単位認定試験の問題は、科目内容の理解度ををはかるのにふさわしい内容だった	0.304	0.486	0.556
全体評価	(B-16) 授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った	0.358	0.546	0.599
	(B-17) 学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった	0.497	0.649	0.791
	(B-18) 新しい知識が身につく視野が広がった	0.451	0.636	0.759
	(B-19) この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)	0.486	1.000	0.742
	(B-20) この科目の内容には全体として満足している(満足度)	0.470	0.742	1.000

まず、全体的な熱心度（取組姿勢）と全体評価の理解度、満足度との関係を見ると、熱心度と理解度は 0.486、熱心度と満足度は 0.470 の相関係数であり、熱心度と理解度・満足度との間には緩やかな相関が見て取れる。また理解度と満足度の相関係数は 0.742 と強い相関が見られ、理解度が高いと満足度も高いと言える。

（A-1）「全体としてこの科目の学習に熱心に取り組んだ（熱心度）」と各評価項目の相関を見ると、（A-3）「印刷教材を熱心に学習した」が相関係数 0.727 と強い相関が見られるが、（A-2）「放送授業を十分に視聴した」は相関係数 0.514 となっており、印刷教材中心の学習実態がうかがえる。さらに全体評価の各評価項目とも緩やかな相関が見られる。

（B-19）「この科目の内容を全体としてよく理解できた（理解度）」は、（A-2）「放送授業を十分に視聴した」、（B-8）「【TV】テレビの特性が十分に生かされていると感じた／【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」以外の各評価項目と相関が見られる。理解度は、放送授業や印刷教材の難易度・分かりやすさ、授業内容が興味や関心の高まるものであったかどうか、新しい知識が身につく視野が広がるものであったかどうかなど、さまざまな項目が要因となっている状況がうかがえる一方、取組姿勢とはあまり密接な関連は見られない。しかし、放送授業の存在意義を考えればさらなる改善が必要であろう。

（B-20）「この科目の内容には全体として満足している（満足度）」は、各評価項目と相関が見られ、満足度を高める上でいずれの評価項目も影響していることが分かる。なかでも特に相関が強いのは、（B-17）「学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった」、（B-18）「新しい知識が身につく視野が広がった」、（B-19）「この科目の内容を全体としてよく理解できた（理解度）」である。科目の満足度を高める上では全ての要素が連動して満足度に寄与する必要があるが、特に印刷教材の分かりやすさ、興味・関心のもてる授業内容、視野が広がるような知識の習得などが重要なポイントと言える。

また、学部で行った分析と同様の方法で放送授業、印刷教材の改善点の分析を試みる。

(B-7)「放送授業は教材としてよくできていると感じた」を基準に、この項目に対して1、2の評価を下した標本を母集団に各項目との相関係数を求めたのが(表2-10)である。

表2-10 【大学院】放送授業と各項目との相関係数

		(B-7) 放送授業は教材としてよくできていると感じた (評価1または2)
取組姿勢	(A-1) 全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ(熱心度)	-0.373
	(A-2) 放送授業を十分に視聴した	0.275
	(A-3) 印刷教材を熱心に学習した	-0.298
授業の難易度・分量	(B-1) 放送授業の難易度は適切だった	-0.018
	(B-2) 放送授業の内容は適切な分量であった	-0.027
	(B-3) 印刷教材の難易度は適切だった	-0.092
	(B-4) 印刷教材の内容は適切な分量であった	0.048
放送授業	(B-5) 講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった	0.215
	(B-6) 講師の熱意が十分に伝わった	0.120
	(B-7) 放送授業は教材としてよくできていると感じた	1.000
	(B-8) 【TV】テレビの特性が十分に生かされていると感じた 【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた	0.306
印刷教材	(B-9) 印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった	0.393
	(B-10) 印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった	-0.128
	(B-11) 図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った	0.160
	(B-12) 印刷教材は教材としてよくできていると感じた	-0.219
単位認定試験・通信指導	(B-13) 通信指導のコメントは、納得のいくものだった	0.054
	(B-14) 通信指導は学習内容の理解に役立った	-0.040
	(B-15) 単位認定試験の問題は、科目内容の理解度ををはかるのにふさわしい内容だった	0.158
全体評価	(B-16) 授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った	-0.035
	(B-17) 学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった	0.219
	(B-18) 新しい知識が身につく視野が広がった	0.022
	(B-19) この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)	0.078
	(B-20) この科目の内容には全体として満足している(満足度)	0.028

(B-7)「放送授業は教材としてよくできていると感じた」と強い相関があるものではなく、(B-9)「印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった」や(B-8)「【TV】テレビの特性が十分に生かされていると感じた／【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」とある程度の相関が見られる。ということは放送授業に対する低い評価の大きな改善点がこれらの項目であることを示唆している。

最後に、(B-12)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」に対して 1、2 の評価を下した標本を母集団として同様に分析したものが（表 2－1 1）である。

表 2－1 1 【大学院】印刷教材と各項目との相関係数

		(B-12) 印刷教材は教材としてよくできていると感じた (評価1または2)
取組姿勢	(A-1) 全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ(熱心度)	-0.126
	(A-2) 放送授業を十分に視聴した	0.035
	(A-3) 印刷教材を熱心に学習した	-0.323
授業の難易度・分量	(B-1) 放送授業の難易度は適切だった	0.063
	(B-2) 放送授業の内容は適切な分量であった	0.092
	(B-3) 印刷教材の難易度は適切だった	0.373
	(B-4) 印刷教材の内容は適切な分量であった	0.501
放送授業	(B-5) 講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった	-0.083
	(B-6) 講師の熱意が十分に伝わった	0.243
	(B-7) 放送授業は教材としてよくできていると感じた	0.051
	(B-8) 【TV】テレビの特性が十分に生かされていると感じた 【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた	0.171
印刷教材	(B-9) 印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった	0.246
	(B-10) 印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった	0.252
	(B-11) 図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った	0.000
	(B-12) 印刷教材は教材としてよくできていると感じた	1.000
単位認定試験・通信指導	(B-13) 通信指導のコメントは、納得のいくものだった	0.255
	(B-14) 通信指導は学習内容の理解に役立った	0.259
	(B-15) 単位認定試験の問題は、科目内容の理解度をはかるのにふさわしい内容だった	0.351
全体評価	(B-16) 授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った	0.160
	(B-17) 学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった	-0.255
	(B-18) 新しい知識が身につく視野が広がった	-0.146
	(B-19) この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)	-0.193
	(B-20) この科目の内容には全体として満足している(満足度)	-0.106

(B-4)「印刷教材の内容は適切な分量であった」と強い相関があり、(B-3)「印刷教材の難易度は適切だった」、(B-15)「単位認定試験の問題は、科目内容の理解度をはかるのにふさわしい内容だった」ともある程度相関が見られる。ということは印刷教材に対する低い評価の大きな改善点がこれらの項目であることを示唆している。

Ⅲ. 自由記述のまとめ

Ⅲ－1. 総括

自由記述については、かなり多くの学生が回答を寄せており、全回答合わせて約 9,900 件の記入があった。回答の傾向は、コース・科目・メディア等（さらに、年齢や職業も関係しているのだろうが）によってその言わんとするところは異なっている。

これらの自由記述における意見を読み込み、記述内容を分析することで、彼らの要望や志向、興味や学習意欲など、さまざまな情報を得ることができる。しかし、数が多いのでそのすべてをここに列記することはただ煩雑を増すだけである。個々の回答については、全ての回答の原文を査読いただくとして、ここでは学生の意見の全体像を俯瞰するために、自由記述に記入された意見を傾向ごとに分類・集約した。

集約方法は、コース（プログラム）の科目ごとに、その科目を受講して①「よかった点」②「気になった点」を、その意見内容の傾向によって分類整理し、さらにそこから「改善点の提案」を抽出した。

さらに、留意しておきたいのは、入学試験のない放送大学の性質上、受講生の素養や理解度のレベルにはかなり大きな差があるということである。加えて年齢の問題も関係してくる。実際に「老齢なので、小さい文字が読めない。」「新しい言葉はわからないので説明してほしい。」「記憶力が衰えているので、記憶力が問われるテストは困る。」「論述ではなく選択式にしてほしい。」等の意見が目立つ。また、同じ科目であっても、「難しすぎる」「もっと高度な内容にしてほしい」という意見が並列することもある。普通の大学では、このような要望を目にすることはあまりないと思われるが、放送大学では頻出している。以下の自由記述のまとめは、以上のことを踏まえうえで参考にしていたきたい。

まず学部の科目全般を集約すると、「よかった点」として以下の意見が多く見られた。

- 勉強になった、役に立った
- 新しい知識、知らなかった知識が身に付いた
- 知識の整理・深耕に役立った
- 今後の人生や仕事・生活・学習に役立つ
- 視野が広がった、視点・考え方が変わった
- 基礎的な知識を得られた

全体的に要約すれば、「教養の深まりと広がり」「実生活への反映と実践」に寄与したことが高評価の要因となっている。

また、「興味を持てた、関心を持てた」「さらなる学習意欲がわいた」「今までにない内容で興味深かった、新鮮だった」などの興味関心を促した意見や「学習センターや図書館が良かった／受講しやすい環境だった、楽しく受講できた面白かった」等、放送大学の存在や体制に対する好意的な意見も目立った。

次に、放送授業のよかった点としては、以下の意見が多かった。

- 分かり易く講義していた
- 講師の熱意や人柄の良さを感じた
- 受講して良かった
- 現場取材やインタビュー、実験があってよかった
- 映像や写真が多用され、分かり易かった
- 事例や身近な例を取り上げていた

「講師が分かり易く熱意をもって講義すること」「ビジュアルや音の要素を活用し、面白く見せる・聞かせること」の2つが、放送授業の高評価につながる要素と言えるだろう。この他「ドラマ形式や、アニメ・CG が良かった」「対話形式の授業が良かった」など講師が一方的に説明するのではなく、一工夫あったことも高評価の要因に挙げられる。

印刷教材については、以下が挙げられている。

- 分かりやすく、勉強になった
- 新しい知識・視点を得ることができた
- 引用・参考文献の紹介、練習問題が良かった
- 体系的に良くまとまり、整理されていた
- 基本的な知識を得られた、概要がわかった
- 図版や表が役に立った

要約すれば、「分かり易く面白く読める構成と内容であること」「図版や表などでビジュアル的にも訴えかけること」「引用・参考文献の紹介、練習問題でさらに進んだ学習ができること」の3つがより良い印刷教材作成の鍵となる。

通信指導については、以下が目立つ意見であった。

- 添削・コメントをしてもらえた
- 分かりやすく丁寧な指導だった
- 記述式が良かった

学習を進めていく上では、「添削やコメントによる、丁寧な指導」「単純な設問ではな

く、記述式の設問」が受講者にとって、励みとなっていることがうかがえる。

単位認定試験については、以下が挙げられた。

- 試験内容が適切だった
- 単位がとれた
- やりがいがある試験だった

試験内容については、「単位が取得できたこと」や「放送授業・印刷教材の内容から適切な試験となっていたこと」が評価に繋がっている。

一方、科目全般で「気になった点」としては、「よかった点」の裏返しで、難易度、内容や説明の不足、内容の広さ、具体例・事例不足、実生活と学習の調整に関する不満が多かった。

- 難しい、高度すぎる、理解できない
- 分かりにくい、説明・解説が不十分
- 内容が浅い、もっと専門性を持たせてほしい
- 具体例・事例・実践的な内容を増やしてほしい
- 内容を詰め込みすぎ、ボリュームが多すぎる
- 時間が取れない、勉強についていけない、努力不足だった
- 構成または内容を改善してほしい、内容を充実させてほしい
- 関連する科目・基礎科目を開設してほしい
- 現実に活かせる内容にしてほしい
- 興味・意欲がわかなかった、面白くなかった
- 参考書や問題集、補助教材を紹介・発刊してほしい

難易度に関しては、受講生の理解度・素養のレベルに差があるので、すべてに対応するのはなかなか困難であろう。しかし、「関連する科目・基礎科目を開設してほしい」「内容を詰め込みすぎ、ボリュームが多すぎる」「時間が取れない、勉強についていけない、努力不足だった」を踏まえると、基礎のみを重点的に受講する講義の開設も検討が必要になってくるだろう。「参考書や問題集、補助教材を紹介・発刊してほしい」については、講義の理解度や知識向上のために積極的に紹介・発刊していくことで改善されていくと考えられる。

次に放送授業で気になった点では、以下が目立った。

- テレビ科目にしてほしい
- 印刷教材を棒読み、または読んでいるだけであった
- 難しい、高度すぎる、理解出来ない、説明が不十分
- 印刷教材と連動していない
- 講師の話し方や発音、講義態度が良くない
- 構成・内容が良くない
- 具体例・事例・練習問題を増やしてほしい

「テレビ科目にしてほしい」が圧倒的に多く、やはり映像で確認できることが理解には必要ということだろう。また、「印刷教材を棒読み、または読んでいるだけであった」「講師の話し方や発音、講義態度が良くない」などは学生の学習意欲低下に繋がるので、早急な改善が求められる。

印刷教材で気になった点は、以下が挙げられている。

- 内容が理解しにくい、難しい、解説が不十分
- 図・写真・イラスト・表を増やしてほしい
- 文字・図・表・写真が小さい、画像が粗い、分かりにくかった
- 色刷にしてほしい
- 内容の詰め込み過ぎ、ボリュームが多すぎる
- フリガナ、専門用語の説明などがほしい
- 構成・内容が良くない、面白くない
- 誤植がある

印刷教材の難易度については、やはり受講者の理解度・素養が大きく関係している。「図・写真・イラスト・表を増やしてほしい」は難しいと感じている受講者にとっては、理解するのに重要な資料である。また、「文字・図・表・写真が小さい、画像が粗い、分かりにくかった」「色刷にしてほしい」は年齢や科目により差はあるが、解像度の充実を図っていききたい。なお、「誤植がある」は改善が必要になってくる。この他、「資料や数値、データが古い」といった意見も散見されたので、定期的な改訂が重要といえる。

通信指導については、以下の意見が寄せられている。

- 課題の内容・量が的確ではない。
- 指導内容、コメント、対応に不満がある
- 放送授業・印刷教材・単位認定試験と内容がずれている
- 問題の解答・解答例・解説がほしい

- 課題範囲が広すぎる、難しい

講義の流れに沿った内容で、個人のレベルに寄り添った丁寧な指導が求められている。

単位認定試験については、以下になる。

- 試験が難しすぎる、難易度を下げるべき
- 試験内容の設問・難易度に違和感があった
- 問題の解答・解説・用紙がほしい
- 試験内容が授業・教材・通信指導の内容と異なった
- 教材・電卓持込み可にしてほしい
- 試験が簡単すぎる、難易度を上げるべき

これらの要望は、主に受講者の学習進度や受講体制に関連しているものである。「難しすぎる」という意見に対して「簡単すぎる」という意見もある程度出ているし、「問題が多かった」という意見に対して、「少なすぎる」という意見も目立つ。また、「記述式がよい」と「〇×式、選択式がよい」のどちらも上がっていた。

以上、学部生の意見を大きく集約すれば、以下が求められていると言えるだろう。

- 興味の持てる内容を、分かりやすく、おもしろく講義する
- 学習に必要な資料の充実
- 丁寧な指導とアドバイス
- 適切な試験で単位が取得できる

可能な限り受講者の要望に沿うことが求められるが、これは全体を俯瞰した内容であり、さらに個々の科目ごとに見ていくとそれぞれの差異がみられる。それらを分析し、今後そのカリキュラム編成を見直し、科目に合ったレベルや授業方法の改善に結びつけていきたい。

次に、大学院の集約した結果を見ると基本的には学部と大差なく、サンプル数が少ないこともあり、学部ほど目立った差異を見出すことはできないが、「よかった点」よりも「気になった点」の方が多くなっている。これは、学究の進捗とともに要望も高度なものになっていると考えられる。

まず、全体的な「よかった点」としては、知識や学習意欲の向上に関する意見が多く見られた。

- 知識の整理・深耕に役に立った
- 勉強になった、役になった
- 新しい知識、知らなかった知識が身に付いた
- 視野が広がった、視点・考え方が変わった
- 今後の人生や仕事・生活・学習に役立つ
- 最新の情報・研究が学べた
- さらなる学習意欲がわいた
- 手元に置き、今後も読みたい内容だった
- さらなる学習のヒントや情報を与えられた

この他、「面接授業や実習」「学習センターや図書館」を評価する意見もいくつか見られた。大学院であるから当然ではあるが、それぞれの探求の姿勢と方向性が専門的かつ明確であり、志学の焦点がはっきりしていることが感じられる。

一方、科目全般の「気になった点」としては、内容の専門性の充実を求める意見が多くなっている一方、難しいといった意見も上げられていた。

- 内容が浅い、もっと専門性を持たせてほしい
- 分かりにくい、説明・解説が不十分
- 内容・範囲が広すぎる、テーマを絞ってほしい
- 具体例・事例・実践的な内容を増やしてほしい
- 内容を詰め込みすぎ、ボリュームが多すぎる
- 時間がとれない、勉強についていけない、努力不足だった

放送授業で「気になった点」は、以下が非常に多く見られた。学部とほぼ同様であり、放送大学全体としての検討が必要である。

- テレビ科目にしてほしい
- 印刷教材と連動していない
- 講師の話し方や発音、講義態度が良くない

印刷教材の「気になった点」では、放送授業とのずれを指摘する意見が見られた。

- 図やイラストを増やしてほしい
- 内容が理解しにくい、難しい、解説が不十分
- 放送授業と内容が異なる
- 文字・図・表・写真が小さい、画像が粗い、分かりにくかった

通信指導での「気になった点」は記述が少ないものの、以下の2点が目につくので、さらに丁寧・熱心な指導が求められている。

- 課題の内容・量が的確ではない
- 指導内容、コメント、対応に不満がある

単位認定試験での「気になった点」では、相反する意見があるが、高度な試験を期待する声の方が若干優位であった。

- 試験が簡単すぎる、難易度を上げるべき
- 試験が難しすぎる、難易度を下げるべき
- 記述式にしてほしい
- 評価方法に疑問を感じる
- 教材・電卓持込み可にしてほしい

以上、大学院ともなると、さすがにある程度学習が進んだ受講生が多いせいか、「試験を簡単にしてほしい」とか「授業が理解できない」という声は全体で極めて少なく、テレビ化への要望を別にすれば、授業そのものへの不満も少ない。印刷教材でも内容・構成や編集への要望が多くなっている。

大学院では、受講する側も高度な教育を求めている。それは、単に講義内容のみならず、学部以上に科目構成の充実や講師の熱意・指導力も必要とされるということである。

受講生も限られているので、教育の頂点としての大学院を目指しつつ、一つ一つの事例に対応することが求められている。

Ⅲ－2. 学部

【学部】「基盤科目」

よかった点

(単位:人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
勉強になった、役に立った	38		38
基礎的な知識を得られた	35		35
今後の人生や仕事・生活・学習に役立つ	25		25
新しい知識、知らなかった知識が身に付いた	21		21
知識の整理・深耕に役立った	16		16
さらなる学習意欲がわいた	13		13
視野が広がった、視点・考え方が変わった	13		13
学ばきっかけとなった、考えるきっかけとなった	12		12
楽しく受講できた、面白かった	12		12
興味が持てた、関心が持てた	10		10
内容がよかった、分かりやすかった	10		10
専門的な内容だった、レベルが高かった	3		3
他の科目と関連性が良かった	2		2
具体的な事例・実験があった	1		1
現在の課題や身近な問題点を学べた	1		1
学習センターや図書館がよかった	1		1
受験・資格取得に役立った	1		1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
分かりやすく、勉強になった	2		2
図版や表が役に立った	2		2
さらなる学習意欲・知識欲がわく内容だった	1		1
体系的に良くまとまり、整理されていた	1		1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
試験内容が適切だった	1		1
簡単だった	1		1
受験して良かった	1		1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
ドラマ形式や、アニメ・CGが良かった	14		14
分かり易く講義していた	7		7
講師の熱意や人柄の良さを感じた	4		4
対話形式の授業がよかった	2		2
実例や身近な例を取り上げていた	2		2
さらなる学習意欲・知識欲がわいた	1		1
受講して良かった	1		1

【学部】「基盤科目1」

気になった点

(単位: 人)

科目全般				印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
難しい、高度すぎる、理解できない	23		23	内容が理解しにくい、難しい、解説が不十分	5		5
分かりにくい、説明・解説が不十分	11		11	図・写真・イラスト・表を増やしてほしい	3		3
具体例・事例・実践的な内容を増やしてほしい	6		6	内容の詰め込みすぎ、ボリュームが多すぎる	1		1
時間がとれない、勉強についていけない、努力不足だった	4		4	難しい、文章が回りくどい	1		1
内容を詰め込みすぎ、ボリュームが多すぎる	4		4	放送授業と内容が異なる	1		1
放送授業と印刷教材の内容が異なる	3		3	構成・内容がよくない、面白くない	1		1
参考文献を紹介してほしい	2		2	フリガナ、専門用語の説明などがほしい	1		1
関連する科目・基礎科目を開設してほしい	1		1	内容が薄い、少なすぎる	1		1
構成または内容を改善してほしい、内容を充実させてほしい	1		1	文字・図・表・写真が小さい、画像が粗い、分かりにくかった	1		1
内容が浅い、もっと専門性を持たせてほしい	1		1				
面接授業を実施してほしい、参加しやすくしてほしい	1		1				
内容にまとまりがない、統一性・関連性がない	1		1				

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
タレントや芸能人は必要ない、違和感がある	5		5
印刷教材と連動していない	5		5
講師の話し方や発音、講義態度が良くない	3		3
構成・内容がよくない	3		3
難しい、高度すぎる、理解できない、説明が不十分	3		3
印刷教材と内容が異なる	2		2
講義のテンポが良くない(早い・遅い)	2		2
ノートを取る余裕がほしい	1		1
手話通訳または字幕がほしい	1		1
例題・実習・演習を取り入れてほしい	1		1
具体例・事例・練習問題を増やしてほしい	1		1
資料・データ・映像・内容が古い、改定してほしい	1		1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
指導内容、コメント、対応に不満がある	3		3
課題範囲が広すぎる、難しい	1		1
課題の内容・量が的確ではない	1		1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
試験内容の設問、難易度に違和感があった	2		2
試験が難しすぎる、難易度を下げるべき	1		1
記述式および記述に関して改善してほしい	1		1
教材・電卓持込み可にしてほしい	1		1

主な改善点の提案:「気になった点」から抽出・集約

- 難しい言葉・用語は説明する。
- 放送授業に適した人物が解説する。
- 通信指導での評価や試験結果を踏まえて、指導ポイントを本人に確実にフィードバックする。
- 具体例や事例を増やし、理解度を上げる授業を行う。
- 放送授業と印刷教材の連動に留意する。

【学部】「基盤科目」科目

よかった点

- 今まで「読む」「書く」について、これまで特に気にもかけず接していたが、日本語のそれぞれの意味・使い方・読み手・書き手、必要な事柄が少し理解できたと思う。特に「は」と「が」「対偶」「文章のつながり」など。そして、もっと深く勉強したいと思いました。
- 文章を書く上で正しい書き方（自分の中でそう思っていた）にこだわり、自信のない時もありました。受講しながら自分を見直すことができ、多くを学び、楽しかったです。日本語とは深く考えず、日常過ぎていますが、外来語？和語？漢語？かなと、受講後振り返ることが以前よりも多くなりました。でも、日本語は理解したり伝える難しさも多く、なかなか伝えることができないですが、知識を少しでも多くえるように一步ずつと、周りにも目を向ける大切さも重要ですね。
- 平易な表現で、わかりやすく解説してくださっていると感じました。講師の先生の温かみ、ユニークに見える外見も意外性があり、好感が持てました。普段、わかっていると思い込んでいることを改めてきちんととらえる良い機会となりました。ありがとうございました。
- 書く事だけでなく、他人に理解されるように伝えることが苦手だったが、その理由を、知識や語彙の乏しさと考えていた。「日本語リテラシー」を学んだことで、日本語を知り活用できる能力をつけるための基礎的な知識があることが理解できた。学問としてはとても深く難しい内容を簡潔に示していただき、導入としては親しみやすい。放送大学はレポートのある科目は少ないが、必須科目になってもよいと思う。
- コンピュータの仕組みを初歩的ながら知り、生活に役立てられたこと。情報技術、情報関連法に対する見方や考え方を深められたこと。
- 情報通信技術の基本的な事が理解出来て、コンピュータやスマートホンに関する用語ならびに仕組みが理解しやすくなり、活用がスムーズになるのではないかと。
- 学校で国語を学んでから時間が経ち、日本語が不確かとなっていました。そのため文章を書くことが苦手となっていました。が、「日本語リテラシー」を学んで、忘れていたことを思い出し、苦手意識が少しは減ったように思います。また、説明文を学べて良かったです。
- 手に取って見たり、ふれたりするものとは違う「情報」というものへの取り組み方が、少しずつですがわかりました。専門用語ではないくらいのカタカナ、アルファベット用語をあいまいに使っていたので、改めて知ることができました（例：パケット、ルーター、ワームなど）。
- 情報化の波の中で、単にPCを操作しているだけの生活を過ごしていた中で、情報の言葉は知っているが、その内容までは深く知っていなかった。今回受講して、基礎知識の内容や仕組みを知ることができた。また、使用に当たってのルールやマナー及びリスクも学ぶことができ良かったです。
- 情報があふれていて、社会の進展の速度が速く、ついていけないものにとって、情報の伝達の仕組み、用語の意味の理解が少し深まり、情報リテラシー能力が少し上がったと思います。
- 独学では理解できていなかった原理的なものについて、よく理解できた。特にEOR回路、半加算器のしくみをビジュアルに理解できたこと。
- コンピュータのしくみ、インターネットでの情報のやりとりが、どのように行われているのか知ることが出来た。また、情報社会でのリスクや注意すべき点なども、とても参考になった。

気になった点

- 放送授業では、もっと先生が前面に出て主導していただけるとよかったです。人形（2体）とのやり取りは、無駄とは言いませんが、教育 TV の子供向けの番組ではないのだから、テキストの補足的説明をもっと先生のお話から聞きたかったと思いました。
- 印刷教材に載っていない例文などが多く、また、印刷教材を利用しないで、放送授業が進むことが多かった。予習復習が難しいと感じる。
- 放送授業の進め方が、往々にして印刷教材に沿って行われないため、今行われている放送授業が、印刷教材のどの部分なのか探するのに手間取り、授業内容が部分的な理解になり、十分な理解に困難を覚える。また、講師とアシスタント（人形）の会話も、進め方が早いため、理解しづらい。始めて学ぶ科目を履修するものにとって、用語、事象の説明には時間を割いて、理解の助けとなるような授業としてほしい。
- 中心文、支持文などの違いはわかったが、文を組み立てるときのポイントなどをもっと知りたかった。
- 放送授業の中で人形が使われています。わかっているはずの日本語を、さらにわかりやすいよう工夫されていて感心してしまう一方で、視線を下げ過ぎている印象を受け、学習意欲が下がるような感覚になってしまったことがあります。子供と一緒に受けているわけではないので、少し気恥しくなりました。そういう意味ではあの演出の効果は疑問です。
- 印刷教材は限られたコストで作られているので、無理かもしれませんが、やはり読んで分かりづらい。テレビのように、色や文字のフォント、大きさ、表現の仕方など、視覚に訴えるものだとわかります、印刷教材をテレビの放送授業の画面に近づけてほしいです。
- 科目名称が日本語なのに、なぜリテラシーとしているのか。日本語のふさわしい名称がないとは思わないので、こだわってほしい。
- 説明が一部難解で、理解しにくい部分があった。特にプログラミング、情報倫理の法律など。この科目に関しては、試験形式は持ち込み可にするべきだと思う。学習内容が難しく、分量が多すぎて学習が困難。
- とびらとして初めての挑戦でしたが、プログラミングの演算の説明、難しく、変数と代入等の詳細な説明がほしかったと思いました。
- もっと参考にできる書籍など紹介していただけるとありがたいと思います。プログラミングのところでは、もう少し詳細な説明が必要だったと思います。
- 内容が少し多岐に渡りすぎているように感じた。特に情報社会と法律は、内容が放送授業を見てノートをとって、印刷教材を読んでも、よく理解できなかった。
- 技術面での理解を深めることが出来た。ただ、法律的な内容と、技術的な内容は、分離した方が良いと感じた。

基盤科目総覧

科目全般の良かった点では、まず、「勉強になった、役立った」「基礎的な知識を得られた」という意見が同数程度上げられていた。

放送授業では「ドラマ形式や、アニメ・CGが良かった」点が最も多く、基盤科目として、分かりやすく工夫されたのが評価されている。

印刷教材でも「分かりやすく、勉強になった」「図版や表が役に立った」の意見が見られた。

気になった点は、良かった点の裏返しで、「難しい、高度すぎる、理解できない」「分かりにくい、説明・解説が不十分」を挙げている受講生が多い。

放送授業では、「タレントや芸能人は必要ない、違和感がある」「印刷教材と連動していない」が同数で最も多くなっている。

【学部】「基盤科目(外国語)」

よかった点

(単位:人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
視野が広がった、視点・考え方が変わった	31	2	33
内容がよかった、分かりやすかった	27	6	33
新しい知識、知らなかった知識が身に付いた	26	6	32
勉強になった、役に立った	25	3	28
さらなる学習意欲がわいた	25	3	28
興味を持てた、関心を持てた	24	1	25
楽しく受講できた、面白かった	19	1	20
知識の整理・深耕に役立った	13	7	20
基礎的な知識を得られた	17		17
今後の人生や仕事・生活・学習に役立つ	11		11
学ぶきっかけとなった、考えるきっかけとなった	4	2	6
今までにない内容で興味深かった、新鮮だった	3	1	4
身近に感じることが出来る内容だった	3	1	4
専門的な内容だった、レベルが高かった	1		1
現在の課題や身近な問題点を学べた	1		1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
映像・テレビでよかった	20		20
講師の熱意や人柄の良さを感じた	10		10
講師以外の人や複数の専門家の話を聞けた	9		9
現場取材やインタビュー、実験があつてよかった	9		9
分かり易く講義していた	6	1	7
映像や写真が多用され、分かり易かった	3		3
実例や身近な例を取り上げていた	2	1	3
対話形式の授業がよかった	2		2
受講して良かった	1	1	2

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
分かりやすく、勉強になった	1	4	5
基本的な知識を得られた、概要がわかった	2	1	3
引用・参考文献の紹介、練習問題が良かった	1		1
ポイントが明確に押さえられていた		1	1
体系的によくまとまり、整理されていた		1	1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
現在の学習課題や問題点を知ることができた	1		1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
受験して良かった	2		2
評価がよかった	1		1
やりがいがある試験だった	1		1

【学部】「基礎科目2」

気になった点

(単位:人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
難しい、高度すぎる、理解できない	18	5	23
内容を詰め込みすぎ、ボリュームが多すぎる	15	6	21
分かりにくい、説明・解説が不十分	18	1	19
時間が取れない、勉強についていけない、努力不足だった	9	1	10
内容が浅い、もっと専門性を持たせてほしい	9		9
構成または内容を改善してほしい、内容を充実させてほしい	4	2	6
内容・講師に思想的偏りがある	4		4
具体例・事例・実践的な内容を増やしてほしい	3	1	4
興味・意欲がわかなかった、面白くなかった	4		4
関連する科目・基礎科目を開設してほしい	2	1	3
事前に、講義内容についての詳しい情報がほしい	2		2
内容・範囲が広すぎる、テーマを絞ってほしい	2		2
最新の内容の講義にしてほしい	1		1
参考書や問題集、補助教材を紹介・発刊してほしい	1		1
費用が高い、過去の受講生などには優遇制度がほしい	1		1
現実に活かせる内容にしてほしい	1		1
面接授業を実施してほしい、参加しやすくしてほしい	1		1
インターネットでの利用が分かりにくい、使いづらい		1	1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
内容が理解しにくい、難しい、解説が不十分	12	2	14
和訳・英訳がほしい	13		13
内容の詰め込みすぎ、ボリュームが多すぎる	4		4
構成・内容がよくない、面白くない	3		3
内容が薄い、少なすぎる	3		3
図・写真・イラスト・表を増やしてほしい	2	1	3
文字・図・表・写真が小さい、画像が粗い、分かりにくかった	1	1	2
DVD・CDの添付を考えてほしい	2		2
色刷りにしてほしい	2		2
フリガナ、専門用語の説明などがほしい	1		1
放送授業と内容が異なる	1		1
印刷教材のPDF化やダウンロードを考えてほしい	1		1
放送授業の参考資料やページデータなども載せてほしい		1	1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
課題の内容・量が的確ではない	1		1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
難しい、高度すぎる、理解出来ない、説明が不十分	6	2	8
講義のテンポが良くない(早い、遅い)	4	3	7
1科目の放送時間が短い	3	2	5
テレビ科目にしてほしい	2	3	5
講師の話し方や発音、講義態度が良くない	4		4
具体例・事例・練習問題を増やしてほしい	2	2	4
放送授業が聞き取りづらい	2	1	3
構成・内容がよくない	3		3
まとめや学習ポイント、総括がほしい	3		3
放送授業の時間が合わない	2		2
印刷教材を棒読み、または読んでいただけであった	2		2
手話通訳または字幕がほしい	1		1
印刷教材と内容が異なる	1		1
内容を詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる	1		1
視聴手段を増やしてほしい(DVDビデオ・配信等)	1		1
印刷教材と連動していない	1		1
印刷教材と異なる講義が聴きたい		1	1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
試験内容の設定・難易度に違和感があった	9		9
試験が難しすぎる、難易度を下げるべき	5		5
問題が多かった、範囲が広がった	4		4
教材・電卓持込み可にしてほしい	2		2
評価方法に疑問を感じる	1		1
試験が簡単すぎる、難易度を上げるべき	1		1
問題数が少なかった	1		1
試験内容が授業・教材・通信指導の内容と異なった	1		1
問題の解答・解説・用紙がほしい	1		1

主な改善点の提案:「気になった点」から抽出・集約

- 難しい言葉・用語は説明する。
- 扱う範囲が広いので、科目を分けてより詳細な授業を望む。
- 認定試験は学習の内容や進捗に合わせ、適切な出題とする。
- 学生の学びの速度と講義の進捗に留意する。
- 専門性に乏しい内容があったので、より詳細な授業を行う。
- 印刷教材に和訳・英訳や表などを載せ、内容を充実させる。

【学部】「基盤科目（外国語）」 科目

よかった点

- 新しい知識が身についた。個々で興味を持った作家や作品について、より深く学習してみたいと思う。テキスト以外のテレビでの映像が理解に役立った。
- イギリス文学とイギリスの地名との関係がよく分かった
- 自分自身が英国を周遊している気分になれる、学習と同時に、心が癒される映像が盛りだくさんでした。内容が濃く、ぜひ続編が開講されれば嬉しいです。
- 放送授業では、講師と一緒に旅をする感覚で、毎回わくわくしながら観た。作家の生い立ちや作品にまつわる話も盛り込まれていて、優れた教材に感心しながら受講した。
- 美しいイギリスの風景が楽しめた。中世英語を少し知ることが出来て、現在とは全く異なる発音・語彙が面白かった。本物のイギリス人役者の朗読に魅了された。
- まるで実際にイギリスを旅しているような気分になれる。字幕を効果的に利用していて、全編を通じて英語の説明だが、わかりやすい。現地の様子や歴史的建造物、資料などから、作品が書かれた当時のことを想像しやすい。
- 英国の著名な作家達が、いかに生まれ、故郷の自然を愛し、そこでの生活に意義を見つけたか、よく理解できた。イギリス国の持つ、自然への敬意と、それを尊重する人生観に、Writers のスピリットが見えました。
- 名前を知らなかった作家、名前は知っていたが、その作品を知らなかった作家など、読んでみたくなる作品に数多く出会うことができた。それぞれの土地の映像が、作品をより深く理解する手助けとなった。また、随所にユーモアが感じられ、楽しく学ぶことができた。
- 英文学を深く学びたいと思っていたので、内容にとっても満足している。新たな文学者（作家）とも出会い、図書館で借りている。知らなかったことを知る喜びこそ、学ぶことの第一義と思う。テキスト・映像共に、よく出来ているし、実際に英国を訪れたい。
- 普段、あまり知ることのできないイギリスの文化や歴史を、英文学の巨匠たちの作品や、彼らのゆかりの地を通して学ぶことができた。後半の Touch of Trivia も面白かったし、とても勉強になった。この科目を通して、イギリスや英語の勉強がさらに好きになった。先生方の話される英語と日本語の分量もそれぞれちょうど良く、全体的にバランスが良かった。
- これまで少し独学していましたが、やはり、しっかりした内容で、基礎から勉強でき、知識を広げることができました。引き続き、韓国語Ⅱも受講します。
- 英語以外での外国語に初めてトライした。講師の熱意ある指導はとても好感もてる講義だった。
- 文法と会話の調和がとれていた。場面設定が適切だった。外国語を学ぶのは外国語そのものより、その奥にある国や地域の特性や文化を知ることにある。その点、朝鮮の民族性のようなものが感じられた。

気になった点

- 日本語訳が英文内容をすべて訳していないので、講義中にどこを説明しているのか戸惑うことがよくあった。事前に日本語訳は全てを訳していないことを言うておく方がよい。あくまでも要約的訳であることを言うておくよかった。
- 印刷教材の内容量のわりに、放送授業時間が短く、印刷教材本文の説明が少ないと感じた。
- もう少し、英文の意味について解説してほしい。作家の選択に偏りがあるように感じた。もう少し20世紀の作家が入ったほうが良いように思った。
- 時間の制約があるとは思いますが、もう少し作品を詳しく見ていけたらと思いました。英詩についても、英文学とのかかわりなど、もう少しあったらよかったと思います。
- 各回で作家についての年表を説明する時に、不十分と感じた。全体的にかなり急ぎ足の科目だと思う。扱う作家を減らしてでも、もう少し深く学べる方が良くと思う。
- 専門用語、例えば音の変化で言えば、鼻音化、流音化、激音化といった言葉、これらは初めて科目を受講するものにとっては、たとえ教材に十分な説明があったとしても理解が困難です。つまり、一受講期間（6か月）中には、やや重荷の感じがしました。
- 印刷教材に書いてあったように内容を難しくしている。先生の指導方針だと思うが、理解しづらいので韓国語への興味がなくなってしまった。
- 外国語講座は（Ⅰ）（Ⅱ）ともテレビが望ましいと思います。ラジオは音声のみなので理解が十分できたとは言えず、印刷教材を見て勉強することが多かった。また、この科目は本文がすばらしいのに解説に時間をかけすぎています。テレビ（Ⅰ）のように本文に時間をとってほしかった。4か月で学習するには時間が足りないので、解説の学習に時間をとられ、本文の学習はおろそかになりました。
- 印刷教材、放送授業共に、内容的に非常に凝縮されたものであり、繰り返し読み繰り返し聴かないと理解と定着に至らない（受講生の年齢的制約もあるが）。授業の時間的制約と内容理解の難易度とのバランスが難しいと思います。

基盤科目（外国語）総覧

良かった点の科目全般では、「視野が広がった、視点・考え方が変わった」「内容がよかった、分かりやすかった」「新しい知識、知らなかった知識が身に付いた」など知識向上を喜ぶ意見が目立つ。また、「さらなる学習意欲がわいた」「興味が持てた、関心が持てた」といった、学習意欲が高まったという声も多かった。

放送授業では、「映像・テレビでよかった」とする意見が多い。

気になった点では、全体的に「難しい、高度すぎる、理解できない」「難しい、高度すぎる、理解出来ない、説明が不十分」の意見が多く、難易度に不満があることがうかがえる。

印刷教材においては、「和訳・英訳がほしい」といった外国語科目ならではの意見が上げられていた。

単位認定試験でも、試験の難しさに関するものが多く見られた。

【学部】「生活と福祉」

よかった点

(単位: 人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
勉強になった、役に立った	39	55	94
今後の人生や仕事・生活・学習に役立つ	32	56	88
基礎的な知識を得られた	37	38	75
新しい知識、知らなかった知識が身に付いた	42	22	64
視野が広がった、視点・考え方が変わった	10	28	38
知識の整理・深耕に役立った	11	22	33
現在の課題や身近な問題点を学べた	13	20	33
最新の情報・研究が学べた	24	7	31
具体的な事例・実験があった	4	23	27
内容がよかった、分かりやすかった	13	13	26
興味が持てた、関心が持てた	7	18	25
学ぶきっかけとなった、考えるきっかけとなった	4	19	23
さらなる学習意欲がわいた	9	11	20
身近に感じることが出来る内容だった	2	10	12
楽しく受講できた、面白かった	4	4	8
受験・資格取得に役立った	2	3	5
専門的な内容だった、レベルが高かった		4	4
今までにない内容で興味深かった、新鮮だった	1	2	3
他の科目と関連性が良かった		2	2

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
分かりやすく、勉強になった	3	9	12
図版や表が役に立った	2	4	6
放送授業と内容が連動している	1	3	4
手元に置き、今後も読みたい内容だった		1	1
最新の情報や研究が紹介されていた		1	1
読み物として面白い内容だった		1	1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
受験して良かった	1	2	3
単位がとれた	1		1
試験内容が適切だった		1	1
やりがいがある試験だった	1		1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
分かり易く講義していた	5	7	12
講師の熱意や人柄の良さを感じた	3	4	7
対話形式の授業がよかった	3		3
講師以外の人や複数の専門家の話を聞いた		3	3
映像・テレビでよかった	3		3
放送授業と印刷教材の内容が同じだった	1	1	2
受講して良かった		1	1
実例や身近な例を取り上げていた	1		1
新しい発見や驚きがあった	1		1
映像や写真が多用され、分かり易かった	1		1
放送のテンポや時間構成がよかった		1	1

【学部】「生活と福祉」

気になった点

(単位:人)

科目全般				印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
具体例・事例・実践的な内容を増やしてほしい	6	11	17	文字・図・表・写真が小さい、画像が粗い、分かりにくかった	6	11	17
難しい、高度すぎる、理解できない	9	6	15	内容が理解しにくい、難しい、解説が不十分	5	6	11
内容が浅い、もっと専門性を持たせてほしい	3	11	14	色刷にしてほしい	3	2	5
分かりにくい、説明・解説が不十分	4	7	11	資料・データが古かった、改定版を出してほしい	1	2	3
時間がとれない、勉強についていけない、努力不足だった	5	5	10	放送授業の参考資料やページデータなども載せてほしい	2	1	3
現実に活かせる内容にしてほしい	4	2	6	構成・内容がよくない、面白くない	2		2
内容・範囲が広すぎる、テーマを絞ってほしい	5	1	6	図・写真・イラスト・表を増やしてほしい	1	1	2
最新の内容の講義にしてほしい	2	4	6	内容が薄い、少なすぎる	1	1	2
興味・意欲がわかなかった、面白くなかった	2	1	3	放送授業と内容が異なる	1		1
内容を詰め込みすぎ、ボリュームが多すぎる	1	2	3	参考書や問題集を発行してほしい、練習問題を増やしてほしい	1		1
関連する科目・基礎科目を開設してほしい	2	1	3	フリガナ、専門用語の説明などがほしい	1		1
参考書や問題集、補助教材を紹介・発刊してほしい	3		3				
事前に、講義内容についての詳しい情報がほしい	2	1	3				
科目の分類に疑問がある	2	1	3				
内容にまとまりがない、統一性・関連性がない	1		1				
内容・講師に思想的偏りがある	1		1				
判断・評価できるレベルに達していない	1		1				
構成または内容を改善してほしい、内容を充実させてほしい	1		1				
働く人間や主婦のために時間的な配慮がほしい	1		1				
学校の対応が悪かった		1	1				

放送授業				通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
テレビ科目にしてほしい		14	14	問題の解答・解答例・解説がほしい	1	4	5
印刷教材を棒読み、または読んでいただけであった		10	10	課題範囲が広すぎる、難しい	1		1
印刷教材と連動していない	5	4	9	課題の内容・量が的確ではない		1	1
具体例・事例・練習問題を増やしてほしい	4	4	8				
講師の話し方や発音、講義態度が良くない	5	1	6				
印刷教材と異なる講義が聴きたい		5	5				
放送授業の時間が合わない	5		5				
講義のテンポが良くない(早い、遅い)	1	3	4				
印刷教材と内容が異なる	2	1	3				
例題・実習・演習を取り入れてほしい	2		2				
構成・内容がよくない	1	1	2				
録画・録音が無理なので、対策を考えてほしい		2	2				
難しい、高度すぎる、理解できない、説明が不十分	1	1	2				
放送授業が聞き取りづらい	2		2				
図・表・写真を利用してほしい		2	2				
まとめや学習ポイント、総括がほしい		2	2				
講師の独りよがりになっている		1	1				

主な改善点の提案:「気になった点」から抽出・集約

- 印刷教材の内容やレイアウトに留意し、必要な場合は図や表、用語説明を加える。
- ラジオではわからないところが出てくる。テレビでの講義を求む。
- 専門性に乏しい内容があったので、より詳細な授業を行う。
- 授業や教材には最新のデータや現状・現実を取り入れ、時代に即したものにします。
- 放送授業と印刷教材の連動に留意する。
- 通信指導での評価や試験結果を踏まえて、指導ポイントを本人に確実にフィードバックする。
- 認定試験は学習の内容や進捗に合わせ、適切な出題とする。
- 練習問題や演習など、授業以外での学びのチャンスを作る。
- テキストの丸読みは避け、授業の独自性を持たせる。

【学部】「生活と福祉」科目

よかった点

- 実生活に直接かかわる内容がほとんどで、学習意欲が自然と高まり、知識が増えたことがたいへんうれしかった。自分がすでに終えた一生の中のイベントも多くあったが、適切に行って来たかが反省でき、子供達の将来に生かしたい内容が学べた。
- 教科名通り、生活の中で経済を数字で的確に見ることができて興味深かった。日本社会のいろんな問題が浮き彫りになり、考えさせられた。
- 生活に密着した経済を幅広く学ぶことができよかった。不安な経済状態である私達の生活に於いて、賢いお金の使い方を学び、充実した人生を送る為にも、確かな知識を得ることは、とても大切なことだと改めて思いました。
- 少なくとも、この科目を受講するまでは自分の身近なところでおきている事例にしか目が向いていなかったように思います。そして、そういった事例に対応する窓口がどこにあるのか、知らないことばかりであることに気づくことができました。
- 社会福祉は、多くの人々の「仕掛け」によって、修正、拡大し、現代社会においては、その重要な要素となっているとのこと。一般生活に「溶け込んだ」社会福祉、自分が利用したことのある、あるいは、利用する可能性の高い社会福祉である。ことが、この科目の受講してよかったと思う点である。
- 社会福祉を包括的に捉えて考えることができ、多様な社会福祉の考え方や少し理解が深まった学びになった。施設生活からの脱施設化、個々人の生活形態の選択については、時に、地域における「支え合い」を考える検討の学びとなってよかった。始めは少々内容は難しく思えたが、何度も繰り返し教材を学ぶにあたり、理解でき、充実した時間を過ごせました。
- 見聞を広げることができた。社会福祉という「仕掛け」から始まり、回を重ねるごとに知識として入ってきた。特に地域の問題と支え合いによる解決の課題、地域住民による支え合い、日本の「和」の心を大切に作るコミュニティが、今後の活動に生きていくと思った。
- 生活に欠かせない情報であるにも関わらず、そのしくみや活用については、学生の頃に習った事のない分野でしたので、とっつきにくさや興味が持てるかどうか不安をかかえての授業でした。ところが初心者でも分かりやすい、知らずに身近で使われている情報が、具体的にイメージできるような構成で理解できる内容でしたので、(アレルギーを取り除ける)とても楽しい授業でした。
- 医療はサイエンスでありアートであるとの基本思想を学ぶことができ、さらに、ナイチンゲールの「看護覚え書き」を読むことで、医療従事者(一般人にも共有できると考える)全員が、目配り気配り心配りを実践するとともに、標準化していく必要性を学ぶことができた。
- 社会保険の分類と、それぞれの内容について基礎的な部分からわかりやすく解説されていて、理解しやすい授業でした。現在の日本が抱えている社会保障の増大等の問題を考えるにあたって、有用な知識を得られたと感じます。
- 国民の生活、命の基盤である医療・年金等社会保障、公的扶助等をこれから永年にわたって維持していくうえで、私個人は何を考え、個人としてすべきこと、役所・国に働きかけられることはあるのか?できるだけ詳細を調べて、制度の変更をすることなく、継続できないものか考える機会を得た。
- 憲法、民法の視点から等、広い視野から、法律・司法の仕組みを学べたことは、有益だった。福祉の世界、障害者との接点など、法的整備などは最近の出来事であり、現実にかかる問題と防止が乖離していることがわかった。

気になった点

- 全体的に難しすぎる。通信指導からして難しい。印刷教材を見ながらでも通信指導を解くのが困難。もう少しわかりやすくしてほしい。重要なところとかポイントをわかりやすくしてほしい。過去問にも解答を載せてほしい。
- 演習課題があり、参照するページ・ヒントなど書いてあると、ありがたいと思います。長い文章が多いので、太字など、大切なところ、ポイントを、わかりやすくしてほしい。
- 印刷教材の文章が多く、表、グラフ等を使用すれば、もっとわかり易いと思う。文章によっては同じ内容を表現を変えたり、かえって理解しづらい部分があったと思う。違う講師の項目では、表現方法が違い、わかりにくい部分もあった。
- 「生活と福祉」のコース科目に分類されるのは疑問です。地理学の分野は総合科目に入れた方がよいのではないのでしょうか。授業内容も用語の説明に重点をおくのではなく、総合科目的アプローチをしてほしかったです。
- 医療用語で、読み方がわからなかったり（辞書にはない）するものがあったので、読み方や意味なども載っていてほしかったなと思いました。
- 印刷教材に沿った放送授業をしてほしい。バラバラでそれぞれで理解できて勉強になったが、授業としては、教科書を追いながらTVを見られなかった内容なので、わかりづらかった。
- この教科に係る専門用語を始め、学びの内容がたくさんあり、また複雑であると思いました。より分かりやすく、具体物や例などを見て知る意味でも、聴覚を通すだけでなく、視覚を通して得ることも必要で、その意味でもTVを使った講義の方がわかりやすいように思えました。
- 介護保険の給付など、かなり種類が多く理解が難しい。画像などで具体的な給付のあり方などが見ることができればよかったと思う。

「生活と福祉」コース科目総覧

良かった点では、科目全般で「勉強になった、役に立った」「今後の人生や仕事・生活・学習に役立つ」を始め、「現在の課題や身近な問題点を学べた」「最新の情報・研究が学べた」など現代社会の福祉について学べた意見が目立った。放送授業・印刷教材では、共に分かり易さが評価されていた。

気になった点で、科目全般で「具体例・事例・実践的な内容を増やしてほしい」「内容が浅い、もっと専門性を持たせてほしい」など、より深い授業を望む意見が多かった。

印刷教材では、「文字・図・表・写真が小さい、画像が粗い、分かりにくかった」が最も多く、検討が必要である。

よかった点

(単位: 人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
勉強になった、役に立った	57	55	112
今後の人生や仕事・生活・学習に役立つ	49	44	93
新しい知識、知らなかった知識が身に付いた	34	52	86
視野が広がった、視点・考え方が変わった	21	31	52
興味が持てた、関心が持てた	22	25	47
知識の整理・深耕に役立った	18	23	41
具体的な事例・実験があった	26	14	40
現在の課題や身近な問題点を学べた	1	28	29
内容がよかった、分かりやすかった	11	16	27
楽しく受講できた、面白かった	6	16	22
さらなる学習意欲がわいた	7	13	20
基礎的な知識を得られた	8	9	17
学ぶきっかけとなった、考えるきっかけとなった	2	8	10
受験・資格取得に役立った	1	9	10
身近に感じることが出来る内容だった	2	3	5
今までにない内容で興味深かった、新鮮だった	1	4	5
最新の情報・研究が学べた	3	1	4
他の科目と関連性が良かった	0	3	3

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
分かりやすく、勉強になった	9	8	17
体系的に良くまとまり、整理されていた	1	0	1
放送授業・印刷教材・通信指導と同じ内容だった	1	0	1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
分かりやすく丁寧な指導だった	0	1	1
さらなる学習のヒントや情報を与えられた	0	1	1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
印刷教材が持ち込めて良かった	0	2	2
やりがいある試験だった	2	0	2
試験内容が適切だった	0	1	1
単位がとれた	0	1	1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
現場取材やインタビュー、実験があってよかった	18	1	19
分かり易く講義していた	11	6	17
講師の熱意や人柄の良さを感じた	9	5	14
講師以外の人や複数の専門家の話を聞いた	9	5	14
受講して良かった	3	2	5
実例や身近な例を取り上げていた	3	0	3
インターネットで受講できた	0	2	2
映像や写真が多用され、分かり易かった	2	0	2
映像・テレビでよかった	2	0	2
アシスタントがよかった	0	1	1

【学部】「心理と教育」

気になった点

(単位: 人)

科目全般				印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
内容が浅い、もっと専門性を持たせてほしい	20	8	28	内容が理解しにくい、難しい、解説が不十分	3	23	26
難しい、高度すぎる、理解できない	7	15	22	図・写真・イラスト・表を増やしてほしい	5	9	14
分かりにくい、説明・解説が不十分	5	9	14	設問の解も載せてほしい		12	12
時間がとれない、勉強についていけない、努力不足だった	3	11	14	文字・図・表・写真が小さい、画像が粗い、分かりにくかった	2	5	7
具体例・事例・実践的な内容を増やしてほしい	3	5	8	フリガナ、専門用語の説明などがほしい	1	6	7
内容を詰め込みすぎ、ボリュームが多すぎる	1	4	5	色刷にしてほしい	6		6
インターネットで視聴したい、各種通信デバイスの充実も	1	3	4	参考書や問題集を発行してほしい、練習問題を増やしてほしい		5	5
放送授業と印刷授業の内容が同じである	1	3	4	誤植がある	2	1	3
放送授業と印刷教材の内容が異なる	3	1	4	内容が薄い、少なすぎる	2		2
内容にまとまりがない、統一性・関連性がない		3	3	構成・内容がよくない、面白くない	1		1
事前に、講義内容についての詳しい情報がほしい		2	2	放送授業の参考資料やページデータなども載せてほしい	1		1
内容・講師に思想的偏りがある		2	2	内容の詰め込みすぎ、ボリュームが多すぎる	1		1
内容・範囲が広すぎる、テーマを絞ってほしい	1	1	2				
興味・意欲がわかかなかった、面白くなかった	1	1	2				
関連する科目・基礎科目を開設してほしい	2		2				
判断・評価できるレベルに達していない		1	1				
参考書や問題集、補助教材を紹介・発刊してほしい		1	1				
参考文献を紹介してほしい	1		1				
面接授業を実施してほしい、参加しやすくしてほしい	1		1				
質問や相談がしたい		1	1				

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
印刷教材と連動していない	3	5	8
構成・内容がよくない	3	4	7
テレビ科目にしてほしい	1	5	6
難しい、高度すぎる、理解できない、説明が不十分	2	4	6
印刷教材を棒読み、または読んでいただけであった	2	4	6
講義のテンポが良くない(早い、遅い)	1	3	4
講師の話し方や発音、講義態度が良くない	3	1	4
まとめや学習ポイント、総括がほしい	1	3	4
印刷教材と異なる講義が聴きたい	2	1	3
例題・実習・演習を取り入れてほしい	3		3
録画・録音が無理なので、対策を考えてほしい	1	1	2
放送授業が聞き取りづらい		2	2
具体例・事例・練習問題を増やしてほしい	2		2
解説中のページを画面に表示してほしい		2	2
講師により、内容にバラつきがある	1	1	2
ラジオの放送を充実してほしい		1	1
手話通訳または字幕がほしい		1	1
印刷教材と内容が異なる		1	1
図・表・写真を利用してほしい	1		1
視聴手段を増やしてほしい(DVDビデオ・配信等)		1	1
放送授業の時間が合わない		1	1
興味・意欲がわかかなかった、面白くなかった	1		1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
放送授業・印刷教材・単位認定試験と内容がずれている		3	3
課題の内容・量が的確ではない		2	2
指導内容、コメント、対応に不満がある		1	1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
問題の解答・解説・用紙がほしい	20	2	22
試験が難しすぎる、難易度を下げるべき	2	13	15
試験内容が授業・教材・通信指導の内容と異なった	6	7	13
試験内容の設問・難易度に違和感があった	6		6
記述式および記述に関して改善してほしい	1	2	3
○×式、選択式にしてほしい		3	3
評価方法に疑問を感じる		2	2
教材・電卓持込み可にしてほしい		2	2
問題が多かった、範囲が広がった		1	1
問題数が少なかった		1	1

主な改善点の提案:「気になった点」から抽出・集約

- 印刷教材の内容やレイアウトに留意し、必要な場合は図や表、用語説明を加える。
- 専門性に乏しい内容があったので、より詳細な授業を行う。
- 認定試験の解答を提示し、学生の疑問に対応する。
- 通信指導は学習の内容や進捗に合わせ、適切な課題とする。
- 練習問題や演習など、授業以外での学びのチャンスを作る。
- 放送授業と印刷教材の連動に留意する。
- 複数の講師が担当する場合は、講義・教材の内容に統一性を持たせる。
- テレビやインターネットなどを通じ映像で講義する。

【学部】「心理と教育」科目

よかった点

- 今までよく知らなかった発達科学の先人たちについての知識が得られた。発達科学、という分野に対する興味と、様々なアプローチがあることに気づかされた。特に興味を持った考え方については、より詳細な学習をしたいと思った。
- 人間の精神分野での発達とその関連事象を、科学的に分析する学問が「発達科学」であるが、その内に含まれる「心理学」と「教育学」において、多大な業績を残した偉人たちの代表的な文献と意義に触れられたことは、私にとって大変有意義だった。偉人たちの名前と文献の題名程度しか知らなかった事柄を、わかりやすく要点を整理し、解説していただき、それらの知恵に少しでも触れることができ、これからは人間としてより考え行動しなければと感じた。
- 心理学に興味があったので、自分から読む機会を持ってこなかった教育学に関する内容を知ることができました。放送大学の勉強や仕事において、実証的な考え方をする、という姿勢が身につきました。
- 先人たちの業績を知ることができ、教育や心理学の成り立ちなどの理解を深めることができました。そして、その時代に思いを馳せ、その時代背景や環境、先人たちが置かれた境遇を感じ取ることができ、楽しい教科だと思いました。先生方の説明もわかりやすかったです。ありがとうございます。
- 具体的な教育裁判を現在進行形でとりあげて、学校や教育、そして教員のあり方等、様々な価値観が併存する現代社会の中でどうあるべきか考えさせられる授業でした。教材だけではわからなかった点も、インターネットを中心に資料を読むことで、詳しい内容も理解できました。現代の社会・教育、そして法律の流れの骨格を知るという点で、とても勉強になりました。
- 戦後にかけての日本のカリキュラムの変化の流れは、道徳の学習ともあいまって、非常に興味深かった。その名残が現代のカリキュラムに疑問を残したままであったこと、しかし西洋とはまた違った日本独自の良さも感じられた。教師の、学校の大変さもわかり、それが故に乗り越えられない壁があるが、そろそろ変化していくべきだと強く感じる。続けて勉強したい科目。
- 特に社会性や言語の発達や障害について、先端の研究例を多く紹介しているのがよく、熱意のある講師だと思いました。最新の脳科学に基づいて、科学的に証明された事実により構成されている点が非常に良かったと思いました。同様の科目はぜひ受講したいです。
- 心理について学び始めた自分にとって、毎週、多すぎず少なすぎず、楽しみながら続けることができました。印刷教材を読んでから、放送授業に臨むのですが、印刷教材でなんとなく理解したものが、放送でよりよく理解することができました。この科目が特によかったのは、自分が元々美術が好きであったため、絵画やコラージュが、心理学に大きく結びついていることを知ることができたことです。
- 医療現場と臨床心理の関係性について学ぶことが大きかった。身体の病を持つ人の精神的支えとなれるために、医学的知見の大切さ、また、医療スタッフの支えともなる心理職の必要性について同感し、学習を深めることができた。現場の生の映像や話題の提供は役立った。

気になった点

- ラジオ番組なので、テキストだけではわかりづらい部分もあった。著者の抜粋についての説明が物足りなかった。資料と内容説明の時間とのバランスが難しい。聞き手としてのアシスタントは全く必要ないと思った。朗読する必要があるのか、その時間が無駄で、講師の話をもっと聞きたかった。
- 放送授業で朗読された引用部分で、印刷教材に記載されていない箇所が数か所ありました。本が手に入りにくいものに関しては、その箇所を文字で参照できる手段があればいいな、と思いました。
- ラジオ放送で視聴するには、少々言葉が難解に感じることもあり、専門用語以外でもわざわざ聞きなれない難しい言い方が気になった。
- 印刷教材では深くふれられていない部分が通信指導の問題では深い内容であったため、印刷教材を何度勉強しても解答できず、印刷教材と通信指導のレベルのギャップを感じた。印刷教材の説明レベルでは、通信指導問題を回答するのに不足だと感じた。
- 印刷教材と放送授業を何度か聞きなおしても、通信指導の問題に対して、ポイントがわかりづらい点があった。教員の方向けの科目なのかと思うところもあった。章によってわかりやすかったりわかりにくかったりの差があったと思うので、そこは改善してほしいと感じました。
- 印刷教材のグラフの意味や実験結果がわかりにくく感じることもありました。実験の仕方はとてもわかりやすかったのですが、その結果、示されていることの理解が難しかったので、その実験で何を知りたいと思っているかなど、実験の目的と結果がより明確にかかれているとよかったのではと思います。
- 視覚・聴覚・言語等、個別の項目についての発達については示されていたが一人の子供のトータルな成長が不明であった。つまり、生後3ヶ月の乳幼児はトータルで一個体としてどのような力をもっているのか、また、視覚・聴覚・言語の関係がどのような相互作用があるのか。
- この科目を受講して疑問を感じたことは、身体の病気の現場で活躍されている臨床心理士としてどのように取り組んでいるかという視点で記述されている事柄が多く、特に臨床心理士を目標としていない生徒にとっては、自分や家族を対象とした視点からの記述を多くしてもらいたいと感じた。
- 放送と教材が関連が少ないことがあった。また、放送内容が教材に書いていない時は、前もって言ってほしい。そしてページが飛んだりしているので、放送時にどのページが言ってほしい。理解しにくく、わかりづらかった。要改善。

「心理と教育」コース科目総覧

良かった点では、「勉強になった、役に立った」という意見が最も多く、次いで「今後の人生や仕事・生活・学習に役立つ」「新しい知識、知らなかった知識が身に付いた」が続いている。

放送授業では、「現場取材やインタビュー、実験があつてよかった」「講師以外の人や複数の専門家の話を聞いた」など、講師のみの解説に留まらなかったことが評価されている。

気になった点では、単位認定試験で、「問題の解答・解説・用紙がほしい」という意欲的な意見が多かった。また、「試験内容が授業・教材・通信指導の内容と異なった」も比較的多く、放送授業における意見においても「印刷教材と連動していない」が最も上げられている。授業、教材、試験の連動の見直しが検討される。

【学部】「社会と産業」

よかった点

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
勉強になった、役に立った	64	93	157
視野が広がった、視点・考え方が変わった	35	27	62
知識の整理・深耕に役に立った	24	33	57
新しい知識、知らなかった知識が身に付いた	38	19	57
興味が持てた、関心が持てた	28	25	53
今後の人生や仕事・生活・学習に役立つ	27	17	44
基礎的な知識を得られた	15	28	43
学ぶきっかけとなった、考えるきっかけとなった	9	15	24
現在の課題や身近な問題点を学べた	17	6	23
楽しく受講できた、面白かった	15	8	23
身近に感じるものが出来る内容だった	16	6	22
自分の意見・考えが持てるようになった	10	10	20
内容がよかった、分かりやすかった	11	8	19
今までにない内容で興味深かった、新鮮だった	11	5	16
さらなる学習意欲がわいた	3	12	15
最新の情報・研究が学べた	3	3	6
他の科目と関連性が良かった	1	4	5
専門的な内容だった、レベルが高かった	2	1	3
具体的な事例・実験があった	1	1	2
受験・資格取得に役立った	1		1
現状のままでいい、満足している		1	1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
記述式がよかった	3		3
やりがいがある試験だった		2	2
評価がよかった	1		1
単位がとれた		1	1
簡単だった		1	1

(単位:人)

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
受講して良かった	41	31	72
分かり易く講義していた	44	18	62
講師の熱意や人柄の良さを感じた	30	9	39
社会的な課題や問題点を知ることができた	27	1	28
現場取材やインタビュー、実験があつてよかった	27	1	28
事例や身近な例を取り上げていた	12	13	25
さらなる学習意欲・知識欲がわいた	8	8	16
新しい発見や驚きがあった	9	4	13
映像・テレビでよかった	11	1	12
講師以外の人や複数の専門家の話を聞けた	5	3	8
映像や写真が多用され、分かり易かった	7		7
対話形式の授業がよかった	5		5
専門的に掘り下げていた	2	1	3
放送授業と印刷教材の内容が同じだった	1	2	3
アシスタントがよかった	1		1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
分かりやすく、勉強になった	44	37	81
新しい知識・視点を得ることができた	21	9	30
基本的な知識を得られた、概要がわかった	10	10	20
体系的に良くまとまり、整理されていた	5	13	18
引用・参考文献の紹介、練習問題が良かった	6	11	17
ポイントが明確に押さえられていた	3	8	11
図版や表が役に立った	5	4	9
読み物として面白い内容だった	3	5	8
さらなる学習意欲・知識欲がわく内容だった	4	1	5
手元に置き、今後も読みたい内容だった	1	4	5
愛情・熱意が伝わる教材だった		1	1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
添削・コメントをしてもらえた	6	1	7
記述式がよかった	1	1	2
興味関心が深まった	1	1	2
分かりやすく丁寧な指導だった	1		1

【学部】「社会と産業」科目

よかった点

- 社会学の基礎概念、現代社会の見方、切り口の理解が進んだ。放送授業において、図表・要約のタイムリーな表示、説明があり、わかりやすかった。
- パレスチナ問題について、多角的な視点から学ぶことができました。映像資料、特に最近の現地取材の様子や識者へのインタビュー等、放送授業が毎回楽しみでしたし、この困難な課題について学ぶ意義を考えさせられました。
- 講義は、十分な資料をわかりやすい図表や映像を交えて行われるので、毎回楽しみです。ご自分の意見も述べられ、時にユーモアを交えながらお話されるので、次の回が待ち遠しいくらいです。また、世界各地、関係者など取材は大変役に立ちます。
- 視野が広がった。印刷教材、放送授業共に、他の教科、他の先生よりも楽しく、わかりやすく、積極的に授業を進められた。
- 行政学や政策学は全くの素人だったので、教材や放送授業でもはじめはよくわからなかった。しかし、教材や放送授業を、学習センターや自宅で何度も学習することによって、この分野が扱う広大な領域を、印刷教材としてまとめるのは苦勞されたと感じた。それだけに、手の届かなかった分野について知識を広め、理解も進んだように思う。
- 講師の先生が話すお言葉が丁寧であることや、たとえ話で理解しやすくしてくださることがありがたく、見習いたいと思いました。
- 刑事法ということで、勉強しなければ身につく事の出来ない分野だと思っていましたが、教材が身近な問題を取り上げてくれたおかげで、頭でイメージしやすくとっても助かりました。なおかつ、それを踏まえて刑事法の仕組みや難しさを詳しく解説していたので、とても参考になりました。
- 分かりやすかった。事案を示して説明しているので、理解しやすかった。最高裁の決定が判例となり、同様の事件の目安となることを理解した。
- 権力者の個人的住居や公邸の性質や構造から、権力の内容を考案するという新鮮な内容で、興味深く勉強できた。また、権力というものが、よりよく理解できたように思う。
- 建築と政治というつながりを初めて意識し、また、様々な他の建物についても新たな見方をすることができるようになった。政治家、歴代の首相に対し、親近感を覚えた。建築、設計の工夫や、配慮すべき点が少しだけ分かった。歴史の中で建物や建っている土地とのつながり、意味があるということを知り、歴史にこれまで以上に深い興味を抱いた。
- 「建築」という観点で、歴史（主として日本近現代政治史）を統括するという着眼がよく、放送・印刷教材共にともかくよかった。
- 地球的な関連性、まさに”グローバル化の波”を理解する上で役立った。その道のスペシャリストの登場によるインタビューなどはとてもよかったです。
- 知らないことが多かった。日本が海洋国家で海に依るところが大きいのが思い起こされ、自分たちの世代に授業に取り上げられていない事柄が非常に多かったことを知り、とても残念で、これは教育の落ち度だと感じた。今は小学校の授業に取り入れているということで少しホッとしている。もっと一般的に取り組まねばならない点があるのではないかと今後の授業に期待したい。すばらしい授業だった。久しぶりに夢中になった。

気になった点

- 放送授業では印刷教材の内容を読んでいるだけのところが多く、印刷教材の内容をよく理解するために放送授業を聞くために不十分な内容だった。意味が理解できないところが、理解できないまま終了した。通信指導で改善できないか。単位認定試験は細かい内容に限定しすぎる。
- 比喩的な説明が多く、講師の主張が回りくどく理解できない。もう少し政治について簡明、直接的に切り込む方式に変えてほしい。いざないとしては素材が適切ではないのではないか。
- テキストの内容は非常に濃くて有意義なのに、敷居が高く感じられてしまうところがあったと感じました。原発事故をきっかけとして、理系の研究者も政治学を学ばなければならない人は、他にもいると思います。
- 説明が詳しくすぎて、会計にふれたことのない人には、具体的なイメージがわからず、テストに受かるためだけの知識を得るだけになってしまうおそれがある。科目説明の欄に「体系的に検討」とあったが、1科～15科、それぞれの関連性が、印刷教材の中でわかりづらかった。
- 自助・共助による防災の重要性が強調されていたが、共助による防災について、その成り立つ前提として、人と人とが結びついているコミュニティが必要であるが、その前提についての言及もあったもよいのではないか。
- 科目の名称と内容にギャップあり。素直に限定した名称に。印刷教材の中で、外国人労働者の給与や、法体系について少し複雑でもう少し体系的に記述してもらいたい。
- 教科書に沿った授業にしてください。教科書内容が教科書どおりに進まなく、戻ったりしているのが理解するのが難しくなります。
- 講義の内容が多岐にわたり、理解が難しい。できればTV放送で実施し、画像データによる講義の方が理解が容易では。
- 単位認定試験の問題が、やや専門的過ぎて難しいと感じた。また、通信指導問題と比べ、明らかに重箱のすみをつついた問題と思われる問題を均等にすべきだと感じた。
- 地域の現状、問題として、人口減及び疲弊していく地域経済を考えると、民間の創造的発想力、バックアップする行政の資金力、組織力をうまく組み合わせ、地域活性化に向けての成功事例等考えていただけたらありがたいと感じました。
- 放送授業が印刷教材を読むだけのものになっていたもので、それだったら、放送の授業は視聴せずとも、印刷教材のみでいい内容だと思いました。せっかくなので、放送授業は実例を用いたり、実績のある人物の話を書く等があったほうが、面白いものになるのではないかと思います。

「社会と産業」コース科目総覧

良かった点の科目全般で、「勉強になった、役に立った」が圧倒的に多く、他の意見の2倍以上となっている。また、印刷教材においても、「分かりやすく、勉強になった」が他よりも極めて多い。

通信指導には、「添削・コメントをしてもらえた」との意見が他の科目よりも多く、受講者の満足度が高かったことがうかがえる。

気になった点では、テレビでの放送授業を求める意見が多く上げられていた。

通信指導では、良かった点の逆説で「指導内容、コメント、対応に不満がある」としている。

単位認定試験では、「試験が簡単すぎる、難易度を上げるべき」といった、より手ごたえがある内容にしてほしいことがわかる。

【学部】「人間と文化」

よかった点

(単位: 人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
新しい知識、知らなかった知識が身に付いた	31	69	100
勉強になった、役に立った	25	67	92
知識の整理・深耕に役立った	16	56	72
興味が持てた、関心が持てた	26	43	69
視野が広がった、視点・考え方が変わった	41	21	62
内容がよかった、分かりやすかった	7	21	28
さらなる学習意欲がわいた	7	19	26
楽しく受講できた、面白かった	4	21	25
基礎的な知識を得られた	2	21	23
今後の人生や仕事・生活・学習に役立つ	3	19	22
学ぶきっかけとなった、考えるきっかけとなった	3	14	17
他の科目と関連性が良かった	3	14	17
身近に感じることが出来る内容だった	5	8	13
専門的な内容だった、レベルが高かった	4	7	11
今までにない内容で興味深かった、新鮮だった	2	8	10
最新の情報・研究が学べた	4	6	10
現在の課題や身近な問題点を学べた	2	3	5
受験・資格取得に役立った		5	5
学習センターや図書館が良かった		1	1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
講師の熱意や人柄の良さを感じた	36	13	49
映像や写真が多用され、分かり易かった	34	1	35
分かり易く講義していた	8	14	22
受講して良かった	5	5	10
楽しく聴けた	3	7	10
実例や身近な例を取り上げていた	6	3	9
さらなる学習意欲・知識欲がわいた	6	2	8
参考文献を紹介してくれた	7	1	8
専門的に掘り下げていた	2	4	6
発音が聞けて良かった		4	4
放送授業と印刷教材の内容が異なった	1	2	3
対話形式の授業が良かった		2	2
放送のテンポや時間構成が良かった		2	2
現場取材やインタビュー、実験があつてよかった		2	2
社会的な課題や問題点を知ることができた	1		1
テーマ音楽が良かった		1	1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
分かりやすく、勉強になった	6	12	18
手元に置き、今後も読みたい内容だった	1	5	6
引用・参考文献の紹介、練習問題が良かった	3	2	5
放送授業と内容が連動している	2	2	4
体系的に良くまとまり、整理されていた	1	3	4
読み物として面白い内容だった	2	1	3
事例・コラムが良かった	1	2	3
最新の情報や研究が紹介されていた		2	2
巻末付録の内容が良かった		2	2
図版や表が役に立った		1	1
新しい知識、知らなかった知識が身に付いた	1		1
民間の印刷教材がないので良かった		1	1
ポイントが明確に押さえられていた	1		1
さらなる学習意欲・知識欲がわく内容だった	1		1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
学習内容の整理に役立った		3	3
添削・コメントをしてもらえた	1	2	3
分かりやすく丁寧な指導だった		3	3
記述式が良かった		2	2
専門的な内容の指導だった		1	1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
試験内容が適切だった		4	4
単位がとれた	1	2	3
記述式が良かった		2	2
印刷教材を持ち込めて良かった	1		1

気になった点

(単位:人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
難しい、高度すぎる、理解できない	5	32	37
構成または内容を改善してほしい、内容を充実させてほしい	14	17	31
内容を詰め込みすぎ、ボリュームが多すぎる	6	20	26
分かりにくい、説明・解説が不十分	3	11	14
内容・範囲が広すぎる、テーマを絞ってほしい	5	8	13
事前に、講義内容についての詳しい情報がほしい	4	9	13
時間がとれない、勉強についていけない、努力不足だった	6	6	12
内容・講師に思想的偏りがある	5	4	9
関連する科目・基礎科目を開設してほしい	3	5	8
具体例・事例・実践的な内容を増やしてほしい	3	3	6
内容が浅い、もっと専門性を持たせてほしい	2	3	5
興味・意欲がわかなかった、面白くなかった		4	4
最新の内容の講義にしてほしい	2	2	4
参考文献を紹介してほしい	1	2	3
内容にまとまりがない、統一性・関連性がない	1	2	3
参考書や問題集、補助教材を紹介・発刊してほしい		1	1
学習センターや図書館が近くにない、利用が不便	1		1
面接授業を実施してほしい、参加しやすくしてほしい		1	1
現実に活かせる内容にしてほしい		1	1
資格取得できるようにしてほしい		1	1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
テレビ科目にしてほしい	1	51	52
印刷教材を棒読み、または読んでいただけであった	9	25	34
印刷教材と連動していない	2	8	10
まとめや学習ポイント、総括がほしい	4	5	9
講師の独りよがりになっている	7	1	8
印刷教材と内容が異なる	6	2	8
難しい、高度すぎる、理解できない、説明が不十分	3	4	7
具体例・事例・練習問題を増やしてほしい	2	3	5
視聴手段を増やしてほしい(DVDビデオ・配信等)		5	5
図・表・写真を利用してほしい	4	1	5
印刷教材と異なる講義が聴きたい	1	3	4
講師の話し方や発音、講義態度が良くない		4	4
資料・データ・映像・内容が古い、改定してほしい	3		3
映像についての補足資料をPDF等でほしい	2	1	3
講義のテンポが良くない(早い、遅い)	1	2	3
放送授業が聞き取りづらい		1	1
講師は一人の方がよかった		1	1
録画・録音が無理なので、対策を考えてほしい	1		1
テレビの図が見にくい、見せ方を改善してほしい	1		1
娯楽要素が多い	1		1
ノートを取る余裕がほしい	1		1
テレビ、ラジオ両方に対応してほしい		1	1

主な改善点の提案:「気になった点」から抽出・集約

- 印刷教材の内容やレイアウトに留意し、必要な場合は図や表、用語説明を加える。
- 難しい言葉・用語は説明する。
- 内容に偏りが感じられたので、より広範視野での授業を望む。
- 通信指導は学習の内容や進捗に合わせ、適切な課題とする。
- 映像のないラジオではわかりにくい授業は、テレビで行う。
- 放送授業と印刷教材の連動に留意する。
- テキストの丸読みは避け、授業の独自性を持たせる。
- 認定試験は学習の内容や進捗に合わせ、適切な出題とする。
- 扱う範囲が広いので、科目を分けてより詳細な授業を望む。
- 講義内容を事前に明確にし、ミスマッチを改善する。

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
図・写真・イラスト・表を増やしてほしい	15	13	28
難しい、文章が回りくどい	12	8	20
内容が理解しにくい、難しい、解説が不十分	7	12	19
内容の詰め込みすぎ、ボリュームが多すぎる	4	8	12
文字・図・表・写真が小さい、画像が粗い、分かりにくかった	3	5	8
フリガナ、専門用語の説明などがほしい	2	5	7
放送授業の参考資料やページデータなども載せてほしい	4	2	6
色刷にしてほしい		4	4
講師により、内容にバラつきがある	2	1	3
内容が薄い、少なすぎる	2	1	3
参考図書が大学図書館にあるのか、情報がほしい	2	1	3
放送授業と内容が異なる		3	3
索引を充実させてほしい		2	2
DVD・CDの添付を考えてほしい		2	2
具体例を載せてほしい		1	1
資料・データが古かった、改定版を出してほしい		1	1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
課題の内容・量が的確ではない	4	5	9
単位認定試験のヒントがほしい	1	4	5
放送授業・印刷教材・単位認定試験と内容がずれている		4	4
問題の解答・解答例・解説がほしい	1	2	3
記述式および記述に関して改善してほしい	1	2	3
指導内容、コメント、対応に不満がある	1	1	2

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
試験が難しすぎる、難易度を下げるべき	4	12	16
教材・電卓持込み可にしてほしい	6	8	14
試験内容が授業・教材・通信指導の内容と異なった	2	11	13
記述式および記述に関して改善してほしい	8	2	10
試験内容の設問・難易度に違和感があった	3	4	7
試験時間が短い・問題数が多かった		7	7
試験が簡単すぎる、難易度を上げるべき	1	5	6
評価方法に疑問を感じる		4	4
試験に関する情報を早く教えてほしい	1	1	2
問題の解説・解答・用紙がほしい	2		2
教材の持込みは不要		1	1

【学部】「人間と文化」科目

よかった点

- 哲学は自分にとって初めての分野の学問であったが、さまざまな哲学者の思想や著作の内容が紹介されており、興味を持って授業に取り組む事ができました。また、通信課題・認定試験ともに記述式であったため、自分が興味を持った哲学者の思想について、自分なりに考えをまとめ、文章として書き出すことで、より理解を深めることができたのではないかと感じます。
- 西洋と東洋の考え方の起源を納得することが出来て良かったと思いました。歴史をふまえての人間の考え方、生き方を勉強することができました。今まで、あいまいにわかったような気でいた事が、はっきりしてきました。
- 古代ギリシアから中世にいたる哲学の流れを系統的に学ぶことができてよかった。この一連の流れの中でイスラム哲学が大きな役割をしていることを知ったのは私にとって新しい発見であった。これまで近代哲学にしか関心がなかったが、これを機会にそれ以前の哲学の勉強をしてみたいと思うようになった。
- 「歴史的な言語」としてのラテン語の特質と、文法的構造についての根本的な知識を獲得することができたと思います。十分に理解するには至りませんでしたが、勉強をしている手がかりができたと思います。放送授業をととても楽しく拝聴いたしました。
- ラジオの放送授業でしたが、先生の声は聞きやすく、説明の口調も落ち着いて、わかりやすかったです。
- 芸術史だけではなく、芸術の歴史を哲学や歴史とともにたどっていくという、自分自身が今一番勉強したいと思っている内容でした。特に、これまであまりなじみのなかった、ロマネスク、ロココ、そして現代の章が大変興味深く、この科目を受講してよかったと心から思いました。
- テレビの特性が生かされ、すばらしい映像がふんだんに用いられていた。しかもそれがインターネット配信された。講師の主張が明確で、熱意が強く伝わった。
- 事例を挙げて具体的に展示の狙い、特長などを講義してあり、楽しかった。科学博物館や民族博物館の概要や展示の舞台裏などに触れてあり、ぜひ、言ってみようと思わせる講義内容であった。リトルワールドやグレートジャーニー展は特に興味深く、繰り返し視聴しました。
- 学問である博物館展示として、国定教科書になってはいけないという点から、博物館の政治性と展示の政治性を考慮する必要があることを知り、とても勉強になりました。過去には戦争に利用されたこともあり、確かに必要なことであることに、気づかせてもらいました。
- 博物館の展示の仕方について学ぶことができ、博物館へ行っても、ただ展示されているものだけを見るのではなく、壁紙の色や照明の当て方など、受講してから意識してみるようになり、今までとは違った楽しみが増えた。
- 音の伝わり方やこの世の中は音で動いている。言語にしても、一つの動作でも音がある。自分の気分によって音のとらえ方が心地よいものとなったり、不快となったりする。最近は色々な音に耳を傾けるようになりました。

気になった点

- 途中で興味をなくしてしまいました。放送の内容が、テキストを読んでいるだけのようなもので、特にわかりやすいとは思いませんでした。他の哲学系の授業より範囲が広いのか、何に注力して学習すればいいのか、見失ってしまいました。
- 授業は印刷教材を読むだけのものだったので、先生方の言葉で何か伝えて頂けると、放送授業でも一方通行は避けられるのではないかと感じた。どこがポイントなのかはわからないので、先生方が書かれた教材なので、全部なのだろうと理解し、何度も読んで理解に努めた。
- 筆記試験の結果が芳しくなかったのであまり大きな事は言えないが、それでなくても難しい哲学の概念が細かく説明されていたので、やや理解に難渋した。教材持込不可の試験では、哲学の思惟の範囲の広さから、現実的には難しいと思う。
- 通信指導問題は引っ掛け問題があり、学習者に何を求めているのかわからない問いもあった。また、テキストの内容ではなく、講師のちょっとした説明の部分から出題するなど、少し意地の悪い問題という印象です。単位試験問題にも、求めている答えにその章のポイントを把握するうえで必要かどうか疑問に感ずる設問もあったと思います。また講師全員ではありませんが、テキストを単に読み上げるだけの放送授業では、必要性を感じませんでした。
- ラテン語の初心者向けということだったが、内容は相当に細かく、詰め込み過ぎの感がある。これでは、ラテン語に興味を持って受講した初心者が嫌になりはしないか、と危惧される。文法は最小限に抑え、多少まとまった読み物のような文章を読み解く手ほどきをする方がよいのではないか。
- 通信課題と単位認定試験の間に乖離があります。ひどく基本的な内容を問う通信指導に対し、試験内容は1つの設問につき3つ解答するという方式に加え、難易度も高いため、極端な印象を受けました。高い到達水準を要求するようなので、通信指導はもっと難易度を上げるべきです。本試験で遅刻して時間不足は論外としても、3分の2しかマークしていないのに低い評語で合格したので困惑しています。再受験しようと思っていたからです。
- 本授業のデザイン、印刷教材と放送教材の関連、教材の分量、授業の目的、認定試験の内容、そのすべてで十分に練られて開講された授業とはいえません。外国語科目なのか、人間と文化コースのものなのか、もわかりにくいです。授業の姿勢の問題です。
- 哲学はやはり文章で延べられるのが本来なのでしょうが、自分なりに学習する中で、思考の成立の仕方を、言葉でなくイメージまたは図で考えていくとわかりやすくなりました。できれば文章だけでなく、図的な説明を印刷教材に入れるとか、ラジオではなくテレビ授業にして、目に訴えられるような表現の仕方を考えてもらえれば、もっと楽しく学習できたと思います。
- 造形美術の教育に関わる分野なのに、ラジオ講座という形態は無理があると思う。百聞は一見にしかず、ぜひ、テレビというビジュアル映像メディアでの検討をお願いしたい。
- 単位認定試験についてだが、放送授業で学んだ本質的なものを問う設問が、全くと言っていいほどなく、その反対に、重箱の隅をつつくような問題ばかりであった。印刷教材を読んだだけで、点数が取れる試験では、学習意欲がわからないこと甚だしい。出題内容を再考されたし。

良かった点は、放送授業で、「講師の熱意や人柄の良さを感じた」や「映像や写真が多
用され、分かり易かった」が多くなっている。また、「受講して良かった」「楽しく聴け
た」もあげられており、放送の充実がうかがえる。

印刷教材においても、「手元に置き、今後も読みたい内容だった」「引用・参考文献の
紹介、練習問題が良かった」「体系的に良くまとまり、整理されていた」など評価点が見
られる。

気になった点で、科目全般で「構成または内容を改善してほしい、内容を充実させて
ほしい」「内容のを詰め込みすぎ、ボリュームが多すぎる」「事前に、講義内容について
の詳しい情報がほしい」などから、受講生が考えていた内容とやや乖離があったのだろ
うと推測される。

放送授業では、「印刷教材を棒読み、または読んでいるだけであった」が多く、人によっ
て放送授業の評価が分かれている。

単位認定試験は、内容が難しく、教材などの持ち込みを望む声が見受けられる。

【学部】「情報」

よかった点

(単位:人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
勉強になった、役に立った	44	29	73
今後の人生や仕事・生活・学習に役立つ	42	8	50
知識の整理・深耕に役立った	18	16	34
基礎的な知識を得られた	21	7	28
新しい知識、知らなかった知識が身に付いた	22	3	25
内容がよかった、分かりやすかった	18	6	24
視野が広がった、視点・考え方が変わった	10	2	12
最新の情報・研究が学べた	9		9
楽しく受講できた、面白かった	6	1	7
興味が持てた、関心が持てた	6		6
学ぶきっかけとなった、考えるきっかけとなった	2	2	4
さらなる学習意欲がわいた	3		3
身近に感じることが出来る内容だった	3		3
専門的な内容だった、レベルが高かった	2		2
今までにない内容で興味深かった、新鮮だった		1	1
他の科目と関連性が良かった		1	1
受験・資格取得に役立った	1		1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
分かりやすく、勉強になった	4	4	8
引用・参考文献の紹介、練習問題が良かった	1	1	2
手元に置き、今後も読みたい内容だった		1	1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
現在の学習課題や問題点を知ることができた	1		1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
試験内容が適切だった	1	1	2
単位がとれた		1	1
やりがいがある試験だった	1		1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
分かり易く講義していた	5	1	6
現場取材やインタビュー、実験があってよかった	6		6
インターネットで受講できた	4		4
アシスタントがよかった	4		4
講師の熱意や人柄の良さを感じた	2		2
専門的に掘り下げていた		1	1
対話形式の授業がよかった		1	1
講師以外の人や複数の専門家の話を聞いた	1		1
映像・テレビでよかった	1		1
放送授業の補足資料が充実していた	1		1
実例や身近な例を取り上げていた		1	1

【学部】「情報」

気になった点

(単位:人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
分かりにくい、説明・解説が不十分	24	7	31
難しい、高度すぎる、理解できない	19	6	25
内容が浅い、もっと専門性を持たせてほしい	15	9	24
具体例・事例・実践的な内容を増やしてほしい	9	5	14
事前に、講義内容についての詳しい情報がほしい	3	3	6
インターネットで視聴したい、各種通信デバイスの充実も	3	3	6
内容を詰め込みすぎ、ボリュームが多すぎる	5		5
現実に活かせる内容にしてほしい	5		5
内容・範囲が広すぎる、テーマを絞ってほしい	4		4
質問や相談がしたい	2	1	3
関連する科目・基礎科目を開設してほしい	2	1	3
時間がとれない、勉強についていけない、努力不足だった	3		3
参考書や問題集、補助教材を紹介・発行してほしい	3		3
最新の内容の講義にしてほしい	3		3
学校の対応が悪かった	2		2
興味・意欲がわかなかった、面白くなかった	2		2
放送授業と印刷教材の内容が異なる	1		1
参考文献を紹介してほしい	1		1
面接授業を実施してほしい、参加しやすくしてほしい	1		1
内容・講師に思想的偏りがある	1		1
内容にまとまりがない、統一性・関連性がない	1		1
各種施設の利用について、充実・改善をしてほしい	1		1
判断・評価できるレベルに達していない	1		1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
内容が理解しにくい、難しい、解説が不十分	9	6	15
フリガナ、専門用語の説明などがほしい	6		6
構成・内容がよくない、面白くない	4		4
参考書や問題集を発行してほしい、練習問題を増やしてほしい	1	2	3
図・写真・イラスト・表を増やしてほしい	3		3
誤植がある	2		2
文字・図・表・写真が小さい、画像が粗い、分かりにくかった	2		2
内容の詰め込みすぎ、ボリュームが多すぎる	1		1
色刷にしてほしい	1		1
教材の装丁・デザインを改善してほしい	1		1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
指導内容、コメント、対応に不満がある	1	1	2
課題の内容・量が的確ではない	1		1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
試験内容の設問・難易度に違和感があった	1	3	4
試験が難しすぎる、難易度を下げるべき	3		3
試験が簡単すぎる、難易度を上げるべき	1		1
試験内容が授業・教材・通信指導の内容と異なった	1		1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
テレビ科目にしてほしい		15	15
構成・内容がよくない	4	1	5
難しい、高度すぎる、理解できない、説明が不十分	1	4	5
印刷教材を棒読み、または読んでいるだけであった	2	2	4
講師の話方や発音、講義態度が良くない	4		4
具体例・事例・練習問題を増やしてほしい	3		3
興味・意欲がわかなかった、面白くなかった	2		2
印刷教材と連動していない	2		2
まとめや学習ポイント、総括がほしい	2		2
内容にまとまりがない、統一性・関連性がない	1		1
設問の解も載せてほしい	1		1
1科目の放送時間が短い	1		1
講義のテンポが良くない(早い、遅い)	1		1
印刷教材と異なる講義が聴きたい	1		1

主な改善点の提案:「気になった点」から抽出・集約

- 難しい言葉・用語は説明する。
- 専門性に乏しい内容があったので、より詳細な授業を行う。
- 印刷教材の内容やレイアウトに留意し、必要な場合は図や表、用語説明を加える。
- 映像のないラジオではわかりにくい授業は、テレビで行う。
- 認定試験は学習の内容や進捗に合わせ、適切な出題とする。

【学部】「情報」科目

よかった点

- この科目は、昔から個人的に興味があった。今回、受講したことで深く理解することができた。勉強を終えたが、印刷教本は参考書として使えます。
- 最近注目を集めている分析と思うが、その基本が身についた。とっつきにくい内容であるが、入門として教材がとてもわかり易くできており、無理なく知識の取得ができた。
- インターネット上の補助教材も充実していて、学習の助けとなった。Rを使っの具体的なパソコン上の操作をモニターで示されてわかりやすかった。二人の学生さんの質問や課題結果、時には失敗も一緒に学習しているようでよかった。
- 統計解析のためのソフトウェアであるRと、それを行うための統合開発環境であるRstudioを紹介していただいたことである。講義を通して学んだことをもとに、今後いろいろなデータについて統計解析に挑戦してみたいと思う。
- ビッグデータの中から有用な情報を取り出したり傾向をつかんだりするための方法について知ることができた。またRを使うことで、それらの作業を効率よく行えることも学ぶことができた。
- 説明が細かい部分まで行き届いており、とても聞きやすかった。講師の方の熱心ぶりが伝わってきたり、現場で仕事している人の声を聞くことができたり、45分×15回という時間の制限の中でも、盛りだくさんで満足のいく授業でした。
- CG等の新しい映像制作技術を学べたこと。映像制作にたずさわる方々の生の声（インタビュー）を直接聞くことができた点。アシスタントの方が実際に映像を作成する形式で一部でとっていた点は、制作現場の雰囲気を疑似体験できて良かった。
- 技術中心の考えではなく、ユーザの要望や心理を調査することの重要性を理解できた。
- システム開発にたずさわる上で、ものごとを検討するにあたっての論理的思考に役立てることができ知識を得た。また、ひとりの消費者として、身の回りにある種々のインターフェースを利用するにあたり、その目的と問題点、改善法など、今まで自分になかった着眼点を得た。
- 専門知識をある程度必要とするが、昨今のネットワークの利用を考えるとこの内容は必要不可欠であり、その知識を今後に活かせると思う点がよいと思います。

気になった点

- ラジオによる授業はやはり難がある。プログラミングはプログラムコードの各行を十分に理解することが不可欠かと思うが、放送（ラジオ）ではどの語についての説明か思考を集中するのに苦労した。また、放送構成も説明が難しいためか、その点をさけていたように感じた。
- 印刷教材なり、授業において、R, Rstudio の共通的な使い方を事前にもう少し多く説明する必要があると思います。市販の文献では windows のような os についてのマニュアルはありませんので、それを知る方法はありません。フリーのソフトの短所です。
- 私には少し学術的な部分で難しく、実践をイメージできなかった。ビッグデータ社会の到来で、統計学に関する間口の広い講座があるとよいと感じた。
- 印刷教材の内容に専門用語が多く、その専門用語についての解説がなかったり、また解説があったとしても、その中で別の専門用語がつかわれるなどして「基礎」的な内容とは離れているように思います。
- 一般家庭のビデオカメラを使った時の例も、少し取り入れると、より身近なものに感じるのではないか？
- 統計が大きな要素になるので、もう少し具体的な例で開発、修正事例をテレビの利点を生かして示してもよかったのではないかな。認知心理学的手法以外に、更にどんな事柄を加味して、ユーザー調査しているのか、その実態を届けられたらよかった（トピックスでもう少し）。
- 方法論が多く、かつ、整理されていない感じがする。具体的なケーススタディの内容があったら良いと思う（放送では、多少、具体的な内容にはなっていたが）。
- テキストの内容はわかりやすく良いと思いますが、用語の数が多くて、学習していて、それらの用語間の関連性がイメージできないところがある。クラウドコンピュータなど、現実と仮想がどう結びついているのか、よくわからない。
- 概論である以上、仕方がないとは思いますが、理解するには、もう少しくわしい説明が必要だと感じた領域があった。そのため、その他の専門書が必要とした事もあった。
- この分野を初めて学習する者にとって、内容、特に試験が難しすぎるのでは？と感じた。選択肢を少なくとも 4 拓にしたら良いのでは？とにかく、私にとっては難しすぎて、途中、勉強に対するモチベーションを維持するのが大変だった。“身近な”というタイトルからすると、一般向けのように感じるが、専門色の濃い内容だった。

「情報」コース科目総覧

良かった点としては、全体的に「分かりやすく、勉強になった」と評価されている。

特に、放送授業では、「アシスタントがよかった」と他の科目では、あまり上げられない意見も散見された。

気になった点では、他の科目同様に「分かりにくい、説明・解説が不十分」「テレビ科目にしてほしい」など共通の意見が多くなっている。

【学部】「自然と環境」

よかった点

(単位: 人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
知識の整理・深耕に役立った	58	10	68
内容がよかった、分かりやすかった	41	7	48
新しい知識、知らなかった知識が身に付いた	28	5	33
基礎的な知識を得られた	31	1	32
興味が持てた、関心が持てた	23	6	29
視野が広がった、視点・考え方が変わった	22	6	28
楽しく受講できた、面白かった	17	2	19
さらなる学習意欲がわいた	14	2	16
勉強になった、役に立った	14	2	16
学ぶきっかけとなった、考えるきっかけとなった	8	1	9
現在の課題や身近な問題点を学べた	7		7
最新の情報・研究が学べた	7		7
身近に感じることが出来る内容だった	5	1	6
専門的な内容だった、レベルが高かった	3	2	5
受講しやすい環境だった、システム面がよかった	2		2
具体的な事例・実験があった	2		2
今までにない内容で興味深かった、新鮮だった	1		1
放送授業と印刷教材のバランスがよかった	1		1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
分かりやすく、勉強になった	3		3
引用・参考文献の紹介、練習問題が良かった	2	1	3
手元に置き、今後も読みたい内容だった		1	1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
分かりやすく丁寧な指導だった	2		2
さらなる学習のヒントや情報を与えられた	1		1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
試験内容が適切だった	1		1
単位がとれた	1		1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
アシスタントがよかった	18		18
分かり易く講義していた	13	2	15
対話形式の授業がよかった	8	1	9
映像や写真が多用され、分かり易かった	5		5
講師の熱意や人柄の良さを感じた	4	1	5
さらなる学習意欲・知識欲がわいた	4		4
現場取材やインタビュー、実験があつてよかった	3		3
受講して良かった	2		2
新しい発見や驚きがあった	1		1
講師以外の人や複数の専門家の話を聞いた	1		1

【学部】「自然と環境」

気になった点

(単位:人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
難しい、高度すぎる、理解できない	22	3	25
分かりにくい、説明・解説が不十分	14		14
内容を詰め込みすぎ、ボリュームが多すぎる	12	1	13
時間がとれない、勉強についていけない、努力不足だった	6	5	11
放送授業と印刷教材の内容が異なる	8	1	9
内容が浅い、もっと専門性を持たせてほしい	6		6
具体例・事例・実践的な内容を増やしてほしい	4	2	6
構成または内容を改善してほしい、内容を充実させてほしい	4		4
内容・範囲が広すぎる、テーマを絞ってほしい	4		4
関連する科目・基礎科目を開講してほしい	3	1	4
事前に、講義内容についての詳しい情報がほしい	4		4
内容の重複・他科目との重複が見られる	4		4
面接授業を実施してほしい、参加しやすくしてほしい	2	1	3
参考文献を紹介してほしい	3		3
判断・評価できるレベルに達していない	2		2
各章ごとにまとめ・要点の課題がほしい	2		2
インターネットでの利用が分かりにくい、使いづらい	1		1
内容にまとまりがない、統一性・関連性がない	1		1
最新の内容の講義してほしい	1		1
参考書や問題集、補助教材を紹介・発行してほしい	1		1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
内容が理解しにくい、難しい、解説が不十分	13	5	18
文字・図・表・写真が小さい、画像が粗い、分かりにくい	14	1	15
色刷りにしてほしい	11		11
誤植がある	2	8	10
図・写真・イラスト・表を増やしてほしい	6		6
放送授業と内容が異なる	5	1	6
内容の詰め込み過ぎ、ボリュームが多すぎる	5		5
構成・内容がよくない、面白くない	3	1	4
参考書や問題集を発行してほしい、練習問題を増やしてほしい	3	1	4
放送授業の参考資料やページデータなども載せてほしい	2	1	3
設問の解も載せてほしい	1	1	2
フリガナ、専門用語の説明などがほしい	1		1
印刷教材の大幅改定をしないでほしい		1	1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
単位認定試験との難易度に差がありすぎる	5		5
放送授業・印刷教材・単位認定試験と内容がずれている	2		2
誤植がある	1		1
課題範囲が広すぎる、難しい	1		1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
構成・内容がよくない	11	6	17
難しい、高度すぎる、理解できない、説明が不十分	14	2	16
講師の話し方や発音、講義態度がよくない	6	3	9
印刷教材と連動していない	7	1	8
テレビ科目にしてほしい		8	8
テレビの特性を活かし、映像を多く取り入れてほしい	4		4
内容を詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる	4		4
タレントや芸能人は必要ない、違和感がある	4		4
テレビの図が見にくい、見せ方を改善してほしい	3		3
印刷教材を棒読み、または読んでいただけであった	2	1	3
図・表・写真を利用してほしい	2		2
講義のテンポが良くない(早い、遅い)	2		2
具体例・事例・練習問題を増やしてほしい	2		2
放送授業の時間が合わない	1	1	2
印刷教材と内容が異なる	1		1
手話通訳または字幕がほしい	1		1
例題・実習・演習を取り入れてほしい		1	1
視聴手段を増やしてほしい(DVDビデオ・配信等)		1	1
補助教材や参考文献の発行・紹介を		1	1
講師は一人の方がよかった	1		1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
試験が難しすぎる、難易度を下げるべき	7		7
試験内容の設問・難易度に違和感があった	4		4
試験が簡単すぎる、難易度を上げるべき	3		3
問題の解答・解説・用紙がほしい	2		2
問題が多かった、範囲が広がった	1	1	2
教材・電卓持込み可にしてほしい	2		2

主な改善点の提案:「気になった点」から抽出・集約

- 難しい言葉・用語は説明する。
- 通信指導は授業、教材の内容に沿い、認定試験に活かせるものを課題にする。
- 印刷教材の内容やレイアウトに留意し、必要な場合は図や表、用語説明を加える。
- 印刷教材は色刷が望ましく、誤植に留意する。
- 認定試験は学習の内容や進捗に合わせ、適切な出題とする。
- 放送授業に適した人物が解説する。

【学部】「自然と環境」科目

よかった点

- 生物にとって環境の大切さ、重要さがよくわかりました。里山、管理・維持することにより、生物の多様性が守られることを改めて認識いたしました。高齢化や TPP により、里山の機能が失われ、自然的な環境や生物の多様性が保たれなくなることを危惧しています。
- 講師とアシスタントの会話がごく自然で引き込まれる。原稿を読み上げているのと違って、番組としても知的好奇心を高めることができました。このような講師とアシスタントのやり取りを中心とした構成方法は継続してほしい。
- 生物およびそれを取り巻く環境について、自分の知識や経験の再確認、新たな知識の追加ができ、さらに関心が高まった。
- 物理学の広汎なトピックを概観するのに役立った。講師と聞き手の方とのやり取りが、ややこしい部分の理解の助けとなった。通信指導の後ろについている自習用問題がかなりやりごたえのある内容なのがよかった。
- 物理の世界に興味を持つことができた。放送授業の限られた時間の中で、視覚的にわかる様工夫されていて、理解を深めるために役立った。
- 新しい知識はもちろんのこと、これまで受講してきた地球物理学、気象学等に関するもので、理解があいまいだった部分が明らかになるところが多く、またの機会に教材を読み直してみようと考えています。
- 時間スケールで地球の変動を学ぶことができて、理解を深めるのに役立ちました。地球科学にとっても興味をかきたてられました。先生方の解説で分かりにくいところを上手に質問し、かみ砕いてくださって、本当に助かりました。放送授業とても面白かったです。
- 微分積分の考え方、計算について一通りの知識を得ることができた。また、特に三角関数の計算について、多くの知識、練習を行うことができてよかった、問題が多くテキストに含まれていてよかった。
- 微分積分の基本をわかりやすく学べました。教材も、例題・問題を中心につくられていて、自分で実際に解きながら勉強を進められてよかったです。数学・物理のテキストは、この科目のように演習中心にしてもらえると理解が深まると思いました。
- エントロピーというと漠然としたイメージのみで、勉強するにしても非常にとっつきにくいものであったが、講師お二人のユーモラスなわかりやすい講義で、エントロピーにより興味を持て、これからは勉強を続けていきたいと感じた。

気になった点

- 印刷教材とテレビでの講義内容が一致していない部分があった。通信指導の問題、単位認定試験の問題は、どちらも印刷教材がベースになっていて、テレビでの講義だけでは対応出来ない。講義をしっかりと学習すれば対応できる問題が必要。
- 入門科目であるから、もう少し容易に物理を始めさせてもらえたらよかった。図や絵を積極的に使用した上で、数式が少しなら理解、利用できるようなればよかったです。科目全体としては、物理全体の概要を理解するという本来の目的は十分達成できると思いますが、初歩の数式が使用できるようになればもっと素晴らしいと思います。
- 一部、難解な説明の部分があった。できるだけ平易に説明してほしい。
- グラフ・表・図が一部わかりにくかった。放送ではカラー表示でよかった。教材もカラーがわかりやすい。
- 微分積分自体が、難しい学問で300年以上の歴史を持つ勉強。半年くらいの勉強では、ニュートンの考えは簡単に理解できそうもない。
- 特に積分においては「このように仮定すると」といって説明をされても、どうしてそのように仮定するのが疑問で、納得できない点は何箇所もあった。授業レベルに比べて、テストは簡単すぎるように思われた。
- 内容は難しくて十分に理解できなかった。演習問題Bはほとんどできなかった。勉強は大変だったが、試験はやさしすぎてアンバランスに感じた。試験はもっと難しくした方がよい。テレビ映像の中で画面に表示される式などの文字が見にくい。太い字にしたらどうか。
- 45分という講義の時間内には、あまりにも多くの内容を詰め込み過ぎていると思います。そのため、特に最後の方の14～15章の内容は、あまり深く説明されておらず、正直、内容がよく理解できませんでした。また、講師の口調が何かにせかされているようで、とても早口でよく聞き取れないことがありました。また、演習問題の全問について、解説が簡単でよいからほしかったです。
- 入門科目のわりには内容が難しい。例題から理解するのが難しく、入門では適切でないと感じた。また、演習問題も答えるだけでなく、解き方・式の展開など、細かく解説をつけるべきである。専門科目ならよいが、入門にしては履修に対して難しいのではないか。

「自然と環境」コース科目総覧

良かった点では、科目全般で「知識の整理・深耕に役立った」が最も多く、他の科目に比べて予備知識があり、それらを深めることができたことへの喜びが評価となっている。

放送授業では、「アシスタントがよかった」「対話形式の授業がよかった」などの意見が多く、他の科目との違いが見受けられる。

気になった点では、放送授業において「構成・内容がよくない」「講師の話し方や発音、講義態度がよくない」といった、良かった点と相反する意見が目立った。

【学部】「夏季集中科目(司書)」

よかった点

(単位:人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
新しい知識、知らなかった知識が身に付いた	11	3	14
勉強になった、役に立った	5	7	12
今後の人生や仕事・生活・学習に役立つ	8	1	9
知識の整理・深耕に役立った	3	3	6
専門的な内容だった、レベルが高かった	1	4	5
受験・資格取得に役立った	2	2	4
具体的な事例・実験があった	3	1	4
内容がよかった、分かりやすかった	3	1	4
学習センターや図書館が良かった	2	1	3
基礎的な知識を得られた	3		3
最新の情報・研究が学べた	3		3
他の科目と関連性が良かった	2		2
放送授業と印刷教材の内容が異なった	1		1
興味が持てた、関心が持てた	1		1
視野が広がった、視点・考え方が変わった	1		1
現在の課題や身近な問題点を学べた	1		1
受講しやすい環境だった、システム面がよかった		1	1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
図版や表が役に立った	1		1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
分かりやすく丁寧な指導だった	1		1
新しい知識・情報を得られた	1		1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
分かり易く講義していた	2	4	6
実例や身近な例を取り上げていた	6		6
講師以外の人や複数の専門家の話を聞いた	2		2
講師の熱意や人柄の良さを感じた		2	2
さらなる学習意欲・知識欲がわいた	1		1
映像や写真が多用され、分かり易かった	1		1
放送授業と印刷教材の内容が異なった	1		1
放送教材と印刷教材の内容が同じだった		1	1

【学部】「夏季集中科目(司書)」

気になった点

(単位:人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
難しい、高度すぎる、理解できない	3		3
各種施設の利用について、充実・改善してほしい	1		1
アンケートの必要性や実施時期に疑問	1		1
最新の講義にしてほしい	1		1
学習センターや図書館が近くにない、利用が不便		1	1
内容が浅い、もっと専門性を持たせてほしい		1	1
分かりにくい、説明・解説が不十分		1	1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
図・写真・イラスト・表を増やしてほしい		3	3
放送授業の参考資料やページデータなども載せてほしい	2		2
内容が理解しにくい、難しい、解説が不十分	1		1
フリガナ、専門用語の説明などがほしい	1		1
内容の詰め込みすぎ、ボリュームが多すぎる	1		1
放送授業と内容が異なる	1		1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
テレビ科目にしてほしい		7	7
難しい、高度すぎる、理解できない、説明が不十分	3		3
具体例・事例・練習問題を増やしてほしい	2	1	3
講師の話し方や発音、講義態度が良くない	1	1	2
資料・データ・映像・内容が古い、改定してほしい	1	1	2
印刷教材を棒読み、または読んでいるだけであった	1	1	2
印刷教材と連動していない	1		1
ノートを取る余裕がほしい	1		1
印刷教材と異なる講義が聴きたい		1	1
テレビ、ラジオ両方で対応してほしい		1	1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
ワープロ可にしてほしい	1	2	3
インターネットで行いたい	1	1	2
課題範囲が広すぎる、難しい	1		1
放送教材・印刷教材・単位認定試験と内容がずれている	1		1
練習問題がほしい	1		1
提出期間が短い、スケジュールの改善を	1		1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
ワープロ可にしてほしい	2	2	4
試験が難しすぎる、難易度を下げるべき	3	1	4
試験内容が授業・教材・通信指導の内容と異なった	3		3
問題が多かった、範囲が広がった	1		1
試験の会場・日程について一考を	1		1

主な改善点の提案:「気になった点」から抽出・集約

- 通信指導や試験の記述にパソコンやワープロを用いる事を検討する。
- 映像のないラジオではわかりにくい授業は、テレビで行う。
- 映像のないラジオではわかりにくい授業は、テレビで行う。
- 練習問題や演習など、授業以外での学びのチャンスを作る。

【学部】「夏季集中科目（司書）」科目

よかった点

- 具体例・実践例が豊富で、解説も詳しく、実際に学校現場で取り組める内容が多かった点
- 情報メディアの活用について、放送教材により継続して学ばせて頂いた。他の考えや情報を部品として活用し、課題解決に向かって調べ学習を充実させていく必要をさらに感じるようになった。必要とする情報を収集しながら、自分の考えの確立に役立てていくことの重要性を感じた。
- 学校図書の利活用による情報リテラシー教育の在り方を、具体的に学ぶことができた点。
- 探求していく力を身に付けることなど、新しい知識や今教育として必要としているものなどを知ることができて、とてもよかったと思います。
- 司書教諭の置かれている立場や役割がよく理解できた。通信指導も丁寧で、勉強になった。
- 先生方の解説が明確でわかりやすく、ポイントをとらえやすかった。熱意を感じた。

気になった点

- いろいろなサイトやソフトの紹介があったが、体験が難しいものもあるので、学習センターのパソコン教室の利用も勧めてほしい。単位認定試験はワープロ可にしてほしい。
- 試験が印刷教材や放送授業だけでは難しいと感じた。習っていないところが出ており、試験が解答しにくい。
- 印刷教材で紹介されていた各教科の図書館活用の実践例を、実際のwebサイトで確認してみたが、国語科の例はあまりにも簡略に過ぎて、参考にはならなかった。新しい実践も増えているだろうから、紹介する実践例も適切なものに更新している必要があると感じた。
- 印刷教材で全く触れられていない内容で、放送授業で述べられている事柄のあること。放送授業で詳しく、映像も含めて述べられていることはよいと思われますが、印刷教材でも簡潔であってもひと言記述があれば復習に役立つと思う点。
- 放送教材はほとんどが印刷教材を読んでいるだけ。印刷教材を読めば十分である。印刷教材にはない補足的な内容がもっとほしかった。

「夏季集中科目（司書）」科目総覧

良かった点、気になった点、共に他の科目と同様な意見になっているが、通信指導や単位認定試験で一部ワープロを認めてほしいといった意見が上げられていた。

【学部】「夏季集中科目2」

よかった点

(単位:人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
知識の整理・深耕に役立った	10		10
新しい知識、知らなかった知識が身に付いた	7		7
勉強になった、役に立った	5		5
今後の人生や仕事・生活・学習に役立つ	4		4
受験・資格取得に役立った	2		2
視野が広がった、視点・考え方が変わった	1		1
自分の意見・考えが持てるようになった	1		1
内容がよかった、分かりやすかった	1		1
基礎的な知識を得られた	1		1
他の科目と関連性が良かった	1		1
最新の情報・研究が学べた	1		1
身近に感じることが出来る内容だった	1		1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
分かりやすく、勉強になった	2		2
引用・参考文献の紹介、練習問題が良かった	1		1
さらなる学習意欲・知識欲がわく内容だった	1		1
体系的に良くまとまり、整理されていた	1		1
図版や表が役に立った	1		1
新しい知識・視点を得ることができた	1		1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
受験・資格取得に役立つ	1		1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
分かり易く講義していた	1		1
講師の熱意や人柄の良さを感じた	1		1
事例や身近な例を取り上げていた	1		1
映像や写真が多用され、分かり易かった	1		1
放送のテンポや時間構成がよかった	1		1
ドラマ形式や、アニメ・CGが良かった	1		1
映像・テレビでよかった	1		1

【学部】「夏季集中科目(看護)」

気になった点

(単位:人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
内容を詰め込みすぎ、ボリュームが多すぎる	1		1
春にも開講してほしい	1		1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
放送授業と連動していない	4		4
巻末資料を各章に組み込んでほしい	3		3
構成・内容がよくない、面白くない	3		3

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
講師の独りよがりになっている	1		1
講師の話し方や発音、講義態度が良くない	1		1
テストに出る部分を繰り返し説明してほしい	1		1
テレビ、ラジオ両方で対応してほしい	1		1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
国家試験に役立つのにしてほしい	2		2

主な改善点の提案:「気になった点」から抽出・集約

- 放送授業と印刷教材の連動に留意する。
- 通信指導の内容は、国家試験に対応できるものにする。
- 早口やこもりがちなトークに気をつけ、滑舌に注意する。

【学部】「夏季集中科目（看護）」科目

よかった点

- テレビの視聴で、適度にイラストなどを使っていて、とても良かった。先生方の話しの速度も良かったです。
- 限られたページ数で、小児看護という大量の学習内容をわかりやすくまとめてあったので、1冊で小児の知識を網羅できてよかった。今まで量が多くて取り掛かるのが億劫だったが、このテキスト1冊でいいと思うと楽しめた。
- 自分の子供が成人してからの小児看護学は、子育て真っ最中よりも別の視点で学習できたこと。児童の権利に関する条約や病院のこども憲章など、また、児童福祉法等の各種法令等にも触れていること、新しい学びが得られたこと、以上3点がよかったと思う。

気になった点

- 印刷教材と放送授業とで、載っている順番が一致していない回があり、印刷教材のどこの部分を説明しているのか探してしまうことがあったので、印刷教材のどこの部分か、もう少しだけ分かりやすくしてほしいです。
- 国試などにも役立つような問題も多く取り上げてほしいです。
- 資料類は、一色巻末に載っているのですが、できれば文面の間に入れてもらえると、説明を読みながら統計を見られるので、勉強しやすいと思います。
- テレビだけでなく、ラジオでも受講出来るようにしてほしい。

「夏季集中科目（看護）」科目総覧

件数が少ないため参考データではあるが、単位認定試験において、「受験・資格取得に役立つ」と「国家試験に役立つのにしてほしい」とする、反するの意見が見られた。

【学部】「オンライン科目」

よかった点

(単位:人)

科目全般		オンライン教材	
意見	合計	意見	合計
勉強になった、役に立った	57	実習がよかった	17
新しい知識、知らなかった知識が身に付いた	38	講師の熱意や人柄の良さを感じた	14
視野が広がった、視点・考え方が変わった	26	内容がよかった、分かりやすかった	13
基礎的な知識を得られた	26	講師以外の人や複数の専門家の話を聞けた	13
最新の情報・研究が学べた	23	講師の指導が良かった	12
知識の整理・深耕に役立った	22	確認テストが理解に役立った	6
ディスカッションが良かった	19	具体例・事例があった	6
今後の人生や仕事・生活・学習に役立つ	19	添削・コメントしてもらえた	6
自分のペースで勉強できた	19	映像教材よかった	5
さらなる学習意欲がわいた	19	学習のポイントが分かりやすく説明されていた	4
学ぶきっかけとなった、考えるきっかけとなった	13	確認テストの回数が適切だった	3
内容がよかった、分かりやすかった	9	講義ノートが理解に役立った	2
現在の課題や身近な問題点を学べた	7	手元に置き、今後も読みたい内容だった	1
他の科目と関連性が良かった	6	1回の講義が分割されていて短時間でも取り組めた	1
興味が持てた、関心が持てた	5	小テストを繰り返し学習できる	1
学校の対応がよかった	4		
学習センターや図書館が良かった	4		
楽しく受講できた、面白かった	3		
今までにない内容で興味深かった、新鮮だった	2		
専門的な内容だった、レベルが高かった	1		
オンライン従業への不安が減った	1		

設問解答(小テスト・レポート・ディスカッション等)

意見	合計
レポート提出はよかった	1

【学部】「オンライン科目」

気になった点

(単位: 人)

科目全般		オンライン教材	
意見	合計	意見	合計
ディスカッションのルール・整理が必要	54	印刷教材を棒読み、または読んでいただけであった	18
オンライン上の操作・説明がわかりにくかった	27	講義ノート印刷教材がほしい	14
ディスカッションの人数・発言・回数が少ない	22	指導内容、コメント、対応に不満がある	14
内容が浅い、もっと専門性を持たせてほしい	19	課題提出が多すぎる	9
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	17	確認テストの内容が適切ではなかった	8
内容を詰め込みすぎ、ボリュームが多すぎる	12	映像の画質が粗い	7
双方向性がなかった	12	講義が分割されすぎている	7
構成または内容を改善してほしい、内容を充実させてほしい	11	映像教材の受信がうまくいかない時があった	6
難しい、高度すぎる、理解できない	7	講義映像の時間が長い	5
学習の進捗状況がわかる画面がほしい	6	課題に提出期限を長くしてほしい	5
内容・講師に思想的偏りがある	5	講義ノートではなく、テキストがほしい	4
最新の内容の講義にしてほしい	4	具体例・事例・練習問題を増やしてほしい	4
アンケートの必要性や実施時期に疑問	3	録音・録画できるようにしてほしい	4
通信費が高い	2	資料が多く閲覧・印刷が大変だった	4
参考文献を紹介してほしい	2	フリガナ、専門用語の説明などがほしい	3
オンライン表示の期限を明確にしてほしい	1	講師の話し方や発音、講義態度が良くない	2
時間がとれない、勉強についていけない、努力不足だった	1	誤植がある	1
		確認テストの回数を増やしてほしい	1
		映像の時間を統一してほしい	1
		図・写真・イラスト・表を増やしてほしい	1

設問解答(小テスト・レポート・ディスカッション等)	
意見	合計
評価方法に疑問を感じる	7
回答の送信方法がわかりにくい	6
問題の解答・解説・用紙がほしい	5
試験内容が授業・教材・通信指導の内容と異なった	2
本人確認すべき	1
試験が簡単すぎる、難易度を上げるべき	1

主な改善点の提案:「気になった点」から抽出・集約

- テキストの丸読みは避け、授業の独自性を持たせる。
- 講義ノートやテキストなど映像教材以外に、印刷物を提供する。
- ディスカッションのテーマ、発言、閲覧などにルール・整理を設け、利用し易い環境に整備をする。
- 自身の学習状況の進捗確認が出来るよう改善する。
- オンライン操作が複雑な部分もあるので、操作が容易に行えるよう画面等の工夫をする。
- オンラインの特性を活かし、質問や相談には迅速・丁寧・確実に対応する。
- 録音・録画や受講終了後も視聴できるなど、復習できる環境を設ける。
- 認定試験は学習の内容や進捗に合わせ、適切な出題とする。

【学部】「オンライン」科目

よかった点

- 受講して新しい知識を得ながらも、自分の今までを振り返ったり考えを深めたりを自然にうまく進められるように構成されていると感じました。ディスカッションも意見を交わすのは難しいところもありますが、非常に参考になり自分の考えを整理するのにも役立ちました。前回までに整理したことを踏まえて次の回を視聴するようになっていました。最後の回を迎えるころには随分考えが整理できていました。思った以上にボリュームのある内容で満足しています。
- 一般的な動向を知ったことにより、自分の所属する会社の制度を客観的に評価できた。未来の自分を今の自分が形成することを強く意識するようになった。
- あらゆる面から癌についての情報が勉強出来てよかったと思う。オンラインではあったが、講師の先生が身近に感じ、メールも何度か配信されとても親切だと感じました。
- Java プログラミングについて体系立てて学習できたことが良かったです。他の言語のプログラミング経験はあり、Java については出始めのころにコマンドラインで独学したきりでした。今回このような科目が始まることを知り、Java プログラミングの面白さに改めて触れることができました。
- プログラミングが初心者でも内容が理解できよう教材ができており良かったです。人口知能について少し学ぶことができました。ありがとうございます。
- 法律の用語など難しいものも多かったですが、講義解説でわかりやすく教えていただけました。それでも難しい内容でしたが、講義は大変面白く良かったです。
- 力学基礎の数式による表記がよく理解できた。

気になった点

- ネットを使ったディスカッションでは全体としての人数把握が出来なかったり、司会役が現れずただ自分の意見を述べるだけで終わりになってしまったりした。何度かディスカッション経験がないと話も膨らまず難しいのではないかと思った。
- ディスカッションのやり方が良く分からなくて、わからないまま終了していた。
- 放送内容はとても丁寧に作られていたが、専門的な部分でもう少し時間を取って分かりやすく説明がほしいと思う箇所がいくつかあった。
- 講義資料を印刷して活用していますが、やはり、印刷教材の様なものが必要な感じがします。
- ノートは印刷教材があった方がよかったです。印刷がうまく出来ずにデスクトップに保存しましたが、印刷量が多く大変でした。授業はオンラインでわかりやすかったです。
- レポートに対する採点基準がよくわからなかったので、明確にして欲しい。レポートの中に、テキストの範囲を外れる内容のものがあったので、入れるなら解説を付けて欲しかった。
- 内容が少ない気がします。2単位にして、ある程度のレベルに達する科目になるとさらにいいかなと思いました。

オンライン科目総覧

良かった点では、放送授業科目同様に、「勉強になった、役に立った」「新しい知識、知らなかった知識が身に付いた」などが上げられているが、この他、「ディスカッションが良かった」「自分のペースで勉強できた」などオンライン特有の意見も見られた。

気になった点では、「ディスカッションのルール、整理が必要」「ディスカッションの人数・発言・回数が少ない」などディスカッションへの批判が多く、今後、テーマや発言、閲覧方法などの改善が求められている。

また、「オンライン上の操作・説明がわかりにくかった」「映像教材の受信がうまくいかない時があった」「講義ノートの印刷教材がほしい」「録音・録画できるようにしてほしい」などから、操作方法の簡便、講義終了後に復習できる環境の整備を求めていることがうかがえる。

Ⅲ－３．大学院

【大学院】「生活健康科学」

よかった点

(単位: 人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
今後の人生や仕事・生活・学習に役立つ		15	15
知識の整理・深耕に役立った		12	12
勉強になった、役にたった		9	9
新しい知識、知らなかった知識が身についた		8	8
視野が広がった、視点・考え方が変わった		5	5
基礎的な知識を得られた		4	4
最新の情報・研究が学べた		3	3
専門的な内容だった、レベルが高かった		3	3
他の科目と関連性が良かった		2	2
受験・資格取得に役立った		1	1
さらなる学習意欲がわいた		1	1
良い教養科目だった		1	1
現在の課題や身近な問題点を学べた		1	1
学ぶことの楽しさを知った		1	1
興味が持てた、関心が持てた		1	1
具体的な事例があった		1	1
面接授業や実習が良かった		1	1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
分かりやすく、勉強になった		8	8
手元に置き、今後も読みたい内容だった		4	4
事例、コラムが良かった		4	4
体系的に良くまとまり、整理されていた		2	2
文字が大きく、読みやすかった		1	1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
内容が適切だった		1	1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
試験内容が適切だった		2	2

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
分かり易く講義していた		18	18
講師の熱意や人柄の良さを感じた		5	5
講師以外の人や複数の専門家の話を聞いた		5	5
さらなる学習意欲・知識欲がわいた		4	4
受講して良かった		1	1
放送のテンポや時間構成が良かった		1	1

【大学院】「生活健康科学」

気になった点

(単位:人)

科目全般				印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
分かりにくい、説明・解説が不十分		5	5	図・写真・イラスト・表を増やしてほしい		6	6
具体例・事例・実践的な内容を増やしてほしい		2	2	参考資料や付録を載せてほしい		3	3
内容・範囲が広すぎる、テーマを絞ってほしい		2	2	内容が理解しにくい、難しい、解説が不十分		3	3
難しい、高度すぎる、理解できない		1	1	フリガナ、専門用語の説明などがほしい		1	1
内容が浅い、もっと専門性を持たせてほしい		1	1				

放送授業				通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
テレビ科目にしてほしい		10	10	指導内容、コメント、対応に不満がある		1	1
印刷教材と連動していない		1	1				
講師によって解説が異なる		1	1				
単位認定試験と連動していない		1	1				
構成・内容がよくない		1	1				
印刷教材と異なる講義が聴きたい		1	1				
ゲストが直接話すのではなく、講師が要点を説明してほしい		1	1				
内容を詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる		1	1				
視聴手段を増やしてほしい(DVDビデオ・配信等)		1	1				

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
試験が簡単すぎる、難易度を上げるべき	3	3	3
時間が長すぎる	1	1	1
評価方法に疑問を感じる	1	1	1

主な改善点の提案:「気になった点」から抽出・集約

- ラジオではわからないところが出てくる。テレビでの講義を求む。
- 認定試験は学習の内容や進捗に合わせ、適切な出題とする。
- 印刷教材の内容やレイアウトに留意し、必要場合は図や表、用語説明を加える。

【大学院】「生活健康科学」科目

よかった点

- 精神医学に関する知見がよくまとめられており、概説書として今後も活用できるテキストを手に入れたことです。
- 元々、精神看護学領域、メンタルヘルスに興味、関心があった。基礎知識はあったが、更にそれを発展、理解につなげることができた。放送授業も先生のオリジナリティのある内容で、聴講しやすく要点がわかりやすい。テキストの事例、コラムが興味深く、理解を深めることができた。
- 一般的精神疾患について理解できた。ゲストティーチャーのお話しがとても役に立った。印刷教材にはない現場で努力されている先生方のお話の内容もよかったし、放送教材の構成が工夫され、放送教材で学ぶのが楽しみでした。
- 精神医学の全体像はむろん、1つ1つの病気と症状、メカニズムをわかりやすく解説してくださり、本当に理解できた。”医学”なので難しいのではと構えて受講したが、こんなにも私達の生活に密着していることがわかった。ゲストの話はタメになった。
- 普段の仕事の領域とは違う部分を学ぶことができ、領域を隔てて仕事をする際の助けになった。DSM-5の病名や違い、薬のことが知ることができてよかったが、テキストだけではなく、映像でも学ぶことができると初学者でも混乱なく知識を理解できると思う。講師の方の語り口が、学ぶものにとっては抵抗感を感じさせない雰囲気、前向きに取り組めた。
- 精神医学持論について、目次がはっきりしていて、字の大きさがはっきりわかり、次に進みやすい。わかりやすい症例に関しても内容がよくわかる。索引も完璧であると思います。
- 統合失調症やうつなどの代表的な精神疾患から、小児から老年期まで、各世代に顕著となる疾患まで、大変わかりやすく解説されていた。印刷教材のコラムも興味深く読むことができた。

気になった点

- 事例がもう少し多く、詳しい内容のものがあるとよかったですと思います。
- 病名と特徴、診察、薬効について、一覧表を付録につけてほしいと思いました。放送授業ではゲストの登場が多く、貴重な話が聴けたのはメリットが大きいですが、印刷教材の内容が取り上げきれていないところも、何か補足がほしいと思います。
- TVの大学の窓を見て、先生の授業に対する熱意は十分伝わったのですが、印刷教材にもう少し、図表など視覚的な理解を助ける手法がとられていると、より理解が深まってよいかと思いました。
- 全体的にもう少し図表を取り入れてまとめてあった方が理解しやすかったと思う。「身体症状症」についての解説が、講師によって異なっていたため、理解が混乱し、他の文献での確認が必要だった。
- この科目がテレビ科目であったなら、もっと良かったと思います。文字で理解することと、映像で理解することには、具体的にそのものを見ることができるという点で大きな違いがあると思われます。たとえば、このような疾患を持つ人には、このような症状や行動がみられるという場合にそのものを見たいのです。医学分野の科目であるにもかかわらず、テレビ科目でないのは残念です。ラジオ科目としても、もっと写真を多くしてほしいと思いました。
- 症例はわかりやすいものも多かったが、どの部分の特徴が「特徴として」ピックアップされるのかわかりにくい部分もあった。(症例の解説に不足感があった) 大学の研究室での研究についてなど、研究の裏側も少し知ることができたが実験研究の専門的な部分は難しすぎてよくわからなかった。
- 同じ症状でも、診断名が異なる可能性が高いのが精神医学の科目の難しいところで、その見分け方や対処法を図解したり整理するなど、覚えやすい工夫があるとより理解が深まるのではないかと思います。

「生活健康科学」プログラム科目総覧

大学院になると、かなり高度かつ専門的な講義内容になる。受講生の学びに対する意欲は共通であっても、要求する知の内容は科目になって異なってくるであろう。「生活健康科学」は自分たちの生活と健康維持（抗老化）に関わる科目であるためか、「今後の人生や仕事・生活・学習に役立つ」が最も多かった。「知識の整理・深耕に役立った」や「新しい知識、知らなかった知識が身についた」という内容の記述も多く、実際の生活に生かそうと言う意欲が見て取れる。この科目では「テレビでの講義」を望む声が圧倒的に多い。

【大学院】「人間発達科学」

よかった点

(単位: 人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
新しい知識、知らなかった知識が身に付いた		11	11
勉強になった、役に立った		9	9
知識の整理・深耕に役立った		7	7
最新の情報・研究が学べた		7	7
今後の人生や仕事・生活・学習に役立つ		5	5
内容がよかった、分かりやすかった		4	4
学ぶきっかけとなった、考えるきっかけとなった		3	3
現在の課題や身近な問題点を学べた		3	3
興味が持てた、関心が持てた		3	3
視野が広がった、視点・考え方が変わった		2	2
さらなる学習意欲がわいた		2	2
楽しく受講できた、面白かった		1	1
専門的な内容だった、レベルが高かった		1	1
自分の意見・考えが持てるようになった		1	1
具体的な事例・実験があった		1	1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
分かりやすく、勉強になった		1	1
手元に置き、今後も読みたい内容だった		1	1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
添削・コメントをしてもらえた		1	1
内容が適切だった		1	1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
試験内容が適切だった		1	1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
分かり易く講義していた		2	2
講師の熱意や人柄の良さを感じた		2	2
講師以外の人や複数の専門家の話を聞いた		1	1

気になった点

(単位:人)

科目全般				印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
具体例・事例・実践的な内容を増やしてほしい		4	4	放送授業と内容が異なる		2	2
分かりにくい、説明・解説が不十分		2	2	内容が理解しにくい、難しい、解説が不十分		2	2
現実に活かせる内容にしてほしい		2	2	図・写真・イラスト・表を増やしてほしい		1	1
質問や相談がしたい		2	2	具体例・事例・実践的な内容を載せてほしい		1	1
時間がとれない、勉強についていけない、 努力不足だった		1	1	内容を詰め込みすぎ、ボリュームが多すぎる		1	1
難しい、高度すぎる、理解できない		1	1				
インターネットで視聴したい、各種通信デバイスの 充実も		1	1				
大切な科目なので、受講を勧めてほしい		1	1				
内容・講師に思想的偏りがある		1	1				
放送授業				通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
印刷教材と連動していない		5	5	課題の内容・量が的確ではない		1	1
テレビ科目にしてほしい		2	2				
講師以外の人の解説がほしい		1	1				
内容を詰め込みすぎ、ボリュームが多すぎる		1	1				
ノートを取る余裕がほしい		1	1				
印刷教材を棒読み、または読んでいるだけであった		1	1				
構成・内容がよくない		1	1				
				単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
				試験が難しすぎる、難易度を下げるべき		2	2
				問題数が多かった、範囲が広がった		2	2
				記述式および記述に関して改善してほしい		1	1
				試験内容が授業・教材・通信指導の内容と異なった		1	1
				教材・電卓持込み可にしてほしい		1	1

主な改善点の提案:「気になった点」から抽出・集約

- 難しい言葉・用語は説明する。
- 放送授業と印刷教材の連動に留意する。
- ラジオではわからないところが出てくる。テレビでの講義を求む。
- 認定試験は学習の内容や進捗に合わせ、適切な出題とする。
- 授業や教材には最新のデータや現状を取り入れ、活かせる内容にする。

【大学院】「人間発達科学」科目

よかった点

- 教育行政の変化の歴史や、行政の意図などを整理することができたのでよかった。
- これまでの教育に関する時代の流れや、国と行政との関係など今まで知らないことを学べ、知識も増えた。また、これからの新しい考えも学べ、将来の方向性もわかった。
- 戦後の徳育の変化をあらためて実感した。民主主義、平和主義、人間主義、非差別主義がこれからの時代に必要な要素。その時、これからどうするのか、考えさせられる講座であった。
- 講師が実際の道徳授業や文教政策に関わっていることから、理念的なものにとどまらず、具体的に現実的な内容となっていた。政治的論争に踏み込まないよう自制しつつも、我が国の道徳授業をめぐる議論がイデオロギー的に利用されがちな実態も理解できるようになっていた。
- 道徳の重要性を改めて理解できた。グローバルな視点から道徳を学び直すことができたように感じている。学習した印刷教材は、これからも大切にしていきたいと思う。
- 特別の教科、道徳に至った経緯や、他先進国の道徳教育の枠組みが理解できた。知らなかったときは、不安が大きかった。今は、自信を持って特別の教科道徳を研究、実践できていると感じている。
- 道徳教育について、世界各国の様子を知ることができた。日本の道徳教育から世界の道徳教育へ俊哉を広げることができた。道徳教育に対する説明責任という課題を見つけることができた。修士論文に取り組もうという意欲が高まった。
- 道徳教育の全体的な歴史や内容、これからのあり方を深く考えたり、知ることができました。特に思想史的な展開は興味を持ちました。日々の教育活動はすべて道徳教育（生き方、あり方）そのものである。知識だけでなく、人格（個）を大切にする一人一人を大切にする教育活動をしっかり努力しようと思った。

気になった点

- テキストの解説以外の説明が主になり、「テキストは読んでおいてください」とラジオでおっしゃるのだが、その内容がかけ離れている場合がある。多くの知識を得られるのは有難いが、其の全てをテストで問われるのは通信授業としては負担が大きすぎる。テスト出題の放送内容について、まず、記述と選択では内容が多すぎる。次に、選択も記述も主内容ではなく、枝葉の細かいところから出されているが、覚えなければならない内容なのか、疑問に思う。選抜試験ならばわかるが、単位認定試験でこの内容は不必要だと思う。
- やや説明が難解であると感じた。結論がAなのかBなのか不明なところが何箇所もあった。
- 単位認定試験が非常に難しかった。印刷教材（通信指導）を重視して出題してほしい。
- 教授によってはたくさん言いたいことがあるのか、放送授業と教科書がリンクしていないものがあり、わかりづらかった。膨らみたい内容をあらかじめどう話すとかしてもらえると助かる。
- 戦後教育を財政面から詳しく分析されている一方で、実態をどう改善すべきかについては具体的方向が見えない。
- 内容によっては、放送大学の際、印刷教材の一部については全く取り扱わずに進んでしまうことがあったと思う。できれば、すべての内容に触れてほしかったので、今後、印刷教材の内容を少しカットしてはどうかと思う。自分は音声聞きながら教材を読んでいたの、「何ページのどこ」と、説明をいれていただけると勉強しやすかった。
- 先行実践している地域や学校の情報がわかれば、ありがたいと思った。
- ラジオ放送の内容は、テキストの内容を読むだけのようなので、できればテレビ放送にして、様々な映像を見せられるようにするとよい。
- テキストがかなり分厚くて、読むのが大変なうえ、内容が難しくなかなか読む気がしなかった。

「人間発達科学」プログラム科目総覧

「新しい知識、知らなかった知識が身に付いた」「勉強になった」「知識の整理・深耕に役立った」など、知識の向上が目立った科目のようである。「印刷教材と連動していない」「放送授業と内容が異なる」という記述もあり、授業の進行を一考すべきかもしれない。

【大学院】「人文学」

よかった点

(単位: 人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
視野が広がった、視点・考え方が変わった	12	11	23
勉強になった、役になった	4	12	16
知識の整理・深耕に役立った	3	12	15
新しい知識、知らなかった知識が身に付いた	5	10	15
内容がよかった、分かりやすかった	7	7	14
さらなる学習意欲がわいた	1	11	12
今までにない内容で興味深かった、新鮮だった	4	6	10
興味が持てた、関心が持てた	4	5	9
学ぶきっかけとなった、考えるきっかけとなった	3	6	9
他の科目と関連性が良かった	4	1	5
楽しく受講できた、面白かった	1	4	5
今後の人生や仕事・生活・学習に役立つ		5	5
最新の情報・研究が学べた	4		4
受講しやすい環境だった、システム面がよかった	1		1
現在の課題や身近な問題点を学べた	1		1
受講して良かった		1	1
学習センターや図書館が良かった		1	1
面接授業や実習が良かった		1	1
専門的な内容だった、レベルが高かった		1	1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
分かりやすく、勉強になった		2	2
手元に置き、今後も読みたい内容だった		2	2
読み物として面白い内容だった		1	1
映像・テレビでよかった	1		1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
内容が試験と直結していた		2	2
さらなる学習のヒントや情報を与えられた		1	1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
試験内容が適切だった		2	2
単位がとれた		1	1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
講師の熱意や人柄の良さを感じた	2	4	6
分かり易く講義していた	4	2	6
最新の情報や研究が学べた	1		1
実例や身近な例を取り上げていた	1		1

【大学院】「人文学」

気になった点

(単位:人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
内容が浅い、もっと専門性を持たせてほしい	2	9	11
分かりにくい、説明・解説が不十分	2	3	5
内容・範囲が広すぎる、テーマを絞ってほしい	3	2	5
関連する科目・基礎科目を開設してほしい		4	4
内容にまとまりがない、統一性・関連性がない	3	1	4
内容・講師に思想的偏りがある	1	2	3
構成または内容を改善してほしい、内容を充実させてほしい	1	2	3
現状のままでいい、満足している	1	1	2
時間がとれない、勉強についていけない、努力不足だった	1	1	2
内容を詰め込みすぎ、ボリュームが多すぎる	1	1	2
各回ごとにまとめを記述してほしい	2		2
質問や相談がしたい		1	1
最新の内容の講義にしてほしい		1	1
面接授業を実施してほしい、参加しやすくしてほしい		1	1
参考書や問題集、補助教材を紹介・発行してほしい	1		1
現実に活かせる内容にしてほしい	1		1
難しい、高度すぎる、理解できない	1		1
交流の場を用意してほしい	1		1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
テレビ科目にしてほしい		13	13
印刷教材と内容が異なる	2	3	5
印刷教材を棒読み、または読んでいただけであった	2	2	4
印刷教材と異なる講義が聴きたい		3	3
講師の独りよがりになっている	1	2	3
講師の話し方や発音、講義態度が良くない	2		2
難しい、高度すぎる、理解できない、説明が不十分	2		2
視聴手段を増やしてほしい(DVDビデオ・配信等)		1	1
複数の講師の説明だったので、わかりにくかった	1		1
ノートを取る余裕がほしい	1		1
印刷教材と連動していない	1		1
テレビの図が見にくい、見せ方を改善してほしい	1		1
テレビ、ラジオ両方に対応してほしい	1		1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
図・写真・イラスト・表を増やしてほしい	1	6	7
フリガナ、専門用語の解説などがほしい	2	1	3
色刷にしてほしい		3	3
放送授業と内容が異なる	3		3
設問の解も載せてほしい		1	1
内容が理解しにくい、難しい、解説が不十分	1		1
内容の詰め込みすぎ、ボリュームが多すぎる	1		1
難しい、文章が回りくどい	1		1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
指導内容、コメント、対応に不満がある	2		2

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
評価方法に疑問を感じる		2	2
教材・電卓持込み可にしてほしい	2		2
通信指導と異なるものが良い		1	1
試験が難しすぎる、難易度を下げるべき	1		1
問題の解答・解説・用紙がほしい	1		1

主な改善点の提案:「気になった点」から抽出・集約

- 放送授業と印刷教材の連動に留意する。
- 印刷教材の内容やレイアウトに留意し、必要な場合は図や表、用語説明を加える。
- 扱う範囲が広いので科目に分けてより詳細な授業を望む。
- 専門性に乏しい内容があったので、より詳細な授業を行う。
- ラジオではわからないところが出てくる。テレビでの講義を求む。

【大学院】「人文学」科目

よかった点

- 学問に対する視野が広がり、道についての疑問が解けた。歴史を横断的、断続的に見ることにより、道を極めていった人物のすばらしさが、よくわかった。
- 各先生の専門分野に接することができました。広い角度からの学問のとらえることができました。
- 文化人類学という広範な学問のあり方のうち、現代性のあるテーマを選んでいて、とても興味深いものでした。目を開かれる思いがする科目でした。
- 先生方の多岐にわたるアプローチで、文化人類学の新しい側面を見ることができ、今までとは違う考え方や切り口で、考察する糸口を見つけることができました。
- 文化人類学は非常に興味深い科目だった。また、1回ずつの授業の中で非常に貴重な映像が出てきたり、興味をそそられる映像が出てきたりしたので、テレビ教材ならではのと思った。印刷教材だけでは理解するのが難しい点も、映像で理解が深められた。
- 題材が非常に多岐にわたり、現代の文化人類学が対象とする範囲の広さを実感するとともに、そのこと自体が現代社会の価値観の多様さを表しているとも感じることもできた。
- 具体的な事例を挙げての（写真など）講義でわかりやすかった。また本講を機として、構造主義、記号論にも踏み込むことができた。

気になった点

- 印刷教材にもう少し細かく振り仮名を振ってほしい。放送を聞きながらかなり印刷教材に振り仮名を振った。普段使いなれていない言葉（漢字）をきちんと読みたいと感じた。
- 古典文学のみならず、芸道や絵画、武道に及ぶ内容であるため、画像や動画による学習が必要であり、ぜひテレビ科目として欲しい。
- 放送は、印刷教材をそのままお読みになっているだけという感じだった。放送では印刷教材では説明しきれなかった部分とか、先生のお考えなどを紹介していただきたかった。
- 単位認定試験は印刷教材とノートを持込みすることも検討されるべきではないかと感じました。
- 大学院科目なので、やむを得ないかもしれないが、一つの科目としては範囲が広すぎているので、分割した内容の科目として受講できたら、更に理解と興味が深まったものとする。
- 先生によってテキストのまとめ方、授業もテキストに書いていない（テキスト通りでない）進め方など、統一してほしいと感じました。各章の最後に、簡単にまとめていただくと講義内容が再確認できてありがたいと思います。
- 学際的な研究について、もう少し踏み込んで説明してほしい。

「人文学」プログラム科目総覧

この科目も、「勉強になった」「知識の整理・深耕」「視野の広がり」など、知的な興味が前面に出た科目のようである。かなり学習の程度が高いのか、「分かりにくい、説明・解説が不十分」より「内容が浅い、もっと専門性を持たせてほしい」といった、積極的な要望が目立つ。また、テレビ科目での授業を望む声が極めて多い。

【大学院】「情報学」

よかった点

(単位:人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
勉強になった、役に立った		4	4
知識の整理・深耕に役立った		3	3
今後の人生や仕事・生活・学習に役立つ		3	3
基礎的な知識を得られた		2	2
最新の情報・研究が学べた		2	2
学ぶきっかけとなった、考えるきっかけとなった		1	1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
分かり易く講義していた	1	1	1
講師の熱意や人柄の良さを感じた	1	1	1

【大学院】「情報学」

気になった点

(単位:人)

科目全般				印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
インターネットで視聴したい、各種通信デバイスの充実も		1	1	図・写真・イラスト・表を増やしてほしい		2	2
最新の内容の講義にしてほしい		1	1	内容が理解しにくい、難しい、解説が不十分		2	2
参考文献を紹介してほしい		1	1				
分かりにくい、説明・解説が不十分		1	1				
放送授業				通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
テレビ科目にしてほしい		6	6	記述式はやめてほしい		1	1
難しい、高度すぎる、理解できない、説明が不十分		2	2				
例題・実習・演習を取り入れてほしい		1	1				

主な改善点の提案:「気になった点」から抽出・集約

- ラジオではわからないところが出てくる。テレビでの講義を求む。
- 実験や体験などを多く取り入れる

【大学院】「情報学」科目

よかった点

- データベースのソフトは30年くらい前、仕事で独学で勉強実践してきたが、基礎理論については勉強していなかったので、基礎理論が学習できたのはよかった。高校の情報の授業でデータベースを教えているが、実践的な物だけで、基礎理論は教えていなかったのが役に立った。
- データベースに関する体系的な学習ができてよかったと思う。データベースについて、今後の学習を進めていくにあたって、基礎となる知識を習得できたと思う。

気になった点

- データベースの構築方法についてはラジオだけではわかりにくく、テレビでの放送があればよいと思う場面がたくさんあった。
- プログラミングの構造がわかりにくい。フローチャートなどの図を入れ、部分部分丁寧に解説した方がよい。
- ラジオ科目で、ネットワークやデータベース構造を理解するのは意外に厳しく、印刷教材に頼ってしまうので、テレビ配信していただけると嬉しい。
- データの基本はもとより、もう少しビッグデータに関しても触れてほしいと思った。

「情報学」プログラム科目総覧

サンプル（受講生）は少ないが、それだけに学習の進んだ受講生が選択した科目なのであろう。「難しい、理解できない」という反応は極めて少なく、「勉強になった」ことへの喜びを感じている様子が見て取れる。

【大学院】「自然環境科学」

よかった点

(単位:人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
知識の整理・深耕に役に立った	14	1	15
新しい知識、知らなかった知識が身に付いた	11	2	13
勉強になった、役に立った	9	3	12
内容がよかった、分かりやすかった	8	1	9
最新の情報・研究が学べた	9		9
興味が持てた、関心が持てた	8	1	9
楽しく受講できた、面白かった	7	1	8
視野が広がった、視点・考え方が変わった	6		6
さらなる学習意欲がわいた	5		5
他の科目と関連性が良かった	5		5
今までにない内容で興味深かった、新鮮だった	4		4
身近に感じることが出来る内容だった	2		2
今後の人生や仕事・生活・学習に役立つ	1	1	2
基礎的な知識を得られた		2	2

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
分かりやすく、勉強になった	1	1	2
図版や表が役に立った	1		1
手元に置き、今後も読みたい内容だった	1		1
ポイントが明確に押さえられていた	1		1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
分かり易く講義していた	8	1	9
講師の熱意や人柄の良さを感じた	7		7
さらなる学習意欲・知識欲がわいた	3		3
新しい発見や驚きがあった	2		2
図表がわかりやすかった	1		1
印刷教材との関連がよかった	1		1

【大学院】「自然環境科学」

気になった点

(単位:人)

科目全般				印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
内容を詰め込みすぎ、ボリュームが多すぎる	4		4	文字・図・表・写真が小さい、画像が粗い、 分かりにくかった	5		5
インターネットで視聴したい、各種通信デバイスの 充実も	2	1	3	色刷にしてほしい	4		4
内容が浅い、もっと専門性を持たせてほしい	3		3	内容が理解しにくい、難しい、解説が不十分	3	1	4
関連する科目・基礎科目を開設してほしい	1	1	2	図・写真・イラスト・表を増やしてほしい	3		3
事前に、講義内容についての詳しい情報がほしい	2		2	放送授業と内容が異なる	2		2
内容にまとまりがない、統一性・関連性がない	2		2	構成・内容がよくない、面白くない	1	1	2
参考文献を紹介してほしい	1		1	フリガナ、専門用語の説明などがほしい	1		1
分かりにくい、説明・解説が不十分	1		1	誤植がある	1		1
時間がとれない、勉強についていけない、 努力不足だった		1	1	放送授業の要約を載せてほしい	1		1
参考書や問題集、補助教材を紹介・発刊してほしい	1		1				
最新の内容の講義にしてほしい	1		1				
面接授業を実施してほしい、参加しやすくしてほしい	1		1				
放送授業				通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
講師の話し方や発音、講義態度が良くない	3		3	課題の内容・量が的確ではない	1		1
テレビ科目にしてほしい		3	3				
印刷教材と内容が異なる	1	1	2				
図・表・写真を利用してほしい	2		2				
解説中の頁を画面に表示してほしい	1	1	2				
難しい、高度すぎる、理解できない、説明が不十分	2		2				
印刷教材と連動していない	1		1				
印刷教材のPDF化やダウンロードを考えてほしい	1		1				
講義のテンポが良くない(早い、遅い)	1		1				
単位認定試験				単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
記述式および記述に関して改善してほしい	2		2	記述式および記述に関して改善してほしい	2		2
試験が難しすぎる、難易度を下げるべき	1		1	試験が難しすぎる、難易度を下げるべき	1		1
問題数が少なかった	1		1	問題数が少なかった	1		1

主な改善点の提案:「気になった点」から抽出・集約

- ラジオではわからないところが出てくる。テレビでの講義を求む。
- 印刷教材の内容やレイアウトに留意し、必要な場合は図や表、用語説明を加える。
- 扱う範囲が広いので科目に分けてより詳細な授業を望む。
- 早口やこもりがちなトークに気をつけ、滑舌に注意する。
- テレビ、ラジオだけではなくインターネットも活用し、視聴手段を充実させる。

【大学院】「自然環境科学」科目

よかった点

- 宇宙の個々の現象をシステムとしてとらえて、その中で重要なイベントを特異点研究として分析・理論構成してわかりやすく、意欲的に証明されたのが最も良かったです。これまで断片的知識が、この授業で体系的に整理されたのです。
- 今までの講師の先生方と違い、先生が打ち立てた理論に関しての内容とかあるので、先生の熱意が違い、講義も棒読みではないし、好感が持てたし、内容にも興味を持てた。地球の歴史の勉強になったと思う。もっと掘り下げてしっかり勉強しなおしたい内容である。
- スケールが大きく、驚くことができた。漠然と知っているつもりであったが、何も知らなかったことを知ることができた。今生きていることは奇跡であることを、大きなスケールで人に説明できるようになった。
- 講師の説明がわかりやすく、示されるデータが理解しやすかった。印刷教材との関連もおおむね良かった。内容がとても面白く、興味を持って学習を続けられた。

気になった点

- 専門用語がたくさんあり、基礎的な学習へ戻って調べることもありました。大学院なので、あたりまえに知識を持っていないと学べないのですが、各用語の解説、キーワードとして補助資料として加えられないでしょうか。または、そのような知識の資料紹介をしてほしいと思いました。
- 印刷教材と放送授業の進行内容が同じでないことはよくもあり悪くもありの両面です。同じように進まないことは、反面、軽く聞き流すような態度を注意されている！という気持ちにさせられ（科目生とはいえ）甘くないのだ。と、気を引き締めることになりました。
- 興味ある図が講義で用いられたが、テキストでは色がなく、見にくいものが多い（一部絵もあるが）できれば、図面集として別冊で用意願えないものだろうか。
- ラジオだと、聴いているだけでつまらないので、テレビにしてほしかったです。先生の表情、動作も学習意欲を駆り立てる要素だと思います。

「自然環境科学」プログラム科目総覧

「知識の整理・深耕に役立った」という記述が多かった。また、「分かりやすく講義していた」「講師の熱意や人柄の良さを感じた」といった、放送授業への評価も高くなっている。ただ、印刷教材では、「文字・図・写真が小さい、画像が粗い、分かりにくい」や「色刷にしてほしい」「内容が理解しにく」など、教材に対する満足度はやや低くなっている。

【大学院】「オンライン科目」

よかった点

(単位: 人)

科目全般		オンライン教材	
意見	合計	意見	合計
勉強になった、役にたった	15	具体的な事例・実験があった	5
今後の人生や仕事・生活・学習に役立つ	4	映像教材がよかった	2
最新の情報・研究が学べた	3	講師の熱意や人柄の良さを感じた	2
知識の整理・深耕に役立った	3	講師の指導が良かった	2
基礎的な知識を得られた	2	講師の解説がよかった	1
さらなる学習意欲がわいた	1	確認テストが理解に役立った	1
内容がよかった、分かりやすかった	1	講師と迅速にやりとりが出来てよかった	1
学習センターや図書館が良かった	1		
自分のペースで勉強できた	1		

【大学院】「オンライン科目」

気になった点

(単位: 人)

科目全般		オンライン教材	
意見	合計	意見	合計
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	6	課題の内容・量が的確ではない	8
交流の場を用意してほしい	2	オンライン上の操作・説明がわかりにくかった	5
担当講師は一人にしてほしい	2	指導内容、コメント、対応に不満がある	4
参考書や問題集、補助教材を紹介・発刊してほしい	1	講義ノートの印刷教材がほしい	3
インターネットが使えない人でも、学習できる環境にしてほしい	1	双方向性がなかった	2
難しい、高度すぎる、理解できない	1	レポートの提出期限を事前に知りたい	2
具体例・事例・実践的な内容を増やしてほしい	1	資料が多く閲覧・印刷が大変だった	2
面接授業を実施してほしい、参加しやすくしてほしい	1	講義が分割されすぎている	2
		映像教材の受信がうまくいかない時があった	1
		図表は講義メモに載せてほしい	1
		小テストに時間制限があることを表示してほしい	1
		課題に提出期限を長くしてほしい	1
		録音・録画できるようにしてほしい	1
		ソフトのダウンロードはパッケージ化してほしい	1

主な改善点の提案:「気になった点」から抽出・集約

- 課題は学習の内容や進捗に合わせ、適切な課題とする。
- オンライン操作が複雑な部分もあるので、操作が容易に行えるよう画面等の工夫をする。
- オンラインの特性を活かし、質問や相談には迅速・丁寧・確実に対応する。
- 受講者同士が交流し、知識を向上させる機会を設ける。
- 複数の講師が担当する場合は、講義・教材の内容に統一性を持たせる。
- 難しい言葉・用語は説明する。

【大学院】「オンライン」科目

よかった点

- e-learning の全体像が理解できたこと。また無料の講座提供など新しい動きや今後の方向性が分かったのもよかった。全体として知識レベルが上がり、頭に残った。
- e ラーニングの概要、可能性を理解することができた。
- 本科目はオンライン授業ということで、小テスト、課題レポート提出が課され、単位認定試験はないものの他の科目よりトータルではより学習に時間を要したと思う。科目名が示すとおり「e ラーニングの理論と実践」を深く学ぶことができたこと。
- 実習型のため面白く実践に役立つ科目であった。新しい R 関数に触れることが出来良かった。講師と生徒の双方向のやりとりが迅速にできる点が良かった。

気になった点

- 双方向性があまり感じられませんでした。特に、従来の放送授業と変わるところのない映像教材は、受信がスムーズにいかないときもあり、あまり意義が感じられませんでした。
- ディスカッションの活用があまりできていないように思う。
- 担当教員によって、課題等の難易度と所要時間が異なった。
- なんというかマルチメディアについて書かれた紙の本を読んでいるような印象があります。内容で述べられていることが十全にコースデザインや運用に反映されてないように感じました。
- 本科目には印刷教材がなく、代わり P D F 形式講義ノートが各回ごとに配せられていた。学びを深めるためには、印刷教材の精読は必須と思われ、結局のところ各回ごとに自分自身ですべて印刷したところである。このことから、オンライン授業であっても印刷教材を準備してもらいたい。もし、印刷教材に追加の情報がある場合には、P D F 形式で提供してはどうだろうか。

オンライン科目総覧

「具体的な事例・実験」を評価する意見があがっている一方、「もっと詳しい説明・解説」を望む声も見受けられる。また、「課題の内容や量」に対する批判も上がっている。さらに、オンライン特有の操作方法の簡便さ、講義ノートの提供などへの要望も上げられている。

付録) 2016年度学生による授業評価集計結果の概要等について

2016年度学生による授業評価集計結果概要について

1. 調査の概要

(1) 調査目的 自己点検・評価の一環として、本学学生の授業に関する理解状況等を把握することにより、
本学における教育内容及び方法の改善に資すること

(2) 調査方法 郵送による質問紙調査

(3) 調査対象

①対象科目

【学部】

	基盤科目	基盤科目(外国語)	生活と福祉	心理と教育	社会と産業	人間と文化	情報	自然と環境
H28(2016)	2	3	7	8	12	9	6	5

夏季集中 科目(司書)	夏季集中 科目(看護)	計
3	1	56

【大学院】

	生活健康 科学	人間発達 科学	人文学	情報学	自然環境 科学	計
H28(2016)	1	2	2	1	2	8

①対象者 2016年度第1学期履修登録者
※対象科目の全登録者から学部科目250人、大学院科目200人を無作為抽出
※登録者数が上記の人数未満の科目は全数
※1人当たり最大3科目まで

(4) 調査時期 質問紙配布: 8月19日(平成28年度第1学期単位認定試験終了後)
質問締切: 9月30日
調査結果の集計: 10月

2. 集計結果

(1)回収状況

	標本数(人)			有効回答数(人)			回収率		
	全体	学部	大学院	全体	学部	大学院	全体	学部	大学院
H28(2016)	13,519	12,580	939	5,561	5,108	453	41.1%	40.6%	48.2%

付録) 2016年度学生による授業評価集計結果の概要等について

(2) 回答者の属性

【学部】

	新コース所属全科履修生								
H26 (2014)	生活と福祉	心理と教育	社会と産業	人間と文化	情報	自然と環境	全科履修生 (計)	選科履修生	科目履修生
	13.3%	17.1%	9.7%	14.3%	5.8%	7.1%			
	旧専攻所属全科履修生								
	生活と福祉	発達と教育	社会と経済	産業と技術	人間の研究	自然の理解			
	1.4%	0.3%	0.4%	0.2%	0.6%	0.5%	70.5%	16.5%	7.7%
H27 (2015)	新コース所属全科履修生								
	生活と福祉	心理と教育	社会と産業	人間と文化	情報	自然と環境	全科履修生 (計)	選科履修生	科目履修生
	13.8%	14.4%	13.3%	12.6%	2.6%	8.8%			
	旧専攻所属全科履修生								
生活と福祉	発達と教育	社会と経済	産業と技術	人間の研究	自然の理解				
	1.7%	0.4%	0.5%	0.2%	0.6%	0.4%	69.2%	16.4%	8.9%
H28 (2016)	新コース所属全科履修生								
	生活と福祉	心理と教育	社会と産業	人間と文化	情報	自然と環境	全科履修生 (計)	選科履修生	科目履修生
	7.4%	14.4%	13.2%	13.9%	5.7%	6.2%			
	旧専攻所属全科履修生								
	生活と福祉	発達と教育	社会と経済	産業と技術	人間の研究	自然の理解			
2.5%	0.3%	1.3%	0.3%	0.8%	0.4%	66.3%			

	性別		年齢別						
	男	女	19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
H26(2014)	48.9%	49.5%	0.4%	7.8%	13.6%	21.1%	19.5%	25.2%	11.9%
H27(2015)	51.2%	47.3%	0.4%	7.3%	12.5%	18.5%	18.3%	27.6%	14.9%
H28(2016)	47.4%	51.2%	0.2%	7.3%	13.7%	20.7%	18.5%	26.1%	13.0%

※無記入のものがあるため内訳の合計は100%にならない

(2) 回答者の属性

【大学院】

	新プログラム所属修士全科生									
H26 (2014)	生活健康科学	人間発達科学	臨床心理学	社会経営学科	文化情報学	人文学	情報学	自然環境科学		
	4.4%	0.8%	1.3%	9.4%	－	5.0%	2.4%	4.8%		
	旧プログラム所属修士全科生						修士全科生 (計)	修士選科生	修士科目生	
	文化情報学	総合文化		政策経営	教育開発	臨床心理				
		文化情報	環境システム							
0.2%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	28.7%	59.8%	8.1%		
H27 (2015)	新プログラム所属修士全科生									
	生活健康科学	人間発達科学	臨床心理学	社会経営学科	文化情報学	人文学	情報学	自然環境科学		
	6.1%	3.3%	1.7%	2.4%	－	4.2%	0.7%	1.4%		
	旧プログラム所属修士全科生						修士全科生 (計)	修士選科生	修士科目生	
	文化情報学	総合文化		政策経営	教育開発	臨床心理				
		文化情報	環境システム							
0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	20.1%	66.5%	9.0%		
H28 (2016)	新プログラム所属修士全科生									
	生活健康科学	人間発達科学	臨床心理学	社会経営学科	文化情報学	人文学	情報学	自然環境科学		
	1.5%	3.3%	1.8%	2.4%	－	7.7%	1.8%	4.6%		
	旧プログラム所属修士全科生						修士全科生 (計)	修士選科生	修士科目生	
	文化情報学	総合文化		政策経営	教育開発	臨床心理				
		文化情報	環境システム							
0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	23.4%	63.1%	10.4%		

	性別		年齢別					
	男	女	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
H26(2014)	63.5%	33.1%	2.6%	8.4%	22.1%	25.2%	27.4%	13.7%
H27(2015)	52.4%	44.0%	3.7%	10.5%	21.3%	26.7%	27.0%	9.6%
H28(2016)	65.1%	33.1%	1.8%	7.5%	18.5%	27.4%	30.7%	13.5%

※無記入のものがあるため内訳の合計は100%にならない

付録) 2016年度学生による授業評価集計結果の概要等について

(3) 評価結果(4段階評価における評点平均)

【学部】

①項目別の状況

	取組姿勢			授業評価全体			難易度・分量			放送授業			印刷教材			通信指導・単位認定試験			全体評価		
	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R
H26(2014)	3.10	3.18	3.06	3.23	3.27	3.18	3.22	3.25	3.19	3.23	3.34	3.08	3.17	3.20	3.14	3.24	3.24	3.24	3.28	3.31	3.25
H27(2015)	3.14	3.17	3.10	3.24	3.25	3.21	3.22	3.21	3.23	3.22	3.29	3.09	3.19	3.21	3.16	3.26	3.26	3.25	3.23	3.24	3.20
H28(2016)	3.14	3.18	3.09	3.21	3.26	3.16	3.20	3.24	3.16	3.23	3.34	3.08	3.18	3.23	3.13	3.25	3.25	3.24	3.27	3.30	3.22

②【B-20】満足度の専攻別等の状況

	全体	メディア別		コース・科目区分別						
	全対象科目	TV	R	基盤科目1	基盤科目2	生活と福祉	心理と教育	社会と産業	人間と文化	情報
H26(2014)	3.26(3.75～2.72)	3.29	3.23	—	—	3.13	3.42	3.23	3.28	3.18
H27(2015)	3.27(3.75～2.65)	3.26	3.29	—	—	3.30	3.34	3.38	3.15	3.08
H28(2016)	3.27(3.75～2.65)	3.29	3.19	3.31	3.07	3.25	3.22	3.33	3.26	3.20

※()内の値は「最高値～最低値」

コース・科目区分別		
自然と環境	夏季集中科目1	夏季集中科目2
3.27	—	—
3.17	—	—
3.10	3.25	3.21

	性別		年齢別						
	男	女	19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
H26(2014)	3.24	3.28	3.17	3.16	3.24	3.29	3.28	3.28	3.24
H27(2015)	3.26	3.28	2.69	3.21	3.28	3.25	3.30	3.29	3.29
H28(2016)	3.25	3.24	3.38	3.20	3.16	3.21	3.29	3.30	3.22

(3) 評価結果(4段階評価における評点平均)

【大学院】

①項目別の状況

	取組姿勢			授業評価全体			難易度・分量			放送授業			印刷教材			通信指導・単位認定試験			全体評価		
	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R
H26(2014)	3.21	3.29	3.10	3.32	3.38	3.24	3.33	3.39	3.26	3.35	3.43	3.23	3.25	3.31	3.17	3.29	3.32	3.24	3.36	3.43	3.28
H27(2015)	3.21	3.17	3.22	3.31	3.29	3.32	3.33	3.28	3.35	3.25	3.28	3.24	3.28	3.24	3.28	3.32	3.30	3.33	3.30	3.27	3.30
H28(2016)	3.35	3.43	3.32	3.45	3.47	3.45	3.47	3.47	3.46	3.45	3.52	3.42	3.44	3.42	3.44	3.45	3.37	3.48	3.53	3.54	3.52

②【B-20】満足度の専攻別等の状況

	全体	メディア別		コース・科目区分別				
	全対象科目	TV	R	生活健康科学	人間発達科学	人文学	情報学	自然環境科学
H26(2014)	3.34(3.53～2.67)	3.41	3.25	3.28	—	3.46	3.06	3.40
H27(2015)	3.34(3.69～2.80)	3.35	3.34	3.42	3.39	3.57	3.18	2.81
H28(2016)	3.53(3.73～3.06)	3.58	3.5	3.73	3.38	3.46	3.07	3.61

※()内の値は「最高値～最低値」

	性別		年齢別					
	男	女	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
H26(2014)	3.34	3.36	3.40	3.40	3.35	3.27	3.37	3.32
H27(2015)	3.30	3.41	3.24	3.26	3.40	3.33	3.32	3.44
H28(2016)	3.49	3.62	3.50	3.59	3.45	3.46	3.65	3.48

(参考)集計方法について

各質問項目について、「あてはまる」、「ややあてはまる」、「あまりあてはまらない」、「あてはまらない」の回答をそれぞれ4、3、2、1の4段階の数値をあて、平均値を出し集計している。

付録) 2016年度学生による授業評価集計結果の概要等について

平成28年度学生による授業評価の調査結果一覧表【2016年度新規開設科目】(単純集計)コース・科目区分別、プログラム別

	回収状況				取組み姿勢				簡易度・分量												放送授業				印刷教材				通信指導・単位認定試験												全体評価				授業にか かる評価 (B1- B20)の平 均	全体 (A1- B20) の平 均
	調査 対象者数	回答者数	回収率	A-1	A-2	A-3	項目 平均	B-1	B-2	B-3	B-4	項目 平均	B-5	B-6	B-7	B-8	項目 平均	B-9	B-10	B-11	B-12	項目 平均	B-13	B-14	B-15	項目 平均	B-16	B-17	B-18	B-19	B-20	項目 平均														
学 部	全科目平均	12,500	5,108	40.6%	3.27	2.87	3.28	3.14	3.18	3.19	3.20	3.24	3.20	3.21	3.36	3.18	3.15	3.23	3.25	3.17	3.07	3.23	3.18	3.28	3.31	3.16	3.25	3.24	3.30	3.45	3.10	3.24	3.27	3.23	3.21											
	科目最高値			-	3.75	3.60	3.61	3.65	3.70	3.70	3.68	3.67	3.69	3.87	3.91	3.81	3.88	3.87	3.64	3.65	3.60	3.60	3.62	3.57	3.62	3.48	3.56	3.60	3.83	3.87	3.64	3.81	3.75	3.71	3.70											
	科目最低値			-	2.77	2.03	2.86	2.55	2.53	2.45	2.47	2.47	2.48	2.63	2.77	2.64	2.39	2.61	2.90	2.65	2.14	2.80	2.62	2.95	2.96	2.57	2.83	2.82	2.74	3.00	2.32	2.68	2.71	2.64	2.63											
	ナレシ科目（ＴＶ）平均	6,880	2,810	40.8%	3.30	2.98	3.26	3.18	3.25	3.25	3.21	3.25	3.24	3.30	3.43	3.29	3.32	3.34	3.27	3.19	3.19	3.26	3.23	3.28	3.31	3.17	3.25	3.25	3.34	3.49	3.15	3.29	3.30	3.27	3.26											
	ラジ科科目（Ｒ）平均	5,700	2,298	40.3%	3.23	2.74	3.30	3.09	3.11	3.12	3.18	3.23	3.16	3.10	3.26	3.05	2.92	3.08	3.22	3.15	2.93	3.20	3.13	3.27	3.31	3.15	3.24	3.23	3.25	3.40	3.05	3.19	3.22	3.17	3.16											
	「基礎科目1」項目平均	409	195	39.1%	3.35	3.19	3.26	3.27	3.22	3.27	3.14	3.22	3.21	3.33	3.48	3.30	3.31	3.36	3.28	3.12	3.08	3.25	3.18	3.35	3.39	3.25	3.33	3.22	3.36	3.52	3.08	3.31	3.30	3.27	3.27											
	「基礎科目2」項目平均	570	262	46.0%	3.12	2.81	2.94	2.96	2.96	2.98	2.88	2.92	2.94	3.10	3.36	3.23	3.32	3.25	3.27	2.91	2.92	3.06	3.04	3.16	3.18	2.97	3.10	3.15	3.21	3.29	2.86	3.07	3.12	3.09	3.07											
	「生活と福祉」項目平均	1,633	628	38.5%	3.16	2.56	3.29	3.00	3.04	3.09	3.24	3.27	3.16	3.05	3.12	3.04	2.97	3.05	3.16	3.19	3.12	3.25	3.18	3.31	3.35	3.24	3.30	3.28	3.20	3.41	3.13	3.25	3.25	3.19	3.16											
	「心理と教育」項目平均	1,967	779	39.6%	3.21	2.75	3.30	3.09	3.16	3.18	3.23	3.28	3.21	3.16	3.24	3.13	3.10	3.16	3.20	3.17	3.04	3.21	3.16	3.24	3.33	3.16	3.24	3.25	3.27	3.45	3.09	3.22	3.26	3.21	3.19											
	「社会と産業」項目平均	2,915	1,259	43.2%	3.34	2.94	3.33	3.20	3.32	3.30	3.33	3.35	3.33	3.29	3.42	3.23	3.20	3.29	3.33	3.29	3.11	3.31	3.26	3.26	3.27	3.19	3.24	3.27	3.38	3.49	3.23	3.33	3.34	3.30	3.28											
「人間と文化」項目平均	2,162	969	45.0%	3.32	3.03	3.31	3.22	3.24	3.21	3.22	3.23	3.23	3.30	3.53	3.27	3.20	3.33	3.29	3.19	3.02	3.26	3.19	3.38	3.39	3.16	3.31	3.26	3.39	3.53	3.09	3.26	3.31	3.27	3.26												
「情報」項目平均	1,190	415	34.9%	3.17	2.82	3.23	3.07	3.09	3.15	3.05	3.17	3.12	3.16	3.27	3.11	3.03	3.14	3.20	3.09	3.14	3.12	3.14	3.25	3.28	3.16	3.23	3.16	3.21	3.38	3.11	3.20	3.21	3.17	3.15												
「自然と環境」項目平均	1,161	428	36.9%	3.25	3.00	3.23	3.16	3.17	3.16	3.07	3.16	3.14	3.23	3.45	3.20	3.16	3.26	3.16	3.04	3.07	3.15	3.11	3.21	3.23	3.03	3.16	3.15	3.29	3.32	2.90	3.10	3.15	3.16	3.16												
「夏季集中科目1」項目平均	243	88	36.2%	3.61	3.22	3.47	3.43	3.21	3.28	3.09	3.14	3.18	3.13	3.14	3.12	3.21	3.15	3.29	3.14	3.08	3.11	3.16	3.43	3.33	3.21	3.32	3.24	3.21	3.54	3.13	3.25	3.27	3.21	3.24												
「夏季集中科目2」項目平均	250	85	34.0%	3.23	2.35	3.21	2.93	2.89	2.91	3.06	3.02	2.97	3.01	3.04	2.94	2.92	2.88	3.01	3.11	3.05	3.18	3.09	3.13	3.31	3.12	3.19	3.20	3.02	3.36	3.08	3.21	3.17	3.08	3.06												

2016年学生による授業評価調査票(学部)

次の科目についてお答えください。

科目名	
科目コード	

- I. この授業科目を学習して、あなたはどのような印象や感想をお持ちになりましたか。次の①～④及び(1)～(20)の項目について、あてはまる程度を4段階で評価し、4～1の番号にそれぞれ1つだけ○を付けてください。(この面が済みましたら、裏面にもお答えください。)

(注) 通信指導を提出していない方、単位認定試験を受験していない方についても、回答できる範囲でお答えください。

A. 授業評価をしていただく前に、あなたの授業への取組みについてお尋ねします。

		あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
①	全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ。	4	3	2	1
②	放送授業を十分に視聴した。	4	3	2	1
③	印刷教材を熱心に学習した。	4	3	2	1
④	単位認定のための学習方法について、次の1～3のいずれか一つを選んでください。 1. ほとんど放送教材の学習だけで臨んだ。 2. ほとんど印刷教材の学習だけで臨んだ。 3. 放送教材と印刷教材の両方の学習で臨んだ。				

B. 以下のアンケートにお答えください。

＜授業の難易度・分量＞					
(1)	放送授業の難易度は適切だった。	4	3	2	1
(2)	放送授業の内容は適切な分量であった。	4	3	2	1
(3)	印刷教材の難易度は適切だった。	4	3	2	1
(4)	印刷教材の内容は適切な分量であった。	4	3	2	1
＜放送授業＞					
(5)	講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった。	4	3	2	1
(6)	講師の熱意が十分に伝わった。	4	3	2	1
(7)	放送授業は教材としてよくできていると感じた。	4	3	2	1
(8)	(テレビ科目についてのみお答えください) テレビの特性が十分に生かされていると感じた。	4	3	2	1
	(ラジオ科目についてのみお答えください) 映像がなくても十分理解できる内容だと感じた。				
＜印刷教材＞					
(9)	印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった。	4	3	2	1
(10)	印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった。	4	3	2	1
(11)	図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った。	4	3	2	1
(12)	印刷教材は教材としてよくできていると感じた。	4	3	2	1
＜通信指導・単位認定試験＞					
(13)	通信指導のコメントは、納得のいくものだった。	4	3	2	1
(14)	通信指導は学習内容の理解に役立った。	4	3	2	1
(15)	単位認定試験の問題は、科目内容の理解度をはかるのにふさわしい内容だった。	4	3	2	1
＜全体評価＞					
(16)	授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った。	4	3	2	1
(17)	学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった。	4	3	2	1
(18)	新しい知識が身につく視野が広がった。	4	3	2	1
(19)	この科目の内容を全体としてよく理解できた。	4	3	2	1
(20)	この科目の内容には全体として満足している。	4	3	2	1

裏面に続きます。

付録) 2016年度学生による授業評価集計結果の概要等について

Ⅱ. 次の点について、ご自由にお書きください。

- (1) この科目を受講してよかったと思う点をお書きください。

--

- (2) この科目を受講して改善すべきだと感じた点をお書きください。

--

- (3) この科目に限らず、本学の教育内容や教育方法等についてご意見や感想があれば、どんなことでも結構ですので、ご自由にお書きください。

--

Ⅲ. この科目の通信指導と単位認定試験についてお答えください。(あてはまる番号に○を付けてください。)

- | |
|-------------------------------|
| 1. 通信指導を提出し、単位認定試験を受験した。 |
| 2. 通信指導を提出したが、単位認定試験は受験しなかった。 |
| 3. 通信指導を提出しなかった。 |

Ⅳ. あなたご自身についてお答えください。(あてはまる番号にそれぞれ○を付けてください。)

(1) 学生種別	〔全科履修生 新コース所属の方〕 1. 生活と福祉 2. 心理と教育 3. 社会と産業 4. 人間と文化 5. 情報 6. 自然と環境 〔全科履修生 旧専攻所属の方〕 7. 生活と福祉 8. 発達と教育 9. 社会と経済 10. 産業と技術 11. 人間の探究 12. 自然の理解 〔選科履修生・科目履修生〕 13. 選科履修生 14. 科目履修生
(2) 性別	1. 男性 2. 女性
(3) 年齢	1. 19歳以下 2. 20～29歳 3. 30～39歳 4. 40～49歳 5. 50～59歳 6. 60～69歳 7. 70歳以上
(4) 職業	1. 公務員等 2. 教員 3. 会社員 4. 個人営業・自営業 5. 農業等 6. 看護師等 7. 家事専業 8. パート・アルバイト 9. 他大学等の学生 10. 無職 11. その他 ()

どうもありがとうございました。

参考資料：相関係数について

アンケートの分析などで、近年常識になってきているのが統計学の手法である。

「相関」は統計学での基礎的な理論で、ある項目と別の項目の間の因果関係を分析するアプローチである。

例えば、

項目 A の値が高ければ高いほど項目 B の値も高く、

項目 A の値が低ければ低いほど項目 B の値も低い

などの現象がみられたら項目 A と項目 B は相関関係がある可能性がある。

相関係数は、ある項目と別の項目の相関の程度を数値化したものである。

数値化するにあたっていろいろな理論があるが、最も一般的なのが「ピアソンの相関係数」である。(以下、「相関係数」と略記)

これを求める理論の詳細は省略するが、

重要な点は次の 2 点である。

1) 相関係数は $-1 \sim 1$ までの値を取り得る

2) 相関係数の絶対値が 1 に近ければ近いほど、比べている項目の相関は高いと言える。

1) に関して、相関係数が負の値になるということは、

項目 A の値が高ければ高いほど項目 B の値は低く、

項目 A の値が低ければ低いほど項目 B の値は高い

というような逆転現象がおきている場合である。

2) に関しては、次のよう目安がある。(R は相関係数の値)

$1.0 \geq |R| \geq 0.7$: かなり高い相関がある

$0.7 \geq |R| \geq 0.5$: 高い相関がある

$0.5 \geq |R| \geq 0.4$: 中程度の相関がある

$0.4 \geq |R| \geq 0.3$: ある程度の相関がある

$0.3 \geq |R| \geq 0.2$: 弱い相関がある

$0.2 \geq |R| \geq 0.0$: ほとんど相関がない

参照:

<http://www1.tcue.ac.jp/home1/abek/htdocs/stat/corre.html>

授業評価の組織的な活用

